

ISDNターミナルアダプタ

Aterm®

IWX70&RS7 ワイヤレスセット

(PC-IWX70D/RS7)

取扱説明書



電話やインターネット接続ができるまで

はじめに
お読みください

Atermを接続する

Windowsで
簡単に設定する

Macintoshで
簡単に設定する

さまざまな機能

パソコンを使わないで
親機を操作する

お困りのときには

付 録

添付マニュアルの使い方

『AtermIWX70&RS7 ワイヤレスセット』には次のマニュアルが添付されています。

セットアップガイド (添付 CD-ROM 収録)

本装置の機能の紹介や設置・接続の手順などを映像と音声で説明するムービーが、添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集』に収録されています。パソコンをお持ちの場合は、まずはじめにセットアップガイドをご覧ください。

使い方

- 1 パソコンの電源を入れ、添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集』をセットします。

Windowsの場合は自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Macintoshの場合は CD-ROM のウィンドウが開くので、ウィンドウ内の [らくらくセットアップガイド] アイコンをダブルクリックします。

Macintosh の場合で CD-ROM のウィンドウが開かないときは、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

[セットアップガイド] のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

- 2 メニュー画面のボタンをクリックして順番にご覧ください。



画面は Windows の場合の例です。

取扱説明書 (本書)

Aterm の機能のご紹介からワイヤレスセットの設置・接続、さまざまな機能の操作・設定方法が掲載されています。また困ったときの対処方法など、ワイヤレスセットを使いこなすために必要な内容も掲載されています。

電子マニュアル (添付 CD-ROM 収録)

次の内容が PDF ファイルで添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集』に収録されています。

データ通信ガイド

取扱説明書には掲載されていない内容が収録されています。必要に応じて参照してください。

用語解説

Aterm に関連する用語の解説が収録されています。取扱説明書などを見ているときに、分からない単語が出てきたら参考にしてください。

取扱説明書

取扱説明書 (本書) と同じ内容を PDF ファイルで見ることができます。

電子マニュアルは [セットアップガイド] のメニューから選択して見ることができます。12 ページを参照してください。

はじめに

このたびは、^{エーターム}『AtermIWX70&RS7 ワイヤレスセット』をお買い上げいただき、ありがとうございます。

AtermIWX70&RS7 ワイヤレスセット（以下ワイヤレスセットと称します）は、NTT 東日本・NTT 西日本のISDN 網「INS ネット 64」にパソコンや電話機、ファクス、モデムなどを接続するためのターミナルアダプタ『AtermIWX70』と、リモートステーション『AtermRS7』のセットです。

ワイヤレスセットはワイヤレス通信機能を搭載しており、AtermIWX70 を親機、AtermRS7 を子機として親機と離れたところから通信が利用できます。

また別売のリモートステーション、マルチモバイルカードなどの子機を増設してワイヤレスネットワークを構築したり、PHS 電話機を収容してコードレス電話機として利用することができます。本書ではワイヤレスセットの設置・接続のしかたから、さまざまな機能の操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、ワイヤレスセットを使いこなすために必要な事項を説明しています。

本装置をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Netscape Navigatorは米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK3©AMD

Mac ロゴ、Mac、Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

iMac、Power Macintosh G3は米国Apple Computer, Inc.の商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。

本書の読み方

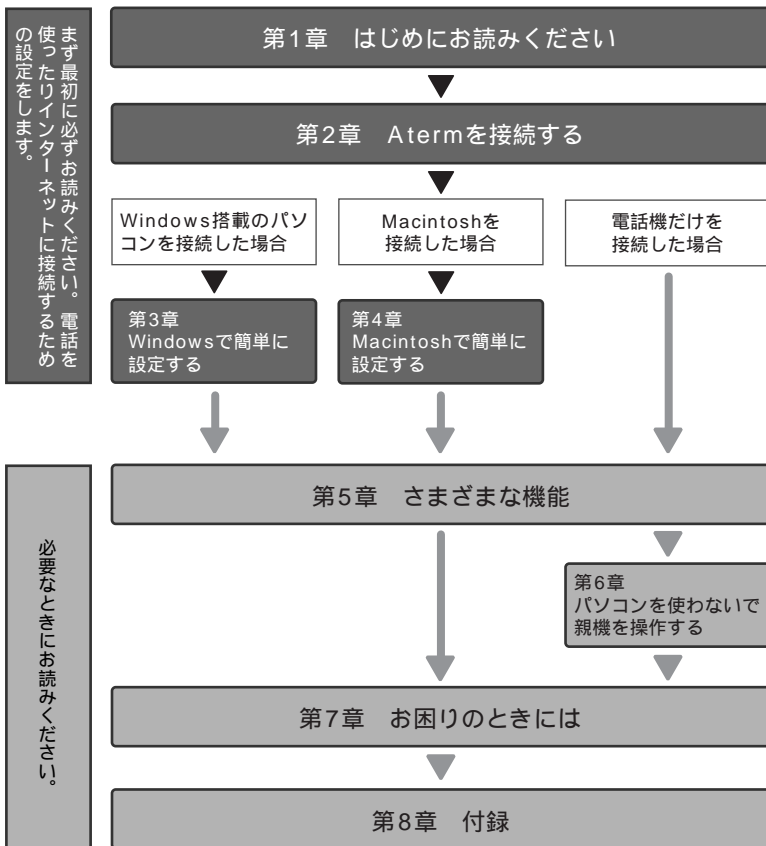
本書をより活用していただくために、本書の読み方をご紹介します。

本書の構成

本書は以下の構成になっています。

第1章	はじめにお読みください	Atermの機能やインターネット、INSネット64について説明します。また添付品と名前について説明します。
第2章	Atermを接続する	Atermを設置して電話機やパソコンと接続する手順と、電話の使い方を説明します。
第3章	Windowsで簡単に設定する	Windows Me / Windows 98 / Windows 95 / Windows 2000 / Windows NT 4.0を搭載したパソコンと親機または子機をつないで、インターネットに接続したり電話を使うための設定をします。
第4章	Macintoshで簡単に設定する	Macintoshと親機または子機をつないで、インターネットに接続したり電話を使うための設定をします。
第5章	さまざまな機能	Atermのワイヤレス通信機能やさまざまな電話の機能、メール機能を説明します。
第6章	パソコンを使わないで親機を操作する	親機に接続した電話機やファンクションボタンを使って、親機の機能の操作や設定をする手順を説明します。
第7章	お困りのときには	思いどおりに動作しないときの解決方法や、Atermを購入時の状態にもどす手順などを説明します。
第8章	付録	アフターサービスや液晶ディスプレイの表示など、Atermを使う上で参考にしていただきたいことを掲載しています。

第1章、第2章は最初にお読みください。第3章、第4章はお使いの環境によってお読みください。第3章または第4章まで進むと、電話が使えるインターネットに接続するまでの設定が完了します。第5章～第8章は必要に応じてお読みください。



本書で使用しているマーク

本書では次のマークを用いて説明します。



注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことがらを示しています。



補足的な説明や、知っていると便利なことがらを示しています。



親機に接続した電話機やパソコンで利用できる機能を表します。



子機に接続したパソコンで利用できる機能を表します。



機能の使い方を説明します。



機能を使うために必要な設定を説明します。各マークのうしろに書かれているところを参照してください。

Windows

Windows搭載のパソコンで設定する場合に参照してください。

Macintosh

Macintosh で設定する場合に参照してください。

目次

はじめに	1
本書の読み方	2
本書の構成	2
本書で使用しているマーク	4
目次	5
電子マニュアルの見方	12
安全に正しくお使いいただくために	14
第 1 章 はじめにお読みください	23
1-1 . Aterm でできること	24
INS ネット 64 とは	24
Aterm の役割	25
こんな使い方ができます	26
Aterm 機能一覧	34
1-2 . 箱の中身を確認する	38
1-3 . 各部の名前とはたらき	40
親機 (IW70)	40
子機 (RS7)	44
状態表示ランプ	46
第 2 章 Aterm を接続する	49
2-1 . Aterm をお使いになる前に	50
INS ネット 64 を利用するには	50
子機を追加するには	53
インターネットを利用するには	54
Aterm の設置場所を決める	55
2-2 . 親機を接続する	56
アンテナを立てる	56
電話機 / ファクスを接続する	57
INS ネット 64 を接続する	59
アース線を接続する	60
電源を接続する	61
電源を入れる	62
電話機が使えるか確認する	64
カレンダーを設定する	65
電話機を 1 台だけ接続する場合	66
パソコンを接続する	67
2-3 . 子機を接続する	71
アンテナを立てる	71
アース線を接続する	71
電源を接続する	72
子機とパソコンを接続する	74

第 3 章	Windows で簡単に設定する	77
3-1 .	Windows で設定するには	78
	設定の流れ	78
	親機と子機を設定するには	79
3-2 .	らくらくアシスタントをインストールする	80
	らくらくアシスタントをインストールする	80
3-3 .	らくらくアシスタントで簡単に設定する	82
	らくらくアシスタントの起動の仕方	82
	USB ドライバのインストールと接続	83
	アナログ/無線ポートの簡単設定	87
	インターネット接続の設定	91
3-4 .	インターネットに接続する	95
	接続を確認する	95
	ホームページを見る	99
	接続を切断する	99
	RS7 センターを利用する	100
3-5 .	らくらくアシスタントの使い方	102
第 4 章	Macintosh で簡単に設定する	105
4-1 .	Macintosh で設定するには	106
	設定の流れ	106
	親機と子機を設定するには	107
4-2 .	ユーティリティをインストールする	108
	ユーティリティをインストールする	108
	USB ポートに接続する	109
4-3 .	らくらくアシスタントで簡単に設定する	111
	らくらくアシスタントの起動の仕方	111
	アナログポートの簡単設定	112
	インターネット接続の設定	115
4-4 .	インターネットに接続する	119
	接続を確認する	119
	接続を切断する	120
4-5 .	らくらくアシスタントの使い方	122
第 5 章	さまざまな機能	125
5-1 .	ワイヤレス通信機能	126
	ワイヤレスデータ通信の種類	126
	内線データ通信をする	128
5-2 .	親機の電話機能	132
	電話機能一覧	132
	設定の仕方	134

Windows での設定方法	136
Macintosh での設定方法	138
電話機での設定方法	140
基本操作	141
フッキング	141
電話機の使い方	143
PHS の使い方	145
基本機能	147
家の中で話す（内線通話）.....	147
内線電話に転送する（内線転送）.....	149
相手の声の音量を調節する（受話音量調節）.....	152
短縮番号で電話をかける（短縮ダイヤル）.....	154
話し中のとき	156
話し中に別の電話を受ける（キャッチホン）.....	156
3人で同時に話す（三者通話）.....	159
電話番号を表示する	164
自分の電話番号を相手に知らせる（発信者番号通知）.....	164
相手に知らせる電話番号を指定する（発信者番号指定）.....	166
着信した電話番号を表示する（INS ナンバー・ディスプレイ / INS ナンバー・リクエスト）.....	168
話し中にかかってきた電話番号を表示する（キャッチホン・ディスプレイ）.....	171
かけてきた相手の電話番号を見る / かけ直す（着信履歴表示 / 着信履歴先発信）....	175
電話番号や電話機を使い分ける	177
2つまたは3つの電話番号を使い分ける（i・ナンバー）.....	177
複数の電話番号を使い分ける（ダイヤルインサービス）.....	180
着信する電話機の優先順位をつける（優先着信ポート指定）.....	185
特定の電話機に着信させる（サブアドレス）.....	187
お出かけ / おやすみになるとき	190
電話機の着信音を鳴らさない（おやすみモード）.....	190
別の電話番号に転送する（電話着信転送モード）.....	193
ボイスワープで転送する（INS ボイスワープ / INS ボイスワープ・セレクト）...	196
着信音を鳴らさずに着信を知らせる（フラッシュモード）.....	201
電話を転送する	204
別の電話番号に転送する（着信転送）.....	204
話し中に別の電話番号に転送する（通信中転送）.....	207
特定の相手を対象にする	210
特定の電話だけ着信する（識別着信）.....	210
特定の電話の着信音を変える（識別リングング）.....	213
話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける（なりわけ選択キャッチホン）...	216
受けたくない電話の着信を拒否する（迷惑電話防止）.....	217
特定の電話機だけに着信させる（マイプライベート着信）.....	220
特定の電話を別の電話番号に転送する（識別着信転送）.....	222
高位レイヤ整合性を設定する（HLC）.....	226

	電話機でダイヤルインを使う	229
	着信した電話番号をモデム信号で送出する (モデム・ダイヤルイン).....	229
	着信した電話番号をプッシュ信号で送出する (アナログ・ダイヤルイン).....	231
5-3 .	Aterm のメール機能	233
	メール機能とは	233
	メール機能を利用するには	236
	Aterm で必要な設定	238
第 6 章	パソコンを使わないで親機を操作する	241
6-1 .	ファンクションボタンで操作する	242
	着信履歴を表示する	242
	着信履歴先に電話をかける	243
	履歴先発信する電話機を指定する	244
	累積料金を表示する	245
	累積料金を初期化する	246
	通信速度を切り替える (マニュアル BOD).....	246
	ファームウェアのバージョンを表示する	247
	設定を初期化する	248
	無線ポートの通信モードを指定する	249
6-2 .	電話機で設定する	251
	親機に接続する機器を設定する	251
	i・ナンバーを設定する	253
	ダイヤルインサービスを設定する	255
	キャッチホンを設定する	259
	INS ナンバー・ディスプレイ / INS ナンバー・リクエストを設定する	259
	INS ボイスワープ / INS ボイスワープ・セレクトを設定する	260
	設定を初期化する	261
	液晶ディスプレイのバックライトを設定する	261
	迷惑電話を登録する	262
	累積料金を表示する	262
	その他の機能の設定方法	264
第 7 章	お困りのときには	271
7-1 .	困ったときの Q&A	272
	親機・子機に関する Q&A	272
	USB に関する Q&A	290
7-2 .	Aterm を購入したときの状態にもどす	298
	親機の初期化	298
	子機の初期化	300
7-3 .	Aterm とパソコンとの接続を確認する	302
	ハイパーターミナルで接続を確認する	302
7-4 .	自己診断	304
	親機の自己診断	304
	子機の自己診断	306

第 8 章 付録	3 0 7
8-1 . 停電対策	3 0 8
親機に電池をセットする	3 0 8
8-2 . 液晶ディスプレイの表示	3 1 0
電源を入れたとき	3 1 0
通信状態	3 1 1
でかけるボタンのロック	3 1 2
お出かけ設定時	3 1 3
INS ナンバー・ディスプレイを利用しているとき	3 1 3
ディスプレイ表示の切り替え	3 1 4
8-3 . 切断理由 / 生成源 / 診断情報の表示	3 1 5
切断理由の表示	3 1 5
回線を切断した場所の表示 (生成源)	3 1 7
着信拒否理由の表示 (診断情報)	3 1 8
8-4 . AtermIWX70&RS7 ワイヤレスセット製品仕様	3 2 0
IWX70 仕様	3 2 0
RS7 仕様	3 2 2
親機ディップスイッチ	3 2 3
子機 TEST スイッチ	3 2 4
D-SUB9 ピンインタフェース	3 2 5
8-5 . ホームテレホン / ビジネスホンとの接続	3 2 6
ホームテレホンの接続方法	3 2 6
8-6 . 別売オプション	3 2 7
8-7 . ターミナルアダプタの増設	3 2 8
S 点ユニットカバーの取り外しかた	3 2 8
ISDN 通信機器を増設する場合	3 2 9
DSU を切り離す場合	3 3 0
8-8 . お問い合わせ・アフターサービス	3 3 1
インフォメーションサービス	3 3 1
PC クリーンスポットの訪問サポート	3 3 2
修理と現地調整・保守契約について	3 3 5
8-9 . ホームページ『AtermStation』のご紹介	3 4 0
『AtermStation』の主なメニュー	3 4 0
8-10 . インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介	3 4 1
BIGLOBE ホームページ	3 4 1
BIGLOBE のサービス	3 4 2
BIGLOBE インフォメーションデスク	3 4 2
8-11 . 用語解説	3 4 3
8-12 . Aterm 設定の控え	3 4 7
索引	3 5 6

目次

(電子マニュアル)

添付CD-ROM『AtermIWX70&RS7ユーティリティ集』には、取扱説明書には掲載されていない以下の内容がPDFファイルで収録されています。必要に応じて参照してください。

データ通信ガイド(ファイル名:通信ガイド.pdf)

取扱説明書には掲載されていない内容が収録されています。必要に応じて参照してください。

1. Aterm のバージョンアップと設定内容の記録

Atermに内蔵されているファームウェアをバージョンアップしたり、Atermの設定内容を記録する手順を説明します。

1-1 . Aterm をバージョンアップする

1-2 . Aterm の設定内容を記録する

2. 手動セットアップ

『らくらくアシスタント』で設定できない場合に、手動で設定する手順を説明します。

2-1 . USB ドライバの手動インストール (WindowsMe)

2-2 . USB ドライバの手動インストール (Windows98/Windows95)

2-3 . USB ドライバの手動インストール (Windows2000)

2-4 . USB ドライバの手動インストール (Macintosh)

2-5 . インターネット接続の手動設定 (WindowsMe)

2-6 . インターネット接続の手動設定 (Windows98/Windows95)

2-7 . インターネット接続の手動設定 (Windows2000)

2-8 . インターネット接続の手動設定 (Macintosh)

2-9 . インターネット接続の手動設定 (WindowsNT4.0)

3. データ通信の機能

インターネットやネットワークをより活用するための設定を説明します。

3-1 . データ通信の機能

同期 64kbps インターネット通信 (非同期 / 同期 PPP 変換)

128kbps マルチリンク PPP 通信 (MP 通信)

BOD

PIAFS (ピアフ) 通信

マルチアクセス
ITMUX
通信モード指定発信
無通信監視タイマ
強制切断タイマ
スティルスコールバック
応答平均化
HLC
CTI 機能

3-2 . Aterm のメール機能

4. USB ネットワークと内線データ通信

親機に接続した 2 台のパソコンでファイルやプリンタを共有したり、親・子機間や子機どうしてファイルやプリンタを共有するときの設定を説明します。

4-1 . USB ネットワークとは

4-2 . 内線データ通信とは

4-3 . WindowsMe の場合

4-4 . Windows98/Windows95 の場合

4-5 . Windows2000 の場合

4-6 . 外部から着信可能なダイヤルアップサーバ

5. AT コマンド

Aterm の接続を確認したり、動作を指示するための AT コマンドについて説明します。

5-1 . AT コマンドとは

5-2 . IWX70 用 AT コマンド

5-3 . RS7 用 AT コマンド

用語解説 (ファイル名 : 用語解説 .pdf)

Aterm に関連する用語を解説します。

取扱説明書 (ファイル名 : 取扱説明 .pdf)

本書と同じ内容が収録されています。

電子マニュアルの見方

添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集』には、PDF ファイルで電子マニュアルが収録されています。取扱説明書には掲載されていない内容も収録されていますので、必要に応じて参照してください。

PDF ファイルをパソコンで見るとするには『Acrobat Reader 3.0』以上が必要です。Acrobat Reader を持っていない場合は、CD-ROM に収録されている Acrobat Reader をインストールして使ってください。

使い方

- 1 パソコンの電源を入れて、添付 CD-ROM 『AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集』をセットします。

Windows の場合は自動的にメニュー画面が表示されます。画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Macintosh の場合は CD-ROM のウィンドウが開くので、ウィンドウ内の [らくらくセットアップガイド] アイコンをダブルクリックします。

Macintosh の場合で CD-ROM のウィンドウが開かないときは、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

[セットアップガイド] のメニュー画面が表示され、説明が始まります。

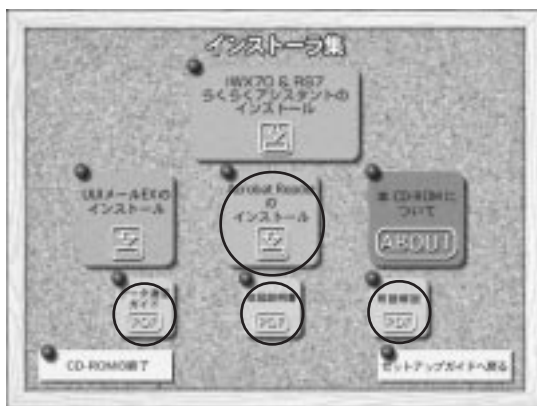
- 2 [セットアップガイドを見ないでインストール] をクリックします。



画面は Windows の場合の例です。

3 読みたい電子マニュアルのボタンをクリックします。

Acrobat Readerをインストールするときは[Acrobat Readerのインストール]ボタンをクリックします。



画面はWindowsの場合の例です。







「PDFファイル」とはAdobe社のアプリケーションソフト『Acrobat』で作成されたファイルのことで、Windows やMacintoshといったOSの違いにかかわらず、同じデータを表示・印刷することができます。添付されているPDFファイルは、見出しから目的のページに移動することができる「しおり」や、ホームページのような「リンク」が指定してあるので、見たいところだけを簡単にパソコンの画面で表示することができます。




安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **危険** : 人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

-  記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
記号の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  記号は禁止の行為であることを告げるものです。
記号の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
記号の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

危険**ニカド電池パック使用时**

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。

- ・充電は、AtermIWX70 以外ではおこなわないでください。
- ・電池パックは、コネクタの向きが決められています。AtermIWX70 に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。
- ・専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。
- ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- ・直接ハンダ付けをしないでください。
- ・電池パックを分解、改造しないでください。
- ・電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
- ・電池パックのコードはショートさせないように注意してください。また、プラスとマイナスを針金などの金属類で接続しないでください。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

**アルカリ乾電池使用时**

アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

**警告****設置場所**

風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



警告

電源

商用電源以外の使用禁止

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



たこ足配線の禁止

本装置の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



ニカド電池パック使用時

電池パックの外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。



電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



電池パックを水や海水につけたりぬらしたりしないでください。電池パックを発熱させたり、さびの原因となります。



液漏れ、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。




警告
アルカリ乾電池使用時

万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。



電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



新しい電池と一度使用した古い電池や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。



この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ・破損のおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液が漏れて眼に入ったり、発熱・破裂の原因となります。



電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液・発熱・破裂するおそれがあります。


こんなときは
発煙した場合

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がなくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。


水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



警告

こんなときは

異物が装置内部に入った場合

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。

破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



禁止事項

本装置は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。

分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

本装置の安全性の劣化につながる使用の禁止

ニカド電池コネクタの充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。また、充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。



警告

その他のご注意

使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などのPHS 端末の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因となります。



ペースメーカーを装着されている方の注意

植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本装置をペースメーカー装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。



異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



注意

設置場所

火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

設置場所

通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないようにください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・あお向けや逆さまにする
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

重ね置き禁止

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



電源

プラグの取扱注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取りはずしてください。

電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



ニカド電池パック使用時

電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。



 **注意****アルカリ乾電池使用時**

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液漏れや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ・使用推奨期間内の単 3 アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- ・停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間のあいだ電池を装着したままでご使用になると電池が漏液するおそれがあります。
- ・電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ・電池を入れた電池ホルダ - 側の側面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。また、通風孔をふさがないようにください。漏液・発熱・破裂のおそれがあります。
- ・使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。過放電、高温放置による電池の液漏れでの装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
- ・使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置すると、電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。

**禁止事項**

乗ることの禁止

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

本装置のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

**その他のご注意**

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書にしたがって接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



設置場所

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

本装置を一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

親機（本装置）と子機（PHS、リモートステーション）間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。また距離が近すぎると、通話にノイズが入ったりデータ通信でエラーが発生する場合があります。

本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通話やデータ通信が切れる場合があります。また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

禁止事項

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日ごろのお手入れ

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

1

はじめにお読みください

Atermの機能やインターネット、INSネット64について説明します。また添付品と名前について説明します。

Atermでできること…………… 24

箱の中身を確認する …………… 38

各部の名前とはたらき …………… 40

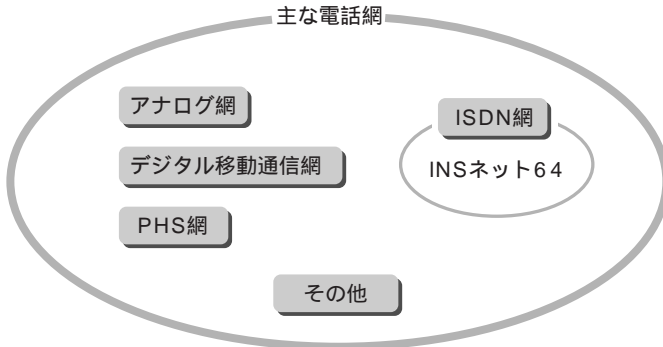
Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

1-1 . Aterm できること

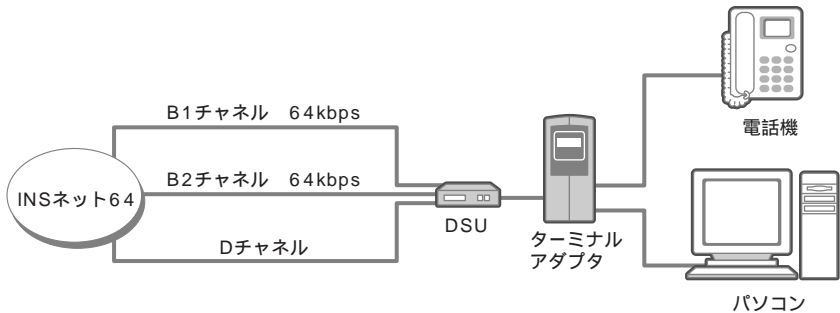
Atermを使うと、どのようなことができるのかをご紹介します。はじめにINSネット64の特長を説明します。

INS ネット 64 とは

インターネットを利用するには、主にパソコンから電話網を通じて接続します。電話網には従来から使われているアナログ網のほか、デジタルでデータを送受信するISDN網、携帯電話用のデジタル移動通信網などがあります。

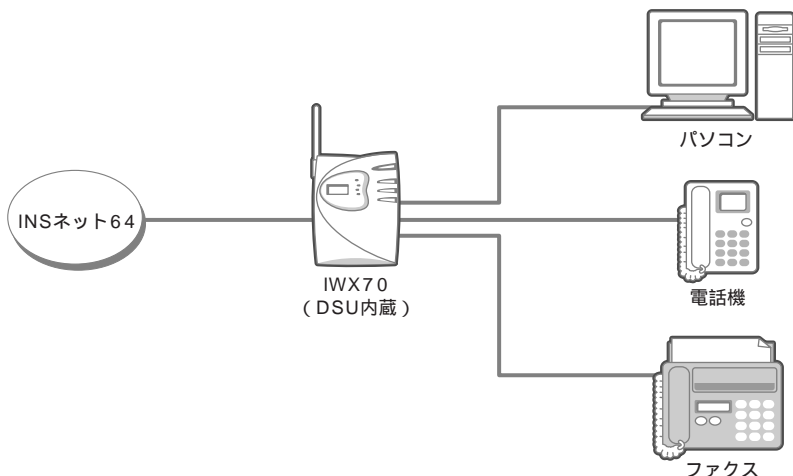


『INS ネット 64』は電話網の中でNTT東日本・NTT西日本が提供するISDN回線の1つで、1秒間に64Kビット(64kbps)の速度でデータの送受信をおこないます。INS ネット 64は同時に2回線分の通信ができるので、電話とインターネットを同時に利用したり、2回線をたばねて使うことでアナログ回線よりも高速でデータを送受信したりすることが可能です。また2本の情報チャンネル(B1チャンネル、B2チャンネル)のほかに信号チャンネル(Dチャンネル)があり、ユーザ間情報通知サービス(UUI)でメールの送受信などが利用できます。INS ネット 64を利用するには、回線を接続するための「DSU(Digital Service Unitの略)」と電話機やパソコンを接続するための「ターミナルアダプタ(TA)」という装置が必要です。

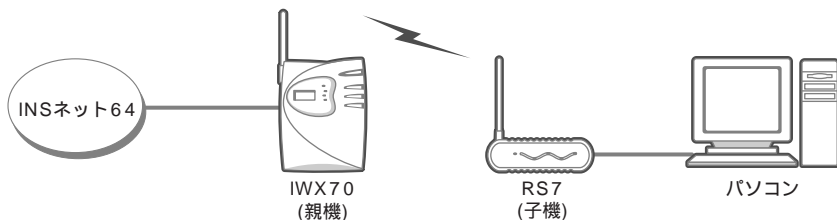


Aterm の役割

『AtermIWX70』はISDN回線『INS ネット64』で、アナログ電話機やファクス、パソコンなどを使うために接続するターミナルアダプタです。またIWX70には回線を接続するためのDSUが内蔵されているので、別途DSUを用意する必要はありません。



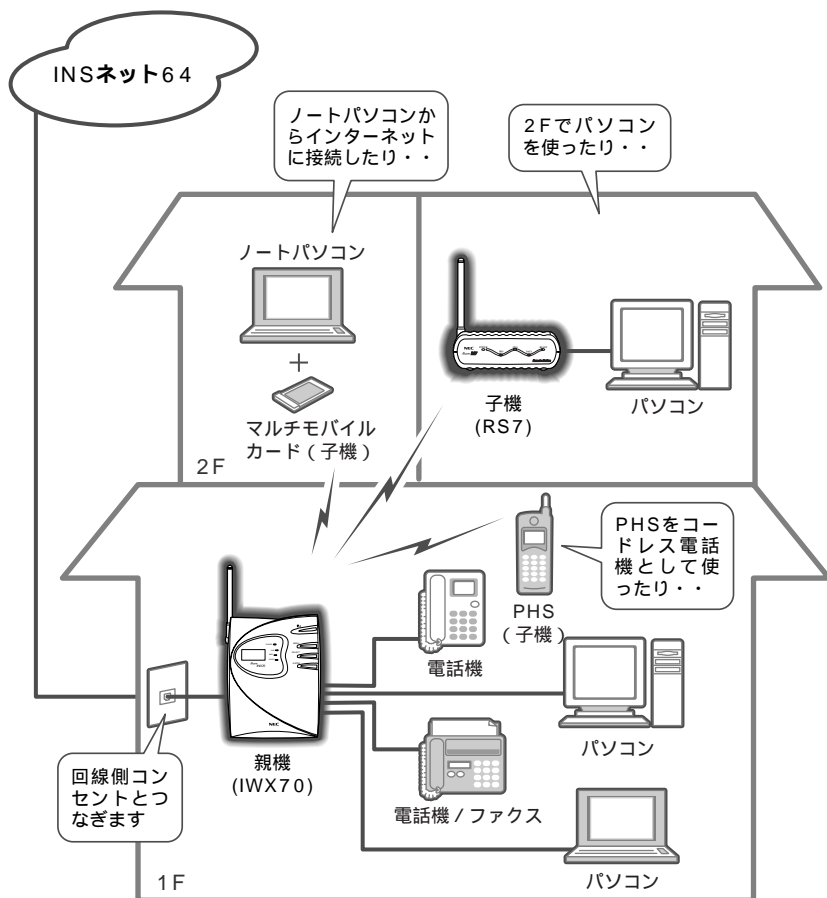
『AtermRS7』はパソコンを接続し、親機であるIWX70と無線でデータを送受信する装置です。RS7に接続したパソコンは、回線側コンセント(モジュラコンセント)から離れた場所で利用できます。



本書では以降 AtermIWX70 を「親機」、AtermRS7 を「子機」と称します。

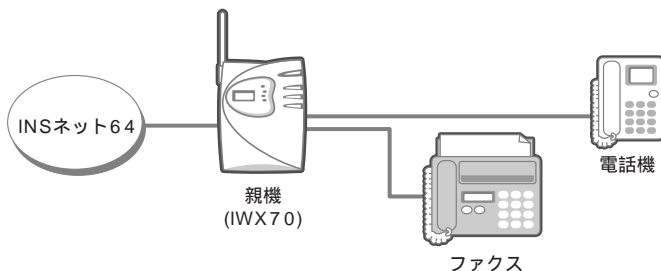
こんな使い方ができます

ワイレスセットは次のような使い方ができます。



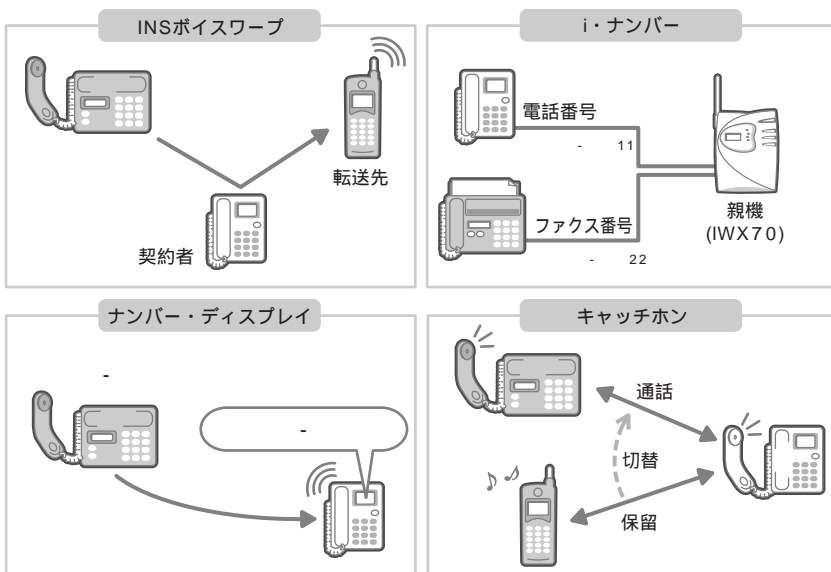
電話機やファクスを利用する

親機には2つのアナログポートがあり、アナログ電話回線で使用していた電話機やファクス、モデムなどが2台まで接続できます。接続した電話機やファクスは2台同時に通話でき、その2台の電話機間や子機登録した PHS 電話機と内線通話や内線転送ができます。



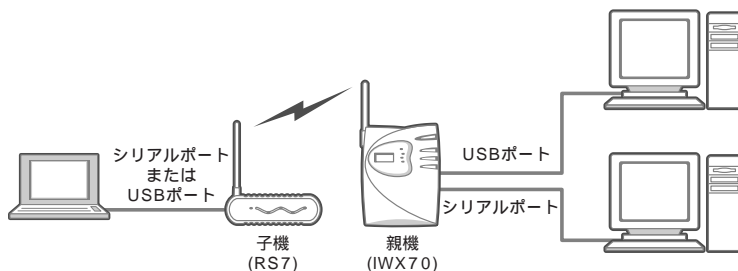
親機はNTT 東日本・NTT 西日本が提供する INS ネット 64 の付加サービスに対応しているので、INS ネット 64 のさまざまな機能を利用できます。またINS ネット 64 の付加サービスと同等の機能を実現する Aterm 独自の疑似機能があり、付加サービスを申し込まなくても利用できる機能もあります。(「5-2. 親機の電話機能」P.132)

INS ネット 64 付加サービス例

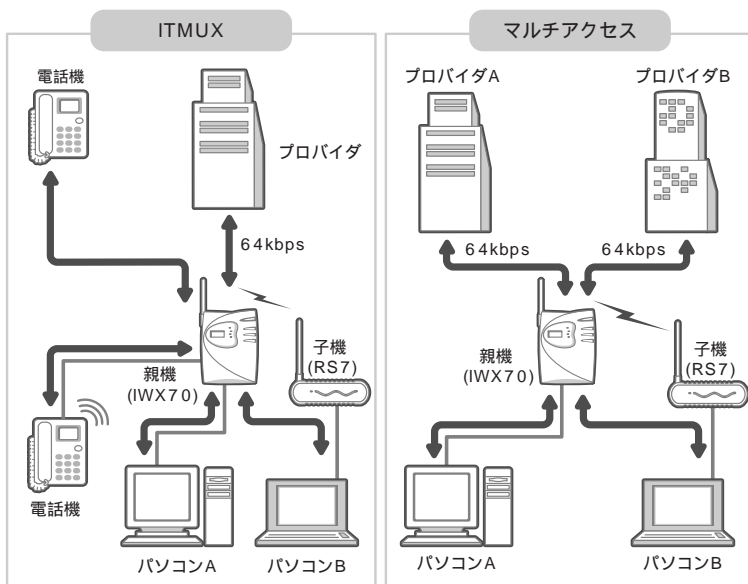


パソコンを利用する

親機と子機にはそれぞれシリアルポート (RS-232C) と USB ポートがあり、パソコンが接続できます。親機はシリアルポートと USB ポートの両方にパソコンを接続できます。子機にはシリアルポートと USB ポートのどちらかにパソコンを 1 台接続できます。



さらに、親機に接続したパソコンと子機に接続した 2 台のパソコンから 1 つのユーザ ID で同時に接続したり (ITMUX 機能) 2 台のパソコンで同時に別々のプロバイダに接続したり (マルチアクセス機能) できます。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」)



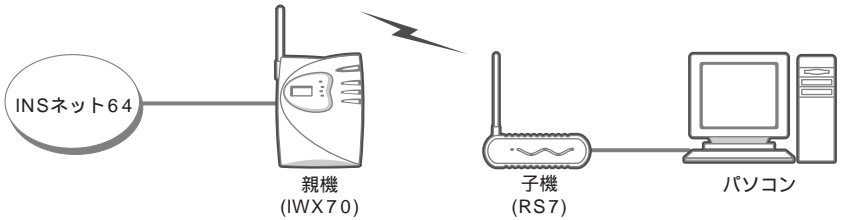
お知らせ

同時にデータ通信ができるパソコンは 2 台までです。

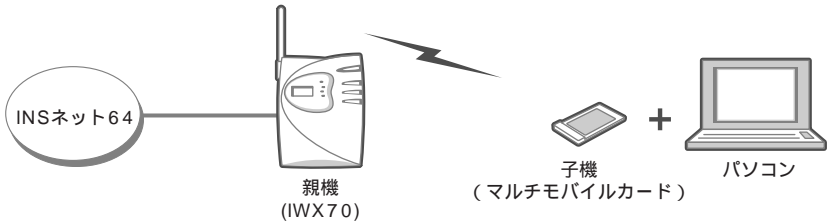
ワイヤレス機能を利用する

ワイヤレスセットに同梱の子機のほかに、AtermRC45などのマルチモバイルカードやPHS電話機をワイヤレス子機として増設登録すると、回線側コンセントから離れたところから電話をかけたり、インターネットに接続することができます。また親・子機間での内線通話や、ファイルを共有するなど、ワイヤレスネットワークを利用した内線データ通信ができます。（「5-1.ワイヤレス通信機能」P.126）

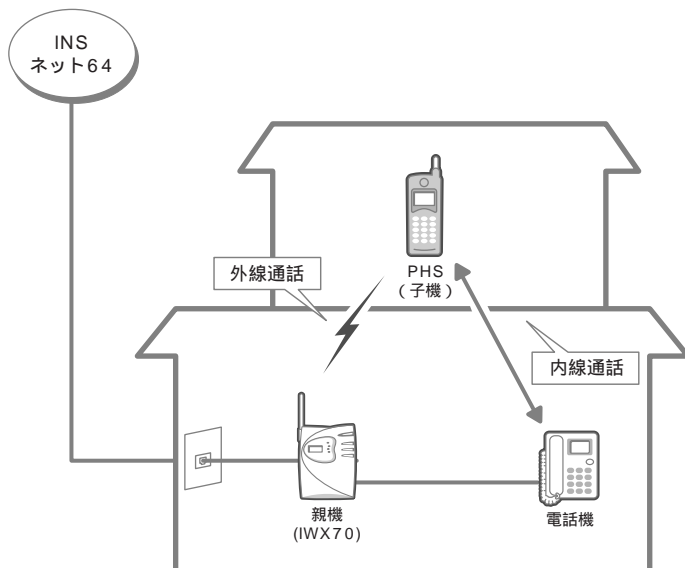
子機を利用する



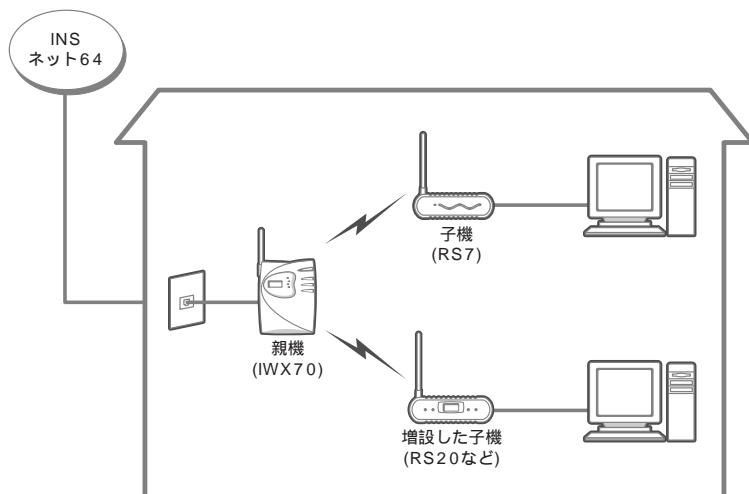
マルチモバイルカードを利用する



PHS 電話機を利用する



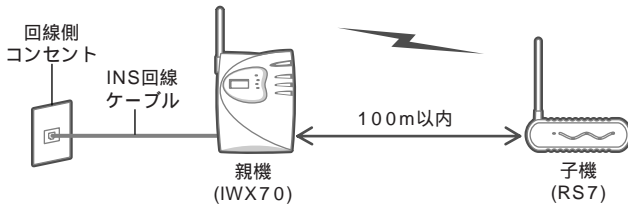
子機を増設する



1 台目の子機からデュアルリンクワイヤレス通信をしているときは、もう 1 台の子機から発信することはできません。



親機から子機に電波が届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、他の電波を出す機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かない場合があります。



親・子機間の無線電波の状態は、子機前面の PHS ランプで確認できます。

PHSランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能なとき
オレンジ色点灯	電波が弱いとき（不安定）
赤色点灯	子機が増設登録されていないとき
消灯	電波の状態が悪く通信できないとき、または他の子機が無線ポートを使用しているとき

また、Windows 搭載のパソコンをお使いの場合は、添付ユーティリティ『RS7 センター』でも電波状態を確認することができます。（「3-4 . インターネットに接続する」P.100）



リモートステーション、マルチモバイルカード、PHS 電話機を子機として使用するには増設登録（ID 登録）が必要です。増設登録はお近くの NEC 保守サービス受付拠点（ P.337 ） PC クリーンスポット（ P.332 ） またはお買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。
 なおワイヤレスセットに同梱の RS7 は、出荷時に親機の無線 A ポート（内線番号 91）に増設登録がしてあります。あらためて増設登録をする必要はありません。
 リモートステーション、マルチモバイルカード、PHS 電話機の詳しい機能や設定については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

らくらくアシスタントで簡単設定

添付のユーティリティ『らくらくアシスタント』を使うと、インターネットに接続するための設定や各機能の設定がパソコンで簡単にできます。また親機に接続した電話機のプッシュボタンを使って設定することもできます。

- 「3. Windowsで簡単に設定する」P.77
- 「4. Macintoshで簡単に設定する」P.105
- 「6. パソコンを使わないで親機を操作する」P.241

添付ユーティリティのご紹介

添付CD-ROM『AtermIWX70&RS7ユーティリティ集』には、親機と子機を設定するためのユーティリティソフトが収録されています。各OS、機器で使用できるユーティリティは次のとおりです。

ユーティリティ 種類	機能	対応機器 / OS			
		Windows Me Windows 98 Windows 95 Windows 2000	Windows NT4.0	Macintosh	電話機
IWX70&RS7 らくらくアシ スタント	パソコンでアナログポ ートや無線ポート、デー タポートの設定と、イン ターネットの接続の設 定をします。		*1	*2 (MX705らく らくアシスタント)	-
RS7らくらく ユーティリティ	子機に接続されたパソ コンでデータポートの設 定をします。	-	-		-
IWX70らくらく バージョンア ップ	親機本体のメモリに記 憶されているファームウ ェアをバージョンアッ プし、親機に新しい機 能を追加します。				-
RS7らくらく バージョンア ップ	子機本体のメモリに記 憶されているファームウ ェアをバージョンアッ プし、子機に新しい機 能を追加します。				-
RS7センター	親・子機間の電波状 況を確認したり、複数 登録したインターネット の接続先から1つを選 択してダイヤルするこ とができます。		-	-	-
UIIメールEX	電子メール着信通知、 遊遊メール、UIIメール を利用するときに、パ ソコンでメールの着信 を確認したり、アドレ ス帳の登録などをし ます。				-
らくらくテレ ホン設定	電話機のプッシュボ タンでアナログポート と無線ポートの設定を します。	-	-	-	

* 1 WindowsNT4.0では、『らくらくアシスタント』でインターネットの設定はできません。

* 2 Macintoshは『IWX70らくらくアシスタント』になります。



Windows95 に対応しているのは親機のみです。子機は対応していません。
子機を接続したパソコンから『らくらくアシスタント』を使って、無線で親機の設定ができます。

親機に接続したパソコンから子機の機能の設定はできません。
パソコンの環境によっては『らくらくアシスタント』が利用できない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.280)を参照してください。
『らくらくテレホン設定』は電話機を使って操作するので、ユーティリティソフトのインストールは必要ありません。

Aterm 機能一覧

親機と子機が対応している機能の一覧です。子機(RS7)は、表の「子機対応」に「×」がついている機能のみ対応しています。親機は表のすべての機能に対応しています。

= 対応しています × = 対応していません 通信ガイド = 電子マニュアル「データ通信ガイド」参照

機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	子機 (RS7) 対応	参照 ページ
でかけるボタン	外出のときにボタンを押すだけで、電話の転送など、お出かけ設定をしておいた動作を開始します。	-	×	P.190
MSG (メッセージ) ランプ	電子メールがBIGLOBEに到着すると、MSGランプが点滅してメールの着信をお知らせします。(BIGLOBEとの契約が必要です。)	-		P.233
S点ユニット/ DSU切り離しユニット	オプションのS点ユニットまたはDSU切り離しユニットを取り付けて、ターミナルアダプタの増設や、ISDN機器の接続ができます。	-	×	P.328
バックライト液晶ディスプレイ	通信状況や設定内容などを絵文字とカナ・英数字で表示します。	-	×	P.310
カレンダー表示	液晶ディスプレイに日付と時刻を表示します。	-	×	P.65
ファンクションボタン	前面のボタンで着信転送を設定したり、着信履歴や履歴先発信、累積料金などを液晶ディスプレイに表示します。	-	×	P.242
停電モード	電池をセットしておく、停電のときでも電話やデータ通信ができます。	-	×	P.308
ニカド充電電池対応	別売の充電式ニカド電池パックに対応しています。	-	×	P.308
フラッシュROM (不揮発性メモリ)	Atermを動かすファームウェアが記憶されています。AtermStationから最新のファームウェアをダウンロードしてファームウェアを書き換えることにより、新機能や新サービスに対応できます。	-		通信 ガイド
ワイヤレスデータ通信	リモートステーションやマルチモバイルカードを子機として増設登録すると、離れたところから電話をかけたリインターネットに接続することができます。	-		P.126
デュアルリンクワイヤレス通信	NEC独自の通信方式です。子機のデータポートに接続されたパソコンから無線2チャンネルを使って、最大64kbpsの高速データ通信が可能です。	-		P.126
128kbpsマルチリンク PPP通信	高速データ通信するためのプロトコルです。2本のBチャンネルを利用して高速にデータの送受信ができます。	-	×	通信 ガイド
スループットBOD/ リソースBOD	電話やデータ通信の状況に応じて、64kbpsと128kbpsのデータ通信を切り替えます。	通信中着信通知	×	通信 ガイド
マニュアルBOD	ファンクションボタンを使って、通信速度を128kbps/64kbpsに切り替えます。	-	×	P.246
同期64kbpsインター ネット通信	非同期通信に対応したパソコンから、同期アクセスポイントに接続できます。	-	×	通信 ガイド
非同期57.6kbps通信	非同期アクセスポイントに接続できます。	-	×	通信 ガイド
無通信監視タイマ	回線に接続したまま通信しない状態が設定した時間を超えた場合に、回線を自動的に切断します。切断忘れを防ぎます。	-		通信 ガイド

機能	内容	INSネット6.4 付加サービスの契約	子機 (RS7) 対応	参照 ページ
強制切断タイマ	通信時間が設定した時間を超えると、強制的に回線を切断します。	-		通信 ガイド
ステイルスコールバック	Aterm間のネットワークでクライアント側から接続したときに、サーバ側が発信を自動的に切断して、接続し直します。クライアント側に通信料金がかかりません。	-		通信 ガイド
応答平均化機能	1本の回線に複数のAtermが接続されている場合に、各Atermへの着信応答を平均化します。	-	×	通信 ガイド
PIAFS2.0 / PIAFS2.1 対応	PHSのデータ通信の標準規格に対応しており、PHSからAtermへリモートアクセスが可能です。	-	*1	通信 ガイド
V.4.2bis圧縮	PIAFSでデータ通信するときに、データを圧縮して通信時間を短縮します。	-		-
CTI機能	発信者の電話番号などの情報を、リザルトコードでパソコンに通知します。	-	×	通信 ガイド
ITMUX	親機につないだ2台のパソコン、または親機・子機に1台ずつつないだ2台のパソコンから、1つのユーザIDで同じプロバイダに同時に接続できます。1本分の通信費で接続でき、空いているもう1本のBチャンネルで電話やファクスが使えます。	-	*2	通信 ガイド
マルチアクセス	親機につないだ2台のパソコン、または親機・子機に1台ずつつないだ2台のパソコンから、別々のプロバイダに同時にアクセスできます。	-	*2	通信 ガイド
USBポート	最新のパソコンインタフェースに対応し、簡単接続、高速通信を実現します。	-		-
USBネットワーク	親機につないだパソコン間で、ファイルやプリンタの共有が可能です。	-	×	通信 ガイド
内線データ通信	親・子機間でファイルやプリンタの共用ができます。	-		P.128
高性能アナログポート	電話機やファクスなどのアナログ通信機器を接続し、さまざまな電話のサービスが利用できます。	-	×	P.132
アナログ端末ブランチ接続	1つのアナログポートに最大3台までの電話機が接続できます。	-	×	P.57
発信者番号通知選択	INSネット6.4の「発信者番号通知サービス」に対応しています。自分の電話番号を相手に通知する/しないをポートごとに選択できます。	-		P.164
内線通話	アナログポートに接続した電話機どうしや、子機登録したPHS電話機と内線通話ができます。	-	×	P.147
内線転送	外線がかかってきた電話を、アナログポートに接続した電話機や子機登録したPHS電話機に、内線で転送できます。	-	×	P.149
優先着信ポート指定	2台の電話機のうち、どちらか1台の電話機に優先的に着信させることができます。	-	×	P.185
短縮ダイヤル発信	あらかじめ相手の電話番号を登録しておく、短縮番号で電話がかけられます。	-	×	P.154

* 1 RS7はPIAFS2.0のみ対応しています。

* 2 1台の子機に2台のパソコンを接続して使用することはできません。

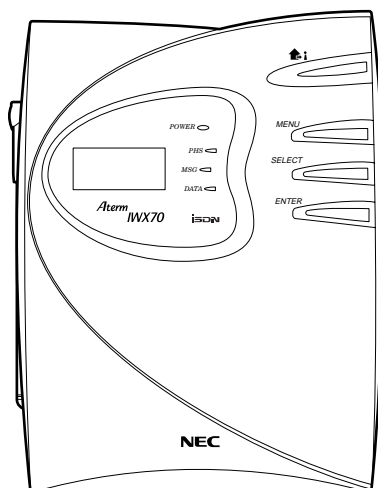
機能	内容	INSネット64 付加サービスの契約	子機 (RS7) 対応	参照 ページ
サブアドレスなし着信選択	サブアドレスを設定している場合でも、サブアドレスの指定がない相手からも着信できます。	-	×	P.187
ダイヤル桁間タイマ設定	ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定できます。	-	×	P.143
保留音送出	疑似キャッチホンを利用しているときでも相手に保留音を流すことができます。	-	×	-
お出かけ設定	おやすみモード / 電話着信転送モード / ボイスワープ転送モード / フラッシュモードがあります。でかけるボタンを押すと、設定した内容で動作を開始します。外出するときにやおやすみになるときに、呼び出し音を鳴らさずにピクトグラムで知らせたり、別の電話番号に転送することができます。	INSボイスワープ (ボイスワープ転送モード利用の場合)	×	P.190
フレックスホン対応	INSキャッチホン / 着信転送 / 三者通話 / 通信中転送のうち、契約したサービスが利用できます。	INSキャッチホン / 着信転送 / 三者通話 / 通信中転送	×	P.156 P.159 P.204 P.207
INSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクト対応	INSネット64のINSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクトに対応しています。かかってきた電話を別の電話番号に転送します。	INSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクト	×	P.196
INSなりわけサービス対応	INSネット64のINSなりわけサービスに対応しています。特定の相手から着信したときだけ着信したり (識別着信)、異なる着信音を鳴らしたり (識別リングング)、キャッチホンを動作させる (選択キャッチホン) ことができます。	INSなりわけサービス	×	P.210 P.213 P.216
i・ナンバー対応	INSネット64のi・ナンバーに対応しています。2つまたは3つの電話番号で各ポートを呼び出すことができます。	i・ナンバー		P.177
ダイヤルインサービス対応	INSネット64のダイヤルインサービスに対応しています。契約者回線番号やダイヤルイン番号で、各ポートを呼び出すことができます。	ダイヤルインサービス		P.180
アナログ・ダイヤルイン対応	着信した電話番号を、プッシュボタン信号でアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	×	P.231
モデム・ダイヤルイン対応	着信した電話番号を、モデム信号でアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	×	P.229
着信ダイヤルイン複数選択	1台の電話機に複数の電話番号を割り当てて着信ができます。	ダイヤルインサービス	×	P.180
発信者電話番号指定	アナログポートごとに発信する電話番号を指定できます。	-	×	P.166
INSナンバー・ディスプレイ対応	INSネット64のINSナンバー・ディスプレイに対応しています。相手の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示します。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.168
着信履歴表示	着信した相手の電話番号や着信日時などを50件まで記憶できます。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.175

機能	内容	INSネット6.4 付加サービスの契約	子機 (RS7) 対応	参照 ページ
着信履歴先発信	着信を記憶した相手に、簡単な操作で電話がかけられます。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.175
迷惑電話防止	いたずらなどの迷惑な電話を登録して、次回から着信を拒否します。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.217
マイプライベート着信	電話帳に登録した相手から着信があると、特定の電話機を呼び出します。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.220
疑似なりわけ	「INSなりわけサービス」の識別リングングと同等のサービスを実現します。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.213
疑似選択キャッチホン	「INSなりわけサービス」の選択キャッチホンと同等のサービスを実現します。通話中でも登録した相手からの電話だけを割り込み音で知らせます。	INSナンバー・ディスプレイ	×	P.216
識別着信転送	「INSなりわけサービス」のセキュリティ(識別着信)機能を利用して、登録した相手からの着信だけを、設定した別の電話番号に転送します。	INSなりわけサービス	×	P.222
疑似キャッチホン	フレックスホンの「INSキャッチホン」と同等のサービスを実現します。	-	×	P.156
疑似三者通話	フレックスホンの三者通話と同等のサービスを実現します。通話中に外線でもう1人を呼び出し、3人で通話できます。	-	×	P.159
疑似着信転送	フレックスホンの着信転送と同等のサービスを実現します。かかってきた電話に回答せずに、設定した別の電話番号へ転送します。	-	×	P.204
電子メール着信通知	BIGLOBEに電子メールが到着すると、インターネットにアクセスせずにMSGランプの点滅でお知らせします。(BIGLOBEとの契約が必要です)	-		P.233
UUIメール	Aterm間で100byteまでのショートメールを1回0.4円で送受信できます。	-		P.235
テレホンUUIメール	Aterm間のUUIメールを電話機から1回0.4円で送受信できます。	通信中着信通知	×	P.235
遊遊メール	パソコン/携帯情報端末/デジタル携帯電話/PHSへショートメッセージを1回0.4円で送信できます。(BIGLOBEとの契約が必要です)	-		P.234
テレホン遊遊メール	電話機からパソコン/携帯情報端末/デジタル携帯電話/PHSへUUIメールが送信できます。	-	×	P.234
らくらくアシスタント (らくらくユーティリティ)	電話機やインターネットを利用するための設定が、パソコン画面の案内にしたがって簡単にできます。	-		P.102 P.122
らくらくテレホン設定	電話機やファクスを利用するための設定が電話機でできます。	-	×	P.251
UUIメールEXユーティリティ	UUIメール/電子メール着信通知/遊遊メールをパソコンで利用するためのユーティリティです。	-		通信 ガイド
累積通信料金表示	アナログポート/無線ポート/データポートの通信料金を表示します。	-	×	P.245

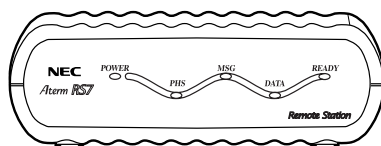
1-2 . 箱の中身を確認する

ワイヤレスセットの箱を開けたら、次のものがそろっているか確認してください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

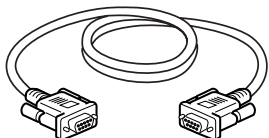
親機 (IW X70) 本体



子機 (RS7) 本体

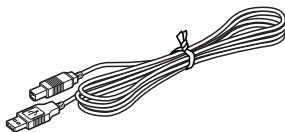


RS-232Cケーブル (9ピン)



1本添付
シリアルポートと接続時に使用

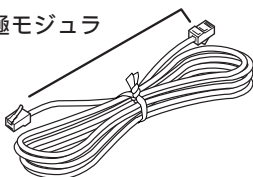
USBケーブル



1本添付
USBポートと接続時に使用

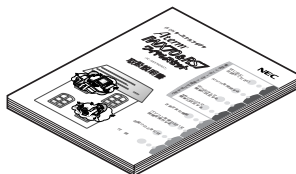
INS回線ケーブル

6極モジュラ

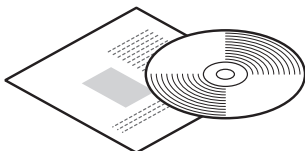


1本添付
INSネット64と接続時に使用

取扱説明書(本書)

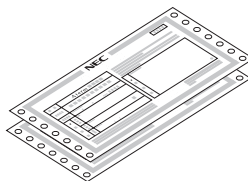


CD-ROM「AtermIWX70& RS7ユーティリティ集」



パソコンで設定するためのソフトウェア
やPDFファイルなどを収録

保証書

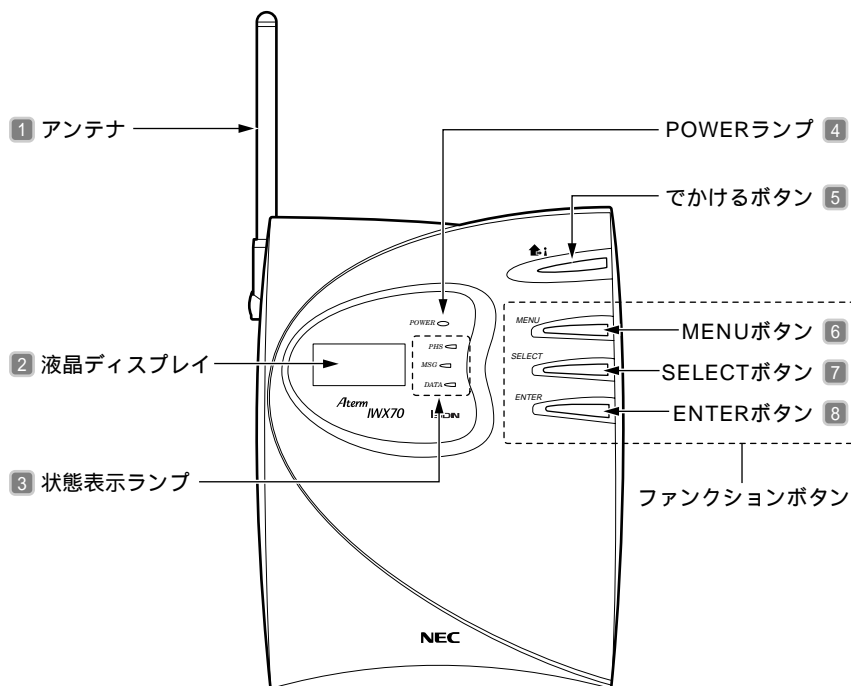


1-3 . 各部の名前とはたらき

親機と子機の各部の名前は次のとおりです。

親機 (IWX70)

前面



1 アンテナ

子機に対して無線電波の受発信をします。

2 液晶ディスプレイ

日時や回線・通信機器の使用状況、設定内容などを絵文字(ピクトグラム)とメッセージで表示します。(P.310)



↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。

☎ ☎ 電話Aポートまたは電話Bポートに接続されている通信機器の受話器を上げているときに表示されます。

➡ データ通信をしているときに表示されます。

➡ Bチャンネル1つ(64kbps)で通信中

➡ Bチャンネル2つ(128kbps)で通信中

B1 B2 B1またはB2チャンネルを使用しているときに表示されます。

RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

3 状態表示ランプ

PHS(無線状態表示)ランプ

無線電波の状態を緑色または赤色に点灯/点滅して知らせます。(P.46)

MSG(メッセージ)ランプ

BIGLOBEに電子メールが到着、または親機にUIIメールが着信するとオレンジ色に点滅します。(P.233)

DATA(送受信データ表示)ランプ

パソコンでデータを送受信しているときに緑色または赤色に点滅します。(P.46)

4 POWER(電源)ランプ

電源の状態を緑色に点灯/点滅して知らせます。(P.46)

5 でかけるボタン

おかけ設定(P.190)をするときに押します。(P.46)

(本文中は で表します)

6 MENUボタン

設定を開始・終了するときに押します。設定中に押すと、設定はキャンセル(解除)されます。(P.242)

(本文中は で表します)

7 SELECTボタン

設定項目を選択するときに押します。ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります。(P.242)

(本文中は で表します)

8 ENTERボタン

設定項目を決定するときに押します。(P.242)

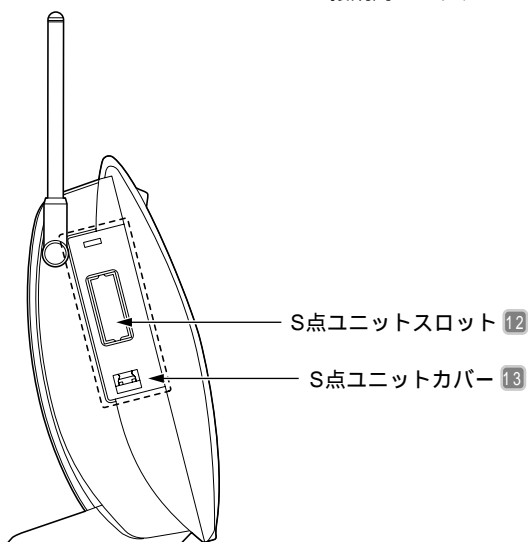
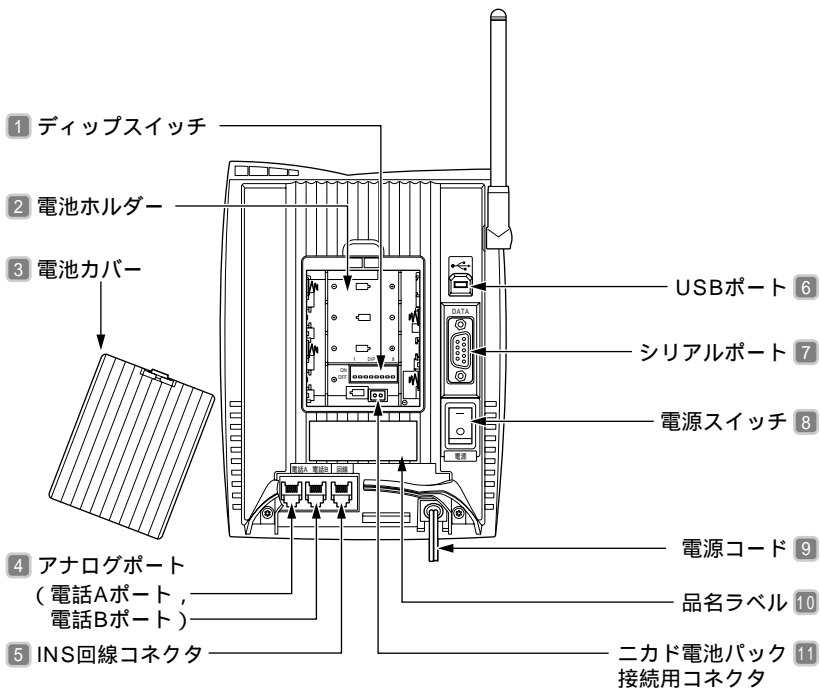
(本文中は で表します)



MSG(メッセージ)ランプはBIGLOBEに電子メールが到着したとき、またはAtermに直接UIIメールが着信したときにオレンジ色に点滅してお知らせします。電子メール着信通知をご利用になるには、BIGLOBEの加入とメールサービスの申し込みが必要です。(「5-3.Atermのメール機能」P.233)

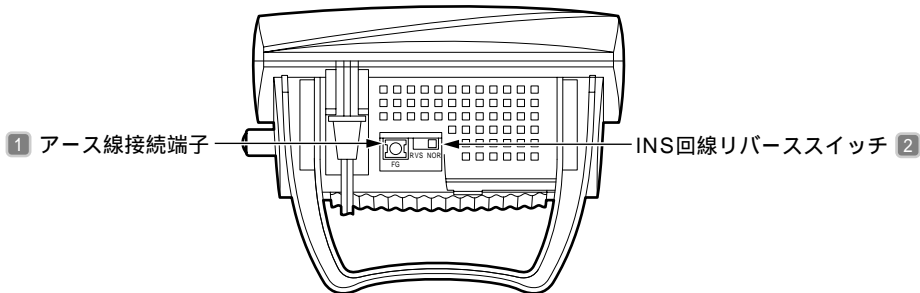
液晶ディスプレイには表面を保護するための保護シート(ポリエチレンフィルム)が貼ってあります。ご使用の際には保護シートをはがしてからお使いください。本装置のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

背面 / 側面



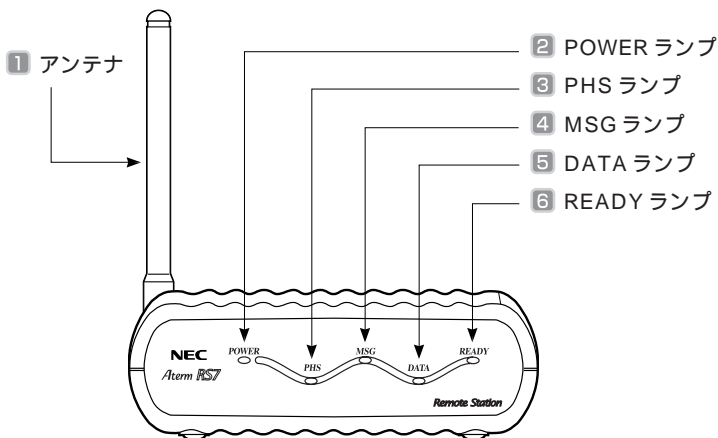
- 1 **ディップスイッチ**
強制ダウンロードモード (P.323) など
を実行するときに使用します。
- 2 **電池ホルダー**
停電時に備えて、電池を入れます。市販の単
3アルカリ乾電池 4本、または別売のニカド
電池パック (PC-IT/B02) をセットします。
(「 8-1. 停電対策 」 P.308)
- 3 **電池カバー**
電池ホルダーに電池をセットするときに外し
ます。ツメの部分を押しながらカバーを
持ち上げるようにすると、本体から外れます。
- 4 **アナログポート (電話 A ポート, 電話 B
ポート)**
電話機、ファクス、モデムなどのアナログ通
信機器を接続します。
- 5 **INS 回線コネクタ**
添付の INS 回線ケーブルを使用して INS
ネット 64 と接続します。
- 6 **USB ポート**
USB ケーブルを使用してパソコンを接続し
ます。シリアルポートと合わせて「データ
ポート」とも呼びます。
- 7 **シリアルポート**
RS-232Cケーブルを使用してパソコンを接
続します。USB ポートと合わせて「データ
ポート」とも呼びます。
- 8 **電源スイッチ**
電源の ON/OFF を切り替えます。ON にす
るときは「 - 」側を押します。
- 9 **電源コード**
AC100Vの家庭用電源コンセントに接続し
ます。
- 10 **品名ラベル**
認証番号、製造番号、無線端末識別用 ID 番
号などが記載されています。
- 11 **ニカド電池パック接続用コネクタ**
電池ホルダーにニカド電池パック (PC-IT/
B02) をセットするときに接続します。
- 12 **S 点ユニットスロット**
別売の S 点ユニット (PC-IT/U03) または
DSU 切り離しユニット (PC-IT/US1) を増
設するための拡張スロットです。(「 8-7 .
ターミナルアダプタの増設 」 P.328)
- 13 **S 点ユニットカバー**
別売の S 点ユニット (PC-IT/U03) または
DSU 切り離しユニット (PC-IT/US1) を取
り付けるときに外します。

底面



- 1 **アース線接続端子**
市販のアース線を取り付けます(アース線は
添付されていません)。
- 2 **INS 回線リバーススイッチ**
INS ネット 64 の配線が逆転しているとき
(同期がとれないとき)に切り替えます。切
り替えるときはボールペンの先など細くて硬
いものを使います。(P.63)

前面



1 アンテナ

親機に対して無線電波の受発信をします。

2 POWER (電源) ランプ

電源が入っていると緑色に点灯します。

3 PHS (無線状態表示) ランプ

無線電波の状態を緑色または赤色、オレンジ色に点灯/点滅して知らせます。(P.47)

4 MSG (メッセージ) ランプ

BIGLOBEに電子メールが到着、または子機にUIIメールが着信するとオレンジ色に点滅します。(P.233)

5 DATA (送受信データ表示) ランプ

パソコンでデータを送受信しているときに緑色または赤色に点滅します。(P.47)

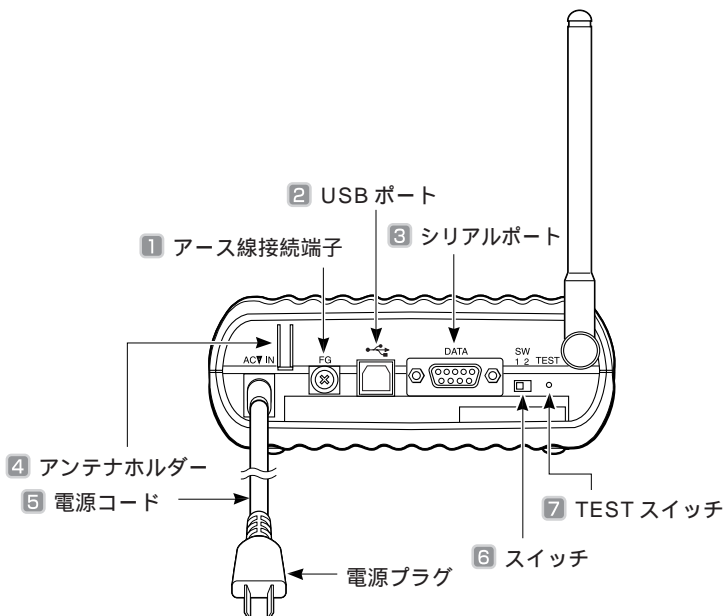
6 READY (動作状態表示) ランプ

パソコンとの接続状態を緑色または赤色に点灯/点滅して知らせます。(P.47)



お知らせ

MSG (メッセージ) ランプはBIGLOBEに電子メールが到着したとき、またはAtermに直接UIIメールが着信したときにオレンジ色に点滅してお知らせします。電子メール着信通知をご利用になるには、BIGLOBEの加入とメールサービスの申し込みが必要です。(「5-3 . Atermのメール機能」P.233)




- | | |
|--|---|
| <p>1 アース線接続端子
市販のアース線を取り付けます(アース線は添付されていません)。</p> <p>2 USBポート
USBケーブルを使用してパソコンを接続します。シリアルポートと合わせて「データポート」とも呼びます。</p> <p>3 シリアルポート
RS-232Cケーブルを使用してパソコンを接続します。USBポートと合わせて「データポート」とも呼びます。</p> | <p>4 アンテナホルダー
アンテナを倒したときにアンテナをセットして保護します。</p> <p>5 電源コード
AC100Vの家庭用電源コンセントに接続します。</p> <p>6 スイッチ
通常は「1」にしておきます。</p> <p>7 TESTスイッチ
自己診断などを実行するときに使用します。
(P.324)</p> |
|--|---|

状態表示ランプ

無線電波の状態や通信状態をランプで表示します。それぞれの意味は次のとおりです。

親機

ランプ	色	点灯パターン	意味
POWER (電源)	緑	点灯	電源ONの状態
		点滅(2回/秒)	電池で動作中
		点滅(1回/秒)	電池の残量わずか
	赤	点灯	ファームウェアをダウンロード中
PHS (無線状態表示)	緑	点灯	無線通信可能
		点滅	無線回線を1チャンネル使用中
	赤	点灯	子機が増設登録されていない ファームウェアをダウンロード中
		点滅	無線回線を2チャンネル使用中
MSG (メッセージ)	オレンジ	点滅	BIGLOBEに電子メールが到着、またはUIメールを受信
DATA (送受信データ表示)	緑	点滅	シリアルポートでデータ送受信中
	赤	点滅	USBポートでデータ送受信中
 (お出かけ設定)	-	消灯	お出かけ設定を解除しているとき
	赤	点灯	お出かけ設定にしているとき
		点滅	お出かけ設定をセット中に電話がかかってきたとき おやすみモードのとき：着信があったあと、ランプは点滅した状態になります。 フラッシュモードのとき：着信があったときだけ、ランプが点滅します。

子機

ランプ	色	点灯パターン	意味
POWER (電源)	緑	点灯	電源ONの状態
	赤	点灯	ファームウェアをダウンロード中
PHS (無線状態表示)	-	消灯	親機の電波が届いていない 他の子機が無線ポート使用中
		点灯	無線通信可能
	緑	点滅	無線回線を1チャンネル使用中
		点灯	子機が増設登録されていない ファームウェアをダウンロード中
	赤	点滅	無線回線を2チャンネル使用中
		オレンジ	点灯
MSG (メッセージ)	オレンジ	点滅	BIGLOBEに電子メールが到着、またはUUIメールを受信
DATA (送受信データ表示)	赤	点滅	シリアルポートでデータ送受信中
	緑	点滅	USBポートでデータ送受信中
READY (動作状態表示)	-	消灯	シリアルポート接続時、またはケーブル未接続時
		赤	点灯
	緑	点灯	USBポートに接続されたパソコンが動作可能状態 (ER信号ON)
		点滅	USBポートに接続時



READYランプを点滅させたくない場合は、『ハイパーターミナル』などのATコマンドが入力できる通信ソフトで「AT&L1=0」を入力してください。そのあと「AT\$S」を入力すると、子機に内蔵されている不揮発性メモリに設定が保存されます。

2

Atermを接続する

Atermを設置して電話機やパソコンと接続する手順と、電話の使い方を説明します。

Atermをお使いになる前に 50



親機を接続する 56



子機を接続する 71

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

2-1 . Aterm をお使いになる前に

Aterm をお使いになる前に以下の点を確認してください。

INS ネット 64 を利用するには

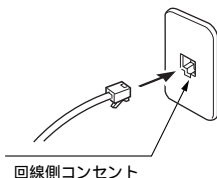
電話回線はINS ネット 64 ですか？

親機をアナログ電話回線に接続しても使用できません。電話回線を「INS ネット 64」(または「INS ネット 64・ライト」)に変更してからご使用ください。

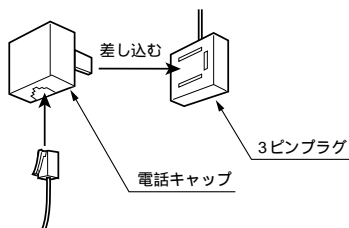
回線側コンセントはモジュラタイプですか？

壁に設置された回線側コンセント(モジュラコンセント)の形状によって、そのままではINS回線ケーブルを接続できない場合があります。コンセントの形状を確認してください。

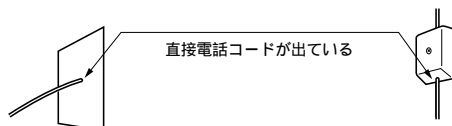
そのまま接続できます



電話キャップを別途購入する必要があります



NTT東日本・NTT西日本に工事を依頼する必要があります



INS ネット 64 の契約が済んでいない場合

最寄りの NTT 東日本または NTT 西日本で、INS ネット 64 または INS ネット 64 ・ ライトの加入手続きをしてください。手続きの詳細については、NTT 東日本または NTT 西日本にお問い合わせください。

申し込みが必要な項目

Aterm をお使いいただくために、申し込みが必要な項目は次のとおりです。

項目		選択・記入内容	備考
コンサルティング項目 必須項目 付加機能 配線・DSU等	インタフェース形態及びレイヤ1起動種別	P-MP常時	-
	発信者番号通知サービス	通常通知 (通話ごと非通知) [推奨]	Atermの初期状態は「INSネット64の申し込み通り」に設定されているため、発信者番号が通知されます。通知したくない場合は、『らくらくアシスタント』またはATコマンドで「番号通知を行わない」に設定します。
	ユーザ間情報通知サービス	着信許可	電子メール着信通知、UIメールなどのユーザ間情報通知を利用する場合に選択します。
	通信中着信通知サービス(無料)		リソースBODの着信、電子メール着信通知、UIメールの着信、フレックスホンのINSキャッチホンを利用する場合に選択します。
	i・ナンバー(有料)		電話番号を2つ、または3つ使いたい場合に契約します。
	ダイヤルインサービス(有料)		Atermのグローバル着信機能を利用してアナログポートや無線ポートを呼び分けるときに契約します。グローバル着信の「住宅用」を選択し、追加番号の個数を記入します。
	DSU	PC-IWX70D1A	-
	TA	他社 (DSU内蔵)	-
	数量	1台	INSネット64の1回線につき、1台のIWX70を接続できます。
	機器工事	お客さま	-



有料の付加機能は、お客様の必要に応じて申し込んでください。



「電子メール着信通知」をご利用になるには、「ユーザ間情報通知サービス」以外に、BIGLOBE への加入とメールサービスの申し込みが必要です。

INS ネット 64 の付加サービスの申し込み

お使いになりたい機能によって、必要なINS ネット64の付加サービスを申し込んでください。例えば、複数の電話番号で電話機とファクスを呼び分けたい場合は、「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を申し込みます。i・ナンバーを利用すると、2つまたは3つの電話番号で電話機を呼び分けることができます。4つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は、ダイヤルインサービスを申し込みます。ダイヤルインサービスのオプション項目は「グローバル着信有」にします。

また、かかってきた相手の電話番号を確認する「INS ナンバー・ディスプレイ」や、指定した電話番号に転送する「INS ボイスワープ」などのさまざまなINS ネット64の付加サービスがあります。

INS ネット64の付加サービスの詳細は、NTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

フレッツ・ISDN について

親機は「フレッツ・ISDN」に対応しています。フレッツ・ISDNの詳細はNTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。



親機が対応するINS ネット64の付加サービスと設定方法については、「5-2 . 親機の電話機能」(P.132)を参照してください。

子機を追加するには

親機（IWX70）の子機として追加できるのは合計6台までで、機器によって次のようになります。

子機		最大登録台数	登録できる内線番号
PHS電話機		6台	91・92・93・94・95・96
リモートステーション	AtermRS7	6台	91・92・93・94・95・96
	AtermRS20		
	AtermRS10	3台	91・93・95
マルチモバイルカード	AtermRC45	6台	91・92・93・94・95・96
	AtermRC35		
	AtermRC25		

子機を追加するときは次の点を確認してください。

増設登録されていますか？

子機としてリモートステーションやマルチモバイルカード、PHS電話機を使うには、親機と子機の両方に増設登録（ID登録）が必要です。増設登録はお近くのNEC保守サービス受付拠点（P.337）PCクリーンスポット（P.332）またはお買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。販売店によっては受け付けていない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

PHSは親機に対応していますか？

子機として使用するPHS電話機の機種を確認してください。接続できる機種についてはAtermStationをご覧ください。

ホームページ『AtermStation』 <http://aterm.cplaza.ne.jp/>（平成12年9月現在）



ワイヤレスセットに同梱のRS7は、出荷時に親機の無線Aポート（内線番号91）に増設登録がしてあります。あらためて増設登録をする必要はありません。増設登録された子機は、内線番号の順に親機の無線A～Fポートに割り当てられます。親機の無線ポートに増設登録された子機は、親機で設定をすることによって、電話やインターネットが利用できるようになります。

インターネットを利用するには

インターネットを利用するには、以下の契約とソフトウェアが必要です。

プロバイダとの契約

インターネットに接続するには、インターネット接続業者（プロバイダ）との契約が必要です。申し込み方法などの詳細は、プロバイダにお問い合わせください。

ホームページを表示するソフトウェア

ホームページを見るには『Internet Explorer（インターネット・エクスプローラ）』や『Netscape Navigator（ネットスケープ・ナビゲータ）』などのブラウザソフトが必要です。ブラウザソフトは、ほとんどのパソコンにいずれかのソフトが添付されています。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

電子メールを送受信するソフトウェア

電子メールを送受信するには『Outlook Express（アウトルック・エクスプレス）』などの電子メールソフトが必要です。電子メールソフトは、ほとんどのパソコンに添付されています。詳細はパソコンの取扱説明書、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。



プロバイダの契約がお済みでない場合は、『らくらくアシスタント』を使って NEC が運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みができます。ぜひこの機会に BIGLOBE への加入をご検討ください。BIGLOBE についての詳細は「8-10 . インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介」(P.341) を参照してください。

Aterm の設置場所を決める

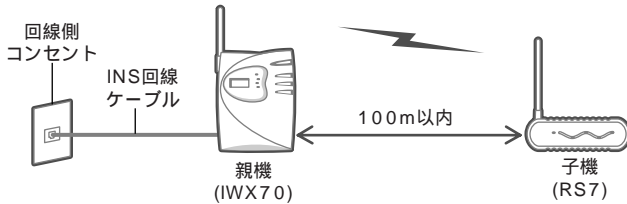
電話機やパソコンを設置したい場所に合わせて、親機と子機を設置します。その際、次の点を確認してください。

親機

添付のINS 回線ケーブルで、壁に設置された回線側コンセント（モジュラコンセント）と接続できる場所に置きます。

子機

親機から無線で電波が届く場所に設置します。電波が届くのは、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。その場合は親機に近づけて設置してください。



親・子機間の無線電波の状態は、子機前面のPHSランプで確認できます。

PHSランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能なとき
オレンジ色点灯	電波が弱いとき（不安定）
赤色点灯	子機が増設登録されていないとき
消灯	電波の状態が悪く通信できないとき、または他の子機が無線ポートを使用しているとき

また、Windows搭載のパソコンをお使いの場合は、添付ユーティリティ『RS7センター』でも電波状態を確認することができます。（「3-4. インターネットに接続する」P.100）



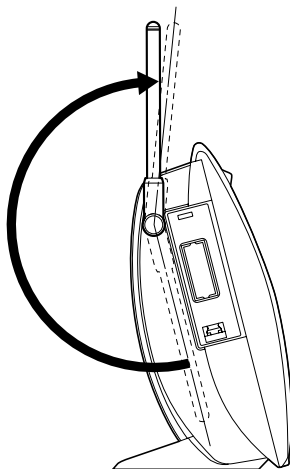
親機とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると、通話やデータ通信が切れることがあります。また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このようなときは、お互いを数メートル以上離して設置してください。

2-2 . 親機を接続する

親機を設置し、電話機やパソコンと接続します。

アンテナを立てる

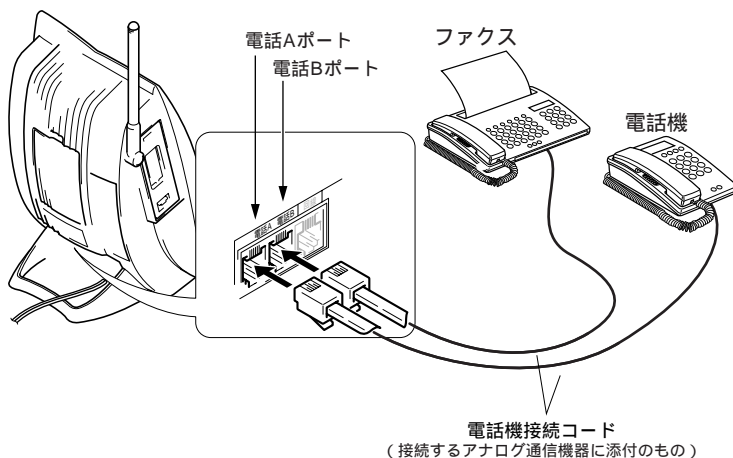
親機背面のアンテナを前方向に回転させて垂直に立てます。





アンテナを目などにささないように注意してください。

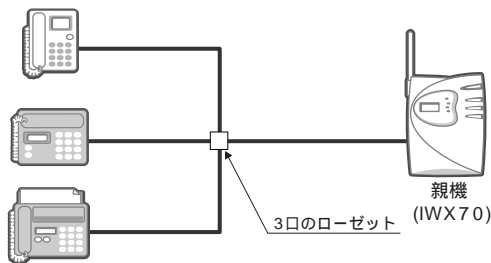
電話機 / ファクスを接続する

親機背面の電話 A ポート、電話 B ポートに電話機やファクス、モデムを接続します。市販のもの、または電話機やファクスに添付されている電話機接続コードを使用してください。停電したときでも使いたい電話機などは電話 A ポートに接続してください。



親機のアナログポートには、アナログ電話回線で使用していた電話機やファクスがそのまま使えます。ただし、接続できるアナログ通信機器は、端末審査協会の適合マーク「」または「」が付いていて、ダイヤル方式が「トーン」(または「PB」)の電話機、G3 ファクス、モデムなどです。

1つのアナログポートに電話機を複数台接続する場合は、3台までブランチ接続ができます。接続できる電話機は、アナログ網でブランチ接続が可能なアナログ通信機器です。



通話できるのは 1 台のみです。

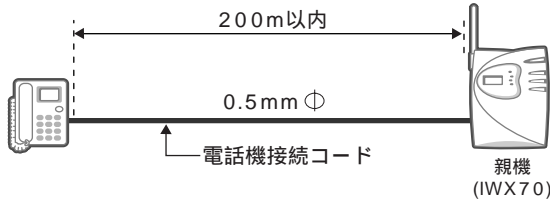
ブランチ接続する装置の合計容量は3 μ F以下、インピーダンスは2k Ω 以内です。ブランチ接続した場合は、INSナンバー・ディスプレイなどで電話番号を電話機に表示することはできません。

親機のアナログポートは疑似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるため、通信機器によっては使用できない場合があります。また、アナログポートと電話機の間には、電話機接続コードとローゼット以外は接続しないでください。

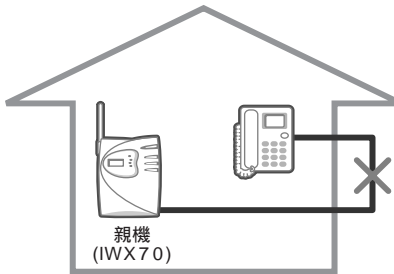


お使いになっていたアナログ電話回線がプッシュホン契約でなかった場合は、電話機のダイヤル方式を「トーン」(または「PB」)に切り替えてからお使いください。親機と子機は無線電波を使用するので、コードレス電話機などの電波を出す機器に影響を与えることがあります。ノイズなどが発生する場合は、これらの機器から親機、子機を離して使用してください。

電話機接続コードの太さは直径0.5mm以内、長さ200m以内でご使用ください。なお接続するアナログ通信機器の種類によっては、それよりもコードの長さを短くしないと使用できない場合があります。



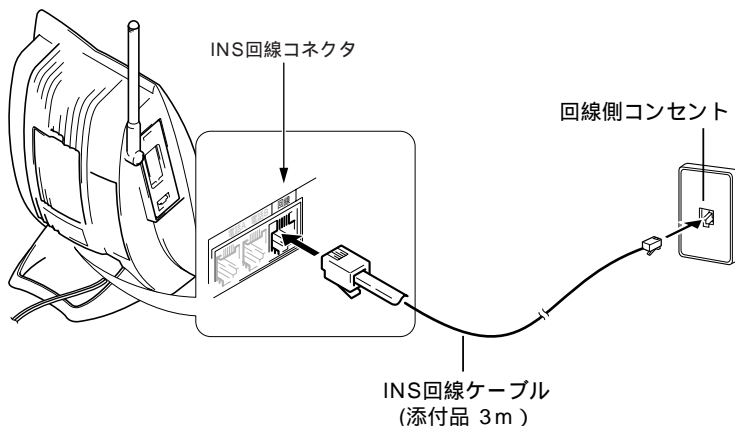
電話機接続コードは絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因となります。



INS ネット 64 を接続する

添付の INS 回線ケーブルで親機を INS ネット 64 と接続します。

- 1 親機背面の INS 回線コネクタに、添付の INS 回線ケーブルを接続します。
- 2 INS 回線ケーブルのもう一方を、壁に設置された回線側コンセント(モジュラコンセント)と接続します。



お知らせ

子機は INS ネット 64 と接続する必要はありません。

電話回線や電源コードから入り込む雷などのノイズから装置を保護するため、アース線の接続 (P.60) と、別売の落雷プロテクタ (PC-IT/SP01 P.327) のご使用をおすすめします。

落雷プロテクタを使用している場合でも、落雷の程度によっては二次災害を防止するために、装置内の一部分が破壊されることがあります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますので、あらかじめご了承ください。



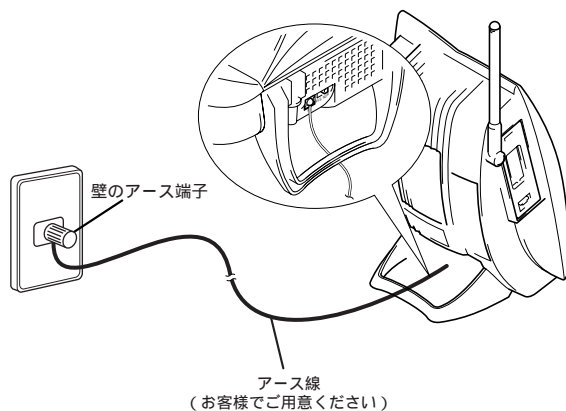
お願い

INS回線ケーブルを電話Aポートまたは電話Bポートに誤って差し込まないようにしてください。誤って差し込んだ場合、接続機器や回線設備が故障することがあります。

アース線を接続する

落雷などの電撃事故による人身への傷害や機器の損傷を防ぐため、電源を接続する前にアース線を接続することをおすすめします。市販のアース線を用意してください。

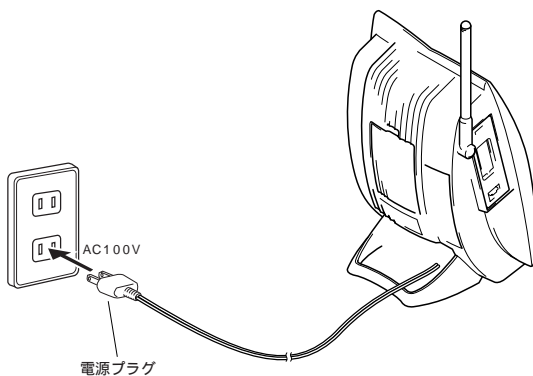
- 1 アナログポートに接続した電話機の受話器が置いてあることを確認します。
- 2 底面のアース線接続端子にアース線を接続します。
- 3 アース線のもう一方を壁のアース端子に接続します。



電源を接続する

電源コンセントと接続します。

- 1 アナログポートに接続した電話機の受話器が置いてあることを確認します。
- 2 電源プラグを家庭用電源（AC100V）のコンセントに差し込みます。

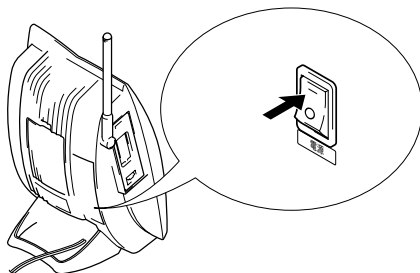


電源コードはパソコンのスイッチと連動しているコンセント（サービスコンセント）には接続しないでください。サービスコンセントに接続していた場合にパソコンの電源を切ると、親機の電源が切れます。親機に停電対策用の電池がセットされている場合は、親機は停電モードになり、電池が消耗します。

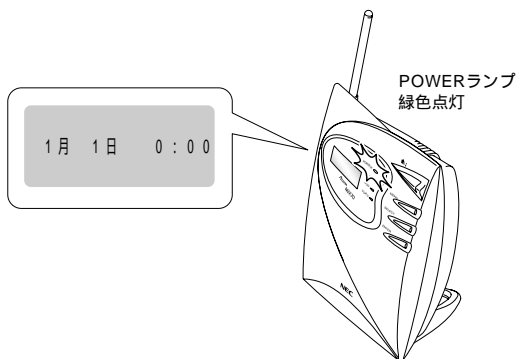
電源を入れる

電源を入れ、正しく接続できたか確認します。

- ① アナログポートに接続した電話機を受話器が置いてあることを確認します。
- ② 背面の電源スイッチの「-」側を押し、電源をONにします。



- ③ 前面のPOWERランプが点灯し、液晶ディスプレイに日付と時刻が表示されることを確認します。



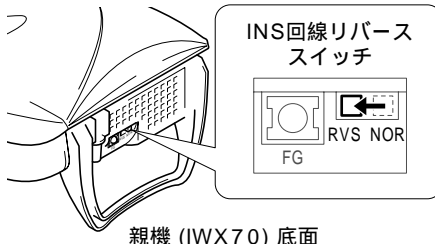
液晶ディスプレイに「カイセンショウガイ」と表示されたとき

親機の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、INS ネット 64 と正しく接続されていないか、またはINS ネット 64 の配線が逆転している(同期がとれていない)状態です。

カイセンショウカ`イ
レイヤ1タ`ウン

以下の手順で接続の確認をしてください。

- ① INS 回線ケーブルが確実に接続されているか確認します。
- ② ボールペンの先など細くて硬いものを使って、底面のINS回線リバーススイッチを「RVS」側に切り替えます。



- ③ 液晶ディスプレイに時刻が表示されたか確認します。
表示されればINS ネット 64 と正常に接続されています。

時刻表示にならない場合はINS回線リバーススイッチを「NOR」側にもどし、INS ネット 64 への切り替えが完了しているか、NTT 東日本またはNTT 西日本に確認してください。

お願い

アナログ電話回線からINS ネット 64 に契約を変更した場合、電話回線にガスの自動検針器が接続されたままになっていて「カイセンショウカ`イ レイヤ1タ`ウン」または「カイセンショウカ`イ レイヤ2タ`ウン」と表示されることがあります。その場合はガス供給業者にお問い合わせの上、撤去を依頼してください。

電話機が使えるか確認する

アナログポートに接続した電話機が使えることを確認します。

電話のかけ方

アナログポートに接続した電話機で電話をかける手順を説明します。

- 1 アナログポートに接続した電話機の受話器を上げます。

受話器から「ツ～」という発音音が流れ、親機の液晶ディスプレイに電話機が接続されているアナログポート名「A」、または「B」が表示されます。

- 例 電話Aポートに接続した電話機の受話器を上げた場合

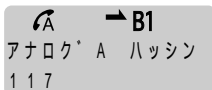
[親機液晶ディスプレイ]



A
1月 1日 0:00

- 2 発信する相手の電話番号をダイヤルします。

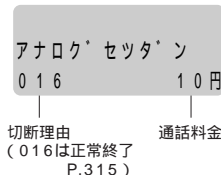
例 ①①⑦ (時報)



A → B1
アナログ A ハッシン
117

- 3 つながったか確認します。

- 4 受話器を置きます。



アナログ セツタン
016 10円
切断理由 (016は正常終了 P.315) 通話料金

5秒間表示されたあと、通常の表示にもどります。



受話器を上げたときに親機の液晶ディスプレイに A または B が表示されないときは、親機と電話機が正しく接続されているか確認してください。

ダイヤルしたとき親機の液晶ディスプレイに「アナログ ハッシン」と表示されない場合は、電話機のダイヤル種別が「トーン」(または「PB」)になっているか確認してください。

親機を電話機のすぐ近くで使用すると、通話時にノイズが発生することがあります。そのときは、親機と電話機を少し離して設置してください。



電話番号をダイヤルするとダイヤル桁間タイマが働き、5秒後(初期値)に電話がかかります。ダイヤル桁間タイマの時間の設定は「5-2 . 親機の電話機能」(P.143)を参照してください。ダイヤルしたあとすぐに発信するときは、電話番号を押したあとに # を押します。

電話の受け方

- ① どなたかに電話をかけてもらいます。
電話機の着信音が鳴ります。

[親機液晶ディスプレイ]

アナロク^o チャクシン
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

- ② 着信音が鳴っている電話機の手話器を上げて通話します。

例 電話Aポートに接続した電話機の手話器を上げた場合

A
ツウシンチュウ
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

- ③ 通話が終わったら、手話器を置きます。

アナロク^o セツタ^oン
0 1 6

切断理由
(016は正常終了
P.315)

5 秒間表示されたあと、通常の表示にもどります。



お知らせ

ここまでの操作で電話機が使えるようになりました。インターネットに接続したり、さまざまな電話の機能を利用するには、以降の設定をおこなってください。

カレンダーを設定する

親機の液晶ディスプレイに表示される日付と時刻を設定します。
親機の液晶ディスプレイを見ながら、アナログポートに接続した電話機で操作します。

- ① アナログポートに接続した電話機の手話器を上げます。

例 電話Aポートに接続した電話機の手話器を上げた場合

[親機液晶ディスプレイ]

A
1月 1日 0:00

- ② と押します。

A
セツテイホ^oートセンタク

アナログポートの設定になります。

- ③ を押します。

A
シ^oコク セツテイ

- ④ を押します。

A
00年01月01日
00:00

- ⑤ 年・月・日・時・分の順にプッシュボタンを押します。

例 2000年10月1日午後10時10分の場合

を押すと液晶ディスプレイの入力位置が右に1つ移動します。



6 # を押します。

A
00年10月01日
22:10

5 秒後

10月 1日 22:10



7 受話器を置きます。



お知らせ

設定の途中で受話器を置くと、設定はキャンセルされます。はじめからやり直してください。日付・時刻表示のかわりに機種名を表示することもできます。

日付・時刻表示

受話器を上げて[*][*][8][1]
[1] と押します。

A
アイト[®]ルヒョウシ[®]
1:トケイ

10月 1日 22:10

機種名表示

受話器を上げて[*][*][8][1]
[0] と押します。

A
アイト[®]ルヒョウシ[®]
0: A term

A term | WX70

Windows をお使いの場合は、『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポート共通設定]でカレンダーを設定することもできます。

電話機を1台だけ接続する場合

親機のアナログポートに電話機を1台だけ接続する場合は、接続しない方のアナログポートを「使用しない」に設定する必要があります。

この設定をしないと接続してある電話機が話し中の場合でも、相手側に呼出音が流れてしまうので、必ず設定してください。



1 親機に接続した電話機を受話器を上げ、[*][*][1][*] と押します。

親機の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、通話中または通信中のため設定ができません。通話が終わってから操作してください。

[親機液晶ディスプレイ]

ホ[°]ートシヨウチュウ
セツテイ フカ



2 設定するアナログポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート



3 [*][0][1][*][2][#][#] と押します。



4 受話器を置きます。



お知らせ

パソコンをお使いの場合は、『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポートの簡単設定]でも設定することができます。

パソコンを接続する

親機とパソコンを接続します。回線側コンセントから離れた場所でパソコンを使いたい場合は、子機にパソコンを接続してください。子機に接続したパソコンから、無線で親機の設定もできます。なお、1台のパソコンに親機と子機の両方を接続することはできません。

接続するデータポートが決まったら、それぞれ以下を参照してください。

シリアルポートに接続する

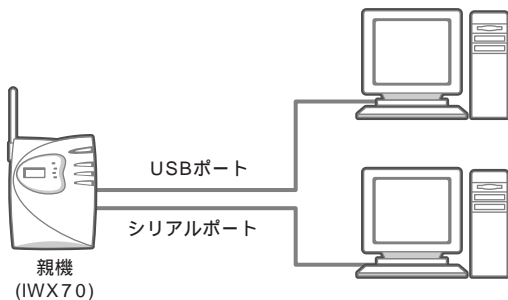
パソコンの電源が入っていない状態で、親機と接続します。「シリアルポートにパソコンを接続する」(P.68)に進んでください。

USBポートに接続する

USBドライバをインストールしてから親機と接続しますので、ここでは接続しないでください。Windowsをお使いの場合は「3. Windowsで簡単に設定する」(P.77)、Macintoshをお使いの場合は「4. Macintoshで簡単に設定する」(P.105)に進んでください。

接続するデータポートを選択する

親機はシリアルポートとUSBポートの2つのデータポートがあるので、お使いのパソコンに合わせてどちらかのデータポートにパソコンを接続します。2台パソコンがある場合は、シリアルポートとUSBポートの両方に接続ができます。



接続の例

お使いのパソコンに搭載されているCOMポートやモデムポートなどによって、次のように接続方法を選択してください。

	パソコンに搭載されている インタフェース	使用するケーブル	接続するAtermの データポート
Windows	9ピンのシリアルコネクタ (COMポート)	RS-232Cケーブル	シリアルポート
	25ピンなどのシリアル コネクタ (COMポート)	RS-232Cケーブルと 市販の変換コネクタ	
	USBポート	USBケーブル	USBポート
Macintosh	モデムポート (プリンタポート)	RS-232Cケーブルと 市販のMac変換ケーブル	シリアルポート
	USBポート	USBケーブル	USBポート

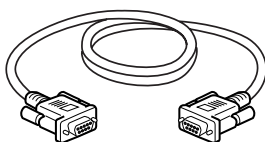
Windows の場合は、シリアルコネクタとUSBポートの両方を搭載したパソコンもあります。他の周辺機器をUSBポートに接続している場合や、USBに対応していないOSの場合は、シリアルコネクタにAtermを接続してください。

Macintoshの場合は機種によってモデムポート(プリンタポート)、またはUSBポートのどちらかが搭載されています。

お使いのパソコンがUSBケーブルで接続ができるかどうかは、「7-1.困ったときのQ&A」(P.290)で確認してください。

シリアルポートにパソコンを接続する

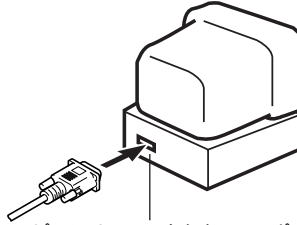
添付のRS-232Cケーブルで親機のシリアルポートにパソコンを接続します。パソコンの電源は切っておきます。



- 1 親機の電源をいったんOFFにします。

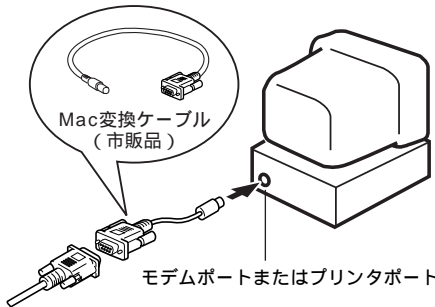
- 2** RS-232C ケーブルをパソコンに接続します。
次のいずれかの方法で接続します。

9ピンのシリアルコネクタ（COMポート）に接続する場合
RS-232Cケーブルをそのままシリアルコネクタに差し込みます。コネクタのネジ
をしめて外れないようにします。



9ピンシリアルコネクタ(COMポート)

Macintoshのモデムポートまたはプリンタポートに接続する場合
RS-232Cケーブルと市販のMac変換ケーブルをつないでから、Mac変換ケー
ブルをつないだ方のコネクタをMacintoshのモデムポートまたはプリンタポートに
差し込みます。

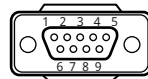
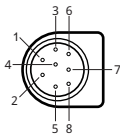


モデムポートまたはプリンタポート

ケーブルを購入の際には以下を参照の上、お買い求めください。

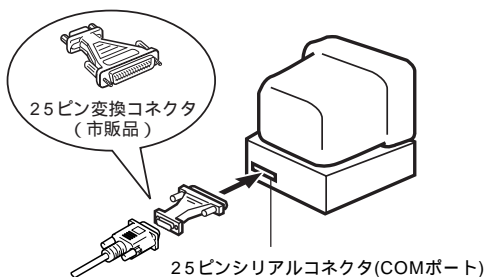
ケーブル結線対応

Macintosh側	RS-232C側
1ピン	- 4, 7ピン
2ピン	- 8ピン
3ピン	- 3ピン
4ピン	- 5ピン
5ピン	- 2ピン
6ピン	- -
7ピン	- 1ピン
8ピン	- 5ピン



添付のRS-232CケーブルのコネクタとパソコンのCOMポートの形状が合わない場合
お使いのパソコンに合った変換コネクタを別途用意して、RS-232Cケーブルとつ
ないてください。

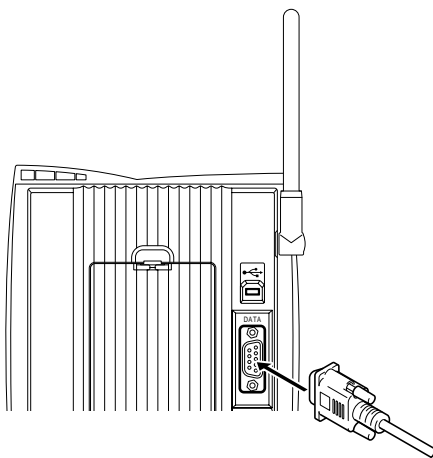
ケーブルを購入の際には以下を参照の上、お買い求めください。



ケーブル結線対応

パソコン側 (25ピン)	RS-232C側 (9ピン)
2ピン	3ピン
3ピン	2ピン
4ピン	7ピン
5ピン	8ピン
6ピン	6ピン
7ピン	5ピン
8ピン	1ピン
20ピン	4ピン
22ピン	9ピン

- 3** RS-232Cケーブルのもう一方を親機背面のシリアルポートに差し込み、コネクタのネジをしめます。



- 4** 親機の電源をONにします。



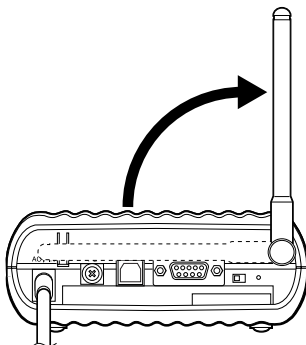
ここまでの手順で、親機とパソコンをシリアルポートで接続する場合の操作は終了
です。電話のさまざまな機能を使ったり、インターネットに接続するためには、親機
の設定が必要です。Windowsをお使いの場合は「3. Windowsで簡単に設定す
る」(P.77)、Macintoshをお使いの場合は「4. Macintoshで簡単に設定す
る」(P.105)に進んでください。

2-3 . 子機を接続する

子機を設置し、パソコンを接続します。

アンテナを立てる

子機背面のアンテナを横方向に回転させて垂直に立てます。

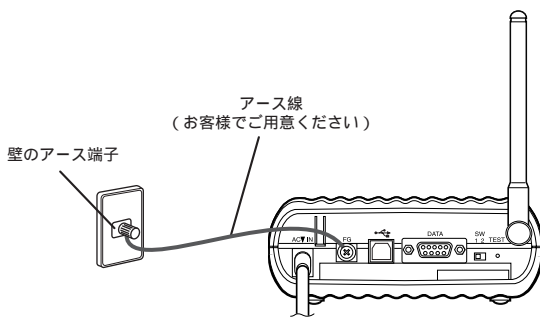


アンテナを目などにささないように注意してください。

アース線を接続する

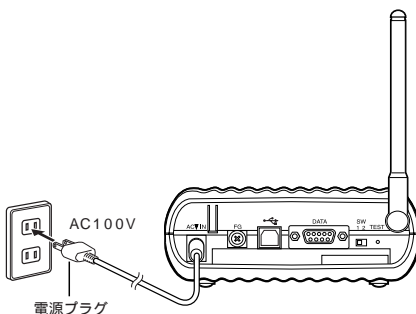
落雷などの電撃事故による人身への傷害や機器の損傷を防ぐため、電源を接続する前にアース線を接続することをおすすめします。市販のアース線を用意してください。

- 1 背面のアース線接続端子にアース線を接続します。
- 2 アース線のもう一方を壁のアース端子に接続します。

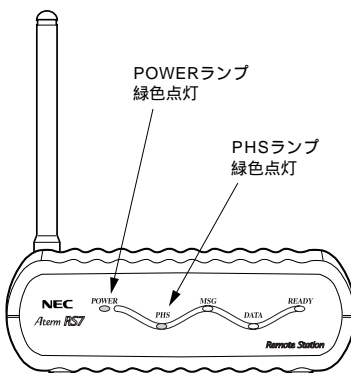


電源を接続する

- 1 電源プラグを家庭用電源（AC100V）のコンセントに差し込みます。



- 2 前面の POWER ランプと PHS ランプが緑色に点灯することを確認します。



お願い

電源コードはパソコンのスイッチと連動しているコンセント(サービスコンセント)には接続しないでください。サービスコンセントに接続していた場合にパソコンの電源を切ると、子機の電源が切れます。
子機は電源スイッチがないので、長時間ご使用にならない場合は、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

子機の PHS ランプが点灯しないとき

子機の電源プラグをコンセントに差し込んででも子機前面のPHSランプが緑色に点灯しないときは、次の点を確認してください。

親機の電源が入っていない

親機の電源スイッチがONになっていないと、PHS ランプは点灯しません。親機の電源が入っているか確認してください。

無線電波の状態が悪い

無線電波の状態が悪いときや、親機と子機の距離が離れすぎている場合は、PHS ランプは点灯しません。無線電波が届くのは、間に障害物が何もない状態で約 100m です。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m 以内でも電波が届かないことがあります。無線電波の状態は、子機の PHS ランプで確認できます。

PHSランプ	無線状態
緑色点灯	無線通信が可能のとき
オレンジ色点灯	電波が弱いとき（不安定）
赤色点灯	子機が増設登録されていないとき
消灯	電波の状態が悪く通信できないとき、または他の子機が無線ポートを使用しているとき

増設登録されていない

子機が増設登録（ID 登録）されていない場合は、PHS ランプが赤色に点灯します。増設登録はお近くの NEC 保守サービス受付拠点（ P.337 ） PC クリーンスポット（ P.332 ） またはお買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。



ワイヤレスセットに同梱の RS7 は、出荷時に親機の無線 A ポート（内線番号 91）に増設登録がしてありますので、あらためて増設登録をする必要はありません。

子機とパソコンを接続する

子機とパソコンを接続します。回線側コンセントから離れた場所でパソコンを使いたい場合は、子機にパソコンを接続してください。子機に接続したパソコンから、無線で親機の設定もできます。なお、1台のパソコンに親機と子機の両方を接続することはできません。

接続するデータポートが決まったら、それぞれ以下を参照してください。

シリアルポートに接続する

パソコンの電源が入っていない状態で、子機と接続します。「シリアルポートにパソコンを接続する」(下記)に進んでください。

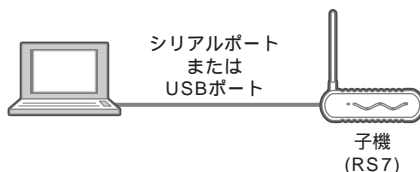
USBポートに接続する

USBドライバをインストールしてから子機と接続しますので、ここでは接続しないでください。Windowsをお使いの場合は「3. Windowsで簡単に設定する」(P.77)、Macintoshをお使いの場合は「4. Macintoshで簡単に設定する」(P.105)に進んでください。

接続するデータポートを選択する

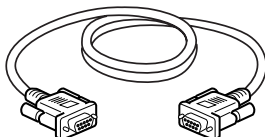
子機はシリアルポートとUSBポートの2つのデータポートがあるので、お使いのパソコンに合わせて、どちらかのデータポートに1台だけパソコンを接続します。

「2-2. 親機を接続する」(P.68)を参照し、お使いのパソコンに搭載されているCOMポートやモデムポートなどによって、接続方法を選択してください。



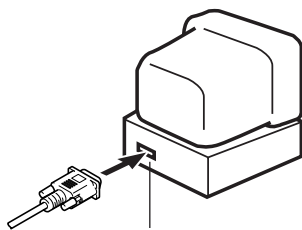
シリアルポートにパソコンを接続する

添付のRS-232Cケーブルで子機のシリアルポートにパソコンを接続します。パソコンの電源は切っておきます。



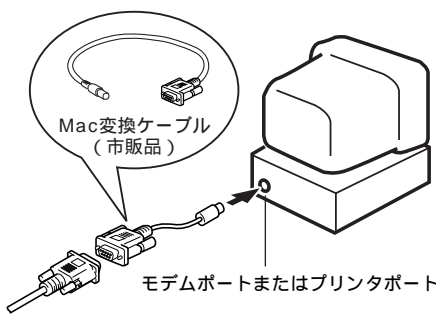
- ① 子機の電源プラグをコンセントから抜き、いったん電源を切ります。
- ② RS-232Cケーブルをパソコンに接続します。
次のいずれかの方法で接続します。

9ピンのシリアルコネクタ（COMポート）に接続する場合
RS-232Cケーブルをそのままシリアルコネクタに差し込みます。コネクタのネジ
をしめて外れないようにします。



9ピンシリアルコネクタ(COMポート)

Macintoshのモデムポートまたはプリンタポートに接続する場合
RS-232Cケーブルと市販のMac変換ケーブルをつないでから、Mac変換ケー
ブルをつないだ方のコネクタをMacintoshのモデムポートまたはプリンタポートに
差し込みます。

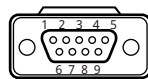
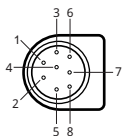


モデムポートまたはプリンタポート

ケーブルを購入の際には以下を参照の上、お買い求めください。

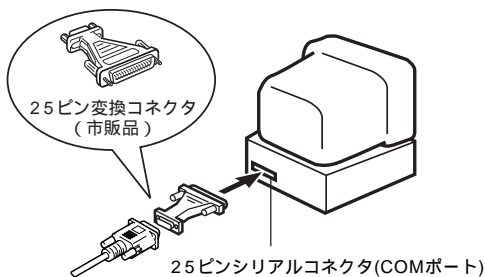
ケーブル結線対応

Macintosh側	RS-232C側
1ピン	- 4, 7ピン
2ピン	- 8ピン
3ピン	- 3ピン
4ピン	- 5ピン
5ピン	- 2ピン
6ピン	- -
7ピン	- 1ピン
8ピン	- 5ピン



添付のRS-232CケーブルのコネクタとパソコンのCOMポートの形状が合わない場合
お使いのパソコンに合った変換コネクタを別途用意して、RS-232Cケーブルとつ
ないてください。

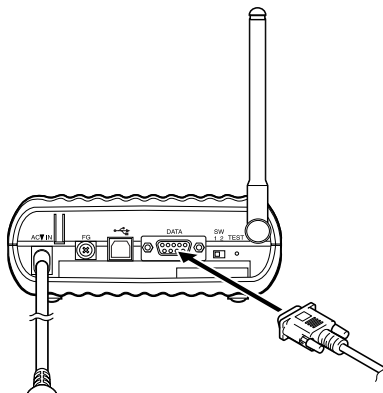
ケーブルを購入の際には以下を参照の上、お買い求めください。



ケーブル結線対応

パソコン側 (25ピン)	RS-232C側 (9ピン)
2ピン	— 3ピン
3ピン	— 2ピン
4ピン	— 7ピン
5ピン	— 8ピン
6ピン	— 6ピン
7ピン	— 5ピン
8ピン	— 1ピン
20ピン	— 4ピン
22ピン	— 9ピン

- 3** RS-232Cケーブルのもう一方を子機背面のシリアルポートに差し込み、コネクタのネジをしめます。



- 4** 子機の電源プラグをコンセントに差し込みます。



ここまでの手順で、子機とパソコンをシリアルポートで接続する場合の操作は終了
です。電話のさまざまな機能を使ったり、インターネットに接続するためには、親機
と子機の設定が必要です。Windowsをお使いの場合は「3 . Windowsで簡単に設
定する」(P.77)、Macintoshをお使いの場合は「4 . Macintoshで簡単に設
定する」(P.105)に進んでください。

3

Windowsで簡単に設定する

Windows Me/Windows 98/Windows 95/Windows 2000/Windows NT 4.0を搭載したパソコンと親機または子機をつないで、インターネットに接続したり電話を使うための設定をします。

Windowsで設定するには…………… 78



らくらくアシスタントをインストールする… 80



らくらくアシスタントで簡単に設定する…… 82



インターネットに接続する…………… 95



らくらくアシスタントの使いかた…… 102

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

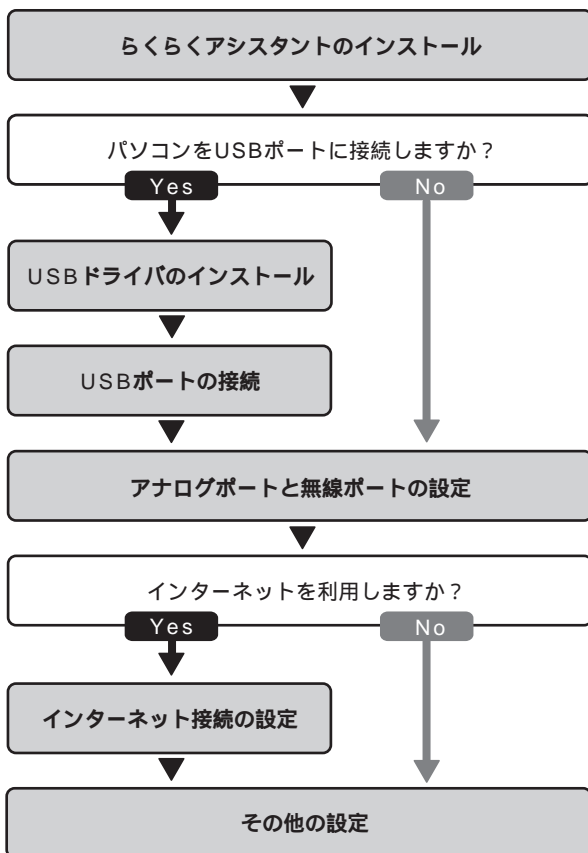
3-1 . Windows で設定するには

Windows® Me/Windows® 98/Windows® 95/Windows® 2000/WindowsNT® 4.0 を搭載したパソコンで親機と子機の設定をする手順を説明します。

Windows95 に対応しているのは親機のみです。

設定の流れ

電話のさまざまな機能を使ったり、インターネットに接続するには設定が必要です。Windows を搭載したパソコンで、親機と子機の基本設定をするまでの流れは次のとおりです。



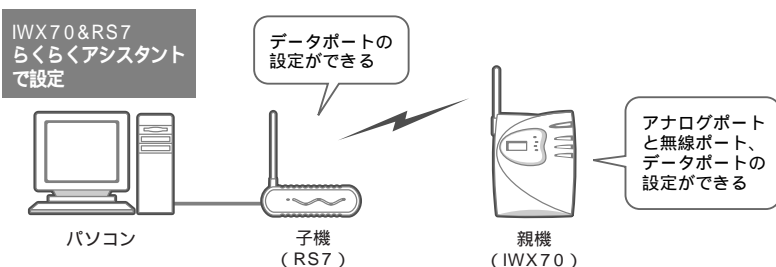
WindowsNT 4.0 搭載のパソコンを、親機または子機の USB ポートに接続することはできません。シリアルポート (COM ポート) に接続してください。

親機と子機を設定するには

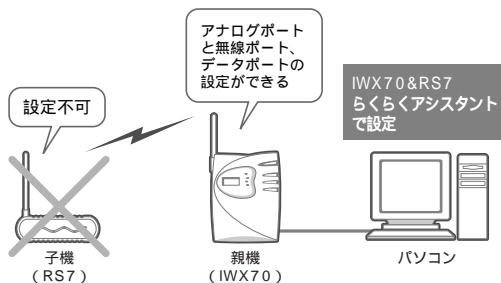
添付ユーティリティ『IWX70&RS7らくらくアシスタント』を使って、親機と子機の設定をします。『らくらくアシスタント』を使うと、電話の設定やインターネットに接続するための設定が、画面に表示される案内にそって簡単にできます。

子機にパソコンを接続している場合は、『IWX70&RS7らくらくアシスタント』を使って親機と子機の両方の設定ができます。親機は子機から無線で設定されます。

親機にパソコンを接続している場合は、『IWX70&RS7らくらくアシスタント』で親機の設定ができます。



親機を接続したパソコンから、子機の機能の設定はできません。子機に接続し直して設定してください。



Windows2000で『らくらくアシスタント』の設定をするときは、Administratorの権限が必要です。[コントロールパネル]の[ユーザーとパスワード]の設定を変更している場合は、「7-1. 困ったときのQ&A」(P.281)を参照してください。ご使用のパソコン環境によっては、『らくらくアシスタント』が利用できない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P.280)を参照してください。『らくらくアシスタント』を使用しないでインターネット接続の設定をする場合は、手動で設定をおこないます。電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」を参照してください。



WindowsNT4.0の場合は、『らくらくアシスタント』でインターネット接続の設定はできません。電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-9. インターネット接続の手動設定」を参照し、インターネットの設定をしてください。

3-2 . らくらくアシスタントをインストールする

『らくらくアシスタント』は添付CD-ROM『AtermIWX70&RS7ユーティリティ集』に収録されているので、パソコンにインストールして使います。

らくらくアシスタントをインストールする

『らくらくアシスタント』をパソコンのハードディスクにインストールします。

1 パソコンを起動しておきます。
ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。

2 添付CD-ROM『AtermIWX70&RS7ユーティリティ集』をパソコンにセットします。

[セットアップガイド]のメニュー画面が表示されます。

すでにCD-ROMがセットされていた場合は、いったんCD-ROMを取り出してから再度セットしてください。

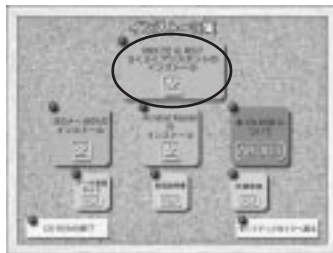
CD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは「メニュー画面が表示されないとき」(P.81)を参照してください。

3 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



[インストーラ集]画面が表示されます。

4 [IWX70&RS7らくらくアシスタントのインストール]をクリックします。



5 画面に表示される内容にしたがって操作を進めます。

『らくらくアシスタント』がインストールされます。



[セットアップガイド]のメニューの1～5をご覧になって、その中でインストールすることもできます。

[インストーラ集]を終了するときは、[CD-ROMの終了]をクリックします。CD-ROMドライブのアクセスランプが消えたことを確認してから、CD-ROMを取り出してください。

メニュー画面が表示されないとき

添付 CD-ROM 『AtermIW70&RS7 ユーティリティ集』はパソコンにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されるようになっていました。パソコンにCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されないときは、次の手順でメニュー画面を表示させます。

- ① **実行** [ファイル名を指定して実行] を選択します。

[ファイル名を指定して実行]画面が表示されます。

- ② 「名前」に半角文字で次のように入力します。

Q:¥MENU.EXE

(QはCD-ROMドライブ名)



- ③ **OK** ボタンをクリックします。
メニュー画面が表示されます。



CD-ROMのドライブ名はパソコンによって異なります。ドライブ名がわからないときは、次の操作でCD-ROMドライブを確認します。

[ファイル名を指定して実行]画面で **参照** ボタンをクリックします。

[ファイルの参照]画面が表示されます。

「ファイルの場所」の ▾ をクリックし、CD-ROMドライブを選択します。



ドライブ名を確認し、**キャンセル** ボタンをクリックします。

らくらくアシスタントをアンインストールする

らくらくアシスタントが不要になった場合は、ハードディスクから削除します。

- ① **実行** [プログラム] [Aterm IW70&RS7ユーティリティ] [ユーティリティのアンインストール] を選択します。

[ユーティリティアンインストーラ] が起動し、確認画面が表示されます。

- ② **はい** ボタンをクリックします。



アンインストールが実行されます。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。



インストールしてあった『らくらくアシスタント』、『らくらくバージョンアップ』、『詳細設定ヘルプ』、『ユーティリティのアンインストール』が、パソコンのハードディスクから削除されます。

3-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する

インストールした『らくらくアシスタント』を使って、電話を使ったりインターネットに接続するための基本的な設定をします。

以下の手順はWindows98搭載のパソコンに子機を接続した場合を例に説明します。お使用の環境によっては、手順や画面が異なることがあります。また、親機と子機のどちらをパソコンに接続しているかによって画面の内容が一部異なったり、使用できない項目があります。

らくらくアシスタントの起動の仕方

『IWX70&RS7らくらくアシスタント』の起動のしかたを説明します。

① ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。

② **スタート** [プログラム] [Aterm IWX70&RS7 ユーティリティ] [IWX70&RS7 らくらくアシスタント] を選択します。

『らくらくアシスタント』が親機と子機の接続されているCOMポートを検索します。

[IWX70&RS7らくらくアシスタント] ようこそ]画面に、らくらくアシスタントの機能の説明が表示されます。

③ 内容をよく読んでから、**次へ** ボタンをクリックします。



「次回以降はこの画面を表示しない」をクリックして にすると、次回起動したときからこの画面は表示されません。

[らくらくアシスタントメニュー]が表示され、画面左下に親機と子機の接続状況が表示されます。

親機または子機のシリアルポートにパソコンを接続している場合に「見つかりません」と表示されたときは、『らくらくアシスタント』が親機と子機を認識していません。パソコンと正しく接続できているか確認してください。それでも親機と子機が認識されない場合は、「7-1. 困ったときのQ&A」(P.280)を参照してください。

親機または子機のUSBポートにパソコンを接続している場合は、USBドライバのインストールが終了するまで親機または子機を接続しないので、「見つかりません」と表示されますが、問題ありません。

④ 設定する項目をクリックして選択し、必要な設定をおこないます。

それぞれの設定内容については102ページを参照してください。



各項目の設定が終わると [らくらくアシスタントメニュー] にもどります。

設定が終了したときなど、らくらくアシスタントを終了するときは **アシスタント終了** ボタンをクリックします。「IWX70&RS7らくらくアシスタントの実行を終了します。」と表示されるので、**はい** ボタンをクリックします。



1台のパソコンには、親機または子機のどちらか1台を接続してください。
子機だけにパソコンを接続している場合でも、親機の電源をONにしておいてください。子機に接続したパソコンから無線で親機の設定ができます。



以降の説明は ④ の画面から操作する手順を説明します。『らくらくアシスタント』の起動の仕方は、このページを参照してください。

親機または子機のUSBポートにパソコンを接続する場合は、USBポートを使用するための「USBドライバ」が必要です。各設定をおこなう前に、親機/子機に対応したUSBドライバをパソコンにインストールしたあと、USBポートに接続します。

親機または子機のシリアルポートにパソコンを接続する場合は、この操作は不要です。「アナログ/無線ポートの簡単設定」(P.87)に進みます。

USBドライバをインストールする前にパソコンにUSBケーブルを差し込むと、「ハードウェアウィザード」などが起動します。その場合は **キャンセル** ボタンをクリックし、USBケーブルをパソコンから抜いてください。

親機/子機とUSBケーブルで接続できるWindows搭載のパソコンは、Windows95のOEM Service Release 2.1(OSR 2.1)以降のバージョン、またはWindows Me/Windows 98/Windows 2000がインストールされたパソコンです。詳細は「7-1.困ったときのQ&A」(P.290)を参照してください。

『らくらくアシスタント』を使用せずにUSBドライバを手動でインストールする場合は、USBケーブルをパソコンに接続する前にUSBドライバをインストールしてください。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2.手動セットアップ」)ここではWindows98搭載のパソコンに子機を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によっては、手順や画面が異なることがあります。親機を接続した場合も手順は同様です。

- 1** [いろいろアシスタントメニュー] で [USB ドライバのインストール] をクリックします。



親機 / 子機用の USB ドライバがすでにインストールされている場合、メニューには [USB ドライバのアップデート] と表示されます。

[USB ドライバのインストール] 画面が表示されます。

- 2** 画面に表示されている内容を読んでから、**次へ** ボタンをクリックします。



お使いのパソコンにインストールされている現在の USB ドライバの情報が表示されます。

- 3** 内容を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



- 4** 画面に表示されている内容を読んでから、**実行** ボタンをクリックします。



実行中はさまざまな設定の登録が自動的におこなわれます。特に指示がない限り、キーボードやマウスを操作しないでください。

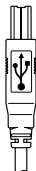
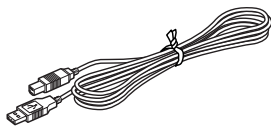
COMポートの追加などがおこなわれたあと、[USB ケーブルの接続待ち] 画面が表示されます。

- 5** 画面に表示されている内容を読んだら、USB ケーブルを用意します。



次ページの **6** に進みます。

- 6 USBケーブルのコネクタの形状を確認します。



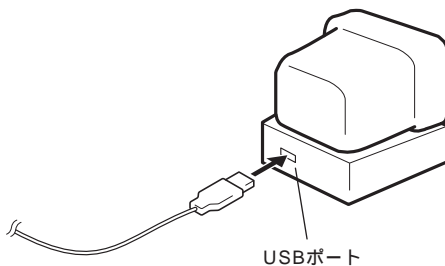
AtermのUSBポート
に差し込みます



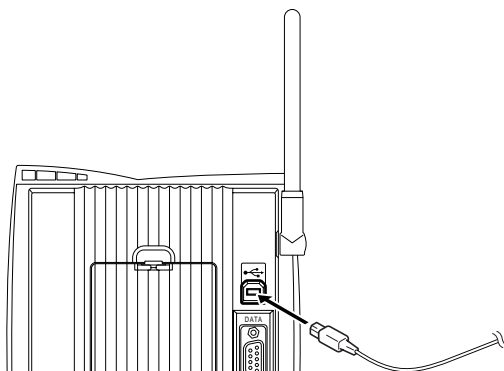
パソコンのUSBポート
に差し込みます

- 7 親機または子機の電源を切ります。

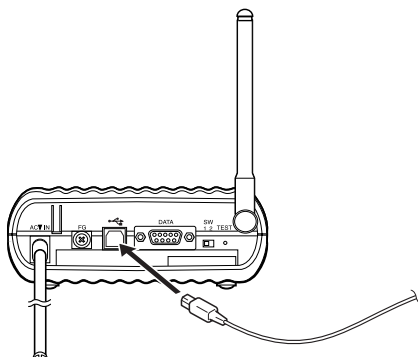
- 8 USBケーブルのコネクタが平らな形の方を、パソコンのUSBポートに差し込みます。



- 9 USBケーブルのもう一方を、親機または子機背面のUSBポートに差し込みます。
親機



子機



10 親機または子機の電源を入れます。

ハードウェアウィザードが起動してUSBポートが検出され、USBドライバがインストールされます。

[USB ドライバ処理終了] 画面が表示されます。

11 再起動 ボタンをクリックします。



Windows が再起動します。

『IWX70&RS7 らくらくアシスタント』が起動し、[らくらくアシスタントメニュー] が表示されます。



お知らせ

Windows Me/Windows 98 の場合、『らくらくアシスタント』で USB ドライバのインストールをする前に USB ケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアウィザード」が起動します。その場合は「新しいハードウェアウィザード」をキャンセルし、USB ケーブルをパソコンから抜いてください。

Windows 2000 の場合、『らくらくアシスタント』で USB ドライバのインストールをする前に USB ケーブルをパソコンに接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。その場合は「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」をキャンセルし、USB ケーブルをパソコンから抜いてください。



お願い

USB ケーブルを延長して、親機または子機を接続することはできません。添付のケーブル、または別売のケーブル（「8-6 . 別売オプション」P.327）を使用してください。

アナログ/無線ポートの簡単設定

アナログポートと無線ポートに接続した機器を使うための基本的な設定をします。

[アナログ/無線ポートの簡単設定]では次の設定ができます。

各ポートに接続する機器の種類
契約した電話番号の設定と各ポートへの割り当て

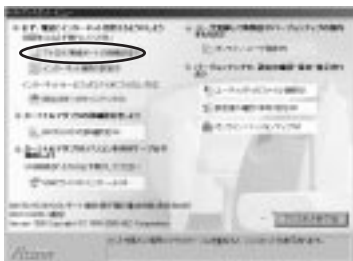
i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの設定

INSナンバー・ディスプレイの設定

画面に機能の説明などが表示されるので、内容を読みながら操作をしてください。

i・ナンバーやナンバー・ディスプレイなどの機能の詳細は、「5-2 親機の電話機能」(P.132)を参照してください。

- ① [らくらくアシスタントメニュー]で [アナログ/無線ポートの簡単設定] をクリックします。



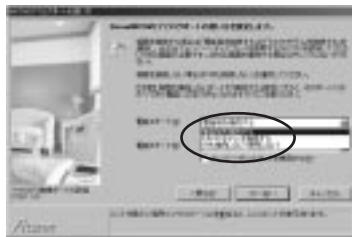
[IWX70のアナログポート/無線ポートの設定]画面が表示されます。

- ② [次へ] ボタンをクリックします。



[IWX70のアナログポートの使い方]画面が表示されます。

- ③ 電話 A ポート、電話 B ポートに接続しているアナログ通信機器を選択します。



ファクスおよびファクス付電話機、またはモデムを接続する場合は、「FAXやモデムを接続する」を選択します。機器を接続しないポートは、「何も接続しない(使用しない)」を選択します。

- ④ INS ネット 64 の付加サービス「INSナンバー・ディスプレイ」を利用する場合、「ナンバー・ディスプレイを使用する」をクリックして にします。

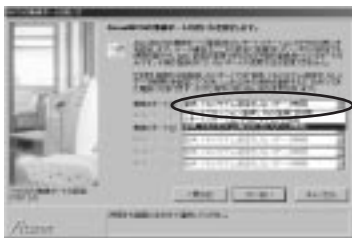
INSナンバー・ディスプレイの詳細は「5-2 . 親機の電話機能」(P.168)を参照してください。

- ⑤ [次へ] ボタンをクリックします。

[IWX70の無線ポートの使い方]画面が表示されます。

6

親機に増設登録されている無線ポートの使い方を、各無線ポートごとに選択します。



ワイヤレスセットに同梱のRS7は、工場出荷時に親機の無線Aポートに増設登録されています。無線Aポートは「リモートステーション(音声) PHS(音声)で利用」を選択します。その他の子機を使用している場合は、接続している機器によって、次のように選択します。

リモートステーション(音声) PHS(音声)で利用

リモートステーションのアナログポートに電話機を接続している場合や、PHS電話機を子機として使用する場合に選択します。

リモートステーション(FAX / モデム)で利用

リモートステーションのアナログポートに、ファクスやモデム接続している場合に選択します。

音声、FAX / モデム通信をしない(データ専用)

リモートステーションのアナログポートやPHS電話機を使用しないで、データ通信を発信専用で使用する場合に選択します。

親機に増設登録されていない無線ポートはグレーで表示されるので、設定する必要はありません。

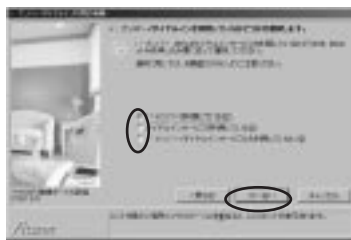
7

次へ ボタンをクリックします。

[i・ナンバー / ダイヤルイン利用の有無] 画面が表示されます。

8

お手持の「INSネット64お申込票」を参照の上、i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを利用するか、どちらも利用しないかを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



i・ナンバー、ダイヤルインサービスの詳細は「5-2 .親機の電話機能」(P.177、180)を参照してください。

何を選択したかによって次に表示される画面が異なります。

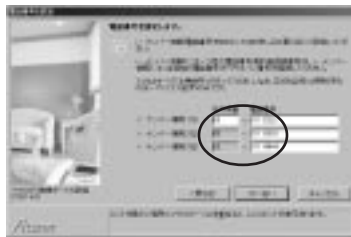
[電話番号の設定] 画面が表示されます。

9

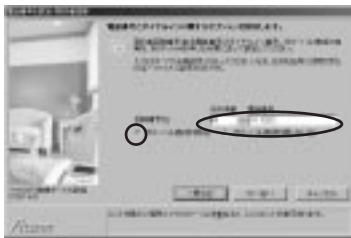
電話番号(契約者回線番号)を市外局番から半角で入力します。

i・ナンバーを利用する場合

i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2を入力します。3つの電話番号を契約している場合は、i・ナンバー情報3も入力します。⑫に進みます。

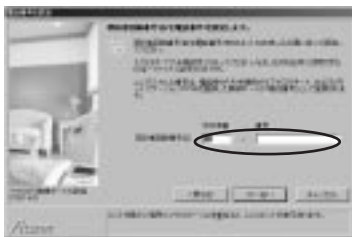


ダイヤルインサービスを利用する場合
契約者回線番号を入力し、「グロー
バル着信利用」を選択して ⑩ に進
みます。



INS ネット 64 の申し込みの際
に、「ダイヤルインサービス」の
「グローバル着信有」と契約して
いない場合は、「グローバル着信
利用しない」を選択します。

i・ナンバー / ダイヤルインサービス
とも利用しない場合
契約者回線番号を入力し、⑪ に進
みます。



⑩ 次へ ボタンをクリックします。

[電話番号の設定・ダイヤルイン]画面が
表示されます。

⑪ 「ダイヤルイン 1 番」にダイヤルイン番
号（追加番号）を入力します。

ダイヤルイン番号を複数契約してい
る場合は、「ダイヤルイン 2 番」以降も入
力します。

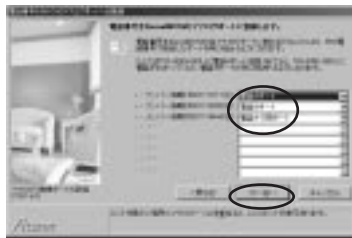


⑫ 次へ ボタンをクリックします。

[電話番号のIWX70のアナログポートへ
の登録]画面が表示されます。

⑬ 入力した電話番号で呼び出すアナログ
ポートを選択し、次へ ボタンをク
リックします。

1つの番号で電話Aポート、電話Bポ
ートの両方を呼び出すか、どちらかの
ポートを呼び出すかを選択します。



⑬ で「ダイヤルインサービスを
利用している」を選択した場合
は、「契約者回線番号」、「ダイヤル
イン番号(1)」と表示されます。

[電話番号のIWX70の無線ポートへの登
録]画面が表示されます。

14

入力した電話番号で呼び出す無線ポートを選択します。

1つの電話番号で全無線ポートを一齐に呼び出すか、指定した無線ポートだけを呼び出すかを選択します。



③で「ダイヤルインサービスを利用している」を選択した場合は、「契約者回線番号」、「ダイヤルイン番号(1)」と表示されます。

ダイヤルインサービスを利用する場合、契約者回線番号は1つの番号で全無線ポートを呼び出すか、1つの無線ポートだけを呼び出すかを選択します。ダイヤルイン番号はいずれか1つの無線ポートを呼び出します。



15

次へ ボタンをクリックします。

[設定内容のAtermIWX70への登録]画面が表示されます。

16

登録する内容を確認し、実行 ボタンをクリックします。



設定内容が、親機に内蔵されている不揮発性メモリに登録されます。

[IWX70のアナログポート/無線ポートの設定終了]画面が表示されます。

17

設定終了 ボタンをクリックします。



[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

インターネット接続の設定

親機または子機を接続したパソコンからインターネットに接続するための設定をします。『らくらくアシスタント』を使うと、インターネットに接続するためのプロバイダの設定や、ITMUX機能などが設定できます。画面に機能の説明などが表示されるので、内容を読みながら操作してください。

インターネットに接続するには、プロバイダとの契約が必要です。契約しているプロバイダから支給されたユーザ設定情報などの資料を用意してください。

ここではパソコンに子機を接続して、『らくらくアシスタント』で設定する手順を例に説明します。親機を接続して設定する場合は、画面に表示される内容が異なったり、一部表示されない画面があります。

Windows NT 4.0 の場合は、『らくらくアシスタント』でインターネットの設定をすることはできません。電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-9. インターネット接続の手動設定」を参照し、手動で設定してください。

プロバイダの契約がお済みでない場合は、NEC が運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みをすることもできます。

BIGLOBE に入会ご希望の場合は、『らくらくアシスタントメニュー』の [BIGLOBE へのサインアップ] を選択してください。BIGLOBE についての詳細は「8-10. インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介」(P.341)を参照してください。

- 1 [らくらくアシスタントメニュー] で [インターネット接続の設定] をクリックします。



[インターネット接続の設定] 画面が表示されます。

- 2 次へ ボタンをクリックします。



親機を接続して設定している場合は ③ の画面は表示されません。④ に進みます。

[経由する親機の選択] 画面が表示されます。

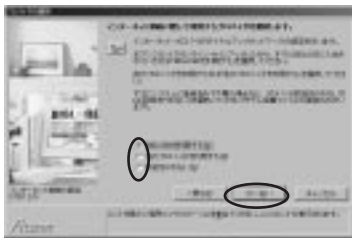
- 3 「AtermIW70 を経由して使用」を選択し、次へ ボタンをクリックします。



[プロバイダの選択] 画面が表示されます。

4

インターネット接続に利用するプロバイダがBIGLOBEの場合は「BIGLOBEを利用する」を選択し、その他のプロバイダを利用する場合は「他のプロバイダを利用する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



インターネットに接続するための設定が終わっている場合（すでにインターネットを利用していた場合など）は、親機または子機を使用するモデムとして設定するための「モデム情報ファイル」の登録と「Outlook Expressへのアカウント登録」だけをおこないます。ここで「設定を行わない」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、⑩に進みます。

[アクセスポイント情報の設定]画面が表示されます。

5

ユーザ設定情報などの資料を参照し、接続するアクセスポイントの情報を指定します。



「接続速度・方式」は、接続するアクセスポイントが対応している接続条件によって、次のように選択します。

同期 64 kbps

ISDN用アクセスポイントに接続するときに選択します。アクセスポイントの接続条件がわからない場合は、これを選んでください。

同期 128 kbps

Bチャンネルを2本同時に使って「128 kbps マルチリンク PPP 通信」(MP通信)で接続するときに選択します。MP通信に対応しているアクセスポイントに接続するときは、これを選んでください。なお、Windows Me / Windows 98 / Windows 95 で「同期 128 kbps」を選択した場合、インターネット接続の設定が完了したあとに、手動でモデムの最高速度を「115200」に設定する必要があります(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」)。詳細は⑪の画面に表示される内容を確認してください。

非同期

ISDN 回線非同期 57.6 kbps で接続するときに選択します。

PIAFS

PIAFS 2.0 または PIAFS 2.1 に対応したアクセスポイントに接続するときに選択します。

BIGLOBE を利用する場合は、最寄りのアクセスポイントの設定情報が表示されます。アクセスポイントを変更する場合は「最寄りの AP」の▼ボタンをクリックし、接続するアクセスポイントを選択すると電話番号や DNS が表示されます。

「接続先名」にプロバイダの名称などを任意に入力します。ここで入力した名前で、接続アイコンが作成されます。

「電話番号」には接続するアクセスポイントの電話番号を、半角数字で市外局番から入力します。入力できるのは数字・英字・ハイフンだけです。

「ログインID」(ユーザID、アカウント名など)と「ログインパスワード」は、利用者を識別するためのものです。必ず入力します。

DNS(Domain Name System) はインターネットに接続するためのサーバのアドレスを取得するためのもので、1 ~ 3 桁の 4 つの数字をピリオド (.) で区切って半角で指定します。「セカンダリ DNS」は、プロバイダから指示がなければ入力しなくても問題ありません。

6 次へ ボタンをクリックします。

親機を接続して設定している場合は 7 の画面は表示されません。8 に進みます。

[無線区間速度の設定] 画面が表示されます。

7 子機と親機との無線区間の通信速度を選択します。



通信速度を「64k」にすると、2 本ある無線チャンネルを両方使用して、64kbps の速度で親機と通信をおこないます。通信中に他の子機を使うことはできません。PHS 電話機やリモートステーションなどの他の子機を使用しない場合は、「64k」を選択してください。

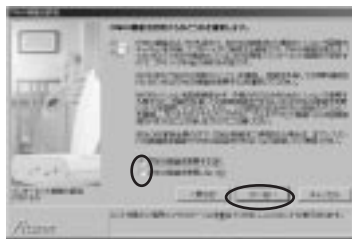
通信速度を「32k」にすると無線チャンネルを 1 本だけ使用するので、データ通信中に他の子機を使用することができます。PHS 電話機やリモートステーションなどの他の子機を同時に使いたい場合は、「32k」を選択してください。

無線区間の発信モードと着信モードは親機前面のファンクションボタンを使って、変更することもできます。(「6-1. ファンクションボタンで操作する」P.249)

8 次へ ボタンをクリックします。

[ITMUX 機能の設定] 画面が表示されます。

9 ITMUX 機能を使用するかどうかを選択し、次へ ボタンをクリックします。



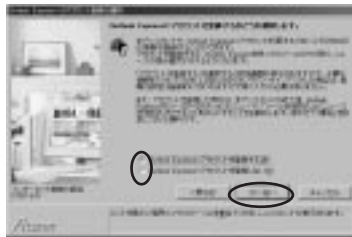
ITMUXを利用すると、1つのプロバイダとの契約(ユーザID)で2台のパソコンから同時に同じアクセスポイントに接続できます。1つのBチャンネルを使用して2台同時に接続することもできるので、もう1つのBチャンネルを使って電話をかけることもできます。親機と子機の両方にパソコンをつないで2台同時にインターネットに接続したい場合などは、「ITMUX 機能を使用する」を選択します。

ITMUXの詳細は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」を参照してください。

[Outlook Express へのアカウント登録の選択] 画面が表示されます。

10 Outlook Express にアカウントを登録するかどうかを指定し、次へ ボタンをクリックします。

電子メールの送受信をおこなうときに『Outlook Express』を使用する場合は、Outlook Express にユーザIDなどを登録します。

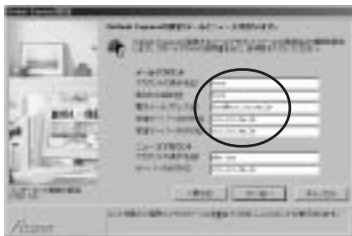


Outlook Expressにアカウントを登録しない場合は、**12**に進みます。

[Outlook Express の設定] 画面が表示されます。

11

メールアカウントとニュースアカウントを設定します。



「アカウントの表示名」には、メールを送受信するときに表示される名前を任意に入力します。「ニュースアカウント」はインターネット上の電子掲示板である「ネット・ニュース」を利用するためのアカウントで、サーバにアクセスして記事を読んだり、投稿することができます。利用しない場合は、入力する必要はありません。

12

次へ ボタンをクリックします。

親機を接続して設定している場合は **13** の画面は表示されません。**14**に進みます。

[親機の通信モードについて] 画面が表示されます。

13

子機と親機との無線区間の通信モードを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



[設定内容のシステムへの登録] 画面が表示されます。

14

登録する内容を確認し、**実行** ボタンをクリックします。



実行中はさまざまな設定の登録が自動的におこなわれます。特に指示がない限り、キーボードやマウスを操作しないでください。

[インターネット接続の設定終了] 画面が表示されます。

15

設定終了 ボタンをクリックします。



インターネットの接続の設定が終了し、[さらさらアシスタントメニュー] にもどります。



ここまでの設定で、電話をかけたりインターネットに接続するための設定が完了します。電話機能の詳細を設定するときなどは、必要に応じて5章以降の設定をしてください。すぐにインターネットに接続するときは、「3-4 .インターネットに接続する」(P.95)に進んでください。インターネットの設定は複数登録することができます。同期 64 kbps 接続用と同期 128kbps 接続用など、接続方式ごとに設定を登録し、使い分けることもできます。

3-4 . インターネットに接続する

親機がINS ネット 64 を通じてプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。

接続を確認する

プロバイダのアクセスポイントにダイヤルし、正しく接続できるか確認します。Windows 2000 をお使いの場合は、97 ページに進んでください。

Windows Me/Windows 98/ Windows 95/Windows NT 4.0 で接続する

ここでは Windows 98 搭載のパソコンでインターネットに接続する手順を例に説明します。

Windows Me/Windows 95/
Windows NT 4.0 の場合は、手順や画面が異なることがあります。

1 子機から接続する場合は、前面のPHSランプが緑色に点灯していることを確認します。

2 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。



マイコンピュータ

[マイコンピュータ]アイコンは図と異なることがあります。

Windows Meの場合は、**図 3-4-1** [設定] [コントロールパネル]を選択します。

[マイコンピュータ]ウィンドウが表示されます。

3 [ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



ダイヤルアップ
ネットワーク

[ダイヤルアップネットワーク]ウィンドウが表示されます。

4 接続アイコン(例: BIGLOBE64)をダブルクリックします。

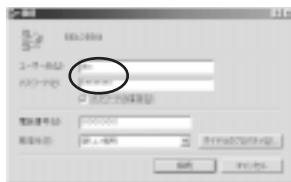


BIGLOBE64

「インターネット接続の設定」の**5**の画面(P.92)で「接続先名」に入力した名前の接続アイコンが表示されます。

[接続]画面が表示されます。

5 「ユーザー名」(ユーザID)がプロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料と合っていることを確認し、パスワードを入力します。



「パスワードの保存」をクリックして にすると、次の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

6 [接続] ボタンをクリックします。

親機がINS ネット 64 を通じて、プロバイダにダイヤルします。



プロバイダに電話をかけてつなぐと、ユーザー名(ユーザID)とパスワードの認証がおこなわれ、そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

タスクトレイのインジケータに [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンが表示されます。



INS ネット 64 に接続されます。

親機の液晶ディスプレイに、データ通信中を表す \rightarrow または \Rightarrow が表示されます。子機から接続したときは、PHS ランプが緑色または赤色に点滅します。

親機液晶ディスプレイ

\rightarrow	Bチャンネル1つで64kbps通信中
\Rightarrow	Bチャンネル2つで128kbps通信中
B1	B1チャンネル使用中
B2	B2チャンネル使用中

子機からPIAFSスルーモードでインターネットに接続した場合は、 \rightarrow / \Rightarrow は表示されません。

子機 PHS ランプ

緑色点滅	無線チャンネル1つで32kbps通信中
赤色点滅	無線チャンネル2つで64kbps通信中

7 タスクトレイのインジケータの [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンをダブルクリックします。



8 **切断** ボタンをクリックします。



INS ネット 64 との接続が切断されます。通信回線が正常に切断されると、親機の液晶ディスプレイに「データセットアップ中」と約 20 秒間表示されます。



切断 ボタンをクリックしても、親機の液晶ディスプレイに \rightarrow / \Rightarrow が表示されているときや、子機の PHS ランプが緑色 / 赤色で点滅しているときは、通信回線が繋がったままになっています。このようなときは親機に接続されている INS 回線ケーブルを抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS 回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから、INS 回線ケーブルを抜いてください。通信相手に接続できなかった場合に親機が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて 3 分間で 2 回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間を置いてから接続し直してください。接続できないときは、「7-1. 困ったときの Q & A」(P.282) を参照してください。



アクセスポイントに接続したあとに、認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかります。

Windows 2000 で接続する

Windows2000 搭載のパソコンでインターネットに接続する手順を説明します。

- 1 子機から接続する場合は、前面のPHSランプが緑色に点灯していることを確認します。
- 2 **ダイヤル** [設定] [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。
- 3 接続アイコン (例: BIGLOBE64) をダブルクリックします。



BIGLOBE64

「インターネット接続の設定」の⑤の画面 (P.92) で「接続先名」に入力した名前の接続アイコンが表示されます。

[接続] 画面が表示されます。

- 4 「ユーザー名」(ユーザID) がプロバイダから指定されたユーザ設定情報などの資料と合っていることを確認し、パスワードを入力します。



「パスワードの保存」をクリックして にすると、次の接続からパスワードを入力する必要がなくなります。

- 5 **ダイヤル** ボタンをクリックします。

親機がINS ネット 64 を通じて、プロバイダにダイヤルします。



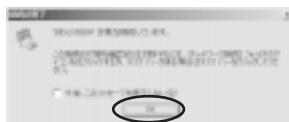
プロバイダに電話をかけてつなぐと、ユーザー名 (ユーザID) とパスワードの認証がおこなわれ、そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

[接続完了] 画面が表示され、タスクトレイのインジケータに [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンが表示されます。



INS ネット 64 に接続されます。

- 6 **OK** ボタンをクリックします。



親機の液晶ディスプレイに、データ通信中を表す \rightarrow または \Rightarrow が表示されます。子機から接続したときは、PHSランプが緑色または赤色に点滅します。

親機液晶ディスプレイ

\rightarrow	Bチャンネル1つで64kbps通信中
\Rightarrow	Bチャンネル2つで128kbps通信中
B1	B1チャンネル使用中
B2	B2チャンネル使用中

子機からPIAFSスルーモードでインターネットに接続した場合は、 \rightarrow / \Rightarrow は表示されません。

子機 PHS ランプ

緑色点滅	無線チャンネル1つで32kbps通信中
赤色点滅	無線チャンネル2つで64kbps通信中

7

タスクトレイのインジケータの[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをクリックします。



[状態]画面が表示されます。

8

切断 ボタンをクリックします。



INS ネット 64 との接続が切断されます。通信回線が正常に切断されると、親機の液晶ディスプレイに「テータ`セッタ`ン」と約 20 秒間表示されます。



切断 ボタンをクリックしても、親機の液晶ディスプレイに→ / ←が表示されているときや、子機のPHSランプが緑色/赤色で点滅しているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは親機に接続されているINS回線ケーブルを抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから、INS回線ケーブルを抜いてください。通信相手に接続できなかった場合に親機が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間を置いてから接続し直してください。接続できないときは、「7-1 . 困ったときのQ & A」(P.282)を参照してください。



アクセスポイントに接続したあとに、認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかかります。

ホームページを見る

プロバイダに接続してインターネットのホームページを見るときは、『Internet Explorer』や『Netscape Navigator』などのブラウザソフトを使用します。ブラウザソフトの設定や使い方については、ブラウザソフトの「ヘルプ」などを参照してください。

- 1 「Windows Me/Windows 98 / Windows 95/Windows NT 4.0 で接続する」①～⑥（ P.95 ）または「Windows 2000 で接続する」①～⑥（ P.97 ）を参照し、INS ネット 64 と接続します。

親機がプロバイダに電話をかけ、インターネットに接続します。

- 2 『Internet Explorer』や『Netscape Navigator』などのブラウザソフトを起動します。

- 3 「アドレス」に、見たいホームページのアドレスを入力し、**Enter**キーを押します。

例：Aterm ホームページ
<http://aterm.cplaza.ne.jp/>



AtermStationのアドレス、および画面は平成12年9月現在のものです。

接続を切断する

- 1 [ファイル] [閉じる]を選択し、ブラウザソフトを終了します。

- 2 「Windows Me/Windows 98 / Windows 95/Windows NT 4.0 で接続する」①～③（ P.96 ）または「Windows 2000 で接続する」①～③（ P.98 ）を参照し、INS ネット 64 との接続を切断します。

INS ネット 64 との接続が切断されます。



インターネットの接続を終了するときは、ブラウザソフトを終了させただけでは回線は切断されません。必ず切断操作をしてください。



2台のパソコンで別々のプロバイダに接続する「マルチアクセス」や、2つのBチャンネルを使って高速に通信する「128kbps マルチリンクPPP通信」など、データ通信をより活用するための機能を設定するときは、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」を参照してください。

Windows 98 でブラウザソフトのアイコンがないとき

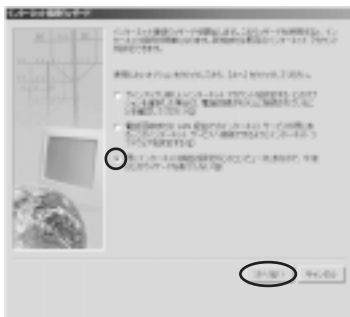
Windows 98 をご使用の場合で、デスクトップにブラウザソフト (Internet Explorer) のアイコンがないときは、以下の手順で [Internet Explorer] アイコンを作成します。

- ① デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします。



[インターネット接続ウィザード] 画面になります。

- ② 「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



- ③ [インターネット接続ウィザード] を終了します。

デスクトップに [Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが表示されます。



RS7 センターを利用する

添付 CD-ROM 『AtermIW70&RS7 ユーティリティ集』に収録されている『RS7 センター』を使用すると、次の機能が利用できます。

電波状況の確認

子機と親機間の電波状況を調査し、通信可能な状態を表示します。

接続

同期 64K 接続用と、同期 128K 接続用など、インターネット接続の設定を複数登録している場合に、接続先をメニューから選択して接続できます。

RS7 センターは「インターネット接続の設定」の ④ の画面 (P.94) でインストールできます。



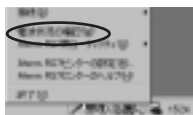
インストールすると、タスクトレイのインジケータに [RS7 センター] アイコンが常時表示されます。



ここでは「電波状況の確認」について説明します。

電波状況の確認

- ① タスクトレイのインジケータの [RS7 センター] アイコンを右クリックし、[電波状況の確認] を選択します。



[AtermRS7 センター] の電波状況の調査結果画面が表示されます。

- ② 電波状況を確認します。
電波状況が悪いときは、親機に近づけて [再調査] ボタンをクリックし、電波状況を再度確認してください。



- ③ [閉じる] ボタンをクリックします。

『RS7 センター』が終了します。



『RS7 センター』を実行中は、他の通信ソフトを起動しないでください。

子機からインターネットに接続する前に『RS7センター』を使用して、安定した無線電波状況であることを確認してから、接続を実行してください。
なお、電波状況は変動するので何回か電波状況を調査し、安定した状態であることを確認してからインターネットに接続してください。

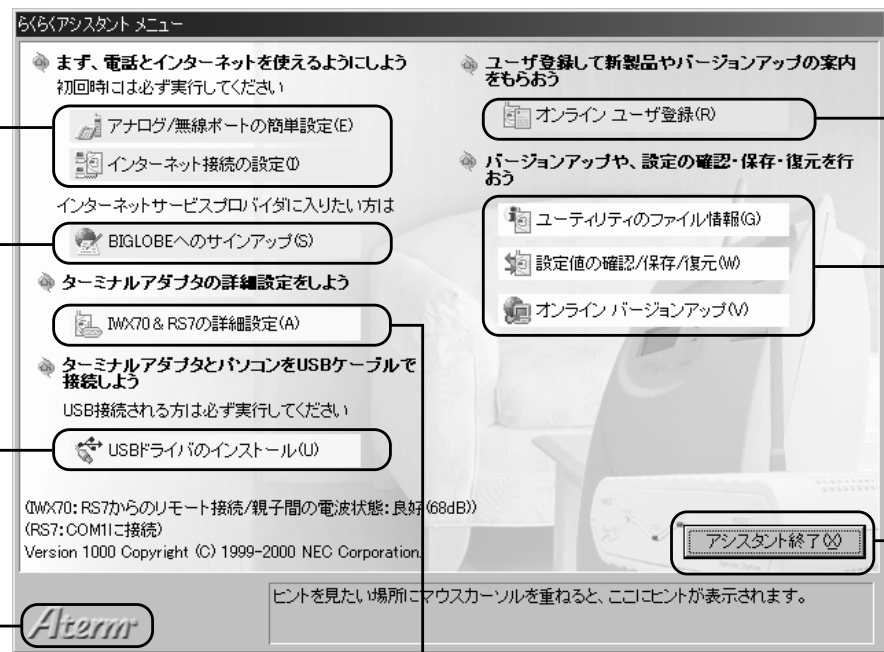
3-5 . らくらくアシスタントの使い方

アナログ/無線ポートの簡単設定
電話を使うための基本的な設定
をおこないます。(P.87)
インターネット接続の設定
インターネット接続のためのパソコンの設定をおこないます。
(P.91)

BIGLOBEへのサインアップ
NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』に、オンラインで入会申し込みができます

USBドライバのインストール
親機または子機のUSBポートにパソコンを接続する場合に、USBポートを使用するためのUSBドライバをインストールします。
(P.83)

「Aterm」のロゴマークをクリックすると、Atermのホームページ『AtermStation』にアクセスします。



オンラインユーザ登録
Atermを購入していただいた方のユーザ登録を、ホームページ『AtermStation』で受け付けています。
[オンラインユーザ登録] をクリックすると自動的にAtermStationに接続します。インターネット接続の設定が終了してからご利用ください。

ユーティリティのファイル情報
らくらくアシスタントのさまざまな設定を実行するためのプログラムのファイル名やバージョンが確認できます。

設定値の確認 / 保存 / 復元 (らくらくバックアップ)
親機と子機に設定されている内容を一覧表示したり、その情報をハードディスクなどに保存できます。保存した設定情報は復元できます。らくらくアシスタントの設定が完了したら、設定値を保存するようにしてください。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-2. Atermの設定内容を記録する」)

オンラインバージョンアップ
ホームページ『AtermStation』に接続して最新のファームウェアをダウンロードし、親機または子機をバージョンアップします。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-1. Atermをバージョンアップする」)

ターミナルアダプタの詳細設定

親機のアナログポート、無線ポート、データポートのさまざまな機能の設定をします。電話の機能の設定については「5-2. 親機の電話機能」(P.132)、データポートの機能については電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」を参照してください。

無線ポートの設定
子機との通信モードなど、無線A~Fポートに関する設定をします。
ワイヤレスセットに同梱のRS7は無線Aポートに増設登録されています。

データポートの設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

全体設定
親機の [全体設定] では電話番号や電話帳の設定、アナログポートと無線ポートに共通の設定、通信情報・通信料金の参照、設定値の初期化ができます。子機の [全体設定] では設定値の初期化ができます。

らくらくアシスタントを終了します。

4

Macintoshで簡単に設定する

Macintoshと親機または子機をつないでインターネットに接続したり、電話を使うための設定をします。

Macintoshで設定するには…………… 106



ユーティリティをインストールする…… 108



らくらくアシスタントで簡単に設定する …… 111



インターネットに接続する …………… 119



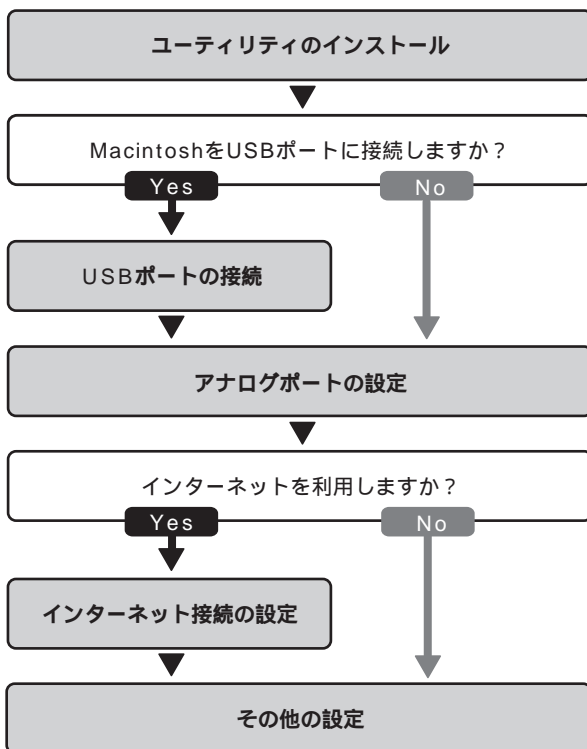
らくらくアシスタントの使い方…………… 122

4-1 . Macintosh で設定するには

Macintosh で親機と子機の設定をする手順を説明します。

設定の流れ

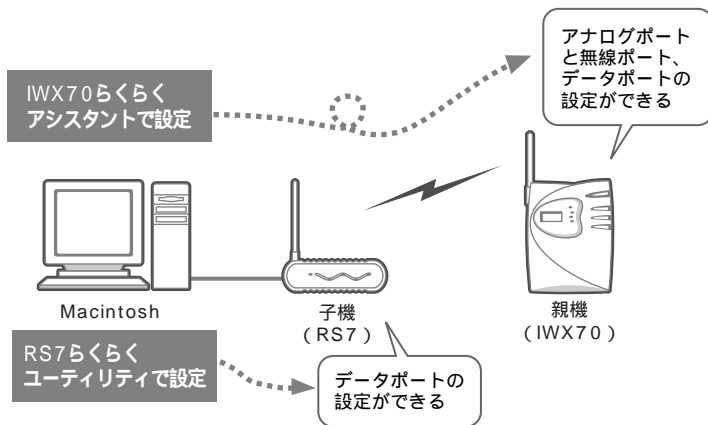
電話のさまざまな機能を使ったり、インターネットに接続するには設定が必要です。Macintosh で親機と子機の基本設定をするまでの流れは次のとおりです。



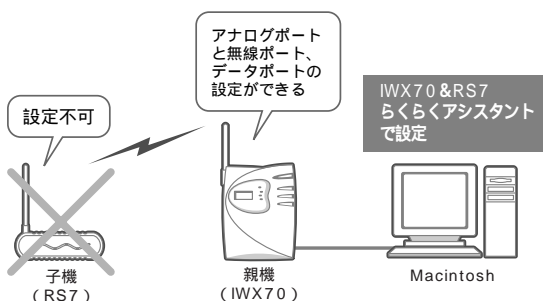
親機と子機を設定するには

添付ユーティリティ『IWX70らくらくアシスタント』と、『RS7らくらくユーティリティ』を使って親機と子機の設定をします。『IWX70らくらくアシスタント』を使うと親機の電話の設定やインターネットに接続するための設定が、画面に表示される案内にそって簡単に設定できます。子機独自の機能を設定するときは『RS7らくらくユーティリティ』で設定します。

また、親機にはパソコンを接続せず、子機にMacintoshを接続している場合でも、子機に接続したMacintoshから『IWX70らくらくアシスタント』を起動して、無線で親機の設定ができます。



親機を接続したパソコンから、子機の機能の設定はできません。子機に接続し直して設定してください。



ご使用のパソコン環境によっては、『らくらくアシスタント』が利用できない場合があります。詳細は「7-1. 困ったときのQ&A」(P280)を参照してください。『らくらくアシスタント』を使用しないでインターネット接続の設定をする場合は、手動で設定をおこないます。電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-8. インターネット接続の手動設定」を参照してください。

4-2 . ユーティリティをインストールする

『IWX70らくらくアシスタント』と『RS7らくらくユーティリティ』は、添付CD-ROM『Aterm IWX70&RS7ユーティリティ集』に収録されているので、Macintoshにインストールして使います。

ユーティリティをインストールする

親機を設定する『IWX70らくらくアシスタント』と、子機を設定する『RS7らくらくユーティリティ』をハードディスクにインストールします。

1 Macintoshを起動します。
ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。

2 添付CD-ROM『Aterm IWX70&RS7ユーティリティ集』をCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMのウィンドウが表示されます。

CD-ROMをセットしてもCD-ROMウィンドウが表示されないときは、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

3 [らくらくセットアップガイド]アイコンをダブルクリックします。



らくらくセットアップガイド

[セットアップガイド]のメニュー画面が表示されます。

4 [セットアップガイドを見ないでインストール]をクリックします。



[インストーラ集]画面が表示されます。

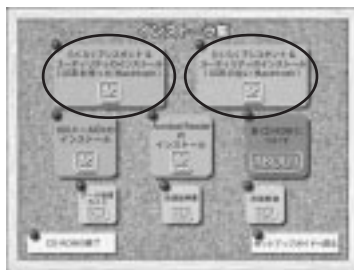
5 ご使用の環境に合わせてボタンをクリックします。

親機または子機をUSBポートに接続する場合

[USBを持ったMacintosh用]を選択します。これを選択するとUSBポートを使用するために必要な「USBドライバ」が一緒にインストールされます。

モデムポート(またはプリンタポート)に接続する場合

[USBのないMacintosh用]を選択します。



6 画面に表示される内容にしたがって、インストールを実行します。

『らくらくアシスタント』と『らくらくユーティリティ』がインストールされます。

7 [CD-ROMの終了]をクリックします。
[セットアップガイド]を終了します。

8 CD-ROMを取り出します。



[セットアップガイド]のメニューの1～5をご覧になって、その中でインストールすることもできます。

USB ポートに接続する

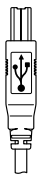
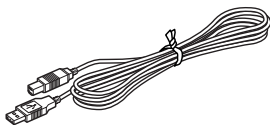
親機または子機の USB ポートに Macintosh を接続します。

Macintosh のモデムポート（またはプリンタポート）に親機または子機を接続する場合は、この操作は不要です。「4-3 .らくらくアシスタントで簡単に設定する」（P.111）に進みます。

親機 / 子機と USB ケーブルで接続できるのは、Mac OS 8.6 以上を搭載した Macintosh です。詳細は「7-1 . 困ったときの Q&A」（P.290）を参照してください。

USB ドライバを手動でインストールする場合は、USB ケーブルをパソコンに接続する前に USB ドライバをインストールしてください。（電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-4 . USB ドライバの手動インストール」）

- 1 USB ケーブルを用意し、コネクタの形状を確認します。

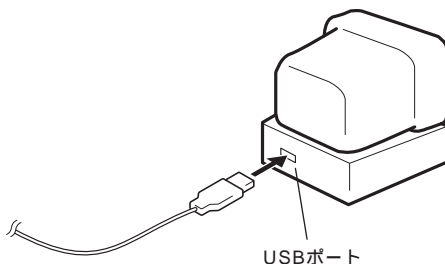


Aterm の USB ポート
に差し込みます



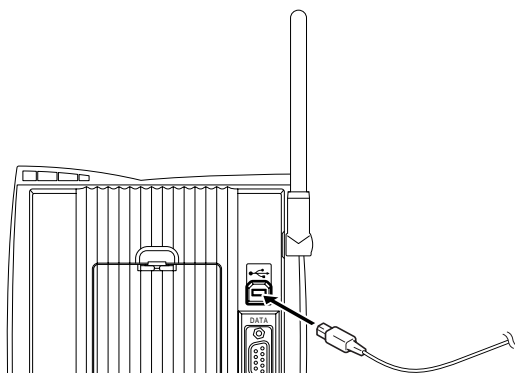
Macintosh の USB ポート
に差し込みます

- 2 USB ケーブルのコネクタが平らな形の方を、Macintosh の USB ポートに差し込みます。

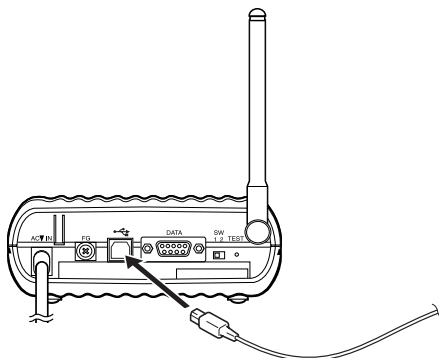


- ③ USBケーブルのもう一方を、親機または子機背面のUSBポートに差し込みます。

親機



子機



お願い

USBケーブルを延長して、親機または子機を接続することはできません。添付のケーブル、または別売のケーブル(「8-6.別売オプション」P.327)を使用してください。

4-3 . らくらくアシスタントで簡単に設定する

インストールした『IWX70 らくらくアシスタント』を使って、電話を使ったりインターネットに接続するための基本的な設定をします。親機にパソコンを接続せず、子機にMacintoshを接続している場合も『IWX70 らくらくアシスタント』を使って、親機の設定ができます。

らくらくアシスタントの起動の仕方

『IWX70 らくらくアシスタント』の起動のしかたを説明します。

- 1 ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。
- 2 ハードディスクの中の [IWX70 ユーティリティ] フォルダをダブルクリックし、[IWX70 らくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックします。



IWX70 らくらくアシスタント

- 3 親機または子機が接続されているポートを選択します。
USB ポートに接続している場合は「Aterm」を選択します。



[IWX70 らくらくアシスタント] 画面が表示されます。

- 4 ボタンをクリックします。
 ボタンを押しても『IWX70 らくらくアシスタント』が起動しないときは、親機または子機がMacintoshに認識されていません。親機または子機のシリアルポートまたはUSB ポートに、Macintoshが正しく接続できているか確認してください。それでも親機、子機が認識されない場合は、「7-1 . 困ったときのQ&A」(P.280)を参照してください。

- 5 設定する項目をクリックして選択し、必要な設定をおこないます。

それぞれの設定内容については122ページを参照してください。



各項目の設定が終わると[らくらくアシスタント]画面にもどります。

設定が終了したときなど、らくらくアシスタントを終了するときは ボタンをクリックします。「IWX70 らくらくアシスタントの実行を終了します。」と表示されるので、 ボタンをクリックします。



1 台のMacintoshには、親機または子機のどちらか1台を接続してください。
子機だけにMacintoshを接続している場合でも、親機の電源をONにしておいてください。子機に接続したMacintoshで『IWX70 らくらくアシスタント』を使って、無線で親機の設定ができます。



以前の説明は、5 の画面から操作する手順を説明します。『らくらくアシスタント』の起動の仕方は、このページを参照してください。

アナログポートの簡単設定

アナログポートに接続した機器を使うための基本的な設定をします。
[アナログポートの簡単設定]では次の設定ができます。

各ポートに接続する機器の種類
契約した電話番号の設定と各ポート
への割り当て

i・ナンバーまたはダイヤルイン
サービスの設定

INSナンバー・ディスプレイの設定
画面に機能の説明などが表示されるの
で、内容を読みながら操作をしてくだ
さい。

i・ナンバーやナンバー・ディス
プレイなどの機能の詳細は、「5-2 .親
機の電話機能」(P.132)を参照
してください。

1

[IWX70らくらくアシスタント]のメ
ニュー画面で[アナログポートの簡単
設定]をクリックします。



アナログポートに設定できる内容が表示
されます。

2

次へ ボタンをクリックします。



アナログポートの使い方を設定する画面
が表示されます。

3

電話 A ポート、電話 B ポートに接続し
ているアナログ通信機器を選択します。



ファクスおよびファクス付電話機、ま
たはモデムを接続する場合は、「FAX
やモデムを接続する」を選択します。機
器を接続しないポートは、「何も接続し
ない(使用しない)」を選択します。

4

INSネット64の付加サービス「INSナ
ンバー・ディスプレイ」を利用する場
合は、「ナンバー・ディスプレイを使用す
る」をクリックしてにします。

INSナンバー・ディスプレイの詳
細は「5-2 .親機の電話機能」(
P.168)を参照してください。

5

次へ ボタンをクリックします。

i・ナンバー/ダイヤルインを利用して
いるかを設定する画面が表示されます。

- 6 お手もとの「INS ネット 64 お申込票」を参照の上、i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを利用するか、どちらも利用しないかを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



i・ナンバー、ダイヤルインサービスの詳細は「5-2.親機の電話機能」(P.177、180)を参照してください。

何を選択したかによって次に表示される画面が異なります。

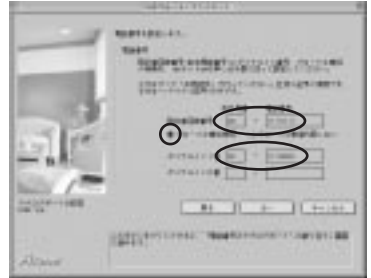
電話番号を設定する画面が表示されます。

- 7 電話番号(契約者回線番号)を市外局番から半角で入力します。

i・ナンバーを利用する場合
i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2を入力します。3つの電話番号を契約している場合は、i・ナンバー情報3も入力します。8に進みます。



ダイヤルインサービスを利用する場合
契約者回線番号を入力し、「グローバル着信利用」を選択します。「ダイヤルイン1番」、「ダイヤルイン2番」にダイヤルイン番号(追加番号)を入力して9に進みます。



INS ネット 64 の申し込みの際に、「ダイヤルインサービス」の「グローバル着信有」と契約していない場合は、「グローバル着信利用しない」を選択します。

i・ナンバー/ダイヤルインサービスとも利用しない場合
契約者回線番号を入力し、10に進みます。



- 8 「次へ」ボタンをクリックします。

電話番号を割り当てる画面が表示されます。

9

電話 A ポート、電話 B ポートを呼び出す電話番号を選択します。



10

次へ ボタンをクリックします。
設定内容の確認画面が表示されます。

11

登録する内容を確認し、実行 ボタンをクリックします。



設定内容が、親機に内蔵されている不揮発性メモリに登録されます。

12

設定終了 ボタンをクリックします。



[IWX70 らくらくアシスタント] のメニュー画面にもどります。

インターネット接続の設定

親機または子機を接続したMacintoshで、インターネットに接続するための設定をします。Mac OS 8以降に添付されている『インターネット接続アシスタント』を使います。

インターネットに接続するには、プロバイダとの契約が必要です。契約しているプロバイダから支給されたユーザ設定情報などの資料を用意してください。

ここではMac OS 8.6の『インターネット接続アシスタント』を例に説明します。お使いの環境によっては、手順や画面が異なることがあります。『インターネット接続アシスタント』の詳細は、アップルコンピュータにお問い合せください。

『インターネット接続アシスタント』が使用できない場合や、アシスタントを使わずにインターネット接続の設定をする場合は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-8. インターネットの接続の手動設定」を参照し、手動で設定してください。

プロバイダとの契約がお済みでない場合は、NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』にオンラインサインアップで入会申し込みをおこなうこともできます。BIGLOBEについての詳細は「8-10. インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介」(P.341)を参照してください。

1

[IWX70 らくらくアシスタント] のメニュー画面で [インターネット接続の設定] をクリックします。



- ② **実行** ボタンをクリックします。



[インターネット接続アシスタント]が起動します。

- ③ **はい** ボタンをクリックします。



- ④ 画面に表示される指示にしたがって操作を進めます。

- ⑤ [設定の名前と接続タイプの設定]画面が表示されたら、プロバイダの名前などを任意に入力します。(例: BIGLOBE)



- ⑥ 接続方法で「モデム」を選択し、▶をクリックします。

[モデム設定]画面が表示されます。

- ⑦ 「モデム」でモデムの種類(モデム情報ファイル)を選択します。



Macintoshを親機または子機のどちらに接続しているかによって、次のいずれかの表を参照してください。

親機

接続するアクセスポイントが対応する接続条件によって、次のようにモデムを選択します。

通常は、「NEC AtermIW 64kppp (同期64K)」を選択してください。

アクセスポイント	モデム情報 (CCLファイル)
非同期57.6K	NEC AtermIW 57.6k
同期64K	NEC AtermIW 64kPPP
同期128K	NEC AtermIW MP
PIAFS32K	NEC AtermIW 32kPIAFS
PIAFS64K	NEC AtermIW 64kPIAFS

USBポートに接続している場合は、モデム情報ファイルのうちに「(USB)」といったモデム情報を選択します。

アクセスポイントが対応している接続条件は、プロバイダにお問い合わせください。

子機

子機と親機との無線区間の通信方式によって、次のようにモデムを選択します。ワイヤレスセットで特に変更がない場合や、IWX70のモデムの種類をISDN用にした場合は、「NEC AtermRS DualLinks」を選択します。

無線区間の通信方式	モデム情報 (OCLファイル)
PIAFS32K (V.42bis圧縮なし)	NEC AtermRS Direct
PIAFS32K (V.42bis圧縮あり)	NEC AtermRS Compress
デュアルリンクワイヤ レス通信 (64kbps)	NEC AtermRS DualLinks

USBポートに接続している場合は、モデム情報ファイルのうしろに「(USB)」とついたモデム情報を選択します。

「デュアルリンクワイヤレス通信」はNEC独自の通信方式で、無線2チャンネルを使って64kbpsの速度で親機と通信し、同期/非同期アクセスポイントに接続ができます。

無線区間の発信モードと着信モードは親機前面のファンクションボタンを使って、変更することもできます。(「6-1. ファンクションボタンで操作する」P.249)

8 「ポート」で、親機または子機を接続したポートを選択します。

USBポートに接続している場合は「ポート」で「Aterm」を選択します。

9 「トーン、パルス」で「トーン」を選択します。

10 「ダイヤル音を無視する」をそのままにし、▶をクリックします。

[ISP情報]画面が表示されます。

11 プロバイダから配布されたユーザ設定情報などの資料を参照し、接続するアクセスポイントの電話番号、利用者名(ユーザID、アカウントなど)、パスワードを入力します。



12 ▶をクリックします。

[PPP接続スクリプト]画面が表示されます。

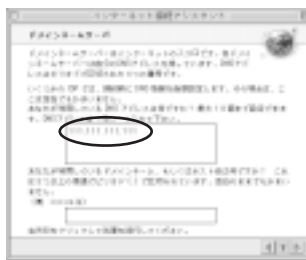
13 「いいえ」を選択し、▶をクリックします。



[ドメインネームサーバー]画面が表示されます。

14 プロバイダから指定されたDNSを入力します。

1行目にプライマリDNSを入力して改行し、2行目にセカンダリDNSを入力します。



DNS(Domain Name System) はインターネットに接続するためのサーバのアドレスを取得するためのもので、1 ~ 3桁の4つの数字をピリオド(.)で区切って半角で指定します。「セカンダリDNS」は、プロバイダから指定がなければ入力しなくても問題ありません。

15 ▶ をクリックします。

[電子メールアドレスおよびパスワード] 画面が表示されます。

16 電子メールアドレスとパスワードを半角の英数字で入力します。
大文字・小文字の区別など、プロバイダから指定されたとおりに入力します。



17 ▶ をクリックします。

[電子メールアカウントおよびホストコンピュータ] 画面が表示されます。

18 POPアカウントとSMTPを入力します。



19 ▶ をクリックします。

[ニュースグループホストコンピュータ] 画面が表示されます。

20 ニュースサーバーを入力します。
入力しなくても問題ありません。



21 ▶ をクリックします。

22 「いいえ」を選択し、▶ をクリックします。



[まとめ] 画面が表示されます。


23 「終了時に接続」を にし、 [設定する] ボタンをクリックします。



設定内容が記憶されます。

プロトコルを「PPP」に設定する

Mac OSのバージョンによっては、使用プロトコルが「自動」に設定されている状態だと、接続できない場合があります。プロトコルを「PPP」に変更します。

- ①  (アップルメニュー) [コントロールパネル] [リモートアクセス] を選択します。
- ② **オプション** ボタンをクリックします。
- ③ [プロトコル] タブをクリックします。
- ④ 「使用プロトコル」で「PPP」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



- ⑤ クローズボックスをクリックします。
[リモートアクセス] が終了します。



Mac OS 8.6は「使用プロトコル」の初期値が「自動」に設定されており、そのままだと正しく接続できません。「自動」に設定されているときは、親機または子機とMacintoshを接続しているケーブルをいったん抜いてから、「使用プロトコル」を「PPP」に変更してください。Mac OS 9をお使いの場合に、ブラウザを起動した状態でリモートアクセスを切断しても再発信してしまうときは、「AppleTalk」を「OFF」にしてください。AppleTalkについては、Macintoshに添付の取扱説明書を参照してください。



同期64Kと同期128K通信を切り替えるなど、接続条件を変えたいときは、モデムの種類(CCLファイル)を変更します。詳細は電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-8 . インターネット接続の手動設定」を参照してください。


4-4 . インターネットに接続する

親機がINS ネット 64 を通じてプロバイダにダイヤルし、インターネットに接続します。

接続を確認する

プロバイダのアクセスポイントにダイヤルし、インターネットに接続できるか確認します。

① 子機から接続する場合は、前面のPHSランプが緑色に点灯していることを確認します。

② メニューバーの  (アップルメニュー) から、[コントロールパネル] [リモートアクセス] (または [PPP]) を選択します。

[リモートアクセス] (または [PPP]) 画面が表示されます。



③ **接続** ボタンをクリックします。





親機がINS ネット 64 を通じて、プロバイダにダイヤルします。



プロバイダに電話をかけてつなぐと、名前 (ユーザID) とパスワードの認証がおこなわれます。そのあとプロバイダのホストコンピュータに接続され、次の画面が表示されます。



親機の液晶ディスプレイに、データ通信中を表す  または  が表示されます。子機から接続したときは、PHSランプが緑色または赤色に点滅します。

親機液晶ディスプレイ

	Bチャンネル1つで64kbps通信中
	Bチャンネル2つで128kbps通信中
B1	B1チャンネル使用中
B2	B2チャンネル使用中

子機からPIAFSスルーモードでインターネットに接続した場合は、 /  は表示されません。

子機 PHS ランプ

緑色点滅	無線チャンネル1つで32kbps通信中
赤色点滅	無線チャンネル2つで64kbps通信中

4 『Internet Explorer』や『Netscape Navigator』などのブラウザソフトを起動します。

5 「アドレス」に、見たいホームページのアドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

例：Aterm ホームページ
http://aterm.cplaza.ne.jp/



AtermStation のアドレスおよび画面は平成12年9月現在のものです。

接続を切断する

1 [ファイル] [終了]を選択し、ブラウザソフトを終了します。

2 [リモートアクセス] (または [PPP]) 画面の **接続を切る** ボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします。

インターネットの接続が切断されます。通信回線が正常に切断されると、親機の液晶ディスプレイに「データセツタ ン」と約 20 秒間表示されます。



インターネットの接続を終了するときには、ブラウザソフトを終了させただけでは回線は切断されません。必ず切断操作をしてください。

接続を切る ボタンをクリックしても、親機の液晶ディスプレイに **→/←** が表示されているときや、子機の PHS ランプが緑色 / 赤色で点滅しているときは、通信回線がつながったままになっています。このようなときは親機に接続されている INS 回線ケーブルを抜いて、通信回線を強制的に切断してください。なお、INS 回線ケーブルを抜くとすべての通信が切断されるので、電話機などの他の機器が通信中ではないことを確認してから、INS 回線ケーブルを抜いてください。

通信相手に接続できなかった場合に親機が同じ番号に自動的に再発信する回数は、最初の発信から数えて 3 分間で 2 回以内に制限されています。この制限内で接続できなかった場合は、時間をおいてから接続し直してください。

接続できないときは、「7-1 . 困ったときの Q & A」(P.282)を参照してください。



アクセスポイントに接続したあとに、認証の失敗などでインターネットに接続できなかった場合も、通信料金がかかります。

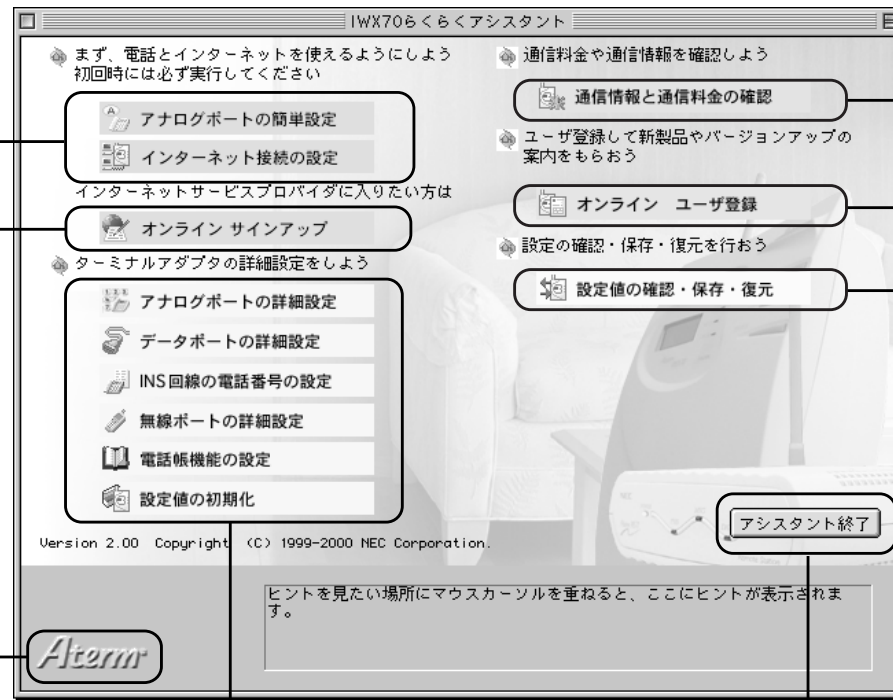
2台のパソコンで別々のプロバイダに接続する「マルチアクセス」や、1つのユーザIDで2台同時に接続する「ITMUX」などのデータ通信の機能を設定するときは、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」を参照してください。

4-5 .らくらくアシスタントの使い方

アナログポートの簡単設定
電話を使うための基本的な設定をおこないます。(P.112)
インターネット接続の設定
インターネット接続のためのパソコンの設定をおこないます。(P.115)

オンラインサインアップ
NECが運営するインターネットプロバイダ『BIGLOBE』に、オンラインで入会申し込みができます。

「Aterm」のロゴマークをクリックすると、Atermのホームページ『AtermStation』にアクセスします。



通信情報と通信料金の確認
ポートごとの通信料金や、着信・発信した電話番号を表示します。

オンラインユーザ登録
Atermを購入していただいた方のユーザ登録を、ホームページ『Aterm Station』で受け付けています。
[オンラインユーザ登録] をクリックすると自動的にAtermStationに接続します。インターネット接続の設定が終了してからご利用ください。

設定値の確認・保存・復元
(らくらくバックアップ)
親機に設定されている内容を一覧表示したり、その情報をハードディスクなどに保存できます。保存した設定情報は復元できます。らくらくアシスタントの設定が完了したら、設定値を保存するようにしてください。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-2 . Atermの設定内容を記録する」)

らくらくアシスタントを終了します。

親機のアナログポート、無線ポート、データポートのさまざまな機能の設定をします。電話の機能の設定については「5-2 . 親機の電話機能」(P.132)、データポートの機能については電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1 . データ通信の機能」を参照してください。

アナログポートの詳細設定
キャッチホンや受話音量など、アナログポートに関する設定をします。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

INS回線の電話番号の設定
契約者回線番号を入力したり、i・ナンバー、ダイヤルインサービスを利用するかなどを設定します。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線A～Fポートに関する設定をします。
ワイヤレスセットに同梱のRS7は無線Aポートに増設登録されています。

電話帳機能の設定
短縮ダイヤルや迷惑電話などを登録します。

設定値の初期化
親機に設定した内容を消去し、一部の設定をのぞいて工場出荷時の状態にもどします。(「7-2 . Atermを購入したときの状態にもどす」 P.298)

5

さまざまな機能

Atermのワイヤレス通信機能やさまざまな電話の機能、メール機能を説明します。

ワイヤレス通信機能 126

親機の電話機能 132

Atermのメール機能 233

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

5-1 . ワイヤレス通信機能

ワイヤレスセットはワイヤレス通信機能を搭載しているため、ワイヤレスセットに同梱のRS7や、増設登録されたマルチモバイルカード「AtermRC45」などの子機から、インターネットに接続することができます。また親・子機間で内線通信し、ワイヤレスネットワークを利用することもできます。

ワイヤレスデータ通信の種類

親機 (IWX70) は PHS を利用したデータ通信規格の PIAFS2.0 版、PIAFS2.1 版に準拠しており、親機と親機に増設登録された子機間で PIAFS32K、PIAFS64K の無線通信ができます。また NEC 独自方式の「デュアルリンクワイヤレス通信」を利用すると、64kbps の無線通信が可能です。

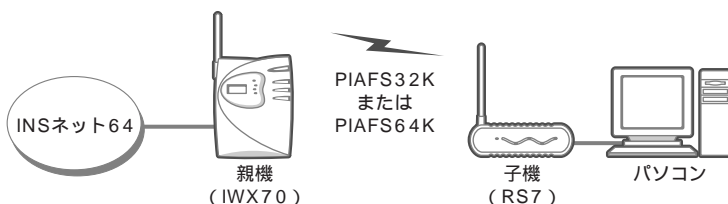
ここではデータ通信の種類を説明します。

親・子機間の無線通信

親・子機間の無線区間は、次の 2 つの通信モードのどちらかで通信をおこないます。

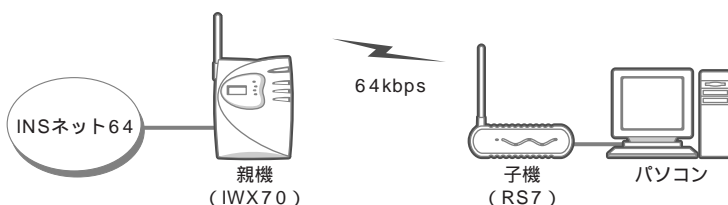
PIAFS32K / PIAFS64K 通信

子機に接続されたパソコンから、PIAFS32K または PIAFS64K でデータ通信をおこないます。PIAFS32K のときは無線 1 チャンネルを使って 32kbps で通信し、PIAFS64K のときは無線 2 チャンネルを使って 64kbps で通信します。



デュアルリンクワイヤレス通信 (NEC 独自方式) [初期値]

子機のデータポートに接続されたパソコンから、無線 2 チャンネルを使って最大 64kbps のデータ通信をおこなう NEC 独自の通信方式です。親機のプロトコル変換モードによって同期 / 非同期 PPP 変換が可能なので、プロバイダのアクセスポイントとも接続できます。



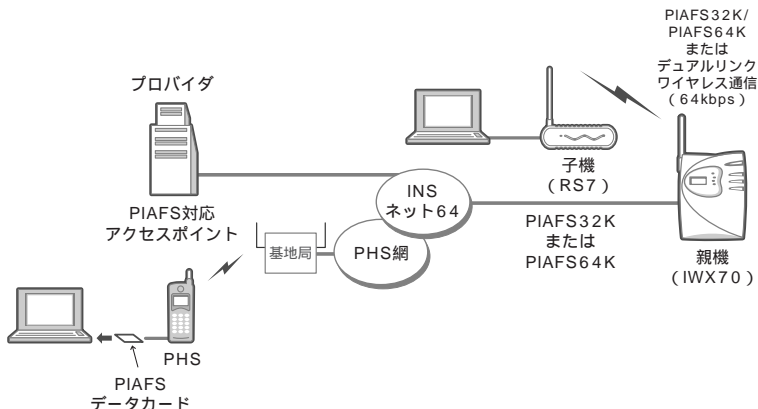
初期値はデュアルリンクワイヤレス通信です。設定を変更する場合は、『らくらくアシスタント』で RS7 のデータポートの「デュアルリンク発信」の設定を変更します。PIAFS64K とデュアルリンクワイヤレス通信は無線チャンネルを 2 つ使うため、通信中は他の無線ポートは使用できません。

INS ネット 64 との通信

子機から受信したデータは、PIAFS スルーモードまたはプロトコル変換モードで、親機から INS ネット 64 に送信します。

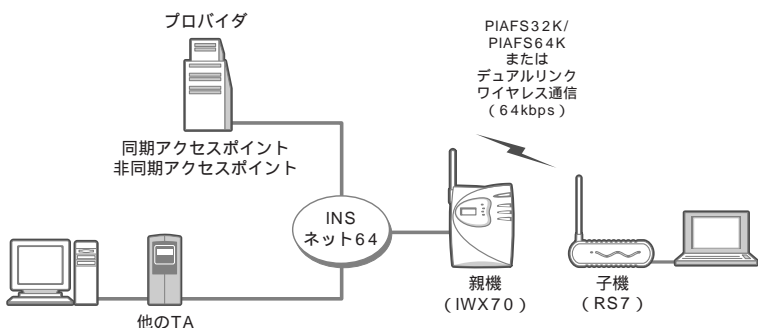
PIAFS スルーモード

リモートステーションや PHS 電話機などの子機からの PIAFS データを、親機で変換せずそのまま INS ネット 64 に送ります。PIAFS 対応アクセスポイント、または PHS 網に接続された PHS データ端末と直接データ通信をします。



プロトコル変換モード (同期 PPP または非同期 PPP への変換) [初期値]

リモートステーションや PHS 電話機などの子機からの PIAFS データを、親機で一時的に終端し、相手の通信モードに合わせてデータを変換します。PIAFS に対応していないターミナルアダプタやアクセスポイントとも通信ができるので、多くの同期または非同期アクセスポイントに接続できます。なお、同期データへの変換は PPP データに限定されます。



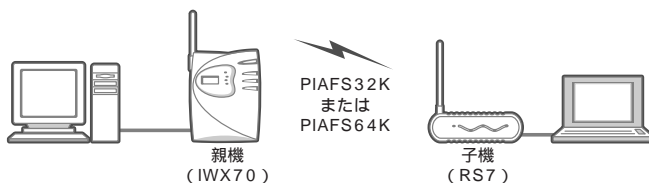
初期値はプロトコル変換モードです。設定を変更する場合は、『らくらくアシスタント』で無線ポートのデータ発信モードを変更します。ワイヤレスデータ通信は無線でプロトコルを変換するため、親機にパソコンを接続して通信したときよりも、通信速度は遅くなります。子機から PIAFS スルーモードで通信した場合、プロトコル変換モードよりも通信速度は速くなります。

内線データ通信をする

親機に接続されているパソコンと、ワイヤレスセットに同梱のRS7や増設登録されたマルチモバイルカード「AtermRC45」などの子機に接続されたパソコンとの親・子機間、または子機に接続されているパソコン間で簡易ネットワークを構築し、ワイヤレス機能を利用して内線でファイルやプリンタの共有ができます。

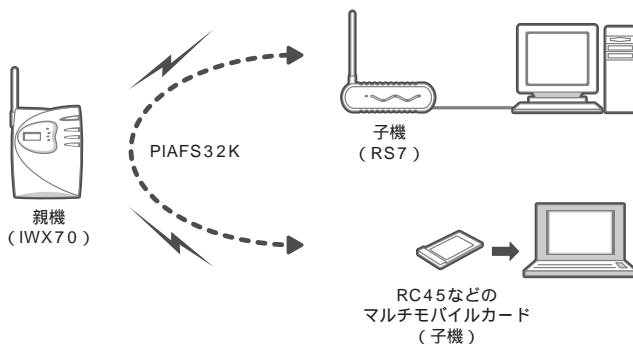
親・子機間通信

親・子機間で、PIAFS32K または PIAFS64K 通信ができます。



子機間通信

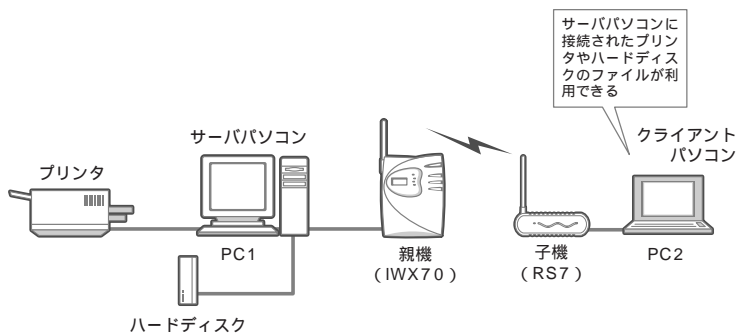
親機を介して、ワイヤレスセットに同梱のRS7 や別売のAtermRC45 などの子機どうしで、PIAFS32K 通信ができます。



簡易ネットワークを構築するにはWindowsの「Microsoft ネットワーク」を使用します。内線データ通信が利用できるのは、Windows® Me/Windows® 98/Windows® 95/Windows® 2000 を搭載したパソコンです。

ファイルやプリンタの共有

親機と子機に接続されたパソコン間で、ファイルやプリンタを共有できます。



ファイルやプリンタを共有するには、各パソコンでネットワークとダイヤルアップの設定が必要です。



親機にWindowsを搭載した2台のパソコンを接続し、同様の簡易ネットワークを構築することもできます。Atermでは、これを「USBネットワーク」と呼びます。



内線データ通信は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「4. USBネットワークと内線データ通信」を参照し、以降の設定をしてください。

内線番号

親機と、親機に増設登録された子機には、以下の内線番号が割り当てられます。子機は増設登録の際に内線番号が決定し、その内線番号に対応した親機の無線ポートが割り当てられます。なお、ワイヤレスセットに同梱のRS7は、出荷時に内線番号91（無線Aポート）に登録されています。

内線データ通信では、電話番号のかわりに次のように内線番号を指定してダイヤルアップ接続します。

親機の接続ポート	内線番号
USBポート	71
シリアルポート	81
無線Aポート	91
無線Bポート	92
無線Cポート	93
無線Dポート	94
無線Eポート	95
無線Fポート	96

ダイヤルアップでの発信

データ通信の種類に合ったモデム情報ファイルを選択するか、または電話番号（内線番号）のうしろに「DL」を付けて発信します。

発信先	電話番号
USBポート	#/71DL
シリアルポート	#/81DL
無線Aポート	#/91DL
無線Bポート	#/92DL
無線Cポート	#/93DL
無線Dポート	#/94DL
無線Eポート	#/95DL
無線Fポート	#/96DL



子機間通信をおこなう場合は「DL」は付けません。 例 #/71

AT コマンドでの発信

AT コマンドを使って発信する場合は、「ATD」(ダイヤル発信)コマンドを使用します。AT コマンドの詳細は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「5. AT コマンド」を参照してください。

発信先	ATコマンド
USBポート	ATD#/71DL
シリアルポート	ATD#/81DL
無線Aポート	ATD#/91DL
無線Bポート	ATD#/92DL
無線Cポート	ATD#/93DL
無線Dポート	ATD#/94DL
無線Eポート	ATD#/95DL
無線Fポート	ATD#/96DL



一般の PHS カードの発信では、内線番号のうしろに「DL」は付けません。

5-2 . 親機の電話機能

親機はNTT東日本・NTT西日本が提供するINSネット64の付加サービスに対応しているので、さまざまな電話の機能が利用できます。またINSネット64の付加サービスと同等の機能を実現するAterm独自の「疑似機能」があり、付加サービスを申し込まなくても利用できる機能があります。

電話機能一覧

親機は次の機能が使用できます。



Atermの機能またはINSネット64の基本サービスで利用できる機能で、通話料金以外の課金はありません。



INSネット64の付加サービスで、表に書かれている付加サービスの契約と月額料金が必要です。

	目的	機能名	必要な付加サービスの契約	参照ページ
基本機能	家の中で話す	内線通話	¥0 なし	P.147
	内線電話に転送する	内線転送	¥0 なし	P.149
	相手の声の音量を調節する	受話音量調節	¥0 なし	P.152
	短縮番号で電話をかける	短縮ダイヤル	¥0 なし	P.154
話し中のとき	話し中に別の電話を受ける	INSキャッチホン	¥ フレックスホン (INSキャッチホン)	P.156
		疑似キャッチホン	¥0 なし	
	3人で同時に話す	三者通話	¥ フレックスホン (三者通話)	P.159
		疑似三者通話	¥0 なし	
電話番号を表示する	自分の電話番号を相手に知らせる	発信者番号通知	¥0 なし	P.164
	相手に知らせる電話番号を指定する	発信者番号指定	¥0 なし	P.166
	着信した電話番号を表示する	INSナンバー・ディスプレイ	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.168
		INSナンバー・リクエスト	¥ INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・リクエスト	
	話し中にかかってくる電話番号を表示する	キャッチホン・ディスプレイ	¥ INSナンバー・ディスプレイ INSキャッチホン	P.171
	かけてきた相手の電話番号を見る	着信履歴表示	¥ INSナンバー・ディスプレイ	P.175
	かけてきた相手に電話をかけ直す	着信履歴先発信		
	電話番号や電話機を使い分ける	2つまたは3つの電話番号を使い分ける	i・ナンバー	¥ i・ナンバー
	複数の電話番号を使い分ける	ダイヤルインサービス	¥ ダイヤルインサービス	P.180
	着信する電話機の優先順位をつける	優先着信ポート指定	¥0 なし	P.185
	特定の電話機に着信させる	サブアドレス	¥0 なし	P.187

目的	機能名	必要な付加サービスの契約	参照ページ	
お出かけ/おやすみになるとき	電話機の着信音を鳴らさない	なし	P.190	
	別の電話番号に転送する	着信転送	フレックスホン(着信転送)	P.193
		疑似着信転送	なし	
	ボイスワープで転送する	INSボイスワープ	INSボイスワープ	P.196
		INSボイスワープ・セレクト	INSボイスワープ・セレクト	
着信音を鳴らさずに着信を知らせる	フラッシュモード	なし	P.201	
電話を転送する	別の電話番号に転送する	フレックスホン(着信転送)	P.204	
		疑似着信転送		なし
	話し中に別の電話番号に転送する	通信中転送	フレックスホン(通信中転送)	P.207
特定の相手を対象にする	特定の電話だけ着信する	識別着信	INSなりわけサービス INSナンバー・ディスプレイ	P.210
		疑似識別着信	INSナンバー・ディスプレイ	
	特定の電話の着信音を変える	識別リングング	INSなりわけサービス	P.213
		疑似なりわけ	INSナンバー・ディスプレイ	
	話し中にかかってきた特定の電話だけを受け取る	INSなりわけ選択キャッチホン	INSなりわけサービス (選択キャッチホン)	P.216
		疑似選択キャッチホン	INSナンバー・ディスプレイ	
	受けたくない電話の着信を拒否する	迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話おことわりサービス	P.217
		迷惑電話防止	INSナンバー・ディスプレイ	
	特定の電話機だけに着信させる	マイプライベート着信	INSナンバー・ディスプレイ	P.220
	特定の電話を別の電話番号に転送する	識別着信転送	INSなりわけサービス	P.222
		疑似識別着信転送	INSナンバー・ディスプレイ	
	高位レイヤ整合性を設定する	HLC	なし	P.226
ダイヤルで使う	着信した電話番号をモデム信号で送出する	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	P.229	
	着信した電話番号をプッシュ信号で送出する	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス	P.231	



INS ネット 64 の付加サービスを利用するには、対応するサービスの契約が必要です。また、通話料金の他に別途月額料金がかかります。付加サービスの料金などの詳細は、NTT 東日本または NTT 西日本にお問い合わせください。

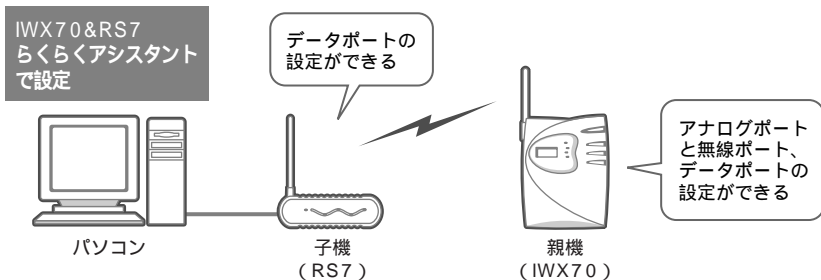
設定のしかた

親機の電話機能は、パソコンから設定する方法と、電話機から設定する方法があります。設定は子機に接続したパソコンからもできます。141ページ以降の手順は、子機にパソコンを接続している場合を例に説明します。

ここでは使用するユーティリティと設定できる内容を説明します。

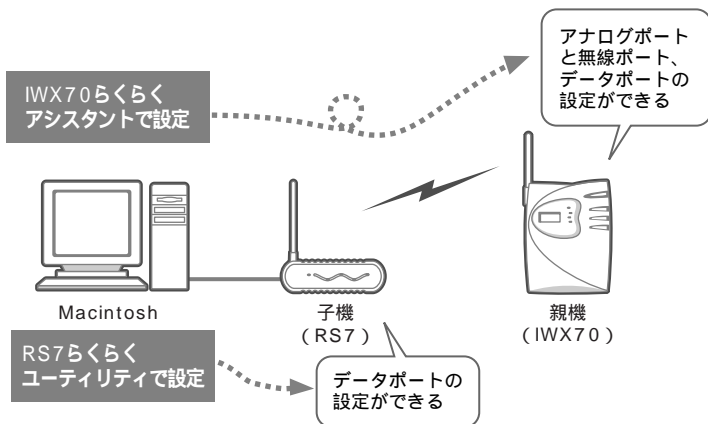
子機にパソコン（Windows）を接続している場合

Windows 搭載のパソコンに子機を接続している場合は、『IWX70&RS7 らくらくアシスタント』を使用して親機と子機の両方の設定ができます。親機は子機から無線で設定されます。（「Windows での設定方法」P.136）



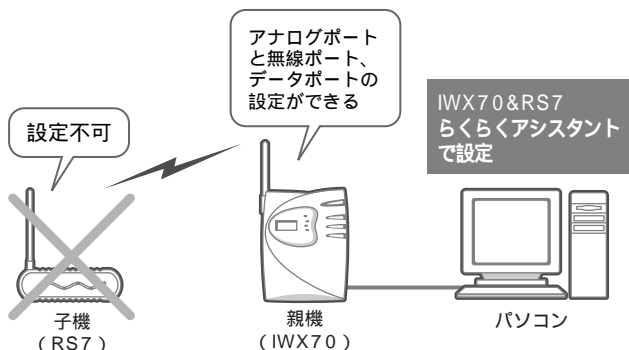
子機に Macintosh を接続している場合

Macintosh に子機を接続している場合は、『IWX70 らくらくアシスタント』を使用して子機から無線で親機の設定ができます。子機の設定は『RS7 らくらくユーティリティ』で設定します。（「Macintosh での設定方法」P.138）



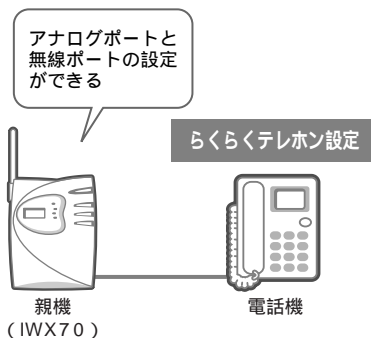
親機にパソコンを接続している場合

親機にパソコンを接続している場合は、『IWX70 & RS7 らくらくアシスタント』(Macintoshの場合は『IWX70 らくらくアシスタント』)で親機の設定ができます。親機を接続したパソコンから、子機の機能の設定はできません。



親機と子機のどちらにもパソコンを接続していない場合

親機に電話機だけを接続している場合は、『らくらくテレホン設定』で親機の設定ができます。『らくらくテレホン設定』ではデータポートの設定はできません。(「電話機での設定方法」P.140)



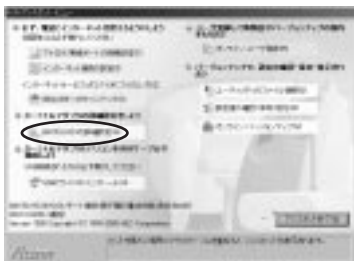
Windows 搭載のパソコンでは『らくらくアシスタント』を使って親機と子機の設定をします。らくらくアシスタントはあらかじめパソコンにインストールしておきます。(「3-2.らくらくアシスタントをインストールする」P.80)

① ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。

② **スタート** [プログラム] [Aterm IWX70&RS7 ユーティリティ] [IWX70&RS7らくらくアシスタント] を選択します。

親機または子機が接続されているポートを検出し、接続が確認できると、[らくらくアシスタントメニュー]が表示されます。

③ [IWX70&RS7の詳細設定]をクリックします。



[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

④ 設定するポートを選択します。親機、子機で設定できる内容は右記を参照してください。

設定できないポートはグレーで表示されます。

⑤ 設定が終了したら **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]にもどります。

⑥ **メニューに戻る** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。[らくらくアシスタントメニュー]にもどります。

⑦ **アシスタント終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。らくらくアシスタントが終了します。

親機の設定

全体設定
親機全体に共通する電話番号や、電話帳などの設定をします。また、親機の設定を消去するときもここを選択します。

アナログポートの設定
キャッチホンや受話音量など、電話 A ポートと電話 B ポートに関する設定をします。

以降の説明は、電話 A ポートの設定を例に説明します。電話 B ポートは「停電時の動作」の設定以外、電話 A ポートと同様の設定ができます。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線 A ~ F ポートに関する設定をします。

以降の説明は無線 A ポートの設定を例に説明します。無線 B ~ F ポートの設定も同様です。



お知らせ

1 台のパソコンから親機と子機の両方の設定をするには、子機にパソコンを接続して親機の電源を ON にしておきます。子機から無線で親機の設定ができます。



お願い

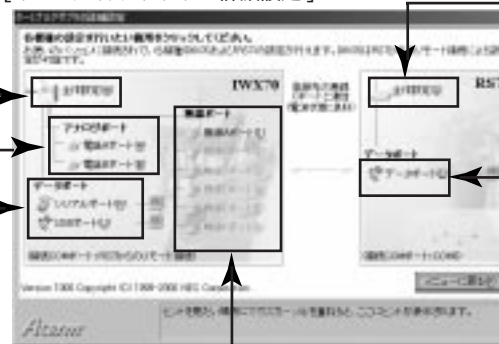
1 台のパソコンには、親機または子機のどちらか 1 台を接続してください。141 ページ以降の電話機能の説明は、次ページの[ターミナルアダプタの詳細設定]画面から設定する方法を説明します。『らくらくアシスタント』の起動やメニュー画面の表示方法などは、このページを参照してください。

子機の設定

全体設定
子機の設定を消去します。

データポートの設定
デュアルリンク通信や無通信監視タイムなど、シリアルポートまたはUSBポートに関する設定をします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]



設定画面の操作のしかた

設定画面の操作のしかたを説明します。

表示ボックス - すでに入力されている番号などが表示されます。

タブ - クリックして設定画面を切り替えます。

ボタン - クリックすると、別の画面が表示されます。

設定項目選択 - クリックして設定項目を切り替えます。

ドロップダウンリストボックス - ▾をクリックし、その中の1つを選択します。

チェックボックス - クリックして を切り替えます。

テキストボックス - 電話番号などを入力します。

オプションボタン - をクリックしてどれか1つを選択します。

Macintoshに親機を接続している場合は、『IWX70らくらくアシスタント』を使って親機の機能の設定をします。Macintoshに子機を接続している場合は、『IWX70らくらくアシスタント』を起動すると無線で親機の設定ができ、『RS7らくらくユーティリティ』を使うと子機の設定ができます。らくらくアシスタント、らくらくユーティリティはあらかじめパソコンにインストールしておきます。(「4-2. ユーティリティをインストールする」P.108)

IWX70 らくらくアシスタント

親機のアナログポート、無線ポート、データポートの設定をします。

- 1 ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、そのアプリケーションを終了します。
- 2 ハードディスクの中の [IWX70 ユーティリティ]フォルダをダブルクリックし、[IWX70 らくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックします。
- 3 親機または子機を接続しているポートを指定します。
USB ポートに接続している場合は「Aterm」を選択します。
- 4 **OK** ボタンをクリックします。
[IWX70 らくらくアシスタント]画面が表示されます。
- 5 設定する項目を選択します。
設定できる内容は右記を参照してください。
- 6 設定が終了したら **アシスタント終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。
らくらくアシスタントが終了します。



1 台の Macintosh から親機と子機の両方の設定をするには、子機に Macintosh を接続して親機の電源を ON にしておきます。子機から無線で親機の設定ができます。



1 台の Macintosh には親機または子機のどちらか 1 台を接続してください。141 ページ以降の電話機能の説明は、次ページの [IWX70 らくらくアシスタント] 画面から設定する方法を説明します。『らくらくアシスタント』の起動やメニュー画面の表示方法などは、このページを参照してください。

アナログポートの詳細設定
キャッチホンや受話音量など、電話 A ポートと電話 B ポートに関する設定をします。

以降の説明は電話 A ポートの設定を例に説明します。電話 B ポートは「停電時の動作」の設定以外、電話 A ポートと同様の設定ができます。

データポートの詳細設定
ITMUXやBODなど、シリアルポートとUSBポートに関する設定をします。

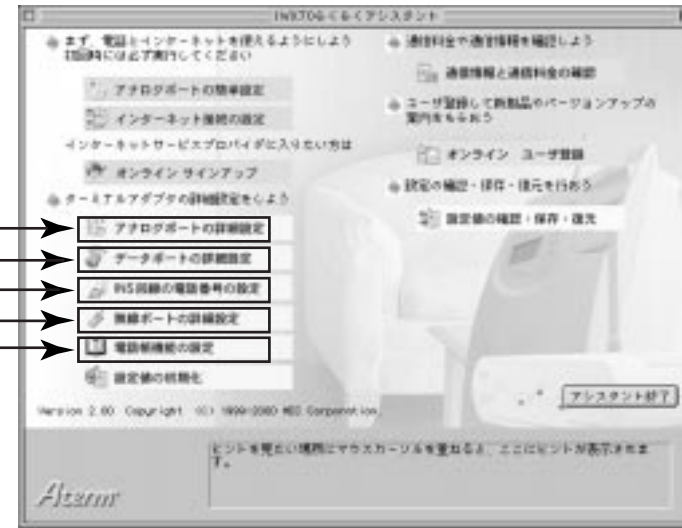
INS 回線の電話番号の設定
契約した電話番号を入力したり、ポートごとの電話番号の呼び分けなどを設定します。

無線ポートの詳細設定
子機との通信モードなど、無線 A ~ F ポートに関する設定をします。

以降の説明は無線 A ポートの設定を例に説明します。無線 B ~ F ポートの設定も同様です。

電話帳機能の設定
短縮ダイヤルや迷惑電話などを登録します。

[IWX70 らくらくアシスタント]



設定画面の操作のしかた

設定画面の操作のしかたを説明します。

表示ボックス - すでに入力されている番号などが表示されます。

タブ - クリックして設定画面を切り替えます。

設定項目選択 - クリックして設定項目を切り替えます。

チェックボックス - クリックして を切り替えます。

ドロップダウンリストボックス - ▼ をクリックし、その中の 1 つを選択します。

オプションボタン - をクリックしてどれか 1 つを選択します。

ボタン - クリックすると、別の画面が表示されます。

テキストボックス - 電話番号などを入力します。

RS7 らくらくユーティリティ

子機のデータポートの設定をします。

- 1 ハードディスクの中の[RS7ユーティリティ]フォルダをダブルクリックし、[AtermRS7 Utility]アイコンをダブルクリックします。



AtermRS7 Utility

子機が接続されているポートを検出し、接続が確認できると[RS7らくらくユーティリティ]画面が表示されます。

- 2 デュアルリンクワイヤレス通信や強制切断タイムなど、データポートに関する設定をします。



- 3 **終了** ボタンをクリックします。

- 4 **はい** ボタンをクリックします。
[RS7らくらくユーティリティ]が終了します。



141ページ以降の『らくらくアシスタント』の設定は、Windowsの画面を例に説明します。Macintoshの場合は、138ページの[IWX70らくらくアシスタント]画面から操作します。

電話機での設定方法

親機の液晶ディスプレイで確認しながら、電話機のプッシュボタンを使ってアナログポートの設定ができます。この操作を『らくらくテレホン設定』といいます。

らくらくテレホン設定の操作方法、各機能の設定方法は「6-2. 電話機で設定する」(P.251)を参照してください。



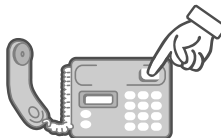
親機または子機にパソコンを接続している場合は、『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。らくらくアシスタントは、パソコンの画面で内容を確認しながら設定ができます。

基本操作

フッキング

「フッキング」とは、電話機のフックを軽く押し離す操作のことをいいます。内線転送や三者通話、キャッチホンなどで通話相手を切り替えるときに使用します。

フックを軽く押し離す



フッキング操作は、電話機のフックを軽く押し離してすぐに離してください。長い時間フックを押すと、電話が切れます。



ほとんどの電話機には、フッキング操作をおこなうためのボタン(例：フッキングボタン、キャッチボタンなど)があります。操作方法については、電話機の取扱説明書を参照してください。

PHS電話機でフッキング操作をするときは、**保留**または**通話**ボタンを押します。どちらのボタンを押すかは、PHS電話機の機種によって異なります。PHS電話機の取扱説明書を参照してください。

設定

フッキング操作がうまくできない場合は、フッキングが認識される時間(フッキング検出タイム)を調節します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、フッキングを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。

- ③ 「フッキング検出タイマ」で「検出時間を短くする」(0.03 ~ 1 秒)「検出時間を普通にする」(0.3 ~ 1 秒)「検出時間を長くする」(0.5 ~ 1.5 秒)の中から選択します。



- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

電話機の使い方

ここでは、ダイヤルしてから発信するまでの時間の設定(ダイヤル桁間タイマ)と、すぐに発信するときの [#] の使い方について説明します。

親機に接続した電話機の電話のかけ方、受け方は、「2-2. 親機を接続する」(P.64)を参照してください。

ダイヤル桁間タイマ

電話番号をダイヤルしてから INS ネット 64 回線に発信するまでの時間を設定します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、ダイヤル桁間タイマを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「ダイヤル桁間タイマ」でダイヤルしてから発信するまでの時間を「5 秒」、「9 秒」、「11 秒」、「13 秒」の中から選択します。



- ④ [OK] ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

「#」の使い方

電話番号をダイヤルすると、ダイヤル桁間タイマで設定した時間が経過してから、INS ネット64回線に発信されます。ダイヤル桁間タイマをはたらかせずにすぐに発信する場合は、電話番号をダイヤルしたあとに **#** を押します。

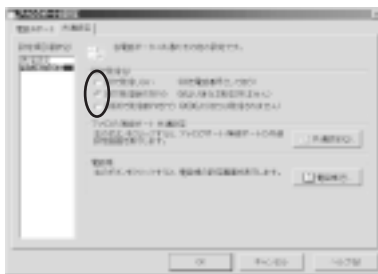
この **#** の使い方を設定します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、アナログポートのいずれかを選択します。
電話 A ポート、電話 B ポートに共通の設定です。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② [共通設定] タブをクリックします。
- ③ 「設定項目選択」で「その他の設定」を選択します。
- ④ 「[#]で発信」で **#** を電話番号として使用するか、**#** を押してから発信するか、**# #** と押してから発信するかを選択します。



- ⑤ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

PHS の使い方

PHS 電話機を子機として増設登録すると、電話機のコードレス子機として家の中で使うことができます。親機と組み合わせて使用すると、電話の発信・着信のほかには次の機能が利用できます。

短縮ダイヤルでの発信
プッシュホンサービス（トーン信号の送出）
PIAFS32K / PIAFS64K データ通信
サブアドレスを指定した発信



利用できる機能は PHS 電話機により異なります。機種によっては上記の機能が利用できないものもあります。

PHS 電話機を子機として使用した場合、PHS 公衆モードで利用できる留守番電話サービスや文字メッセージサービスなどのネットワークサービスは利用できません。子機として PHS 電話機を使用した場合は、INS ネット 64 を通じて発信・着信をおこないます。この場合、PHS 網に対する通話料金はかかりません。

PHS をご使用の前に

子機として PHS 電話機を使用する前に、以下の点を確認してください。

PHS 電話機の機種

使用する PHS 電話機の機種を確認してください。接続できる機種については下記をご覧ください。

ホームページ『AtermStation』

<http://aterm.cplaza.ne.jp/>（平成 12 年 9 月現在）

増設登録

PHS 電話機と親機の両方に増設登録（ID 登録）が必要です。増設登録はお近くの NEC 保守サービス受付拠点（ P.337 ）または PC クリーンスポット（ P.332 ） お買い上げいただいた販売店で有料にて承りますのでお問い合わせください。

待ち受けモードの設定


PHS 電話機をコードレス子機として使用するときは、PHS 電話機の待ち受けモードを「オフィスモード」（構内モード）またはオフィスモードを含む「デュアルモード」が「オートモード」に設定します。待ち受けモードの設定方法や動作については、PHS 電話機の取扱説明書を参照してください。



PHS のオフィスモードごとにワイヤレスシリーズ親機を 1 台ずつ登録すると、1 台の PHS 電話機を複数のワイヤレスシリーズ親機の子機として増設登録ができます。

PHS で電話をかける

親機に増設登録された PHS 電話機で外線通話をするときの電話のかけ方を説明します。

- 1 PHS 電話機の **電源** ボタンを押して電源を入れます。
- 2 PHS 電話機が通話可能な状態（例：PHS 電話機の液晶ディスプレイに  マークが表示されるなど）であることを確認します。
- 3 発信する相手の電話番号をダイヤルします。
例 **通話** または **通話** （時報）
- 4 つながったか確認します。
- 5 **切** ボタンを押します。

PHS で電話を受ける

親機に増設登録された PHS 電話機で、外線からの電話を受ける手順を説明します。

- 1 どなたかに電話をかけてもらいます。
PHS 電話機の着信音が鳴ります。
- 2 **通話** ボタンを押して通話します。
- 3 通話が終わったら、**切** ボタンを押します。



PHS 電話機が通話可能な状態にならないときは、次の点を確認してください。

- 親機の電源が入っているか
- 待ち受けモードが正しいか
- 親機と PHS 電話機の距離が離れすぎしていないか
- PHS 電話機のバッテリーが充分あるか



通話可能な状態を表すマークは、PHS 電話機の機種によって異なります。詳細は PHS 電話機の取扱説明書を参照してください。
PHS 電話機から発信するときは、親機の液晶ディスプレイに発信に関する表示は出ません。

基本機能

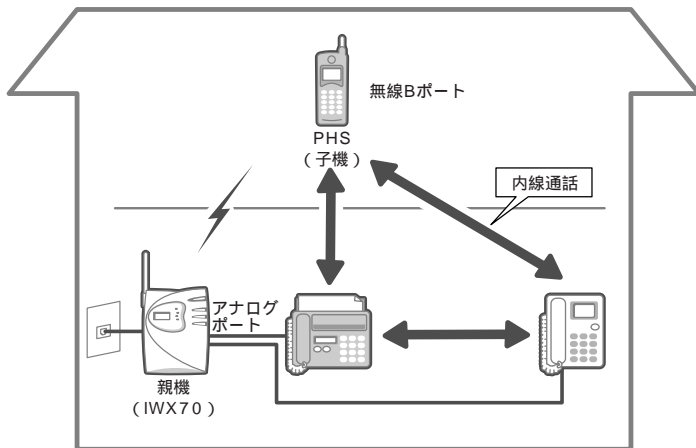
家の中で話す（内線通話）

内線通話

親機に接続された電話機や増設登録された PHS 電話機間で内線通話ができます。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

- 1 電話機の受話器を上げます。
PHS 電話機： **通話** ボタンを押します。
- 2 **#** ***** を押したあとに、呼び出す電話機の内線番号を次のように押します。
 - ① 親機の電話 A ポート
 - ② 親機の電話 B ポート
 - ⑨ ⑦ 無線ポート一斉呼び出し
 - ⑨ ① 無線 A ポート
 - ⑨ ② 無線 B ポート
 - ⑨ ③ 無線 C ポート
 - ⑨ ④ 無線 D ポート
 - ⑨ ⑤ 無線 E ポート
 - ⑨ ⑥ 無線 F ポート

呼び出された電話機の着信音が鳴ります。

すぐに発信する場合は、内線番号のあとに **#** を押します。

例 **#** ***** **9** **2** **#**

- 3** 着信音が鳴っている電話機の手話器を上げます。

PHS 電話機： **通話** ボタンを押します。

- 4** 通話が終わったら、手話器を置きます。

PHS 電話機： **切** ボタンを押します。

設定

工場出荷時の状態で使用できるように設定されています。



親機に増設登録されたPHS電話機やAtermRS20などのリモートステーションに接続された電話機と、内線通話することもできます。その場合、親機と PHS 電話機やリモートステーションの両方に増設登録が必要です。

INS ネット 64 と接続していなくても、内線通話をすることができます。

停電時は使用できません。

内線通話中に外線から着信があると、「ブツッ」と割り込み音がして着信を知らせます。電話機のフックを軽く押して離す「フッキング」操作をすると、内線通話を切って外線と通話できます。（「フッキング」P.141）

内線通話は無線 1 チャネルを使用します。内線通話中に空いている無線 1 チャネルを使って、電話やデータ通信ができます。

子機として増設登録した PHS 電話機で内線通話をするときは、PHS 電話機に付いている **内線** ボタンは使用できません。

内線通話をしないように設定するときは、『らくらくアシスタント』の [アナログ / 無線ポート共通設定] で変更します。



PHS 電話機から発信するときに、PHS 電話機のディスプレイで相手の電話番号を確認してから発信する場合は、**1** と **2** の操作を逆にしてください。このとき内線番号のあとに **#** は押さないでください。

例 **#** ***** **9** **2** **通話**

内線電話に転送する（内線転送）

内線転送

外線がかかってきた電話を、親機に接続されたもう1台の電話機や増設登録されたPHS電話機などに転送します。



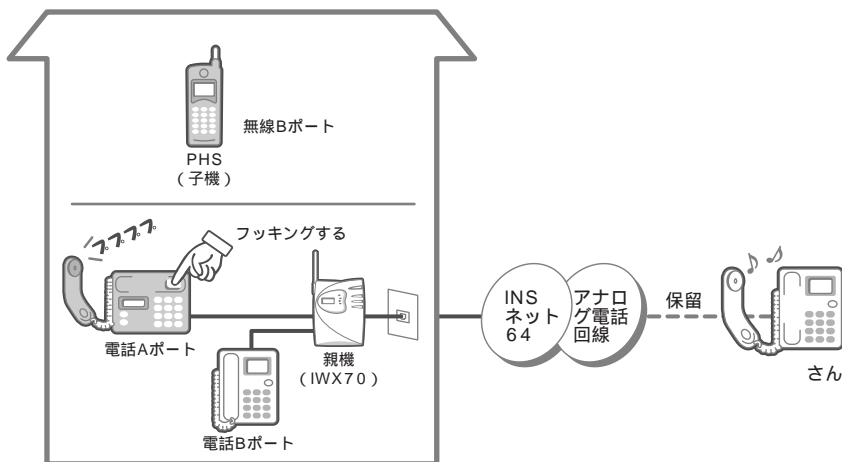
付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 外線の さんと通話中に、電話機のフックを軽く押してすぐ離します（「フッキング」といいます）。

PHS 電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。

「ブブブ」と割り込み音が聞こえ、 さんは保留になります。



② # * を押してから、転送するポートの内線番号を次のように押します。

- ① 親機の電話 A ポート
- ② 親機の電話 B ポート
- ⑨ ⑦ 無線ポート一斉呼び出し
- ⑨ ① 無線 A ポート
- ⑨ ② 無線 B ポート
- ⑨ ③ 無線 C ポート
- ⑨ ④ 無線 D ポート
- ⑨ ⑤ 無線 E ポート
- ⑨ ⑥ 無線 F ポート



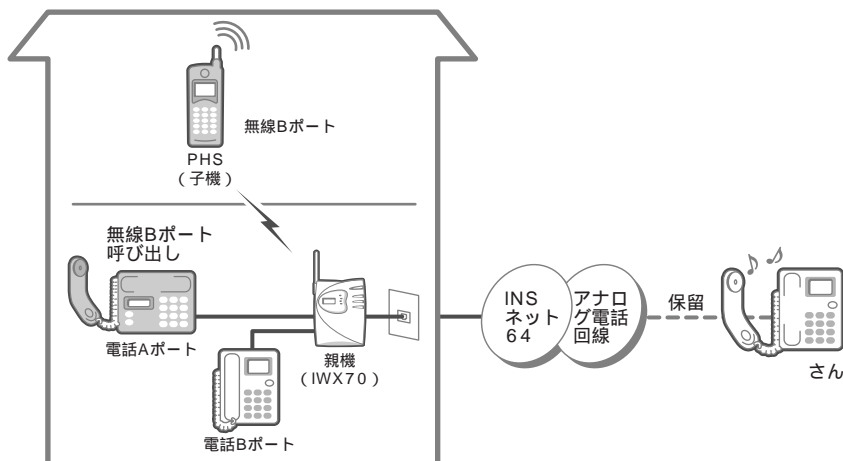
呼び出すポートの番号を押す
(無線Bポート呼び出し)

呼び出された電話機の着信音が鳴ります。

フッキングしたあと、ダイヤル桁間タイマの時間内(初期値:5秒)に内線番号をダイヤルしてください。

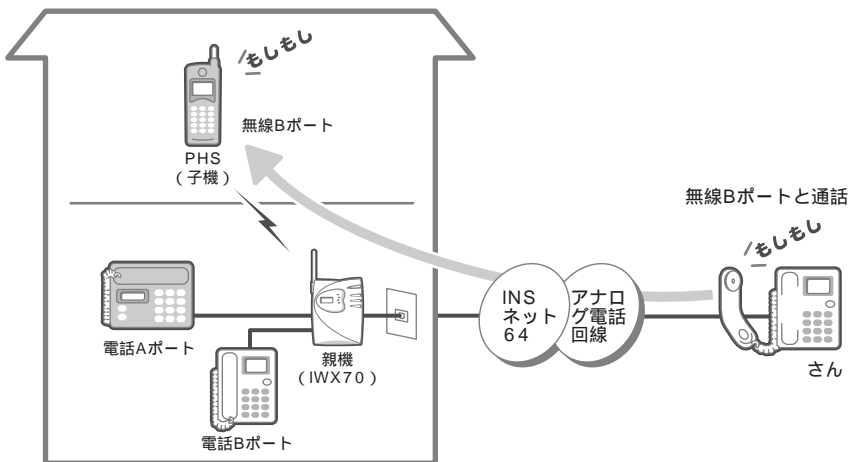
フッキングをしたあと、転送先を呼び出さずにそのままにしていると、さんとの通話にもどります。

転送先を呼び出している間にもう一度フッキングすると、さんとの通話が再開できます。



- ③ そのまま受話器を置くか、転送先の相手が出たら転送することを伝えて受話器を置きます。

さんと転送先で通話ができます。



設定

工場出荷時の状態で使用できるように設定されています。



お知らせ

親機に増設登録されたPHS電話機や、AtermRS20などのリモートステーションに接続された電話機に、内線転送することもできます。その場合、親機とPHS電話機やリモートステーションの両方に増設登録が必要です。

同一回線内にバス接続された別のターミナルアダプタに接続されている電話機に転送することはできません。

停電時は使用できません。

内線転送は無線1チャンネルを使用します。内線転送中に空いている無線1チャンネルを使って、電話やデータ通信ができます。

内線転送をしないように設定するときは、『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポート共通設定]で変更します。

相手の声の音量を調節する（受話音量調節）

受話音量調節

通話中に受話器から聞こえる相手の声の音量を調節します。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

- 1 通話中に **[*]** **[#]** を押します。

相手の声の音量が次のように3段階で切り替わります。

「 小 中 大 」

初期値は「中」です。

設定

親機の初期設定は、通話中の受話音量が変更できないようになっています。通話中に受話音量を変更したい場合は、あらかじめ設定しておきます。

電話機で操作します。

- 1 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[1]** **[*]**、無線ポートを設定するときは **[*]** **[*]** **[7]** **[*]** と押しします。
- 2 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- 1 電話 A ポート
- 2 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- 0 全無線ポート共通
- 1 無線 A ポート
- 2 無線 B ポート
- 3 無線 C ポート
- 4 無線 D ポート
- 5 無線 E ポート
- 6 無線 F ポート



③ * 1 4 * 1 # と押します。

通話受話音量を変更しない(* # 無効)にするときは、* 1 4 * 0 # と押します。

他のポートを続けて設定するときは、②にもどります。

④ # を押してから、受話器を置きます。

通話相手の電話機によっては、通話中に * # を押すと、相手側の電話機を受話音量が切り替わることがあります。その場合は「通話中の受話音量を変更しない」(初期値)にもどしてください。

通話中に * # を押すと、通信妨害になることがあります。その場合は「通話中の受話音量を変更しない」(初期値)にもどしてください。

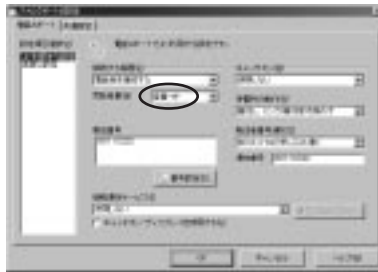
『らくらくアシスタント』で受話音量をあらかじめ設定しておくこともできます。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、受話音量を設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

② 「受話音量」で「音量・小」、「音量・中」、「音量・大」の中から選択します。



③ OK ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

短縮番号で電話をかける（短縮ダイヤル）

短縮ダイヤル

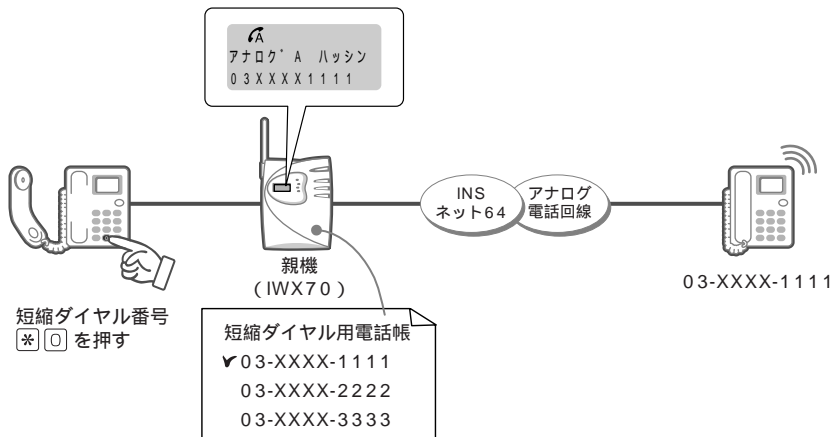
電話番号を10個まで登録できます。登録した電話番号は[*][0]～[*][9]の短縮ダイヤル番号で発信します。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 電話機の手受器を上げます。
PHS電話機：(通話) ボタンを押します。
受話器から「ツー」という発信音が聞こえます。
- 2 [*] を押してから、かけたい電話番号が登録されている短縮ダイヤル番号 [0] ~ [9] を押します。
登録されている電話番号に発信します。



- 3 通話が終わったら、受話器を置きます。
PHS電話機：(切) ボタンを押します。

設定

『らくらくアシスタント』で短縮ダイヤル用電話帳に電話番号を登録します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話帳の設定]を選択します。

[電話帳]画面が表示されます。

- ② 00 ~ 09の中から登録する番号を選択します。



- ③ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ④ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑤ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)
- ⑥ **更新** ボタンをクリックします。
指定した短縮番号に登録されます。
- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

話し中のとき

話し中に別の電話を受ける（キャッチホン）

話し中にかかってきた別の相手と通話します。通話中だった相手は保留にします。キャッチホンには次の2種類があります。

INSキャッチホン

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「INSキャッチホン」（有料）と「通信中着信通知サービス」（無料）を契約します。

疑似キャッチホン

Atermの機能です。

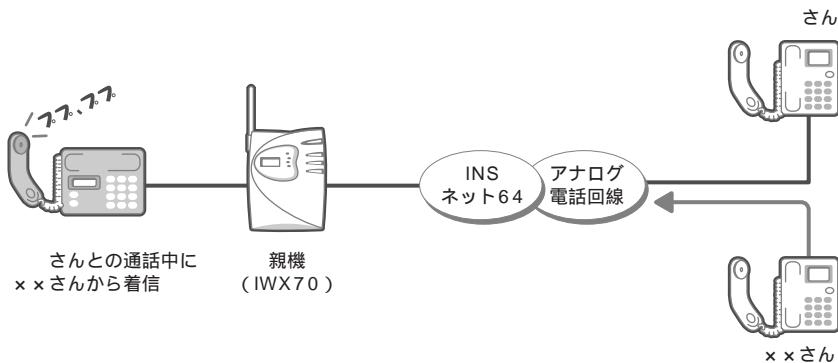
B1、B2チャンネルの両方を使用するので、通話中は内線通話以外の通信はできません。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

- 1 さんと通話中に××さんから着信があると、「プブ、プブ」という割り込み音が聞こえます。

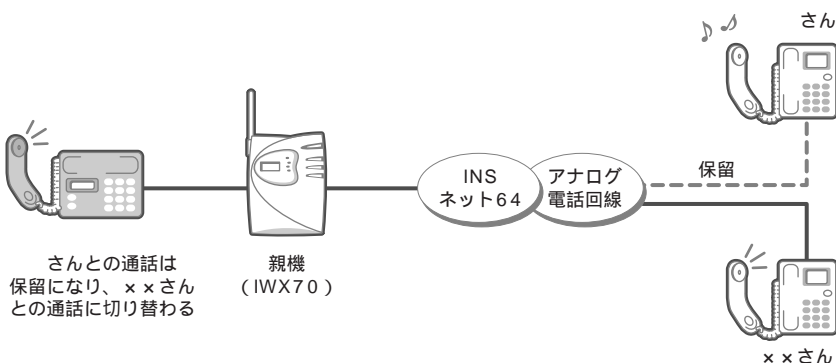


- 2 電話機のフックを軽く押してすぐ離します（「フッキング」といいます）。
PHS電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。

フッキングする



- ③ ××さんと通話します。
 さんは保留になります。



- ④ 再度 さんと通話するときは、もう一度フッキングします。
 PHS 電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。

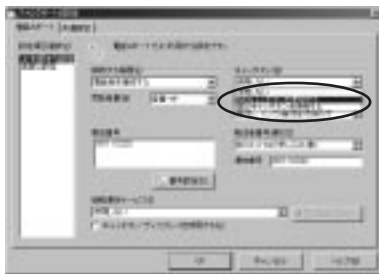
設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

Aterm の疑似キャッチホン機能を使用するか、INS ネット 64 のキャッチホンを使用するかを選択します。

ここでは、Windows 98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、キャッチホンを設定するアナログポートを選択します。
 [アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② 「キャッチホン」で、「INS キャッチホンを使用する」または「疑似キャッチホンを使用する」を選択します。



- ③ [OK] ボタンをクリックします。
 [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



フッキング操作については 141 ページを参照してください。
ファクス付電話機やモデムに、キャッチホンの設定をしないでください。ファクス
やモデムの通信中に外線から着信があると、通信エラーとなります。

電話 A ポート、電話 B ポートの両方に INS キャッチホン設定している場合で、両
ポートが通話中に新たな着信があると、電話 A ポートの電話機だけに割り込み音が
聞こえます。

3人で同時に話す（三者通話）

外線通話中にもう1人を呼び出して相手を切り替えて通話（切替モード）したり、3人同時に通話（ミキシングモード）をすることができます。三者通話には次の2種類があります。

三者通話

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用できます。



INSネット64の「フレックスホン」の「三者通話」機能を契約します。

疑似三者通話

Atermの機能です。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、通話中は外線通話以外の通信はできません。通信中転送機能は使用できません。ミキシングモードから切替モードへ切り替えることはできません。



付加サービスの契約は必要ありません。

切替モード

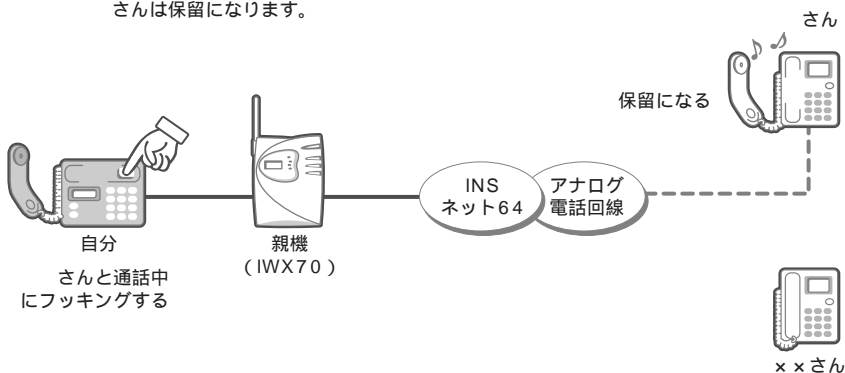
通話する相手を切り替えて通話します。同時に話ができるのは2人で、1人は保留になります。

使い方

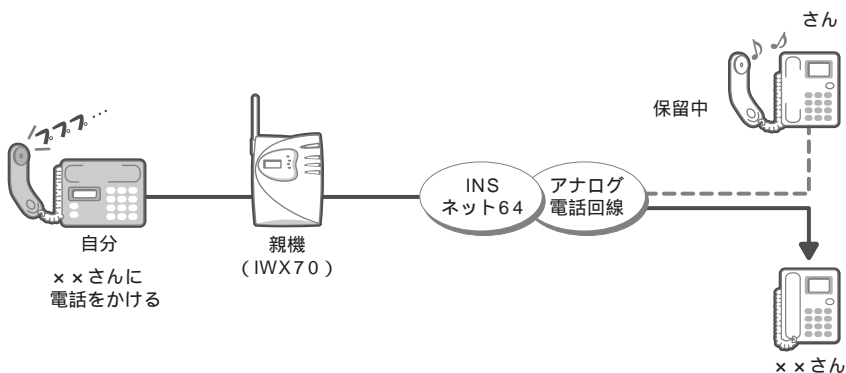
- 1.さんと通話中に電話機のフックを軽く押してすぐ離します（「フッキング」といいます）。

PHS電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。

さんは保留になります。

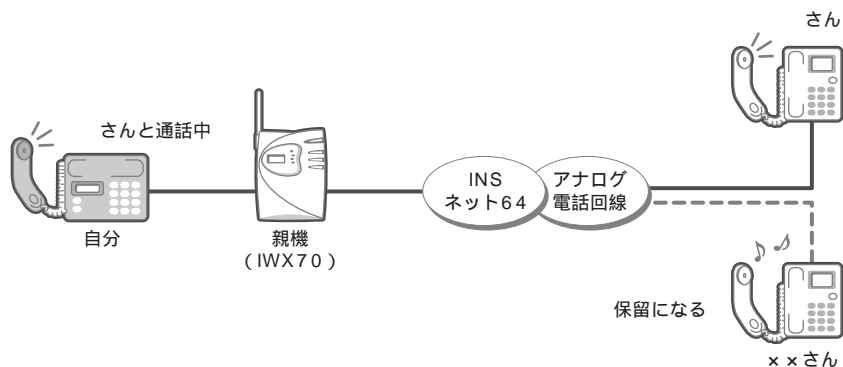


- ② 「プブブ…」という割り込み音が聞こえたら、××さんに電話をかけます。



××さんが電話に出ると通話できます。

- ③ もう一度フッキング (PHS 電話機：保留 または 通話 ボタンを押す) します。
「プブッ、プブッ」という割り込み音が流れ、音が止まると さんとの通話にもどります。



さん、××さんのどちらかと通話できます。
通話の切り替えはフッキング操作で何度でもできます。

- ④ 1秒以上フックを押すか受話器を置くと、そのとき通話していた相手との電話が切れます。

PHS 電話機：保留 または 通話 ボタンを押します。

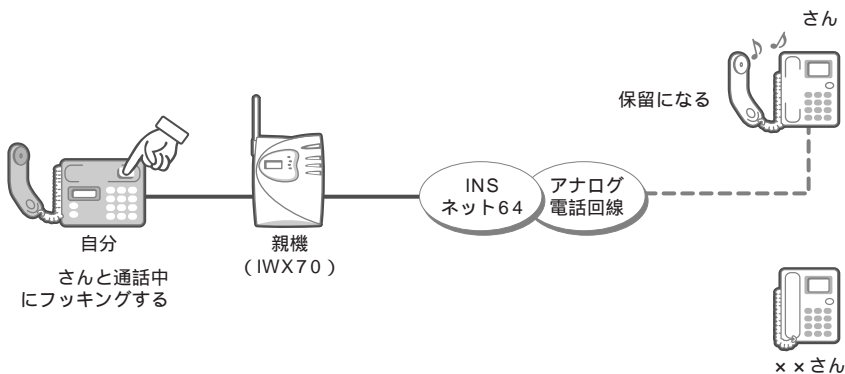
着信音が鳴ったら受話器を取り、保留していた相手と通話します。

ミキシングモード

通話中にもう 1 人を呼び出して 3 人同時に通話します。

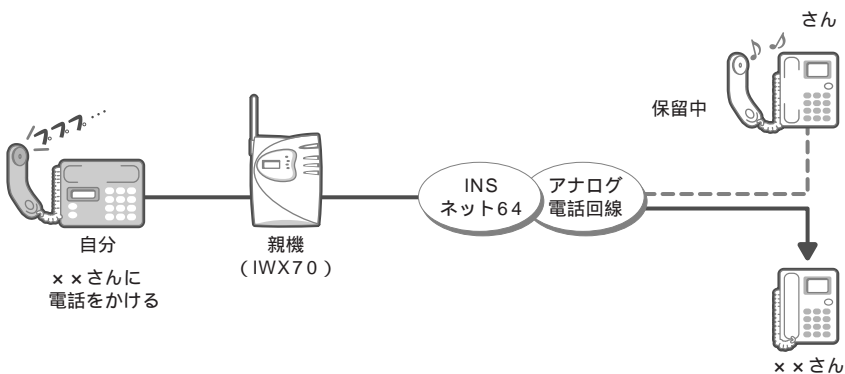
使い方

- 1 さんと通話中にフッキングします。
PHS 電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。



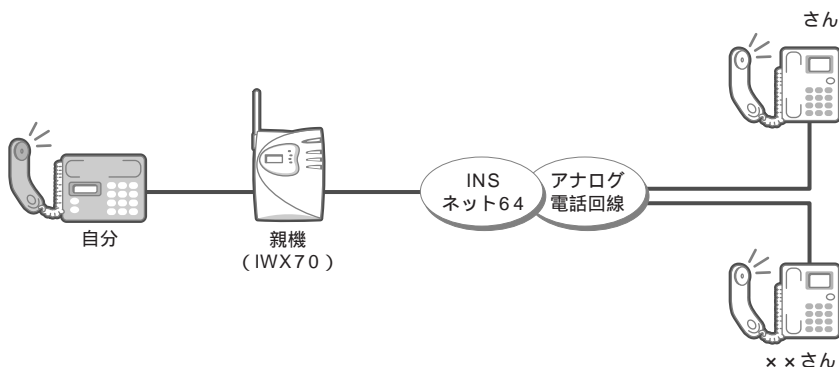
さんは保留になります。

- 2 「プププ…」という割り込み音が聞こえたら、××さんに電話をかけます。



××さんが電話に出ると通話できます。

- ③ 約 5 秒以内に続けて 2 回フッキングします。
さん、××さんと通話ができます。



2 回フッキングすると切替モードとミキシングモードが切り替わります。

- ④ 1 秒以上フックを押すか受話器を置くと、そのとき通話していた相手との電話が切れます。
PHS 電話機： **保留** または **通話** ボタンを押します。

設定

『らくらくアシスタント』で三者通話か疑似三者通話かを選択します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で [全体設定] をクリックし、[アナログ / 無線ポート共通設定] を選択します。
[アナログポート / 無線ポート共通設定] 画面が表示されます。
- ② INS ネット 64 の「三者通話」、または Aterm の「疑似三者通話」を選択します。



- ③ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



お知らせ

切替モードとミキシングモードは、2回続けてフッキングして切り替えます。ただし、疑似三者通話の場合は、ミキシングモードから切替モードに切り替えることはできません。切替モードからミキシングモードへの切り替えは可能です。三者通話をしているときに『らくらくアシスタント』を終了すると、電話機からノイズが聞こえることがあります。すべての通話を切ったときには、最後に発信した分の通話料金が表示されます。



お願い

三者通話がうまくできないときは、ダイヤル桁間タイマを長く設定してください。
(P.143)

電話番号を表示する

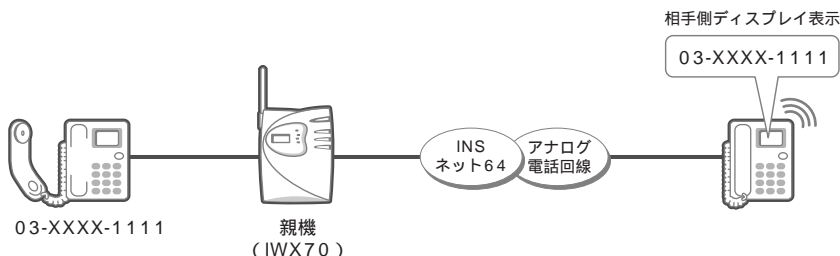
自分の電話番号を相手に知らせる（発信者番号通知）

発信者番号通知

自分の電話番号を相手に通知します。
相手がナンバー・ディスプレイを利用している場合やINSネット64加入者の場合は、相手の電話機に発信者の電話番号が通知されます。



付加サービスの契約は必要ありません。



INS ネット 64 の契約内容と親機の設定、ダイヤルするときに電話番号の前に「184」(発信者番号を通知しない)または「186」(発信者番号を通知する)を付けるかどうかによって、番号を通知するかしないかを選択できます。

INS ネット 64 の契約	発信時のダイヤル	親機の設定		
		番号通知を行わない	番号通知を行う	INS ネット 64 の申し込み通り(初期値)
通常通知 (通話ごと非通知)	相手の電話番号	×		
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号			
通常非通知 (回線ごと非通知)	相手の電話番号	×		×
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号			

INS ネット 64 の契約

INS ネット 64 の契約のときに「通常通知(通話ごと非通知)」、「通常非通知(回線ごと非通知)」のどちらかを選択します。

発信時のダイヤル

電話番号の前に ① ⑧ ④ を付けてダイヤルすると、発信者番号を相手に通知しません。
① ⑧ ⑥ を付けてダイヤルすると、発信者番号が相手に通知されます。

親機の設定

『らくらくアシスタント』の「発信者番号通知」の設定で「番号通知を行わない」、「番号通知を行う」、「INS ネット 64 の申し込み通り」のいずれかを選択します。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、発信者番号通知を設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定] 画面が表示されます。

- ② 「発信者番号通知」で「番号通知を行う」に設定します。



相手に通知する「通知番号」は、「相手に知らせる電話番号を指定する（発信者番号指定）」(P.166)で設定します。発信者番号指定が設定されていないときは、契約者回線番号が通知されます。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

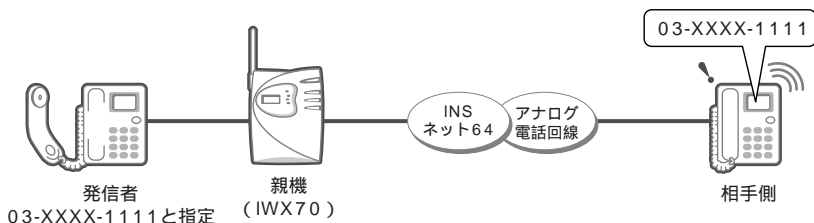
相手に知らせる電話番号を指定する（発信者番号指定）

発信者番号指定

電話をかけたときに相手に通知する電話番号を指定します。ポートごとにi・ナンバー情報、または契約者回線番号/ダイヤルイン番号を指定します。
設定しなければ、契約者回線番号が相手に通知されます。



付加サービスの契約は必要ありません。



設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

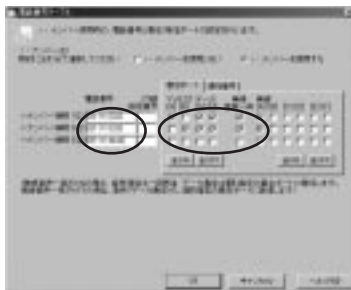
ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① 「発信者番号通知」を「番号通知を行う」に設定します。（ P.164 ）
- ② [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話番号の設定]を選択します。
[電話番号テーブル]画面が表示されます。

- ③ 電話番号を入力し、電話番号ごとに通知するポートを選択します。
i・ナンバーを使用しているかどうかによって画面が異なります。

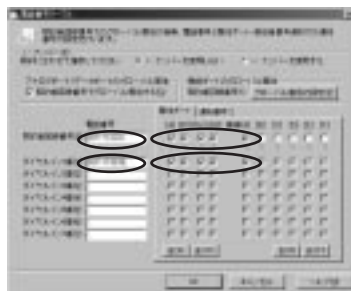
i・ナンバーを使用する場合

「i・ナンバー情報 1」 「i・ナンバー情報 2」 「i・ナンバー情報 3」を入力し、各番号で通知するポートを選択します。



i・ナンバーを使用しない場合

「契約者回線番号」と「ダイヤルイン番号」(ダイヤルインサービスを契約している場合)を入力し、各番号で通知するポートを選択します。



[アナログ/無線ポートの簡単設定]などで、すでに電話番号を入力してある場合は、その番号が表示されるので、あらためて電話番号を入力する必要はありません。

- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

着信した電話番号を表示する(INS ナンバー・ディスプレイ / INS ナンバー・リクエスト)

INSナンバー・ディスプレイ

INSネット64の付加サービスを利用します。親機の液晶ディスプレイとナンバー・ディスプレイ対応の電話機に、発信者の電話番号を表示します。相手から番号が通知されなかったときは、その理由を表示します。

INSナンバー・ディスプレイを契約していないと、アナログ電話回線からの発信者番号は通知されません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

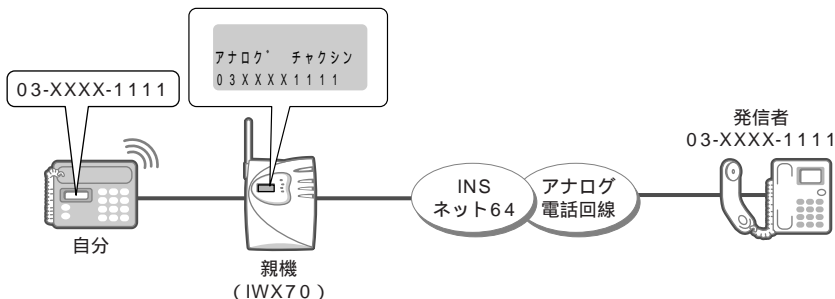
INSナンバー・リクエスト

電話番号を通知しない相手に、電話番号を通知してかけ直すように音声で伝えます。電話番号が非通知でかかってきた相手からの着信音は鳴らず、相手には通話料金がかかります。

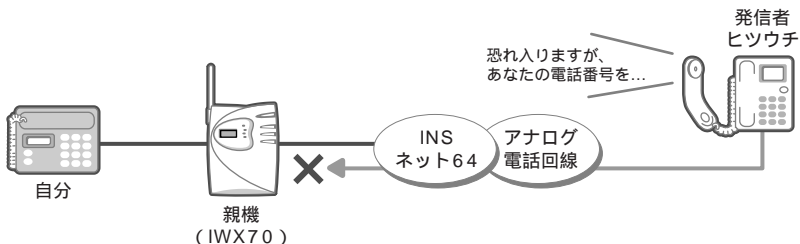


INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」と「INSナンバー・リクエスト」を契約します。

INSナンバー・ディスプレイ



INSナンバー・リクエスト



設定

『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポートの簡単設定]で設定します。

Windows

「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.87

Macintosh

「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.112

設定を変更するときには以下のように設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、ナンバー・ディスプレイまたはナンバー・リクエストを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「情報通知サービス」で「ナンバー・ディスプレイを使用する」を選択します。



モデム・ダイヤルイン機能も使用する場合は、「ナンバー・ディスプレイ+モデムダイヤルインを使用する」を選択します。

- ③ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器の機種によっては、相手の番号が正しく表示されない場合があります。

ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器で通話中に新たな着信があっても、相手の番号は表示されません。また通話終了直後の着信も表示されないことがあります。通話中に着信した番号を表示したい場合は、「キャッチホン・ディスプレイ」機能を利用します。(P.171)

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続(ブランチ接続)した場合、ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器には発信者番号が正しく表示されません。

PHS 事業者やデジタル携帯電話によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

INSネット64加入者やデジタル携帯電話、PHSから発信者番号を通知して電話がかかってきた場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約をしていなくても、ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。

INSナンバー・ディスプレイの契約をしないで親機の設定を「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定すると、アナログ電話回線からの着信と発信者番号が非通知の携帯電話やISDN回線からの着信の発信者番号は表示されません。また接続したナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器には、「ヒョウシ`ケンカ`イ」と表示されます。

ナンバー・ディスプレイを利用したときに親機の液晶ディスプレイに表示される内容については、「8-2 .液晶ディスプレイの表示」(P.313)を参照してください。



INSネット64加入者がサブアドレスを通知して電話をかけてきた場合、親機は電話番号を「/」(スラッシュ)で区切ってナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器に通知します。ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器にサブアドレスを表示する機能がない場合は、親機の設定を「発`着サブアドレスを通知しない」に設定してください。(P.187)

INSナンバー・ディスプレイで着信中は、『らくらくアシスタント』の または ボタンをクリックしないでください。

話し中にかかってきた電話番号を表示する（キャッチホン・ディスプレイ）

通話中に別の相手から新たに着信があった場合に、その相手の電話番号を親機の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器に表示します。この機能を利用するには、キャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。

キャッチホン・ディスプレイ

（INSキャッチホン利用）

INSネット64のINSキャッチホンを利用します。通話中にかかってきた新しい相手の電話を着信し、その電話番号を親機の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機に表示します。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」（有料）と「フレックスホン」（有料）の「INSキャッチホン」、「通話中着信通知サービス」（無料）を契約します。

キャッチホン・ディスプレイ

（疑似キャッチホン利用）

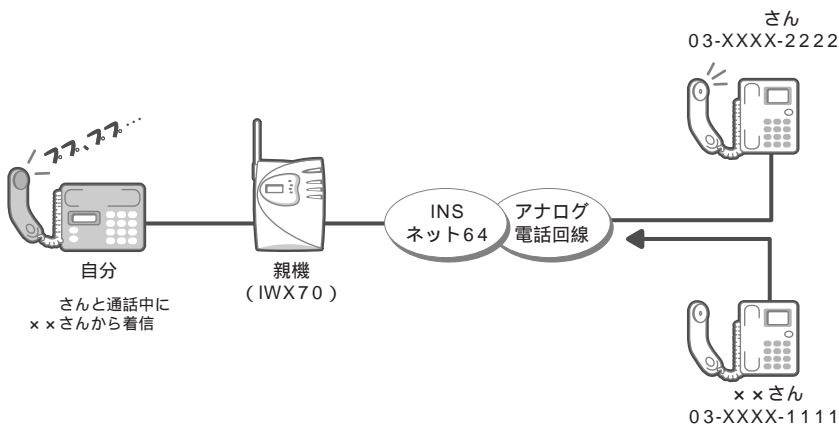
Atermの疑似キャッチホンを利用します。通話中にかかってきた新しい相手の電話を着信し、その電話番号を親機の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機に表示します。



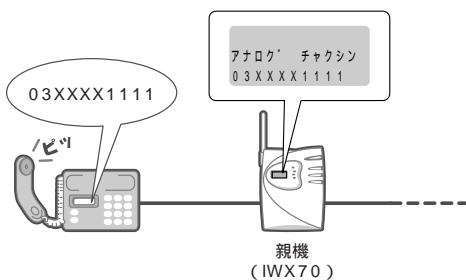
INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。

使い方

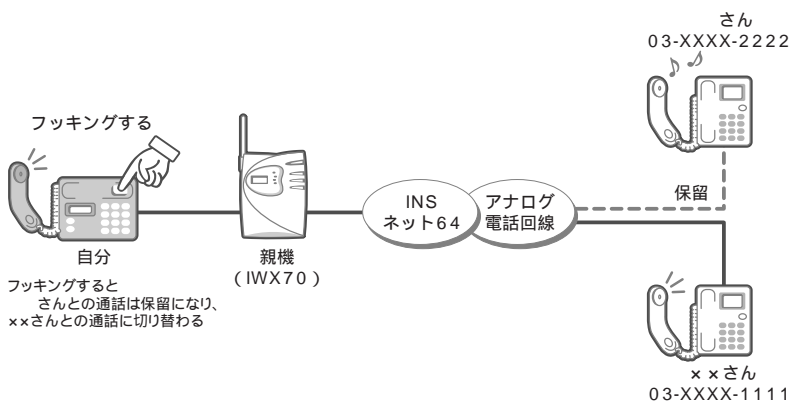
- 1 通話中に新たな相手から着信があると、「プブ、プブ…」という割り込み音が聞こえます。



- ② 「プブ、プブ…」のあとに「ピッ」という割り込み音が聞こえると、親機の液晶ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに、着信した相手の発信者番号が表示されます。

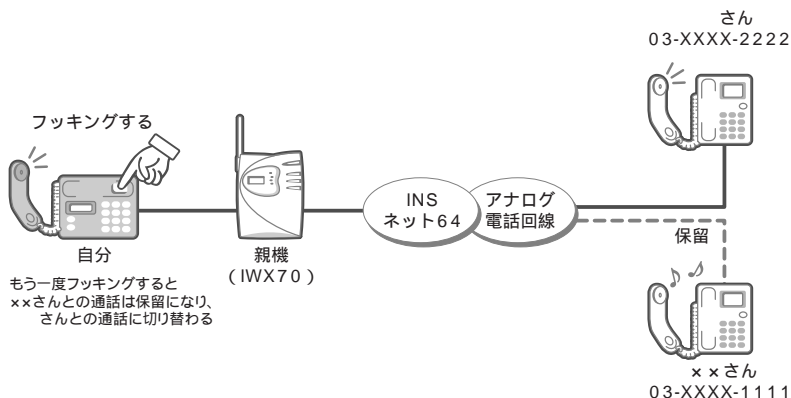


- ③ 電話機のフックを軽く押してすぐ離します(「フッキング」といいます)。PHS電話機：(保留) または (通話) ボタンを押します。



新しい相手と通話ができます。この間最初の相手には保留音が流れます。

- ④ もう一度フッキングすると、最初の相手と通話できます。



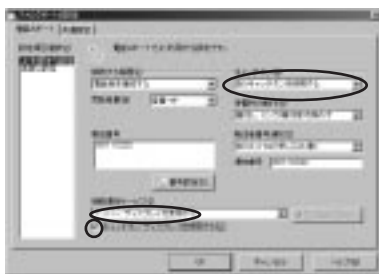
フッキングするたびに通話相手が切り替わります。

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、キャッチホン・ディスプレイを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「キャッチホン」で「INS キャッチホンを使用する」か「疑似キャッチホンを使用する」かを選択します。



- ③ 「情報通知サービス」で「ナンバー・ディスプレイを使用する」を選択します。
- ④ 「キャッチホン・ディスプレイを使用する」をクリックして にします。
- ⑤ ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



お知らせ

増設登録された PHS 電話機などに個別に着信した場合は、キャッチホン・ディスプレイは機能しません。

キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器の機種によっては、発信者番号が正しく表示されない場合があります。

キャッチホン・ディスプレイで着信したときは「プブ、プブ…」のあと「ピッ」という割り込み音が鳴ります。「ピッ」という割り込み音と話し中の声が重なると1秒程度通話が途切れ、電話番号が正しく表示されないことがあります。

お出かけ設定の「おやすみモード」や「フラッシュモード」、または停電時の動作の「ブザーを鳴らす」のいずれかを設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。

内線通話中に外線に着信したときはキャッチホンの設定にかかわらず、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器のディスプレイに、着信した電話番号が表示されます。

1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続(ブランチ接続)した場合、キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器には、発信者番号が表示されません。

相手からの電話番号が通知されなかったときは、その理由が表示されます。キャッチホン・ディスプレイを利用したときに親機の液晶ディスプレイに表示される内容については、「8-2 . 液晶ディスプレイの表示」(P.313)を参照してください。



お願い

キャッチホン・ディスプレイで着信中は、『らくらくアシスタント』の または ボタンをクリックしないでください。

かけてきた相手の電話番号を見る / かけ直す(着信履歴表示 / 着信履歴先発信)

電話 A ポート、電話 B ポートに着信した相手の電話番号は、最大 50 件まで親機が記憶しています。記憶されている着信時間や電話番号を見たり、その電話番号に電話をかけることができます。

着信履歴表示

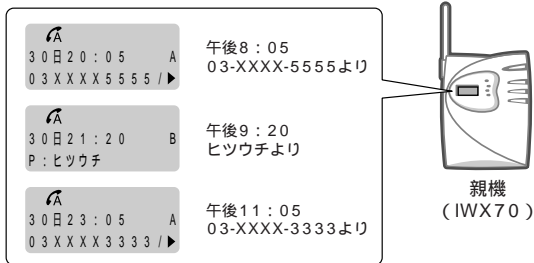
アナログポートに着信した相手の電話番号や着信日時などを、親機の液晶ディスプレイに表示します。最大 50 件分の着信履歴が記憶でき、それを超えると古い履歴から消去されます。

着信履歴先発信

着信履歴に記憶されている電話番号に電話をかけます。



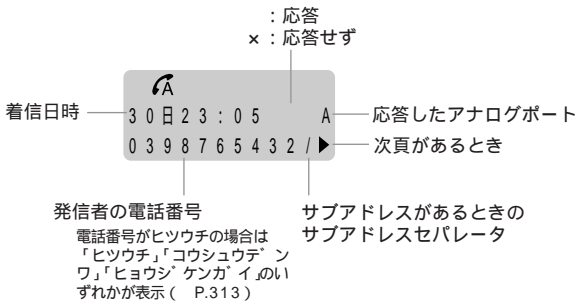
INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



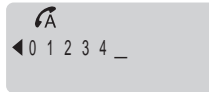
使い方

電話機のプッシュボタンで操作します。

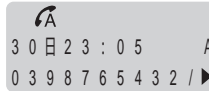
- 親機に接続した電話機を受話器を上げ、プッシュボタンで **[*][*][5][1]** と押します。一番新しい着信履歴が表示されます。



⑥ 次頁表示



④ 前頁表示



② ② または ⑧ を押して、見たい電話番号を表示します。

② 新しい履歴を表示（新しい履歴がないときは一番古い履歴を表示）



⑧ 古い履歴を表示（古い履歴がないときは一番新しい履歴を表示）



履歴が表示されているときに **[*]** を押すと、その着信履歴を消去できます。もう一度 **[*]** を押すと、すべての着信履歴が消去されます。

③ **[#]** を押して、表示された電話番号に電話をかけます。
発信しない場合は、**[#]** を押さずに受話器を置きます。

設定

『らくらくアシスタント』の設定はありません。



親機の電源を切ると、記憶されていた着信履歴はすべて消去されます。
着信履歴表示 / 着信履歴先発信は、親機前面のファンクションボタンを使って操作することもできます。（「6-1 . ファンクションボタンで操作する」P.242）

電話番号や電話機を使い分ける

2つまたは3つの電話番号を使い分ける（i・ナンバー）

i・ナンバー

INSネット64の付加サービスを利用します。契約者回線番号のほかに、電話番号を1つまたは2つ持つことができます。電話機とファクス、家庭用と個人用など、電話機を個別に呼び出すことができます。3つの電話番号は「i・ナンバー情報1」「i・ナンバー情報2」「i・ナンバー情報3」と区別します。

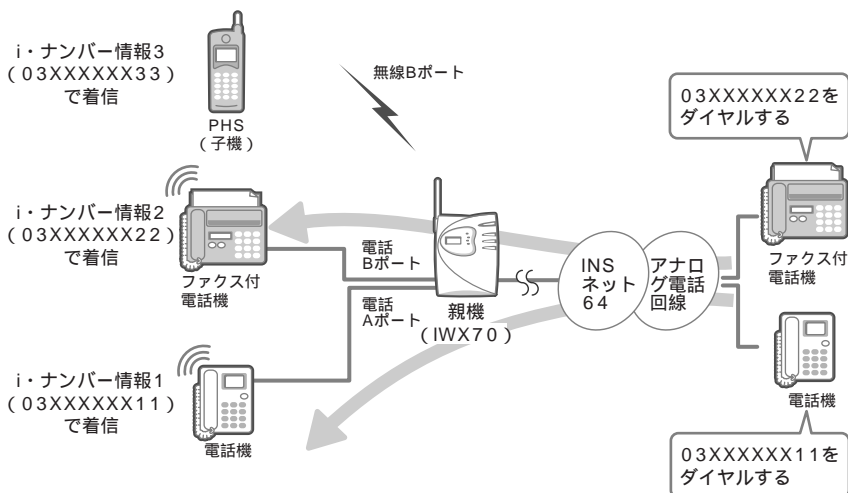


INSネット64の「i・ナンバー」を契約します。

電話番号を各ポートに割り当てます。3つの電話番号を契約している場合の設定の例で説明します。

設定例

電話番号	着信するポート	接続機器例
i・ナンバー情報1 03XXXXXXXX11	電話Aポート	電話機
i・ナンバー情報2 03XXXXXXXX22	電話Bポート	ファクス付電話機
i・ナンバー情報3 03XXXXXXXX33	無線Bポート	PHS電話機



さまざまな機能

5-2 親機の電話機能（電話番号や電話機を使い分ける）

設定

『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポートの簡単設定]で設定します。

Windows

「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.87

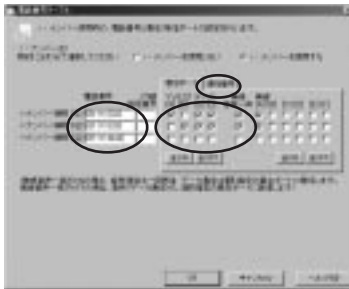
Macintosh

「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」 P.112

設定を変更するときは以下のように設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話番号の設定]を選択します。
[電話番号テーブル]画面が表示されます。
- ② 「i・ナンバー」で「i・ナンバーを使用する」を選択します。
- ③ 「i・ナンバー情報1」(契約者回線番号)、「i・ナンバー情報2」(追加番号)に電話番号を入力します。3つの電話番号を契約している場合は「i・ナンバー情報3」も入力します。



- ④ 各 i・ナンバー情報で着信させたいポートを指定します。
「着信ポート」は1つのポートですべての i・ナンバー情報を指定できます。
- ⑤ [通知番号]タブをクリックし、発信のときに通知する i・ナンバー情報を指定します。
「通知番号」は1つのポートに対して1つだけ i・ナンバー情報を指定できます。
- ⑥ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



アナログポートを「使用しない」に設定した場合は、すべての着信が受けられなくなります。

無線ポートは1つの電話番号で1つのポートを呼び出します。複数のポートを呼び分ける場合はサブアドレスを利用します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)

i・ナンバーとダイヤルインサービスを両方とも申し込むことはできません。



4つ以上の電話番号で呼び分けたい場合は「ダイヤルインサービス」を利用してください。(「複数の電話番号を使い分ける」P.180)

ダイヤルインサービス

INSネット64の付加サービスを利用します。1回線で4つ以上の電話番号を使いたいときはダイヤルインサービスを契約します。Atermは最大7つのダイヤルイン番号（追加番号）を設定することができるので、契約者回線番号と合わせて2～8つの電話番号で電話機の呼び分けができます。

「グローバル着信」を利用すると通常すべてのポートが呼び出されますが、Atermで設定するとアナログポートや無線ポートを個別に呼び出すことができます。Atermに「グローバル着信」を設定すると、契約者回線番号をダイヤルイン番号の1つとして使用できます。



INSネット64の「ダイヤルインサービス」を契約します。「グローバル着信利用」（追加料金不要）をあわせて申し込むと、契約者回線番号以外のダイヤルイン番号にかかる月額使用料だけの負担ですみます。

契約者回線番号（INS ネット 64 を契約した電話番号）とダイヤルイン番号（追加番号）を各ポートに割り当てます。

契約者回線番号での呼び出し

グローバル着信を「利用する」（初期値）に設定すると、契約者回線番号で着信したときでも、ダイヤルイン番号を割り当てた機器も呼び出します。契約者回線番号が話し中のときには、別の機器に着信音が鳴ります。ダイヤルイン番号で着信したときは、契約者回線番号を割り当てた機器は呼び出されません。

ダイヤルイン番号での呼び出し

各ダイヤルイン番号を割り当てたポートごとに個別に呼び出されます。契約者回線番号で着信したときは、ダイヤルイン番号を割り当てた機器は呼び出されません。

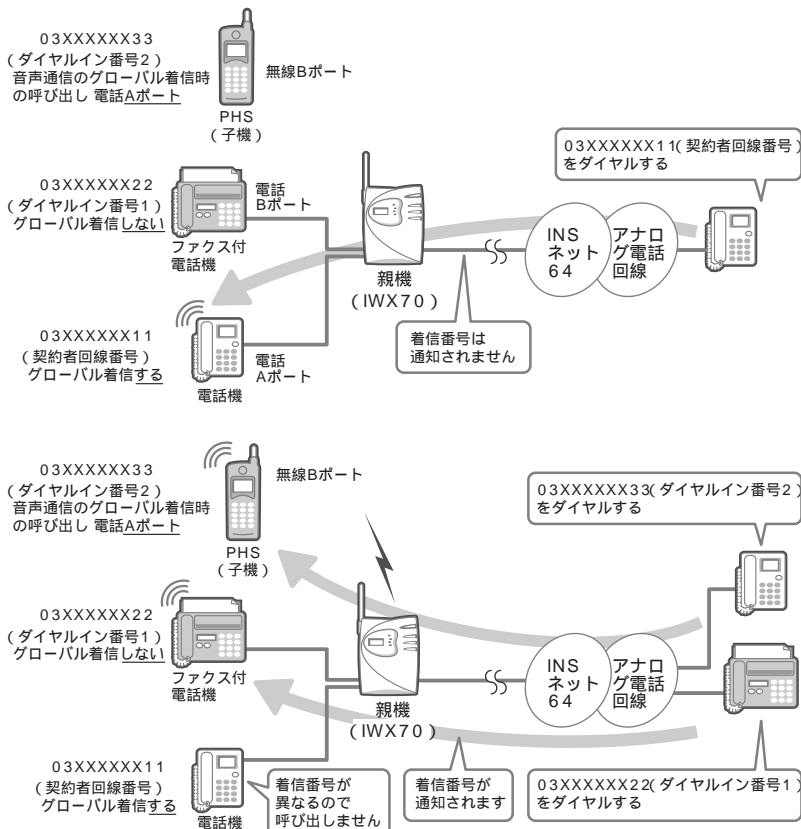
ダイヤルイン番号を2つ契約している場合の設定の例で説明します。

設定例 1

契約者回線番号(03XXXXXX11)で電話Aポートの電話機のみを呼び出す
ダイヤルイン番号1(03XXXXXX22)で電話Bポートのファクスのみを呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXX33)で無線BポートのPHS電話機のみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Bポート	03XXXXXX33	-	無線Bポート
無線C～無線Fポート	-	-	



さまざまな機能

5-2 親機の電話機能 (電話番号や電話機を使い分ける)

設定例 2

契約者回線番号(03XXXXXXXX11)で電話Aポート、電話Bポートの電話機と全無線ポートを呼び出す

ダイヤルイン番号1(03XXXXXXXX22)で電話Bポートの電話機と無線BポートのPHS電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXXXX33)で無線CポートのPHS電話機のみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	グローバル着信する	-
無線Bポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX22	-	全端末一斉呼出
無線Cポート	03XXXXXXXX11 03XXXXXXXX33	-	
無線D～ 無線Fポート	-	-	

設定例 3

契約者回線番号(03XXXXXXXX11)で電話Aポートの電話機と無線BポートのPHS電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号1(03XXXXXXXX22)で電話Bポートの電話機と無線CポートのPHS電話機を呼び出す

ダイヤルイン番号2(03XXXXXXXX33)で無線DポートのPHS電話機のみを呼び出す

	着信する電話番号	アナログポートの「グローバル着信」の設定	無線ポートの「音声通信のグローバル着信時呼び出し」の設定
電話Aポート	03XXXXXXXX11	グローバル着信する	-
電話Bポート	03XXXXXXXX22	グローバル着信しない	-
無線Bポート	03XXXXXXXX11	-	無線Bポート
無線Cポート	03XXXXXXXX22	-	
無線Dポート	03XXXXXXXX33	-	
無線E～ 無線Fポート	-	-	

設定

『らくらくアシスタント』の[アナログ/無線ポートの簡単設定]で設定します。アナログポートには1つのポートに複数の電話番号が割り当てられます。無線ポートの契約者回線番号での着信は、無線ポートを一斉に呼び出すか、特定の1台のみ呼び出すかを選択します。

アナログポートと無線ポートでは設定が異なります。

	契約者回線番号で呼び出す場合の設定	ダイヤルイン番号で呼び出す場合の設定
アナログポート	「グローバル着信する」に設定 契約者回線番号を入力	「グローバル着信しない」に設定 ダイヤルイン番号を入力
無線ポート	「音声通信のグローバル着信時呼び出し」で呼び出すポートを選択 契約者回線番号を入力	ダイヤルイン番号を入力

Windows

「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」(P.87)

Macintosh

「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」(P.112)

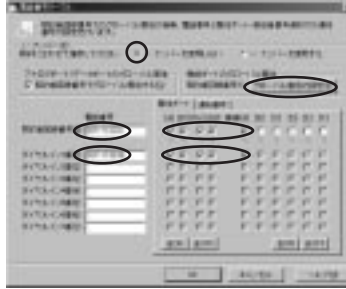
設定を変更するときは以下のように設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、[全体設定]をクリックし[電話番号の設定]を選択します。

[電話番号テーブル]画面が表示されます。

- ② 「i・ナンバー」で「i・ナンバーを使用しない」を選択します。



- ③ 「契約者回線番号」に電話番号を入力します。
- ④ 「ダイヤルイン1番」にダイヤルイン番号(追加番号)を入力します。
ダイヤルイン番号を2つ以上契約している場合は「ダイヤルイン2番」以降にも入力します。
- ⑤ 各番号で着信させるポートと、その番号を通知するポートを指定します。

「着信するポート」は1つのポートに複数の番号を指定できません。「通知番号」は1つのポートに対して1つの番号を指定します。

無線ポートのグローバル着信の設定をする場合は、**グローバル着信の設定** ボタンをクリックし、呼び出す無線ポートを選択します。

- ⑥ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



INS ネット64の契約が「グローバル着信利用」となっていますが、『らくらくアシスタント』の設定が「グローバル着信しない」になっていると『らくらくアシスタント』の設定が優先され、契約者回線番号で呼び出すことはできません。個別着信は、1つの電話番号で1つの無線ポートを呼び出します。同じ電話番号を複数の無線ポートに割り当てないでください。同じ番号を設定すると無線ポートのA～Fの順に設定が優先され、1つの無線ポートだけを呼び出します。PHS電話機が割り当てられている無線ポートをダイヤルイン番号で呼び分けている場合は、親機の液晶ディスプレイに着信に関する表示は出ません。

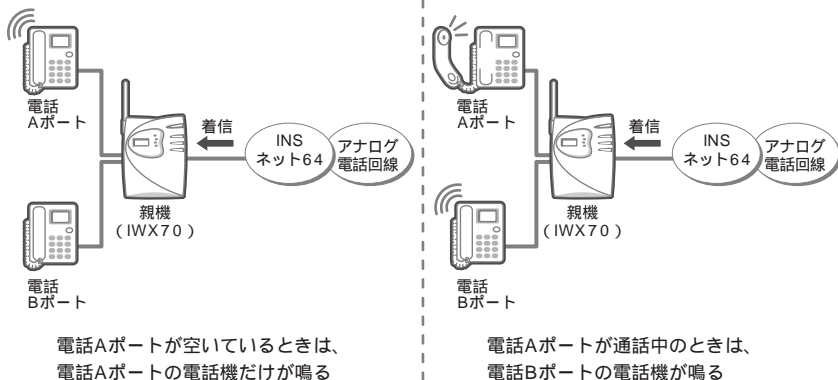
着信する電話機の優先順位をつける（優先着信ポート指定）

優先着信ポート指定

親機に接続された2台の電話機のうち、優先的に着信させる電話機を指定します。



付加サービスの契約は必要ありません。



設定

『らくらくアシスタント』で、優先着信するアナログポートを選択します。

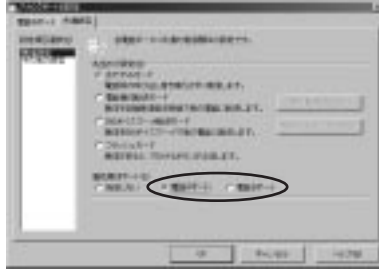
ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、[電話Aポート]または[電話Bポート]を選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② [共通設定]タブをクリックします。

- ③ 電話 A ポートを優先するか、電話 B ポートを優先するかを選択します。



- ④ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



お知らせ

データポートにも同様に優先順位をつけることができます。

子機として増設登録されている PHS 電話機などに優先順位をつけることはできません。



お願い

ホームテレホン / ビジネスホンと接続する場合 (P.326) は、優先着信ポートを必ず指定してください。

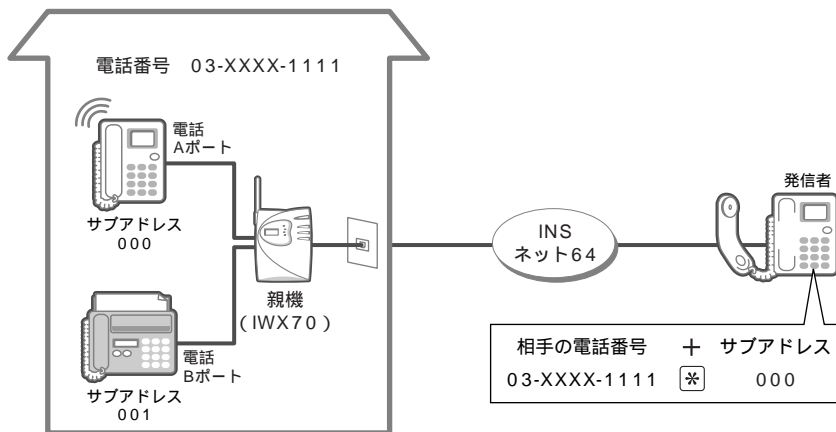
特定の電話機に着信させる（サブアドレス）

サブアドレス

INSネット64またはPHSの相手にサブアドレスを付けて電話をかけてもらおうと、親機に接続されたポートごとに呼び分けができます。またINSネット64の相手に発信するときは、サブアドレスを付けて発信できます。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

サブアドレスが設定されている電話番号に電話をかけます。

- 1 相手の電話番号をダイヤルします。

例：03-1234-5678 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

- 2 * に続けて相手のサブアドレスをダイヤルします。

例：サブアドレス 100 * 1 0 0

サブアドレスの設定・呼び分け例

	設定例		呼び分け例			
	サブアドレス	サブアドレス無しの着信	一般電話からの着信 (全端末一斉)	一般電話からの着信 (無線Cポート*1)	サブアドレス01の着信	サブアドレス04の着信
電話Aポート	01	する	呼び出す	呼び出す	呼び出す	
		しない	呼び出さない	呼び出さない		
電話Bポート	02	する	呼び出す	呼び出す		呼び出さない
		しない	呼び出さない			
無線Aポート	03	-	呼び出す	呼び出さない	呼び出さない	呼び出す
無線Bポート	04					
無線Cポート	05			呼び出す		呼び出さない
無線Dポート	06					
無線Eポート	07			呼び出さない		
無線Fポート	08					

*1 親機の無線ポートの設定で「無線ポートのグローバル着信」を無線Cポートに設定した場合。

	着信時サブアドレス 指定なし	着信時サブアドレス 指定あり
自己サブアドレス 未登録	着信受付 *2	着信拒否
自己サブアドレス 登録済	着信受付 *2	一致： 着信受付 不一致： 着信拒否

*2 『らくらくアシスタント』の設定で「サブアドレスなし着信する」が の場合。
「サブアドレスなし着信する」を選択しないと、サブアドレスの指定がない着信が受けられません。

設定

アナログポート、無線ポートにそれぞれサブアドレスを設定します。同じサブアドレスを複数のポートに付けると呼び分けができません。

『らくらくアシスタント』でサブアドレスを設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、サブアドレスを設定するアナログポートまたは無線ポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「サブアドレス」を19桁以内で入力します。



画面は電話 A ポートを選択した場合の例です。

- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。


お知らせ

相手がサブアドレスを指定して電話をかけてきたときは、登録したサブアドレス（自己サブアドレス）と一致したときのみ着信します。
PHSでサブアドレスを付けて発信する場合の操作は、PHS電話機の機種によって異なります。PHS電話機の取扱説明書を参照してください。
電話機でアナログポートまたは無線ポートのサブアドレスを登録することもできます。（「6-2．電話機で設定する」P.264）

お願い

『らくらくアシスタント』の設定で「サブアドレスなし着信する」の を に変更すると、サブアドレスの指定がない着信が一切受けられなくなります。アナログ電話回線から発信するときにサブアドレスを指定することはできないので、「サブアドレスなし着信しない」に設定すると、アナログ電話回線からの着信がすべて受けられなくなるので注意してください。



お出かけ / おやすみになるとき


お出かけになるときやおやすみになるときなど、着信音を鳴らさずに電話の着信を知らせたり、別の電話に転送することができます。これを「お出かけ設定」といい、「おやすみモード」、「電話着信転送モード」、「ボイスワープ転送モード」、「フラッシュモード」の4つのモードがあります。お出かけ設定をするときは、親機前面上部の「でかけるボタン」()を使います。

電話機の着信音を鳴らさない(おやすみモード)

おやすみモード

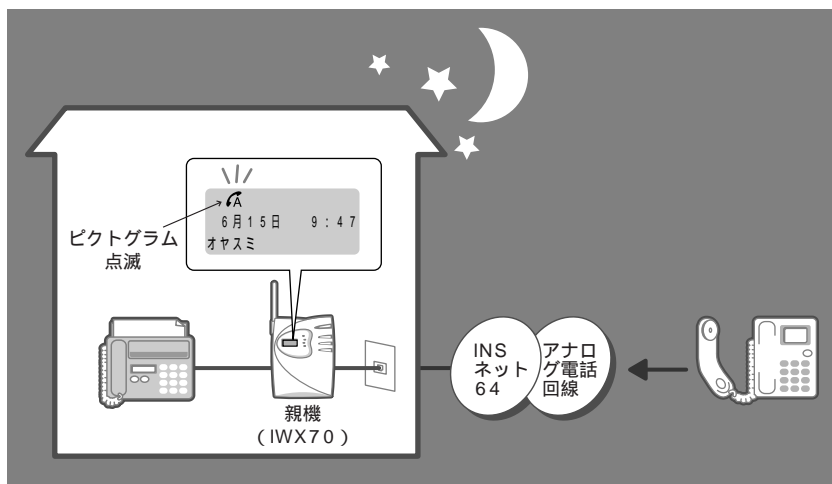
Atermの機能です。

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、親機の液晶ディスプレイに  または  を点滅表示して着信を知らせます。



おやすみモード中に着信があると  ボタンが点滅した状態になり、着信があったことを知らせます。



付加サービスの契約は必要ありません。




使い方



- ① 親機前面の  ボタンを押します。
 ボタンのランプが赤色に点灯し、おやすみモードになります。

[親機液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
オヤスミ

- ② 着信があると、着信音は鳴らずに  ボタンが点滅した状態になります。
親機の液晶ディスプレイには **A** または **B** が表示され、着信しているアナログポートを知らせます。



工場出荷状態では、でかけるボタンがロックされているため、お出かけ設定にできません。ロックを解除するときは、親機前面の **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押します。再度 **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。

[親機液晶ディスプレイ]

テ`カケルホ`タンヲ テ`カケルホ`タンヲ
ロックカイシ`ヨシマシタ ロックシマシタ

でかけるボタンをロックしておく、誤ってボタンを押してお出かけ設定を設定、または解除してしまうことを防げます。



でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。

設定

お出かけ設定を「おやすみモード」に設定します。

親機前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは **MENU** ボタンを押します。

- ① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1:チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを 2 回押します。

3 : オテ` カケモード`

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

オテ` カケモード` /
セッテイテ` ス

5 秒後

1 : オヤスミモード`

- ④ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「おやすみモード」に設定されます。

オヤスミモード` ニ
セッテイシマシタ

お知らせ

電話がかかってきているときに、着信しているアナログポートの電話機の受話器を上げると通話できます。

おやすみモード中は、親機の電話 A ポートまたは電話 B ポートのみ着信します。無線ポートには着信しません。

おやすみモード中は、アナログポートに接続した電話機の留守番電話機能や自動応答機能、ファクスの自動受信機能は使用できません。

おやすみモード中に着信した電話に出なかった場合は、着信履歴を表示させて着信した電話番号を確認できます。(P.175)

「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定されているアナログポートに着信があった場合、電話機によっては発信者番号が表示されないことがあります。

「モデム・ダイヤルラインを使用する」に設定されているアナログポートに着信があった場合、着信音が鳴らないために、着信している電話機が分からないことがあります。

「アナログ・ダイヤルラインを使用する」に設定されているアナログポートの電話機には着信しません。

お願い

おやすみモード中にアナログポートに接続したコードレス電話機の子機で着信の応答をする場合は、子機の **(通話)** または **(外線)** ボタンを押してから通話してください。ボタンを押さないと、電話機によっては通話の途中で切れることがあります。

別の電話番号に転送する（電話着信転送モード）

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、あらかじめ登録しておいた外出先や携帯電話などの電話番号に転送します。

着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。

転送する旨をアナウンスで流すことができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「着信転送」機能を契約します。

疑似着信転送

Atermの機能です。

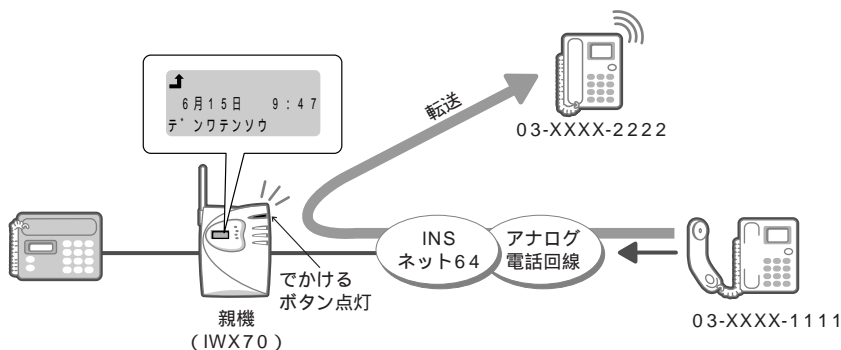
B1、B2チャンネルの両方を使用するので、着信転送時は内線通話以外の通信はできません。

INSネット64のINSナンバー・ディスプレイの申し込み内容が「通常通知」（通話ごと非通知）の場合、転送先には契約者回線番号を通知します。

転送する旨のアナウンスは流れません。



付加サービスの契約は必要ありません。




使い方

① 親機前面の  ボタンを押します。



 ボタンのランプが赤色に点灯し、電話着信転送モードになります。

[親機液晶ディスプレイ]


6月15日 9:47
デ`ンワテンソウ



お知らせ

工場出荷状態では、でかけるボタンがロックされているため、お出かけ設定にできません。ロックを解除するときは、親機前面の **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押します。再度 **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。

[親機液晶ディスプレイ]

デ`カケルホ`タンヲ デ`カケルホ`タンヲ
ロ`クカイシ`ヨシマシタ ロ`クシマシタ

でかけるボタンをロックしておく、誤ってボタンを押してお出かけ設定を設定、または解除してしまうことを防げます。



お願い

でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押しください。

設定

『らくらくアシスタント』で着信転送の設定をしてから、お出かけ設定を「電話着信転送モード」に設定します。

親機前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは **MENU** ボタンを押します。

① 着信転送を設定します。(「別の電話番号に転送する」P.204)

② 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1:チャクシンリレキ

- ③ **SELECT** ボタンを2回押します。

3 : オテ`カケモード`

- ④ **ENTER** ボタンを押します。

オテ`カケモード`ノ
セッテイテ`ス

5秒後

1 : オヤスミモード`

- ⑤ **SELECT** ボタンを押し、「2:テ`ンワテンソウスル」を選択します。

2 : テ`ンワテンソウスル

SELECT ボタンを押すごとに「2:テ`ンワテンソウスル」「3:ホ`イスワープ`セッテイ」「4:フラッシュモード`」「1:オヤスミモード`」「2:テ`ンワテンソウスル」と表示が変わります。

- ⑥ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「電話着信転送モード」に設定されます。

転送する電話番号が設定されていない場合は、「ハ`ンゴ`ウヲセッテイシテクタ`サイ」と表示されます。

着信転送の設定がINSネット64の着信転送に設定されているときは、「NTTチャクシンテンソウニセッテイシマシタ」と表示されます。「疑似着信転送」に設定されているときは、「キ`ジ`チャクシンテンソウ」と表示されます。

着信転送の設定が「電話番号着信通知」に設定されているときは、「テ`ンワハ`ンゴ`ウヲメールシマス」と表示されます。(「遊遊メール」P.234)

ボイスワープで転送する (INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクト)

INSボイスワープ

INSネット64の付加サービスを利用します。かかってきた電話を別の電話番号に転送します。すべての着信を転送する「無条件転送」、設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答時転送」、話し中の場合に転送する「話中時転送」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答/話中時に転送」の4種類から転送方法が選択できます。

電話機が故障していたり、電源が切れている状態でも転送できます。

転送先が5つまで登録でき、その中から選択して転送できます。

プッシュ回線やINSネット64の公衆電話などから、転送の開始/停止/転送先の選択ができます。

ダイヤルインの追加番号ごとに契約できます。



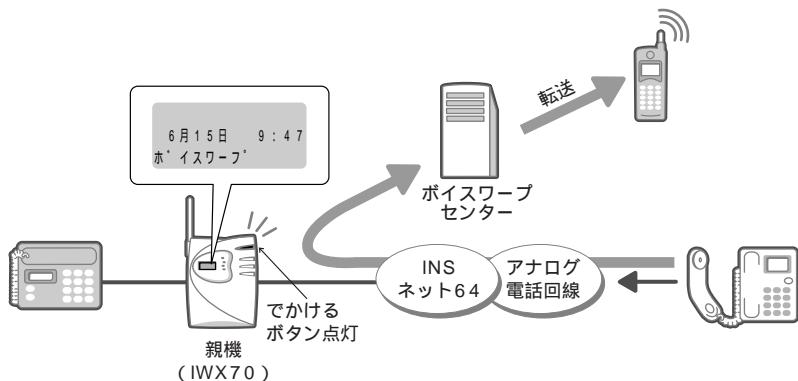
INSネット64の「INSボイスワープ」を契約します。

INSボイスワープ・セレクト

INSボイスワープの機能に加えて、あらかじめ登録した電話番号だけを選んで着信または転送することができます。INSボイスワープと同じ機能の「全番号転送」、登録した電話番号のみ転送する「登録番号転送」、登録した電話番号を着信してそれ以外を転送する「登録番号着信」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答/話中時に転送」の4種類から選択できます。




INSネット64の「INSボイスワープ・セレクト」を契約します。



使い方


1 親機前面の  ボタンを押します。

 ボタンのランプが赤色に点灯し、ボイスワープ転送モードになります。



[親機液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
ホ^{*} イスワープ^{*}



 を押す(点灯)と、親機がボイスワープセンターに自動的に電話をかけ、サービスが開始されます。

 を解除(消灯)すると、親機がボイスワープセンターに自動的に電話をかけ、サービスを停止します。

工場出荷状態では、でかけるボタンがロックされているため、お出かけ設定にできません。ロックを解除するときは、親機前面の **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押します。再度 **SELECT** ボタンを押しながら  ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。

[親機液晶ディスプレイ]

テ^{*} カケルホ^{*} タンヲ
ロックカイシ^{*} ヨシマシタ

テ^{*} カケルホ^{*} タンヲ
ロックシマシタ

でかけるボタンをロックしておく、誤ってボタンを押してお出かけ設定を設定、または解除してしまうことを防げます。



でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押しください。

設定

『らくらくアシスタント』でボイスワープセンターへの転送開始モードを設定してから、お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、ボイスワープ / ボイスワープ・セレクトを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定] 画面が表示されます。

- ② [共通設定] タブをクリックします。

- ③ 「お出かけ設定」の「INS ボイスワープ転送モード」を選択します。



- ④ [INSボイスワープ設定] ボタンをクリックします。

[アナログポート - ボイスワープの設定] 画面が表示されます。

- ⑤ 「転送開始モード」を選択します。



INSボイスワープの契約で起動用電話番号または停止用電話番号が変更された場合は「起動電話番号」を入力します。通常は表示された番号のまま使用します。

- ⑥ 「契約電話番号」にINSボイスワープを契約した電話番号を入力します。

- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑧ [OK] ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

- ⑨ [メニューに戻る] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリックします。

[らくらくアシスタントメニュー] にもどります。

- ⑩ [アシスタント終了] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリックします。

らくらくアシスタントが終了します。

- ⑪ 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1:チャクシンリレキ

- ⑫ **SELECT** ボタンを2回押します。

3:オテ`カケモード`

- ⑬ **ENTER** ボタンを押します。

オテ`カケモード`ノ
セツタイテ`ス

5秒後

1:オヤスミモード`

- ⑭ **SELECT** ボタンを2回押し、「3:ホ`イスワープセツタイ」を選択します。

3:ホ`イスワープ`
セツタイ

SELECT ボタンを押すごとに「2:デ`ンワテンソウスル」「3:ホ`イスワープ`セツタイ」「4:フラッシュモード`」「1:オヤスミモード`」「2:デ`ンワテンソウスル」と表示が変わります。

INS ボイスワープを契約した電話番号が設定されていない場合は、「ハ`ンゴ`ウヲセツタイシテクダ`サイ」と表示されます。

- ⑮ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「ボイスワープ転送モード」に設定されます。

ホ`イスワープ`ニ
セツタイシマシタ



お願い

INS ネット 64 に、転送先の電話番号を登録する必要があります。転送先の電話番号はINS ボイスワープ、またはINS ボイスワープ・セレクトの説明書を参照して電話機から登録してください。

INS ボイスワープ、INS ボイスワープ・セレクトの詳細は、NTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。



お知らせ

INS ボイスワープ / INS ボイスワープ・セレクトの設定は電話機からでもできます。(「6-2. 電話機で設定する」 P.260)

着信音を鳴らさずに着信を知らせる（フラッシュモード）

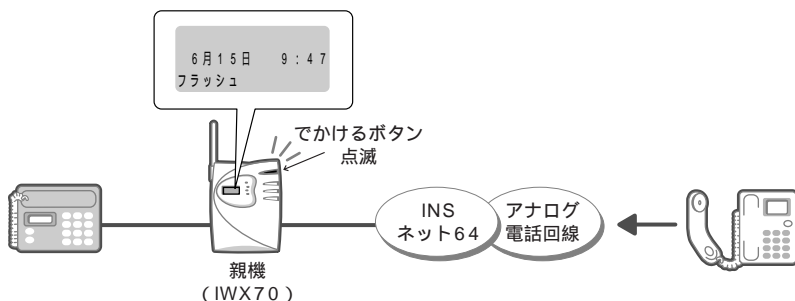
フラッシュモード

Atermの機能です。

外線がかかってきた電話の着信音を鳴らさずに、「でかけるボタン」のランプを点滅させて着信を知らせます。電話を着信している間だけ「でかけるボタン」が点滅します。



付加サービスの契約は必要ありません。



使い方

- 1 親機前面の ボタンを押します。
 ボタンのランプが赤色に点灯し、フラッシュモードになります。

[親機液晶ディスプレイ]

6月15日 9:47
フラッシュ

- 2 着信があると、着信音は鳴らずに ボタンが点滅します。
電話が切れると、 ボタンが点灯した状態にもどります。



工場出荷状態では、でかけるボタンがロックされているため、お出かけ設定にできません。ロックを解除するときは、親機前面の **SELECT** ボタンを押しながら ボタンを押します。再度 **SELECT** ボタンを押しながら ボタンを押すと、でかけるボタンがロックされます。

[親機液晶ディスプレイ]

テ`カケルホ`タンヲ
ロ`クカイシ`ヨシマシタ

テ`カケルホ`タンヲ
ロ`クシマシタ

でかけるボタンをロックしておく、誤ってボタンを押してお出かけ設定を設定、または解除してしまうことを防げます。



でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押しください。

設定

お出かけ設定を「フラッシュモード」に設定します。
親機前面のファンクションボタンで操作します。操作を途中でやめるときは **MENU** ボタンを押します。

- ① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを 2 回押します。

3 : オテ[°] カケモード[°]

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

オテ[°] カケモード[°] /
セッテイテ[°] ス

5 秒後

1 : オヤスミモード[°]

- ④ **SELECT** ボタンを 3 回押し、「4:フラッシュモード[°]」を選択します。

4 : フラッシュモード[°]

SELECT ボタンを押すごとに「2:テ[°] ンワテンソウスル」「3:ホ[°] イス
ワーフ[°] セッテイ」「4:フラッシュモード[°]」「1:オヤスミモード[°]」
「2:テ[°] ンワテンソウスル」と表示が変わります。

⑤ **ENTER** ボタンを押します。

お出かけ設定が「フラッシュモード」に設定されます。

フラッシュモード
セッテイシマシタ



お知らせ

フラッシュモードに設定していても、 ボタンが点滅している間(着信中)に受話器を上げると、通話できます。



お願い

フラッシュモードはおやすみ中の着信を受け付けないための機能なので、親機の液晶ディスプレイには着信ポートを表す または は表示されず、どのポートに着信しているかは識別できません。着信したアナログポートを識別したい場合は「おやすみモード」に設定してください。

電話を転送する

別の電話番号に転送する（着信転送）

かかってきた電話の着信音を鳴らさずに、外出先や携帯電話などの登録しておいた電話番号へ自動的に転送します。着信転送には次の2種類があります。

着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。

転送する旨をアナウンスで流すことができます。



INSネット64の「フレックスホン」の「着信転送」機能を契約します。

疑似着信転送

Atermの機能です。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、着信転送時は内線通話以外の通信はできません。

INSネット64のINSナンバー・ディスプレイの申し込み内容が「通常通知」（通話ごと非通知）の場合、転送先には契約者回線番号を通知します。


転送する旨のアナウンスは流れません。



付加サービスの契約は必要ありません。

使い方

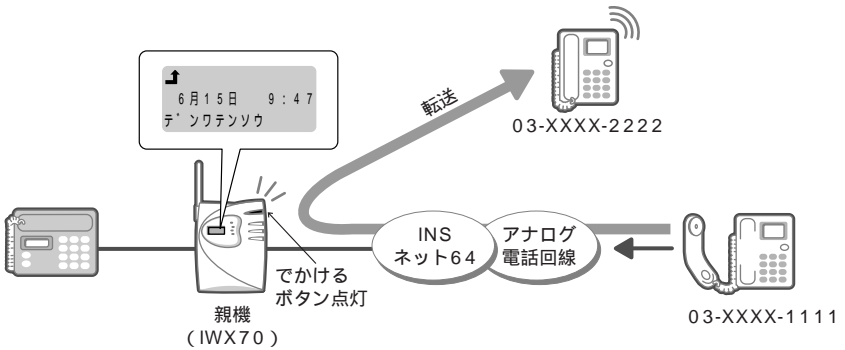
① 親機前面の  ボタンを押します。

親機の液晶ディスプレイに「」が表示され、お出かけ設定の「電話着信転送モード」になります。



6月15日 9:47
デ ンワテンソウ

- ② かかってきた電話は、登録しておいた電話番号に自動的に転送されます。
このとき電話機の着信音は鳴りません。



設定

『らくらくアシスタント』で着信転送を設定し、契約者回線番号やi・ナンバー情報(転送元)ごとに転送先の電話番号を登録します。i・ナンバーを使用しているか、使用していないかによって設定が異なります。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、着信転送を設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② [共通設定]タブをクリックします。
- ③ 「お出かけ設定」の「電話着信転送モード」を選択します。



- ④ **着信転送設定** ボタンをクリックします。
[アナログポート - 着信転送機能の設定]画面が表示されます。

- ⑤ 「転送 / 通知モード」で、「NTT 着信転送」または「疑似着信転送」を選択します。
i・ナンバーを使用しているかどうかによって画面が異なります。

i・ナンバーを使用する場合



i・ナンバーを使用しない場合



- ⑥ 転送元となる電話番号を ▼ をクリックして選択し、その番号を転送する転送先の電話番号を入力します。

i・ナンバーを使用している場合は i・ナンバー情報 1 ~ 3 が転送元になります。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑧ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



発信者には親機までの通話料がかかり、親機から転送先までの通話料は親機側にかかります。疑似着信転送を使用した場合は、通話料金は電話 A ポートに蓄積されます。アナログポートに電話機を接続していなくても、かかってきた電話を転送できます。特定の相手からの電話のみを転送する場合は、「識別着信転送」を利用します。(P.222)

話中するときや応答しないときなど、条件によって転送する場合は「INS ボイスワープ」を利用します。(P.196)



でかけるボタンを押してからもう一度押すときは、1 秒以上待ってから押してください。

話し中に別の電話番号に転送する（通信中転送）

通信中転送

INSネット64の付加サービスを利用します。通信中に別の相手呼び出して電話を転送します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。

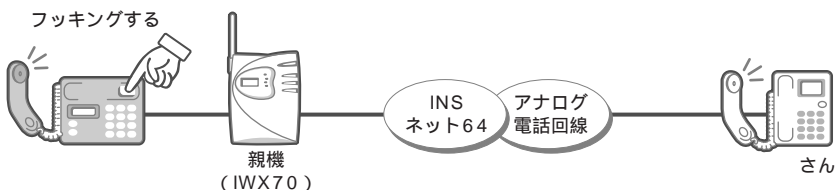


INSネット64の「フレックスホン」の「通信中転送」機能を契約します。

使い方

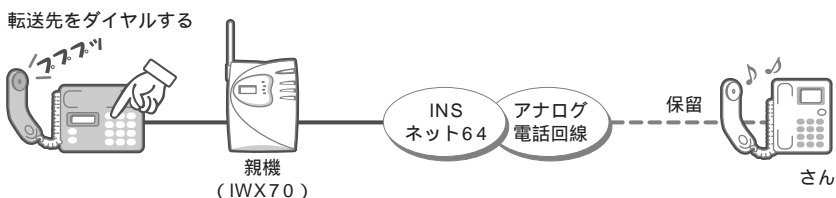
- 1 さんと通話中に、電話機のフックを軽く押してすぐ離します（「フッキング」といいます）。

PHS 電話機：（保留）または（通話）ボタンを押します。



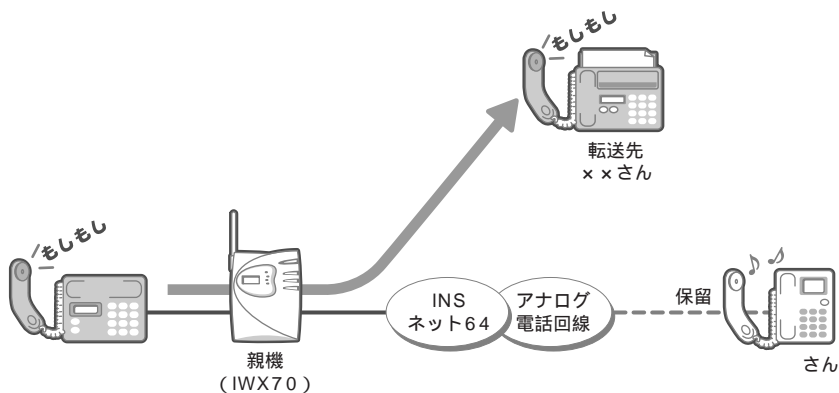
「ブブブ」と聞こえ、さんは保留になります。

- 2 転送する××さんへダイヤルします。



フッキングしたあと、ダイヤル桁間タイマの時間内（初期値：5秒）に転送先の電話番号をダイヤルしてください。

- ③ 転送先の××さんと通話します。



「ブップ、ブップ」と聞こえます。

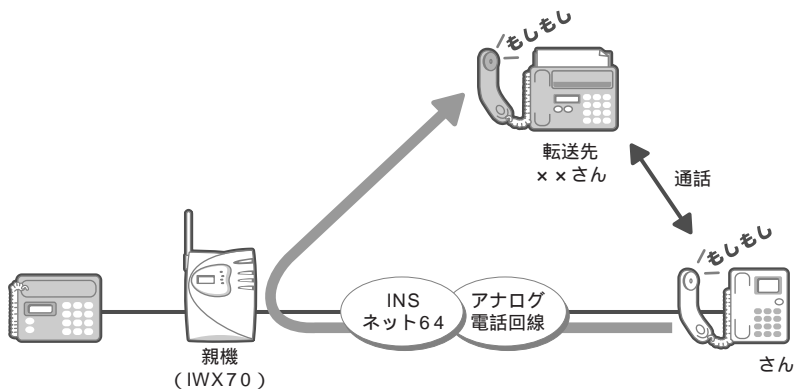
- ④ もう一度フッキングします。

PHS電話機： **保留** または **通話** ボタンを押します。

- ⑤ 「ブップ」と鳴っている間に受話器を置きます。

PHS電話機： **切** ボタンを押します。

さんと××さんが通話できます。



設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で [全体設定] をクリックし、 [アナログ / 無線ポート共通設定] を選択します。

[アナログポート / 無線ポート共通設定] 画面が表示されます。

- ② 「通信中転送」を「使用する」に設定します。



- ③ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



通信中転送ができるのは、着信した電話に回答したときだけです。自分から電話を発信したときは、通信中転送はできません。

転送先が回答するのを待たずに転送(応答前通信中転送)することもできます。転送先の電話番号をダイヤルしたあと、相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器を置きます。ただし、転送先がアナログ電話回線でナンバー・ディスプレイの契約をしている場合は、応答前通信中転送は利用できません。

特定の相手を対象にする

特定の電話だけ着信する（識別着信）

特定の相手からの電話だけを着信し、ほかの電話を一切受け付けないようにします。

識別着信

あらかじめ登録した電話番号からの着信だけ受け付けます。



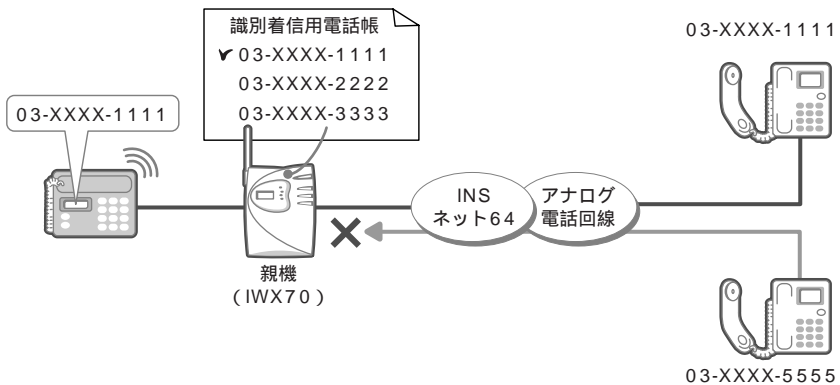
INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」と「INSなりわけサービス」を契約します。

疑似識別着信

Atermの機能です。疑似識別着信用の電話帳に30件まで電話番号が登録でき、登録された電話番号からの着信だけ受け付けます。

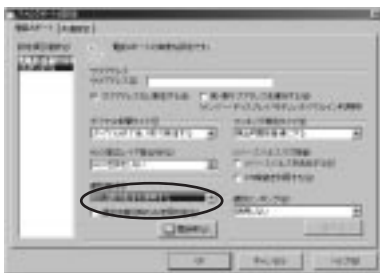


INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



『らくらくアシスタント』で識別着信を設定し、電話を受ける相手の電話番号を登録します。ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使用の環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、識別着信を設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「識別着信」でINSネット64の「INSなりわけ識別着信を使用する」、または「疑似識別着信を使用する」を選択します。



「INSなりわけ識別着信を使用する」を選択した場合は、INSネット64の付加サービスを申し込んでから、着信する電話番号を電話機で登録します。②に進みます。

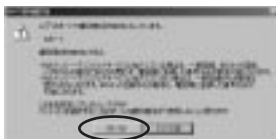
「疑似識別着信を使用する」を選択した場合は④に進みます。「電話帳」に識別着信する相手の電話番号を登録します。

話中に別の着信があったときだけ識別着信する場合は、「通信中着信時のみ使用可能」を にします。

- ④ **電話帳** ボタンをクリックします。
[電話帳]の[疑似識別着信]画面が表示されます。
- ⑤ 00～29の中から登録する番号を選択します。



- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
[アナログポートの設定]画面にもどります。
- ⑪ **OK** ボタンをクリックします。
識別着信の設定についての注意の画面が表示されます。
- ⑫ 内容を確認の上、**はい** ボタンをクリックします。



[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

お願い

「識別着信」と「選択キャッチホン」を同時に利用することはできません。
「疑似識別着信」を選択した場合、疑似識別着信用電話帳に電話番号を1件も登録していないと、すべての着信が受けられなくなります。
INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、相手がアナログ電話回線の場合は発信者番号が通知されません。そのため電話番号が識別できないので、アナログ電話回線からの着信が受けられません。INSナンバー・ディスプレイを契約してください。

お知らせ

識別着信番号として登録した電話番号は、すべてのポートで共通です。
登録した電話番号と相手から通知された電話番号は、桁数の末尾から照合され、桁数の短い方の電話番号と一致した時点で着信が受け付けられます。
相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきたときは、識別着信用電話帳に電話番号が登録してあっても、その相手を着信させることはできません。

特定の電話の着信音を変える（識別リングング）

識別リングング

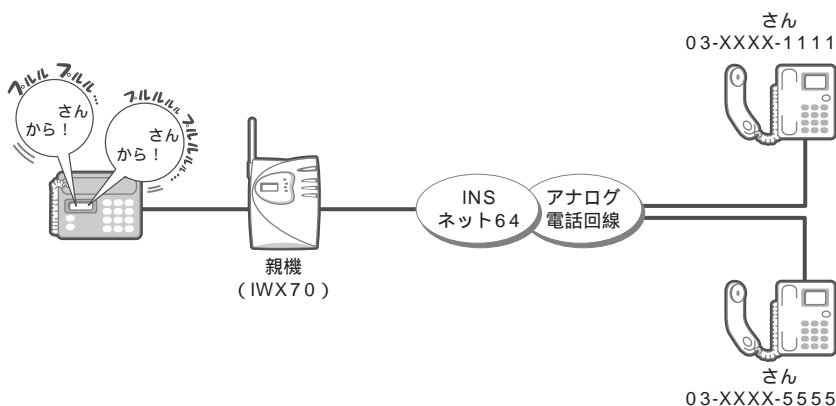
あらかじめ登録した電話番号からの着信だけ「識別着信情報」を親機に通知し、この情報を用いてなりわけをおこないます。

¥ INSネット64の「INSなりわけサービス」を契約し、相手の電話番号を登録します。登録方法などは、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。

疑似なりわけ

Atermの機能です。疑似なりわけ用の電話帳に30件まで電話番号が登録でき、あらかじめ登録した電話番号からの着信のときだけ、通常とは異なる着信音で知らせます。

¥ INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



さまざまな機能

5-2 親機の電話機能（特定の相手を対象にする）

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

電話 A ポート、電話 B ポートそれぞれに設定できるので、ファクスにはなりわけを使用しないようにする、といった設定が可能です。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定] 画面で、識別リングングを設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定] 画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「識別リングング」で「INS なりわけを使用する」、または「疑似なりわけを使用する」を選択します。



「INS なりわけを使用する」を選択した場合は、INS ネット 64 の「INS なりわけサービス」を申し込んでから、識別リングングする電話番号を電話機で登録します。⑦に進みます。

「疑似なりわけを使用する」を選択した場合は、④に進みます。「電話帳」になりわけする相手の電話番号を登録します。

- ④ **電話帳** ボタンをクリックします。

[電話帳] の [疑似なりわけ] 画面が表示されます。

- ⑤ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
[アナログポートの設定]画面にもどります。
- ⑪ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

お願い

お使いの電話機で着信音をメロディなどに変更している場合は、なりわけできません。なりわけを利用する場合は、通常の着信音にしてください。
INSなりわけ用の電話番号の登録方法などの詳細は、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。
INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、相手がアナログ電話回線の場合は発信者番号が通知されません。そのため電話番号が識別できないので、アナログ電話回線からの着信はなりわけできません。なりわけをおこなう場合は、INSナンバー・ディスプレイを契約してください。

お知らせ

識別着信番号として登録した電話番号は、すべてのポートで共通です。相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきたときは、疑似なりわけ用電話帳に電話番号が登録してあっても、その相手をなりわけすることはできません。登録した電話番号と相手から通知された電話番号は、桁数の末尾から照合され、桁数の少ない方の電話番号と一致したときに、なりわけがおこなわれます。子機として登録されているPHS電話機などで、識別リングングすることはできません。

話し中にかかってきた特定の電話だけを受ける（なりわけ選択キャッチホン）

話し中にかかってきた特定の相手からの着信のときだけ、話し中の相手を保留して新しい相手と通話します。選択キャッチホンには次の2種類があります。

INSなりわけ選択キャッチホン

INSネット64の付加サービスを利用します。INSなりわけサービスに電話番号を登録します。話し中に登録した電話番号からの着信があると、割り込み音を鳴らして電話がかかってきていることを知らせます。



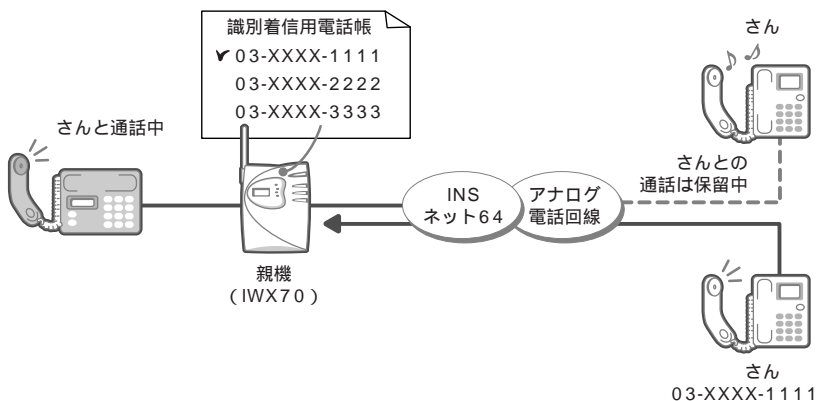
INSネット64の「INSなりわけサービス」の「選択キャッチホン」機能を契約します。

疑似選択キャッチホン

Atermの機能です。疑似識別着信用の電話帳に最大30件まで電話番号が登録できます。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



設定

『らくらくアシスタント』で「識別着信」を選択し、「通信中着信時のみ使用可能」を にします。「疑似選択キャッチホン」を使用する場合は、疑似識別着信用の電話帳に選択キャッチホンで着信したい相手の電話番号を登録します。

「特定の電話だけ着信する（識別着信）」（ P.210 ）



「識別着信」と「キャッチホン」を同時に利用することはできません。

受けたくない電話の着信を拒否する（迷惑電話防止）

いたずら電話や迷惑電話など、出たくない相手からの電話を拒否します。

迷惑電話おことわりサービス

INSネット64の付加サービスを利用します。迷惑電話やいたずら電話を着信しないようにします。あらかじめ登録しておいた相手から電話がかかってきても着信音を鳴らしません。「迷惑電話おことわりサービス6」の場合は6件、「迷惑電話おことわりサービス30」の場合は30件まで迷惑電話を登録することができます。



INSネット64の「迷惑電話おことわりサービス6」、または「迷惑電話おことわりサービス30」を契約します。

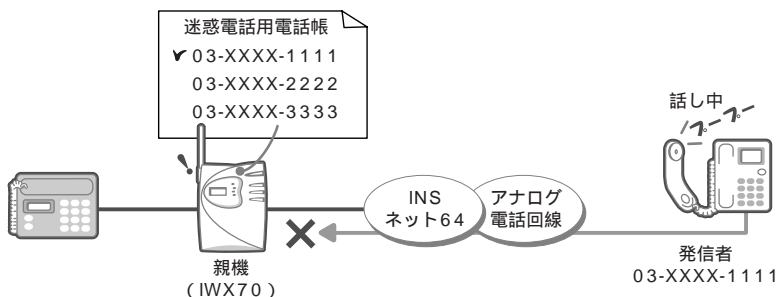
迷惑電話防止

Atermの機能です。

迷惑電話用電話帳に登録した相手から電話がかかってきても、着信音を鳴らしません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



使い方

迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話おことわりサービスを利用すると、着信を拒否したい相手から電話があった直後に電話機から相手の電話番号を登録することができます。登録方法は、NTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

迷惑電話防止

迷惑電話を着信した電話機で、かかってきた直後に相手の電話番号を登録します。

- 1 迷惑電話がかかってきたら、いったん受話器を上げたあと、電話を切ります。
- 2 着信した電話機の受話器を上げ、[*] [*] 5 2 と押します。
親機の液晶ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

[親機液晶ディスプレイ]

A
メイワクテ^oソワトウロク
03XXXXXXXXX

- 3 1 を押します。

A
03XXXXXXXXX
キヨヒシマス

- 4 # を押してから、受話器を置きます。

A
セツテイシマシタ

迷惑電話用電話帳に相手の電話番号が登録されます。

お知らせ

「ピッピッピ」と音が鳴ったときは正しく登録できていません。

お願い

電話番号を通知しないでかけてきた相手も、迷惑電話用電話帳に登録できます。ただし電話番号が非通知の理由（非通知、表示圏外、公衆）で登録されるため、理由が同じ電話はすべて着信が拒否されるので注意してください。
INSナンバー・ディスプレイの契約をしないと、相手がアナログ電話回線の場合は発信者番号が通知されません。そのため電話番号が識別できないので、アナログ電話回線からの着信は迷惑電話防止が利用できません。利用する場合は、INSナンバー・ディスプレイを契約してください。

設定

『らくらくアシスタント』で、あらかじめ迷惑電話を登録しておくこともできます。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話帳の設定]を選択します。

[電話帳]画面が表示されます。

- ② [迷惑電話防止]タブをクリックします。

- ③ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ④ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。

- ⑤ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。

電話番号を通知してこない相手を拒否したい場合は、「非通知」、「表示圏外」、「公衆」の中からいずれかを選択します。

- ⑥ **追加** ボタンをクリックします。

登録してあった名前や電話番号を修正したときは、**更新** ボタンをクリックします。

指定した番号に登録されます。

- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



迷惑電話防止機能で電話番号を登録していても、相手が自分の電話番号を通知しないでかけてきたときは、着信を拒否できません。

特定の電話機だけに着信させる（マイプライベート着信）

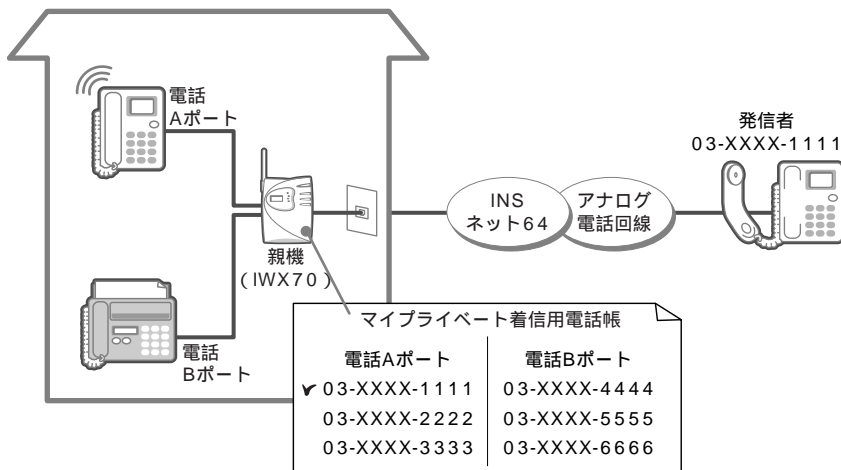
かけてきた相手によって、着信する電話機を指定します。

マイプライベート着信

INSネット64の付加サービスを利用します。マイプライベート着信用の電話帳に登録されている相手から電話がかかってくると、指定した電話機だけに着信します。マイプライベート着信用電話帳には30件まで電話番号が登録できます。また発信者番号通知をしていない着信を指定することもできます。



INSネット64の「INS
ナンバー・ディスプ
レイ」を契約します。



設定

『らくらくアシスタント』で、特定の電話機に着信させたい相手の電話番号を登録します。ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で[全体設定]をクリックし、[電話帳の設定]を選択します。
[電話帳]画面が表示されます。
- ② [マイプライベート着信]タブをクリックします。
- ③ 「マイプライベート着信を使用する」を にします。

- ④ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ⑤ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑥ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑦ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)
- 電話番号を通知してこない相手を、指定したポートに着信させる場合は、「非通知」、「表示圏外」、「公衆」の中からいずれかを選択します。
- ⑧ 「呼び分けポート」で、入力した電話番号を着信させるアナログポートを選択します。
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



INSなりわけ識別着信や疑似識別着信を使用している場合は、マイプライベート着信に設定した電話番号を、INSなりわけ識別着信や疑似識別着信用電話帳にも登録してください。登録していない電話番号からの着信は受けられません。

⑦ で非通知 / 表示圏外 / 公衆でかかってきた電話を着信させるアナログポートを指定しないと、相手が電話番号を通知していない着信が受けられません。

特定の電話を別の電話番号に転送する（識別着信転送）

特定の相手からの電話だけ、あらかじめ登録しておいた別の電話番号へ転送します。それ以外の相手からの電話は通常どおり着信します。識別着信転送には次の2種類があります。

識別着信転送

INSネット64の付加サービスを利用します。

Bチャンネルを1つだけ使用するので、空いているBチャンネルを電話やインターネットで使用することができます。



INSネット64の「INSなりわけサービス」を契約します。

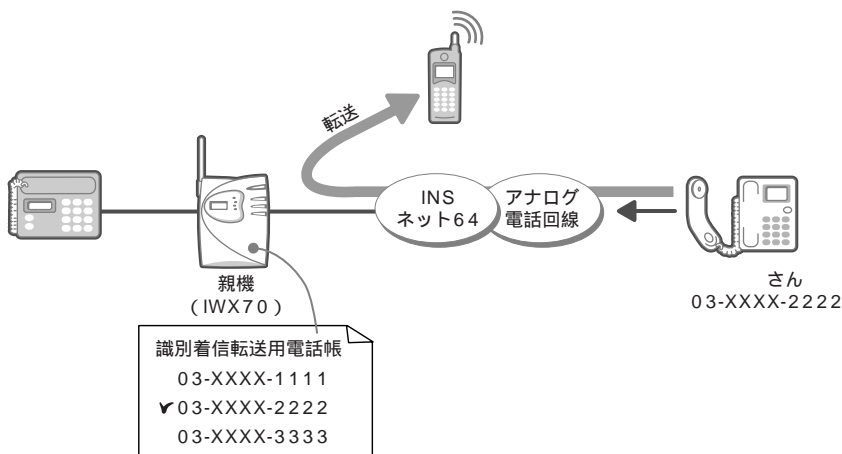
疑似識別着信転送

Atermの機能です。

B1、B2チャンネルの両方を使用するので、転送中は内線通話以外の通信はできません。



INSネット64の「INSナンバー・ディスプレイ」を契約します。



使い方

- 1 親機前面の ボタンを押します。
 ボタンが赤色に点灯し、以降は登録されている電話番号からの着信のみ転送されます。
- 2 転送を停止するときは、 ボタンをもう一度押します。
 ボタンが消灯します。



でかけるボタンを押したあともう一度押すときは、1秒以上待ってから押してください。

設定

『らくらくアシスタント』で、識別着信の設定と着信転送の設定をします。
ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、識別着信転送を設定するアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「識別着信」で「INS なりわけ識別着信を使用する」、または「疑似識別着信を使用する」を選択します。



「INS なりわけ識別着信を使用する」を選択した場合は、INS ネット 64 の付加サービスを申し込んでから、なりわけ識別着信する電話番号を電話機で登録します。⑩に進みます。

「疑似識別着信を使用する」を選択した場合は④に進みます。「電話帳」に識別着信する相手の電話番号を登録します。

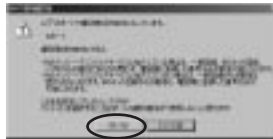
話し中に別の着信があったときだけ識別着信する場合は、「通信中着信時のみ使用可能」を にします。

- ④ **電話帳** ボタンをクリックします。
[電話帳]の[疑似識別着信]画面が表示されます。

- ⑤ 00 ~ 29の中から登録する番号を選択します。



- ⑥ 「名前」をクリックし、登録する相手の名前を入力します。
- ⑦ 「電話番号」をクリックし、登録する電話番号を市外局番から入力します。ハイフンや()は入力する必要はありません。
- ⑧ サブアドレスがある場合は「サブアドレス」に入力します。(「特定の電話機に着信させる」P.187)
- ⑨ **更新** ボタンをクリックします。
指定した番号に登録されます。
- ⑩ **OK** ボタンをクリックします。
識別着信の設定についての注意の画面が表示されます。
- ⑪ 内容を確認の上、**はい** ボタンをクリックします。



[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑫ [共通設定] タブをクリックします。
- ⑬ 「お出かけ設定」の「電話着信転送モード」を選択します。



- ⑭ **着信転送設定** ボタンをクリックします。

[アナログポート - 着信転送機能の設定] 画面が表示されます。

- ⑮ 「転送 / 通知モード」で、「NTT着信転送」または「疑似着信転送」を選択します。
i・ナンバーを使用しているかどうかによって画面が異なります。

i・ナンバーを使用する場合



i・ナンバーを使用しない場合



- ⑯ 転送元となる電話番号を ▼ をクリックして選択し、その番号を転送する電話番号を「転送先」に入力します。

i・ナンバーを使用している場合は、i・ナンバー情報 1 ~ 3 が転送元になります。

- ⑰ **OK** ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑱ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

高位レイヤ整合性を設定する (HLC)


HLC (高位レイヤ整合性)

親機に接続したパソコンやアナログ通信機器の種別をHLCに設定し、HLCが一致する相手とだけ通信をおこないます。相手がINSネット64に加入している場合だけ利用できます。

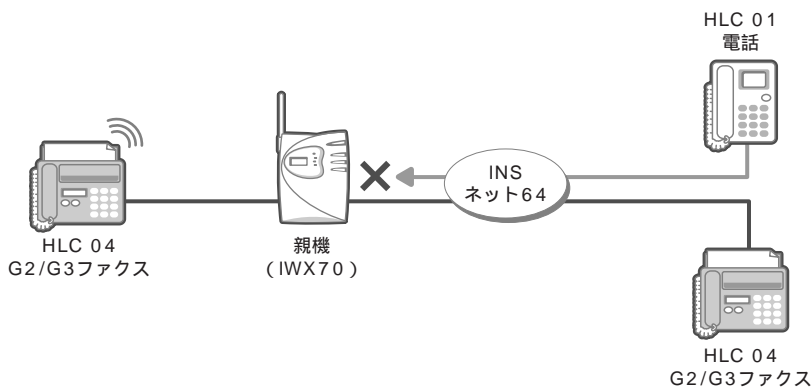
発信時は親機が自動的にHLCを付けて発信します。

着信時は相手からのHLCを照合し、一致するときだけ通信を実行します。

通常、HLCの指定がない相手からの着信はすべて受け付けません。ただし親機の設定が「FAX/モデム」となっている場合には、HLCを設定していない着信は受け付けません。

 付加サービスの契約は必要ありません。

例 ファクスにHLCを設定している場合



HLC コード

HLC コードは次のとおりです。

「HLCを設定する」に設定すると、親機のアナログポートに接続された電話機は「01」、ファクスまたはモデムには「04」のHLCコードが自動的に設定されます。データポートにはHLCコードを任意に設定できます。

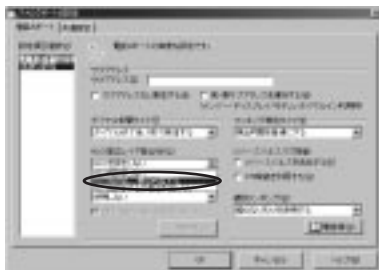
HLCコード	接続機器の種別
01	電話
04	G2/G3ファクス
33	G4ファクス
36	ミックスモード
49	テレテックス
50	ビデオテックス
53	テレックス
56	メッセージ処理システム (MHS)
65	OSIアプリケーション

設定

『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98 搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、HLCを設定する親機のアナログポートを選択します。
[アナログポートの設定]画面が表示されます。
- ② 「設定項目選択」で「高度な設定」を選択します。
- ③ 「HLC (高位レイヤ整合性)」を設定します。HLC が一致する相手とだけ通信をする場合は「HLCを設定し、着信判定する」を選択します。HLCを相手に通知するだけで、着信したときHLCが一致しているかどうかを判定しない場合は「HLCを設定するが着信判定しない」を選択します。



④ ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



ファクス付電話機のように、相手が電話でもファクスでも着信を受け付けたいときは「HLCを設定しない」に設定します。「着信判定する」に設定されていると、相手がINS ネット 64 に接続された電話機またはファクスの場合に、着信できないことがあります。



HLCがない着信があった場合、通常は受け付けますが、親機のアナログポートに接続する機器の設定が「FAXやモデムを接続する」になっていると、着信は受け付けません。

データポートにHLCを設定する場合は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1. データ通信の機能」を参照してください。

電話機でダイヤルインを使う

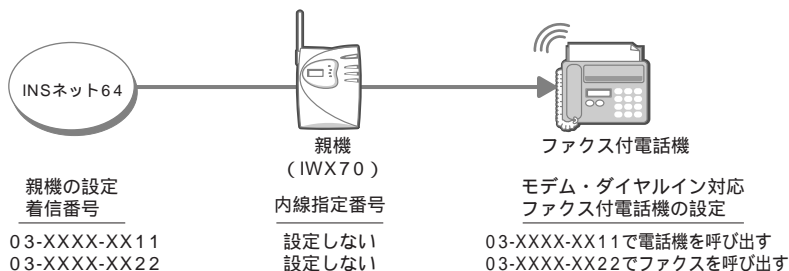
着信した電話番号をモデム信号で送出する（モデム・ダイヤルイン）

モデム・ダイヤルイン

着信した電話番号を、モデム信号で電話機などに送出します。モデム・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信を呼び分けたり、ホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INSネット64の「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を契約します。



- ① 03-XXXX-XX11で着信した場合
電話番号をモデム信号で送出し、ファクス付電話機の電話機を呼び出す。
- ② 03-XXXX-XX22で着信した場合
電話番号をモデム信号で送出し、ファクス付電話機のファクスを呼び出す。
内線指定番号を設定すると、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

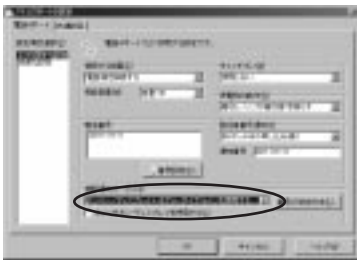
『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使いの環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、モデム・ダイヤルインを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「情報通知サービス」で、「モデム・ダイヤルラインを使用する」、または「ナンバー・ディスプレイ+モデムダイヤルラインを使用する」を選択します。
i・ナンバーを利用している場合は「モデム・ダイヤルラインを使用する」を選択し、⑥に進みます。



- ③ [番号の送出方法] ボタンをクリックします。
[アナログポート - 端末番号の送出方法] 画面が表示されます。

- ④ 電話番号をそのままアナログポートに送出するか、内線指定番号に変換して送出するかを選択します。内線指定番号に変換する場合は任意の4桁の数字を入力します。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。
[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。
[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。



INSナンバー・ディスプレイを契約している場合は、アナログ・ダイヤルライン機能は使用できません。モデム・ダイヤルライン機能をご使用ください。
アナログ通信機器にダイヤルライン番号を登録する場合は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書を参照してください。登録する電話番号は、Atermに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。



モデム・ダイヤルラインを設定したアナログポートでINSキャッチホンを利用している場合、通話中にファクスの着信があると、電話の着信と同じように「ブブツ」という音が聞こえます。
ファクス付電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。
ダイヤルラインサービスをご利用の場合は、内線指定番号を設定すると電話番号の代わりに内線指定番号が通知されます。i・ナンバーをご利用の場合は、内線指定番号をアナログ通信機器に送出することはできません。

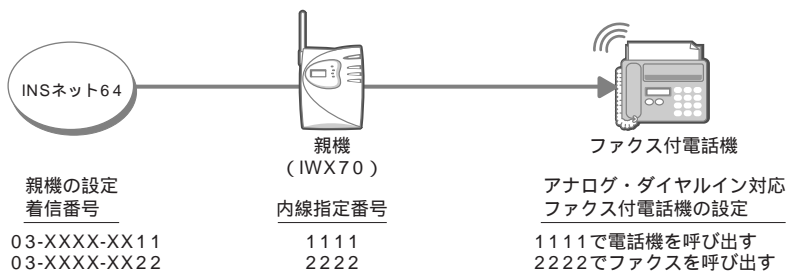
着信した電話番号をプッシュ信号で送出する（アナログ・ダイヤルイン）

アナログ・ダイヤルイン

着信した電話番号を、プッシュ信号で電話機などに送出します。アナログ・ダイヤルイン対応のファクス付電話機のファクス着信と電話着信を呼び分けたり、ホームテレホンの内線直接呼び出しなどで使用します。



INSネット64の「i・ナンバー」または「ダイヤルインサービス」を契約します。



- ① 03-XXXX-XX11で着信した場合
1111を送出し、ファクス付電話機の電話機を呼び出す。
- ② 03-XXXX-XX22で着信した場合
2222を送出し、ファクス付電話機のファクスを呼び出す。

内線指定番号を設定すると、着信番号を内線指定番号に変換して送出します。

設定

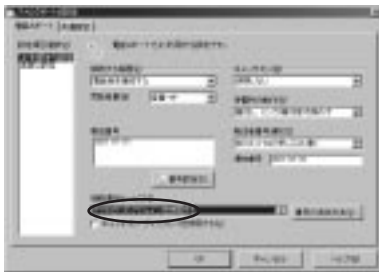
『らくらくアシスタント』で設定します。

ここでは、Windows98搭載のパソコンで『らくらくアシスタント』を使用して設定する場合を例に説明します。お使用の環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合があります。

- ① [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、アナログ・ダイヤルインを設定するアナログポートを選択します。

[アナログポートの設定]画面が表示されます。

- ② 「情報通知サービス」で「アナログ・ダイヤルインを使用する」を選択します。



- ③ 番号の送出方法 ボタンをクリックします。

[アナログポート - 端末番号の送出方法] 画面が表示されます。

- ④ 「内線指定番号に変換して送出」を選択し、内線指定番号に任意の4桁の数字を入力します。



- ⑤ OK ボタンをクリックします。

[アナログポートの設定] 画面にもどります。

- ⑥ OK ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定] 画面にもどります。

お願い

INSナンバー・ディスプレイを契約している場合は、アナログ・ダイヤルイン機能は使用できません。モデム・ダイヤルイン機能をご使用ください。
アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する場合は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書を参照してください。登録する電話番号は、Atermに設定した(送出する)電話番号と一致させてください。

お知らせ

「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したアナログポートに対して、内線通話や内線転送はできません。
おやすみモード/フラッシュモード中、INS なりわけ/疑似なりわけ利用中、プザー呼出中はアナログ・ダイヤルインは使用できません。

5-3 . Aterm のメール機能

INS ネット 64 の基本サービス「ユーザ間情報通知サービス (UUI)」と、Aterm のメール機能を組み合わせてメールサービスが利用できます。

メール機能とは

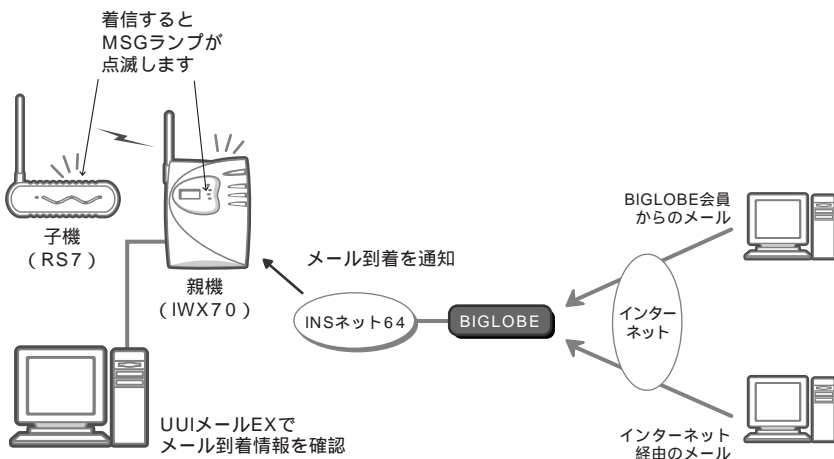
Aterm で利用できるメールサービスは次の 3 種類です。

電子メール着信通知

BIGLOBE に電子メールが届くと、親機または子機のMSGランプが点滅して電子メールの到着を知らせます。BIGLOBE にアクセスしなくてもメールの着信が確認できるので、メールの確認のためだけにパソコンを起動したり、インターネットにアクセスする手間がはぶけます。また添付のユーティリティソフト『UUIメールEX』を使うと、電子メールの送信者 (From: 先頭10バイト)、用件 (Subject: 先頭100バイト) をパソコンに表示することができます。さらにBIGLOBE側の設定で通知する条件などを設定することで、必要なメールの到着だけに限定して通知することもできます。



BIGLOBE に加入契約をし、メールオプションの申し込みをします。(有料)
すでにBIGLOBE会員の方は、メールオプションだけを申し込んでください。



お知らせ

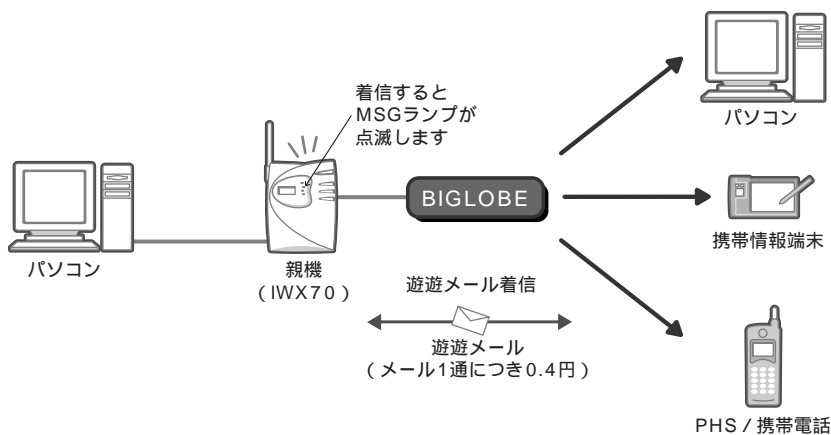
UUIメールが着信したときの親機のMSGランプの点滅を消す場合は、親機に接続した電話機のプッシュボタンで **※** **※** **○** と押します。

遊遊メール（UUIメール変換サービス）

BIGLOBEにUUIメールを送信すると、BIGLOBEのサーバが電子メールの形式に変換してインターネット上に送信します。電子メールでの呼び出しやメッセージ送信ができるPHS電話機、携帯電話、携帯情報端末（PDA）などのショートメッセージサービスが利用できます。また、親機に接続した電話機のプッシュボタンでメッセージを送信（テレホン遊遊メール）することもできます。



BIGLOBEに加入契約をし、メールオプションの申し込みをします。（有料）
すでにBIGLOBE会員の方は、メールオプションだけを申し込んでください。

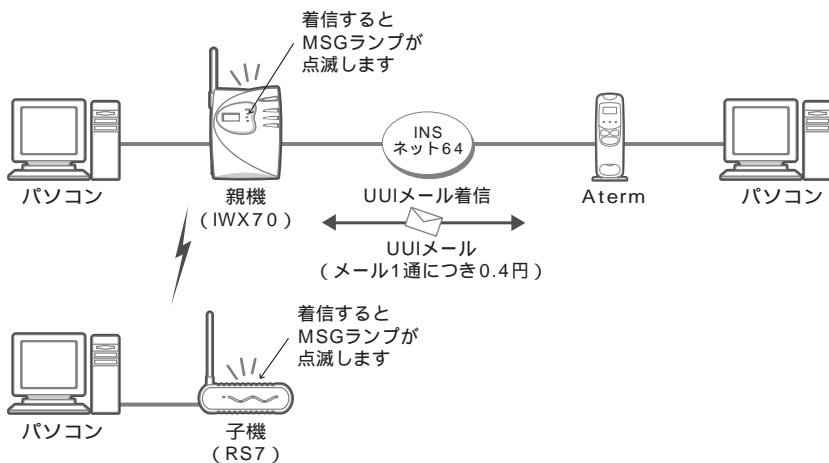


UUIメール

プロバイダやパソコン通信サービスを経由せずに、親機または子機と相手側のAterm間で直接メールの送受信ができます。また、親機に接続した電話機のプッシュボタンでメッセージを送信（テレホンUUIメール）することもできます。



「ユーザ間情報通知サービス」を「着信許可」と申し込みます。（無料）



メール機能を利用するには

Aterm のメール機能を利用するには、以下の申し込みと Aterm の設定が必要です。

必要な申し込み

利用するメール機能によって、INS ネット 64 の基本サービスの契約と BIGLOBE のメールオプションを次のように申し込みます。

申し込み	メールサービス	電子メール 着信通知	遊遊メール	UIIメール
INS ネット 64 基本サービス	ユーザ間情報通知	着信許可		
	発信者番号通知	-	通常通知（通話ごと非通知）または通常非通知（回線ごと非通知）*1	-
	通信中着信通知	申込推奨 *2		-
BIGLOBE		BIGLOBEの加入とメールオプションの申込（有料）*3		-

*1 「通常非通知」を契約している場合は『らくらくアシスタント』の設定で、データポートの発信者番号通知を「行う」に設定します。

*2 「通信中着信通知」を申し込むと、B チャネル 2 本を使った通信中でも UII メール の着信を受け付けることができます。

*3 BIGLOBE のメールオプションや申し込みについては、下記を参照してください。

BIGLOBE ホームページ

<http://www.biglobe.ne.jp/>（平成 12 年 9 月現在）

BIGLOBE メールオプションの設定

<http://www.biglobe.ne.jp/mail/>（平成 12 年 9 月現在）

必要な設定

親機に接続されている電話機のプッシュボタンで操作したり、添付 CD-ROM 『Aterm IWX70&RS7 ユーティリティ集』に収録されている『UIメールEX』を使用してAtermのメール機能を利用します。

メールサービス		電子メール着信通知	遊遊メール	UIメール
使用するツール				
UIメールEX		BIGLOBEで設定した「通知表示名」の登録が必要	BIGLOBEのID登録が必要	
電話機	テレホン UIメール	×	×	
	テレホン 遊遊メール	×	BIGLOBEのID登録が必要	×



『BIGLOBE』は、NECが運営するインターネットプロバイダです。
『UIメールEX』のインストール方法や使い方、テレホン UIメール、テレホン 遊遊メールの使い方は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-2 . Atermのメール機能」を参照してください。
『UIメールEX』については、添付 CD-ROM にHTML形式でオンラインマニュアルが収録されています。CD-ROMの「UIメールEX」フォルダ内の「index.htm」ファイルを『Internet Explorer』などのブラウザで開くと、UIメールEXの詳細な説明を見ることができます。

Aterm で必要な設定

データポートに発信者通知番号と着信番号を設定したあと、Atermのメール機能を親機で利用するか、子機で利用するかを選択します。初期値は親機で利用するように設定されています。

ここではWindows98搭載のパソコンで設定する場合を例に説明します。Macintoshの場合は一部の手順および画面が異なります。

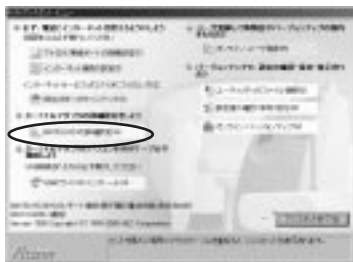
発信者通知番号と着信番号の設定

データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。

① 『らくらくアシスタント』を起動します。

② [らくらくアシスタントメニュー]で [IWX70&RS7の詳細設定]をクリックします。

(「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」P.82、「4-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」P.111)



[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は [IWX70らくらくアシスタント]画面で [データポートの詳細設定]を選択し、④に進みます。

③ 親機を接続しているデータポート (シリアルポートまたはUSBポート)を選択します。



[データポートの設定]画面が表示されます。

④ 「着信番号」でメールを着信する電話番号を確認します。

電話番号を変更する場合は、**番号設定**ボタンをクリックして設定します。



⑤ 「発信者番号通知」で「番号通知を行う」を選択し、「通知番号」に相手に通知する電話番号を入力します。

(「5-2.親機の電話機能」P.164)

⑥ **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

メール機能を利用するAtermを設定する

- 1 [ターミナルアダプタの詳細設定]画面で、親機のシリアルポートまたはUSBポートを選択します。

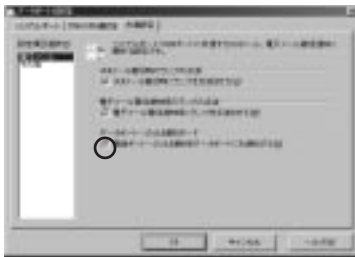


シリアルポートとUSBポートに共通の設定です。

[データポートの設定]画面が表示されます。

- 2 [共通設定]タブをクリックします。

- 3 「データポートへのUII通知モード」の「無線ポートへのUII通知をデータポートにも通知する」を指定します。親機で利用する場合はにします。子機で利用する場合はクリックして にします。



- 4 **OK** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。

- 5 子機のデータポートを選択します。



[RS7の詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は『RS7らくらくユーティリティ』を起動します。

- 6 「その他」の「UIIメール着信時にランプを点滅させる」を指定します。親機で利用する場合はクリックして にします。子機で利用する場合は にします。



- 7 **終了** ボタンをクリックし、**はい** ボタンをクリックします。

[ターミナルアダプタの詳細設定]画面にもどります。



この設定をおこなっても、テレホンUIIメールの着信は通知されません。



Atermのメール機能を利用するには、添付ユーティリティ『UIIメールEX』の環境設定が必要です。『UIIメールEX』については、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-2. Atermのメール機能」を参照してください。

6

パソコンを使わないで親機を操作する

親機に接続した電話機やファンクションボタンを使って、親機の機能の操作や設定をする手順を説明します。

ファンクションボタンで操作する …… 242

電話機で設定する …………… 251

6-1 .ファンクションボタンで操作する

液晶ディスプレイを見ながら親機前面の **MENU**、**SELECT**、**ENTER** のファンクションボタンを使って着信履歴を表示したり、親機を初期化することができます。

パソコンを接続している場合は、『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。

着信履歴を表示する

電話 A ポート、電話 B ポートに着信した発信者番号、着信日時などを親機の液晶ディスプレイに表示します。最大 50 件分の着信履歴が記憶でき、それを超えると古い履歴から消去されます。着信履歴表示の詳細は「5-2 .親機の電話機能」(P.175) を参照してください。

- ① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **ENTER** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウシ*

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

最新の着信履歴が表示されます。

チャクシンリレキ
ヒョウシ* シマス

5 秒後

30日23:05 A
0398765432 /▶

- ④ **SELECT** ボタンを押して着信履歴を切り替えます。

SELECT ボタンを押すと、1 つ前の着信履歴が表示されます。

- ⑤ **MENU** ボタンを押します。

通常の表示にもどります。

MENU ボタンを押さないと、20 秒後に通常の表示にもどります。



電話機のプッシュボタンを操作して着信履歴を表示することもできます。(「5-2 .親機の電話機能」P.175)

着信履歴先に電話をかける

着信履歴に記憶されている電話番号に電話をかけます。

着信履歴先発信の詳細は「5-2 .親機の電話機能」(P.175)を参照してください。

1 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2 **ENTER** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウシ

3 **ENTER** ボタンを押します。

最新の着信履歴が表示されます。

サイシンノリレキヲ
ヒョウシ シマス

5 秒後

3 0 日 2 3 : 0 5 A
0 3 9 8 7 6 5 4 3 2 / ▶

4 **SELECT** ボタンを押して、発信する電話番号を表示します。

5 **ENTER** ボタンを押します。

ハッシンチュウ

あらかじめ指定されている着信履歴先発信する電話機 (P.244) の着信音が鳴ります。

6 着信音が鳴っている電話機の手話器を上げます。

例 電話 A ポートからの発信の場合

A
アナログ A ハッシン
XXXXXXXXXXXX

着信履歴先の電話番号に発信します。

7 発信先の相手と通話します。



電話機のプッシュボタンを操作して着信履歴先に発信することもできます。(「5-2 .親機の電話機能」 P.175)

履歴先発信する電話機を指定する

着信履歴先に電話をかけるときの電話機を指定します。工場出荷時は、電話 A ポートに接続されている電話機から発信するように設定されています。

1 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2 **ENTER** ボタンを押します。

1 : チャクシンリレキ
ヒョウジ'

3 **SELECT** ボタンを押します。

2 : ハッシンホ' - ト
セントアク

4 **ENTER** ボタンを押します。

ハッシンホ' - ト
セントアクシマス

5 秒後

ホ' - ト A

5 **SELECT** ボタンを押して、履歴先発信する電話機が接続してあるアナログポートを選択します。

SELECT ボタンを押すごとに電話 A ポート、電話 B ポートが切り替わります。

6

ENTER ボタンを押します。

例 電話 B ポートを選択した場合

ホ' - ト B
セントアクシマス

5 秒後に通常の表示にもどります。

累積料金を表示する

アナログポート、無線ポート、データポートの各ポートごとに、通信した累積料金を表示します。

- ① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- ② **SELECT** ボタンを押します。

2 : リョウキン

- ③ **ENTER** ボタンを押します。

シリアルポートの累積料金が表示されます。

ルイセキ シリアル
310円

- ④ **SELECT** ボタンを押して表示するポートを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

ルイセキ シリアル (シリアルポート)

ルイセキ USB (USB ポート)

ルイセキ アナログ^{*} A (電話 A ポート)

ルイセキ アナログ^{*} B (電話 B ポート)

ルイセキ PHS A (無線 A ポート)

⋮

ルイセキ PHS F (無線 F ポート)

ルイセキ シリアル (シリアルポート)

例 電話 A ポートを指定したとき

ルイセキ アナログ^{*} A
50円

- ⑤ **MENU** ボタンを押します。

通常の表示にもどります。

MENU ボタンを押さないと、20秒後に通常の表示にもどります。



累積料金は『らくらくアシスタント』で確認することもできます。

累積料金を初期化する

累積料金を0円にもどします。一度の操作ですべてのポートの累積料金が初期化されます。

- 1 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- 2 **SELECT** ボタンを3回押します。

4 : ショキカ

- 3 **ENTER** ボタンを押します。

ショキカメニュー
センタクシマス

5秒後

1 : ルイセカキンノ
ショキカ

- 4 **ENTER** ボタンを押します。

ルイセカキン
ショウキョシマスカ?

初期化しない場合は、ここで **MENU** ボタンを押します。

- 5 **ENTER** ボタンを押します。

ショウキョシマシタ

5秒後に通常の表示にもどります。



親機の電源を切ると累積料金は初期化されます。

通信速度を切り替える (マニュアルBOD)

データポートで128kbpsマルチリンクPPP通信中に、通信速度を64kbpsまたは128kbpsに切り替えることができます(「マニュアルBOD」といいます)。マニュアルBODを使用するには、あらかじめ「リソースBOD」を設定しておきます。

- 1 128kbpsマルチリンクPPP通信中に **ENTER** ボタンを押します。

例 64kbpsで通信していたとき

[親機液晶ディスプレイ]
→ B1 RDY
64 128^
ツイカスル?

例 128kbpsで通信していたとき

⇒ B1 B2 RDY
128 64^
サクシ'ヨスル?

128kbpsマルチリンクPPP通信以外のデータ通信中に **ENTER** ボタンを押すと、「ショウキョ デ'キマセン」と表示されます。

通信速度を切り替えないときは、**MENU** ボタンを押します。

- 2 **ENTER** ボタンを押します。

液晶ディスプレイに表示されていた通信速度に切り替わり、ピクトグラムの表示が変わります。

例 通信速度を64kbpsから128kbpsにしたとき

⇒ B1 B2 RDY
ツイカシマス

例 通信速度を128kbpsから64kbpsにしたとき

→ B1 RDY
サクシ'ヨシマス



お知らせ

スループットBODを設定している場合、データ量が少ないと **ENTER** ボタンを押しても128kbpsに切り替わりません。128kbpsマルチリンクPPP通信、リソースBODについては、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-1.データ通信の機能」を参照してください。

ファームウェアのバージョンを表示する

親機を動作させるためのプログラムを「ファームウェア」といい、親機に内蔵されている不揮発性メモリ（フラッシュメモリ）に記憶されています。ファームウェアにはバージョンがあり、そのバージョンを確認することができます。

1

親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2

SELECT ボタンを5回押します。

6 : ハ - シ ョ ン

3

ENTER ボタンを押します。

Ver . 1 . 1 0

4

MENU ボタンを押します。

5秒後に通常の表示にもどります。



お知らせ

ファームウェアをバージョンアップして、親機に新しい機能を追加することができます。バージョンアップについては、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-1. Atermをバージョンアップする」を参照してください。

パソコンを使わないで親機を操作する

6-1 ファンクションボタンで操作する

設定を初期化する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容は、親機に内蔵されている不揮発性メモリ（フラッシュメモリ）に書き込まれるので、親機の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、増設登録をのぞいて工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えて親機が正しく動作しなくなった場合や、はじめから設定をやり直したいときなどに設定を初期化します。

① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

② **SELECT** ボタンを 3 回押します。

4 : ショキカ

③ **ENTER** ボタンを押します。

ショキカメニュー
センタクシマス

④ **SELECT** ボタンを押します。

2 : コウシ^{*} ヨウシュッカ
シ^{*} ニショキカ

⑤ **ENTER** ボタンを押します。

コウシ^{*} ヨウシュッカシ^{*}
ニショキカシマスカ?

初期化しないときは、ここで **MENU** ボタンを押します。

⑥

ENTER ボタンを押します。

ショキカチュウ

初期化が終了し、工場出荷時の設定にもどります。

無線ポートの通信モードを指定する

子機からインターネットに接続するときの、通信モードを指定することができます。通信モードは『らくらくアシスタント』などであらかじめ設定してありますが、親機のファンクションボタンを操作して、あとから通信モードを変更することができます。通信モードの詳細は「5-1 .ワイヤレス通信機能」(P.126)を参照してください。

発信モードの指定

親機に設定されている通信モードではなく、子機から通信モードを指定してINS ネット 64 に発信することができます。

① 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

② **SELECT** ボタンを 6 回押します。

7 : ツウシンモード^{*}
(ハッシン)

③ **ENTER** ボタンを押します。

④ **SELECT** ボタンを押して、設定する無線ポートを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

PHS A PORT (無線 A ポート)

PHS B PORT (無線 B ポート)

⋮

PHS F PORT (無線 F ポート)

PHS A PORT (無線 A ポート)

例 無線 B ポートを指定したとき

2 : PHS B PORT

⑤ **ENTER** ボタンを押します。

⑥ **SELECT** ボタンを押して発信モードを切り替えます。

SELECT ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

0 : PIAFS スルー

1 : ヒト^{*} ウキ 9.6K

2 : ヒト^{*} ウキ 14.4K

3 : ヒト^{*} ウキ 19.2K

4 : ヒト^{*} ウキ 28.8K

5 : ヒト^{*} ウキ 38.4K

6 : ヒト^{*} ウキ 57.6K

7 : ト^{*} ウキ 64K

0 : PIAFS スルー

例 非同期 57.6kbps を指定したとき

6 : ヒト^{*} ウキ 57.6K

パソコンを使わずに
親機を操作する

6-1 ファンクションボタンで操作する

7

[ENTER] ボタンを押します。

6 : ヒト^{*} ウキ57.6K
ヲセンタクシマシタ

5秒後に通常の表示にもどります。

着信モードの指定

子機が親機からデータを受信するときの、無線区間の着信モードを指定します。

1

親機前面の [MENU] ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

2

[SELECT] ボタンを7回押します。

8 : ツウシンモード^{*}
(チャクシン)

3

[ENTER] ボタンを押します。

4

[SELECT] ボタンを押して、設定する無線ポートを切り替えます。

[SELECT] ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

PHS A PORT (無線Aポート)

PHS B PORT (無線Bポート)

⋮

PHS F PORT (無線Fポート)

PHS A PORT (無線Aポート)

例 無線Cポートを指定したとき

3 : PHS C PORT

5

[ENTER] ボタンを押します。

6

[SELECT] ボタンを押して着信モードを切り替えます。

[SELECT] ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

0 : PIAFS 32K

1 : PIAFS 64K

2 : DLW 64K

0 : PIAFS 32K

例 デュアルリンクワイヤレス通信を指定したとき

2 : DLW 64K

7

[ENTER] ボタンを押します。

DLW 64K
ヲセンタクシマシタ

5秒後に通常の表示にもどります。

6-2 . 電話機で設定する

親機に接続した電話機で、アナログポートと無線ポートの設定をします。この操作方法を『らくらくテレホン設定』といいます。親機の液晶ディスプレイを見ながら、電話Aポートまたは電話Bポートに接続された電話機またはファクス付電話機のプッシュボタンで操作します。

パソコンを接続している場合は、『らくらくアシスタント』を使ってパソコンで設定することをおすすめします。

親機に接続する機器を設定する

親機のアナログポートと無線ポートに接続している通信機器の種類を設定します。

アナログポートに接続する機器の設定

親機の電話Aポート、電話Bポートに接続した通信機器の種類を設定します。工場出荷時には、すべてのポートが「電話機」に設定されています。

- 1** 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、[*] [*] [1] [*] と押します。

親機の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

[親機液晶ディスプレイ]

ホ°ポートシヨウチュウ
セツテイ フカ

- 2** 設定するアナログポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。
- ① 電話Aポート
 - ② 電話Bポート
- 3** [*] [0] [1] [*] と押します。

- 4** 接続している通信機器によって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① 電話機
- ① ファクスまたはファクス付電話機、モデム
- ② 接続しない

- 5** [#] を押します。
ほかのポートを続けて設定するときは、**2** にもどります。

- 6** [#] を押してから、受話器を置きます。



接続しないポートは**4** で必ず「接続しない」に設定してください。設定していないと、話し中のときでも、相手側に呼出音が流れてしまいます。

パソコンを使わないで親機を操作する

6-2 電話機で設定する

無線ポートに接続する機器の設定

無線ポートに接続した機器の種類を設定します。PHS電話機などを増設登録した場合は、この設定が必要です。使用しない無線ポートの設定は不要です。

- ① 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、[*][*][7][*]と押しします。

親機の液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、通話中または通信中のため設定できません。通話が終わってから操作してください。

[親機液晶ディスプレイ]

ホ ° - ートシヨウチュウ
セツテイ フカ

- ② 設定する無線ポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① 無線 A ポート
- ② 無線 B ポート
- ③ 無線 C ポート
- ④ 無線 D ポート
- ⑤ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

- ③ [*][0][1][*]と押しします。

- ④ 接続している通信機器によって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① リモートステーション（音声）、PHS（音声）
- ① リモートステーション（FAX やモデム）
- ② 音声、FAX（モデム）通信をしない（データ通信専用）

- ⑤ [#] を押しします。

ほかのポートを続けて設定するときは、②にもどります。

- ⑥ [#] を押ししてから、受話器を置きます。



ワイヤレスセットに同梱のRS7は工場出荷時に、「無線Aポート」、「リモートステーション（音声）、PHS（音声）」と登録されています。あらためて登録する必要はありません。

i・ナンバーを設定する

INSネット64の付加サービス「i・ナンバー」を契約している場合は、以下の設定をします。i・ナンバーを利用すると、2つまたは3つの電話番号で機器を呼び分けることができます。各電話番号は「i・ナンバー情報1」、「i・ナンバー情報2」、「i・ナンバー情報3」と区別します。

i・ナンバーの詳細は「5-2.親機の電話機能」(P.177)を参照してください。

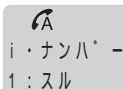
i・ナンバー使用の設定

i・ナンバーを「使用する」に設定します。

1 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、[*][*][1][*][4][*][7][6][*]と押します。

2 [1] を押し、i・ナンバーを「使用する」に設定します。

[親機液晶ディスプレイ]



A
i・ナンバー -
1:スル

使用しない場合は[0]を押します。

3 [#][#]と押してから、受話器を置きます。

i・ナンバー情報の登録

INSネット64で契約した電話番号(i・ナンバー情報)を親機に登録します。

1 電話機の受話器を上げ、[*][*][1][*]と押します。

2 [5][*][9][0]と押します。

3 登録するi・ナンバー情報1~3によって、次のようにプッシュボタンを押します。

[1] i・ナンバー情報1の電話番号を登録

[2] i・ナンバー情報2の電話番号を登録

[3] i・ナンバー情報3の電話番号を登録

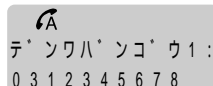
親機の液晶ディスプレイに表示されている電話番号を変更しない場合は、[#]を押してから**4**に進みます。

4 [*]を押してから、登録する電話番号を市外局番から押します。

例 03-1234-5678の場合

[*][0][3][1][2][3][4][5][6][7][8]と押す

[親機液晶ディスプレイ]



A
テ`ンワハ`ンゴ`ウ1:
0312345678_

電話番号を間違えて押したときは[*][*]を押すと、末尾の1文字を削除できます。

5 [#][#]と押します。

他のi・ナンバー情報を登録するときは、**2**にもどります。

6 [#]を押してから、受話器を置きます。

電話番号の割り当て

登録した i・ナンバー情報で、どのポートを呼び出すかを設定します。使用しているアナログポート、無線ポートのすべてに電話番号を割り当てます。

- ① 電話機を受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*][*][1][*]**、無線ポートを設定するときは **[*][*][7]** と押します。

- ② 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- ① 全無線ポート共通
- ① 無線 A ポート
- ② 無線 B ポート
- ③ 無線 C ポート
- ④ 無線 D ポート
- ⑤ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

- ③ **[*][9][4][*]** と押します。

- ④ 選択したポートに着信させたい電話番号 (i・ナンバー情報) によって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① i・ナンバー情報 1 の電話番号で着信
- ② i・ナンバー情報 2 の電話番号で着信
- ③ i・ナンバー情報 3 の電話番号で着信

- ⑤ **[#]** を押します。

他のポートを割り当てるときは、② にもどります。

- ⑥ 無線ポートの設定をしたときは、**[*][*][7][*][0][*][9][4][*][#][#]** と押します。

- ⑦ **[#]** を押してから、受話器を置きます。

相手に知らせる電話番号の設定 (発信者番号指定)

電話をかけたときに相手に通知する電話番号を、ポートごとに設定します。発信者番号指定の詳細は「5-2 親機の電話機能」(P.166) を参照してください。

- ① 電話機を受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*][*][1][*]**、無線ポートを設定するときは **[*][*][7]** と押します。

- ② 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- ① 無線 A ポート
- ② 無線 B ポート
- ③ 無線 C ポート
- ④ 無線 D ポート
- ⑤ 無線 E ポート
- ⑥ 無線 F ポート

- ③ **[*][9][5]** と押します。

- ④ **[*]** を押します。

親機の液晶ディスプレイに表示されている設定値を変更しない場合は、**[*]** を押さずに ⑥ に進みます。

- ⑤ 通知する電話番号 (i・ナンバー情報) によって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① i・ナンバー情報 1 の電話番号を通知
- ② i・ナンバー情報 2 の電話番号を通知
- ③ i・ナンバー情報 3 の電話番号を通知

- ⑥ **[#]** を押します。

他のポートを設定するとき、② にもどります。

- ⑦ **[#]** を押してから、受話器を置きます。

ダイヤルインサービスを設定する

INS ネット 64 の付加サービス「ダイヤルインサービス」を契約している場合は、以下の設定をします。ダイヤルインサービスを利用すると、2 つ以上の電話番号で機器を呼び分けることができます。INS ネット 64 を契約した電話番号を「契約者回線番号」、呼び分けのための追加番号を「ダイヤルイン番号 1」、「ダイヤルイン番号 2」と区別します。親機はダイヤルイン番号を最大 7 つまで登録できるので、契約者回線番号と合わせて 2 ~ 8 つの電話番号で機器を呼び分けることができます。ダイヤルインサービスの詳細は「5-2 . 親機の電話機能」(P.180) を参照してください。

電話番号の登録

契約者回線番号とダイヤルイン番号を親機の着信番号リストに登録します。

- 1 親機のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げ、[*] [*] [1] [*] と押します。
- 2 [4] [*] [8] と押します。
- 3 着信番号リストの番号によって、次のようにプッシュボタンを押します。

[0]	番号 0 (契約者回線番号を登録)
[1]	番号 1 (ダイヤルイン番号 1 を登録)
:	:
:	:
[7]	番号 7 (ダイヤルイン番号 7 を登録)

すでに電話番号が登録してあって変更しない場合は、5へ進みます。

4 [*] を押してから、登録する電話番号を市外局番から押します。

例 着信番号 0 に電話番号 03-1234-5678 を登録する場合

[*] [0] [3] [1] [2] [3] [4] [5]
[6] [7] [8] と押す

[親機液晶ディスプレイ]

チャックアウト 0 :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

電話番号を間違えて押したときは [*] [*] を押すと、末尾の 1 文字を削除できます。

液晶ディスプレイの表示桁数 (12 桁) より多く番号を押したときは、先頭に ◀ が付いて画面が切り替わります。[*] [1] を押すと右端に ▶ が表示され、1 ~ 11 桁が表示されます。もう一度 [*] [1] を押すと、12 桁目以降の表示にもどります。

例 03XXXXXXXX12345 の場合

チャックアウト :
0 3 X X X X X X X X 1 ▶

[*] [1] を押すごとに切り替わります

◀ 2 3 4 5 _

5 [#] [#] と押します。

他の電話番号を登録するときは、2にもどります。

6 [#] を押してから、受話器を置きます。

パソコンを使わずに親機を操作する

6-2 電話機で設定する

電話番号の割り当て

登録した契約者回線番号、ダイヤルイン番号で、どのポートを呼び出すかを設定します。

① 電話機の受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*][*][1][*]**、無線ポートを設定するときは **[*][*][7]** と押します。

② 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- ① 電話 A ポート
- ② 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- ① 全無線ポート共通
- ② 無線 A ポート
- ③ 無線 B ポート
- ④ 無線 C ポート
- ⑤ 無線 D ポート
- ⑥ 無線 E ポート
- ⑦ 無線 F ポート

③ **[*][9][1][*]** と押します。

④ 割り当てる電話番号を表示し、**[0]** を押して割り当てます。

次の操作で表示を切り替えます。

- ① 電話番号の続き（12桁以降）を表示する
- ② 割り当て状況を表示する
- ③ 次の番号を表示する
- ④ 前の番号を表示する

割り当てると親機の液晶ディスプレイの右端に「**A**」が表示されます。

[親機液晶ディスプレイ]



ダイヤルインサービス設定画面の液晶ディスプレイ表示。左側に「A」のアイコンがあり、中央に「チャクアト' 0:」と表示されている。右側の数字表示欄には「XXXXXXXXXX」が表示されている。

⑤ **[#]** を押します。

他のポートを割り当てるときは、**②** にもどります。

⑥ **[#]** を押してから、受話器を置きます。



無線ポートをダイヤルイン番号で呼び出す場合は、1つの電話番号で全無線ポートを呼び出すか、1つの無線ポートだけを呼び出すかのどちらかになります。同じ電話番号を複数の無線ポートに割り当てると無線ポートのA～Fの順に設定が優先され、1つの無線ポートだけが呼び出されます。

相手に知らせる電話番号の設定 (発信者番号指定)

電話をかけたときに相手に通知する電話番号を、ポートごとに設定します。発信者番号指定の詳細は「5-2. 親機の電話機能」(P.166)を参照してください。

1 電話機を受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*][*][1][*]**、無線ポートを設定するときは **[*][*][7]** と押します。

2 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- 1** 電話 A ポート
- 2** 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- 0** 全無線ポート共通
- 1** 無線 A ポート
- 2** 無線 B ポート
- 3** 無線 C ポート
- 4** 無線 D ポート
- 5** 無線 E ポート
- 6** 無線 F ポート

3 **[*][9][2]** と押します。

4 **[*]** を押します。

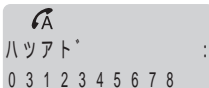
親機の液晶ディスプレイに表示されている設定値を変更しない場合は、**[*]** を押さずに **6** に進みます。

5 通知する電話番号を市外局番から押します。

例 03-1234-5678 の場合

0 **3** **1** **2** **3** **4** **5** **6**
7 **8** と押す

[親機液晶ディスプレイ]



ハツアト` :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

電話番号を間違えて押したときは **[*][*]** を押すと、末尾の1文字を削除できます。

液晶ディスプレイの表示桁数(12桁)より多く番号を押したときは、先頭に **◀** が付いて画面が切り替わります。**[*][1]** を押すと右端に **▶** が表示され、1~11桁が表示されます。もう一度 **[*][1]** を押すと、12桁目以降の表示にもどります。

例 03XXXXXXXX12345 の場合



ハツアト` :
0 3 X X X X X X X X 1 ▶

[*][1] を押すごとに切り替わります



ハツアト` :
◀ 2 3 4 5 _

6 **[#]** を押します。

他のポートを設定するときは、**2** にもどります。

7 **[#]** を押してから、受話器を置きます。

アナログポートのグローバル着信の設定

契約者回線番号で呼び出すアナログポートは「グローバル着信を利用する」に設定し、契約者回線番号で呼び出さないアナログポートには「グローバル着信を利用しない」に設定します。

- 1 電話機の手話器を上げ、 と押します。
- 2 設定するアナログポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。
 - 1 電話 A ポート
 - 2 電話 B ポート
- 3 と押します。
- 4 グローバル着信を利用する場合は 、利用しない場合は を押します。
- 5 を押します。

他のアナログポートを設定するときは、**2** にもどります。
- 6 を押してから、受話器を置きます。

無線ポートのグローバル着信の設定

契約者回線番号で呼び出す無線ポートを設定します。PHS電話機などを増設登録した場合は、この設定が必要です。アナログポートと異なり、無線ポートではすべての無線ポートを呼び出す「一斉呼出」か、どれか1つのポートを呼び出す「個別呼出」のどちらかの設定になります。

- 1 電話機の手話器を上げ、 と押します。
- 2 契約者回線番号で呼び出す無線ポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。
 - 0 全無線ポート（一斉呼出）
 - 1 無線 A ポート
 - 2 無線 B ポート
 - 3 無線 C ポート
 - 4 無線 D ポート
 - 5 無線 E ポート
 - 6 無線 F ポート

設定を変更しないときは **3** に進みます。
- 3 と押してから、受話器を置きます。

キャッチホンを設定する

「キャッチホン」を利用する場合は、以下の設定をします。

キャッチホンの使い方などの詳細は「5-2 .親機の電話機能」(P.156)を参照してください。

1 電話機を受話器を上げ、アナログポートを設定するときは **[*][*][1][*]**、無線ポートを設定するときは **[*][*][7][*]** と押します。

2 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

アナログポートを設定するとき

- 1** 電話 A ポート
- 2** 電話 B ポート

無線ポートを設定するとき

- 0** 全無線ポート共通
- 1** 無線 A ポート
- 2** 無線 B ポート
- 3** 無線 C ポート
- 4** 無線 D ポート
- 5** 無線 E ポート
- 6** 無線 F ポート

3 **[*][0][2][*]** と押します。

4 INSネット64の付加サービスの「INSキャッチホン」を使用する場合は **1**、Aterm の機能の「疑似キャッチホン」を使用する場合は **2** を押します。

5 **#** を押します。

他のアナログポートを設定するときは、**2** にもどります。

6 **#** を押してから、受話器を置きます。

INSナンバー・ディスプレイ/INSナンバー・リクエストを設定する

INSネット64の付加サービス「INSナンバー・ディスプレイ」または「INSナンバー・リクエスト」を契約している場合は、電話 A ポートと電話 B ポートにそれぞれ以下の設定をします。INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエストの詳細は、「5-2 .親機の電話機能」(P.168)を参照してください。

1 電話機を受話器を上げ、**[*][*][1][*]** と押します。

2 設定するポートによって、次のようにプッシュボタンを押します。

- 1** 電話 A ポート
- 2** 電話 B ポート

3 **[*][1][0][*][1]** と押します。

4 相手からのサブアドレスを表示しない場合は **0**、表示する場合は **1** を押します。

5 **#** を押します。

他のアナログポートを設定するときは、**2** にもどります。

6 **#** を押してから、受話器を置きます。



INSナンバー・ディスプレイ/INSナンバー・リクエストを利用する場合は、NTT 東日本またはNTT 西日本への設定が必要です。詳細はNTT 東日本・NTT 西日本へお問い合わせください。

パソコンを使わないで親機を操作する

6-2 電話機で設定する

INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトを設定する

INSネット64の付加サービス「INSボイスワープ」または「INSボイスワープ・セレクト」を契約している場合は、以下の設定をします。ボイスワープセンターへの転送開始モードを設定してから、お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。

INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクトの使い方などの詳細は、「5-2.親機の電話機能」(P.196)を参照してください。

転送モードの選択

ボイスワープで転送するときの条件を設定します。すべての着信を転送する「無条件転送」、設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答時転送」、話し中の場合に転送する「話中時転送」、話し中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しなかった場合に転送する「無応答/話中時に転送」の4種類の中から選択します。

1 電話機の受話器を上げ、[*][*][1][*][4][*][7][4][*]と押します。

2 設定する転送モードによって、次のようにプッシュボタンを押します。

- ① 無条件に転送
- ② 無応答のときに転送
- ③ 話し中のときに転送
- ④ 無応答または話し中のときに転送

3 [#][#]と押してから、受話器を置きます。

お出かけ設定

お出かけ設定を「ボイスワープ転送モード」に設定します。

1 電話機の受話器を上げ、[*][*][1][*][4][*][7][3][*][3][#][#]と押します。

2 受話器を置きます。



INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトを利用する場合は、転送先の電話番号の設定が必要です。詳細はNTT東日本・NTT西日本へお問い合わせください。

設定を初期化する

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容は、親機に内蔵されている不揮発性メモリ(フラッシュメモリ)に書き込まれるので、親機の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、増設登録をのぞいて工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えて親機が正しく動作しなくなった場合や、はじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

1 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、**[*][*][9][8][*]**と押します。

2 受話器を置きます。



無線ポートに登録されているPHS電話機の機種や電波の状態によっては、初期化実行後30秒～1分程度PHS電話機が使えないことがあります。



通信中に初期化をおこなうと、すべての通信が切断されます。通信が終了してから実行してください。

液晶ディスプレイのバックライトを設定する

親機前面の液晶ディスプレイはバックライトで点灯します。このバックライトの点灯モードを電話機で変更することができます。

点灯モードは次の5種類があります。

消灯モード

バックライトは点灯しません。

点灯モード

親機の電源がONの間、点灯します。

AUTOモード [初期設定]

発信中と着信中に点灯し、それ以外のときは消灯しています。

AUTO + データ通信中点灯モード

AUTOモードのときの点灯に加えて、データ通信中も点灯します。

AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

AUTOモードのときの点灯に加えて、Bチャンネル使用中も点灯します。

1 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、設定するモードによって、次のようにプッシュボタンを押します。

[*][*][8][0][0] 消灯モード

[*][*][8][0][1] 点灯モード

[*][*][8][0][2] AUTOモード

[*][*][8][0][3] AUTO + データ通信中点灯モード

[*][*][8][0][4] AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

2 受話器を置きます。



停電時は、いずれのモードでも液晶ディスプレイは点灯しません。

迷惑電話を登録する

いたずら電話など、出たくない相手からの電話を、迷惑電話用の電話帳に登録し、着信を拒否することができます。迷惑電話を着信した電話機で、かかってきた直後に相手の電話番号を登録します。迷惑電話の詳細は「5-2 親機の電話機能」(P.217)を参照してください。

1 迷惑電話がかかってきたら、いったん受話器を上げたあと、電話を切ります。

2 着信した電話機を受話器を上げ、[*][*][5][2]と押します。

親機の液晶ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

[親機液晶ディスプレイ]

メイワクテ ソウトウロク
03XXXXXXXXX

3 [1]を押します。

03XXXXXXXXX
キョヒシマス

電話番号を通知していない着信(P:ヒツウチ、C:コウシュウデ^oンワ、O:ヒョウジ^oケンカ^oイ)も迷惑電話に登録することができます。この場合は「P:ヒツウチシマスか?」と表示されます。

4 [#]を押してから、受話器を置きます。

迷惑電話用電話帳に、相手の電話番号が登録されます。



迷惑電話防止機能を利用するには、INS ネット 64 の「INS ナンバー・ディスプレイ」を契約してください。(P.168)
電話番号が非通知の着信を迷惑電話に登録すると、電話番号を通知していない着信がすべて受けられなくなりますので注意してください。

累積料金を表示する

アナログポート、無線ポート、データポートの各ポートごとに、通信した累積料金を表示します。

1 親機のアナログポートに接続した電話機を受話器を上げ、表示するポートによって次のようにプッシュボタンを押します。

[*][*][1][*] アナログポートとデータポートの累積料金

[*][*][7][*] 無線ポートの累積料金

2 アナログポートおよびデータポートの場合は [4]、無線ポートの場合は [0] を押します。

3 [*][7][0][*] と押します。

例 アナログポートを指定したとき

[親機液晶ディスプレイ]

ルイセキ シリアル
15600円

4 [*]を押して表示するポートを切り替えます。

[*]を押すごとに次のように切り替わります。

アナログポート/データポート指定したとき

ルイセキ シリアル(シリアルポート)

ルイセキ USB(USBポート)

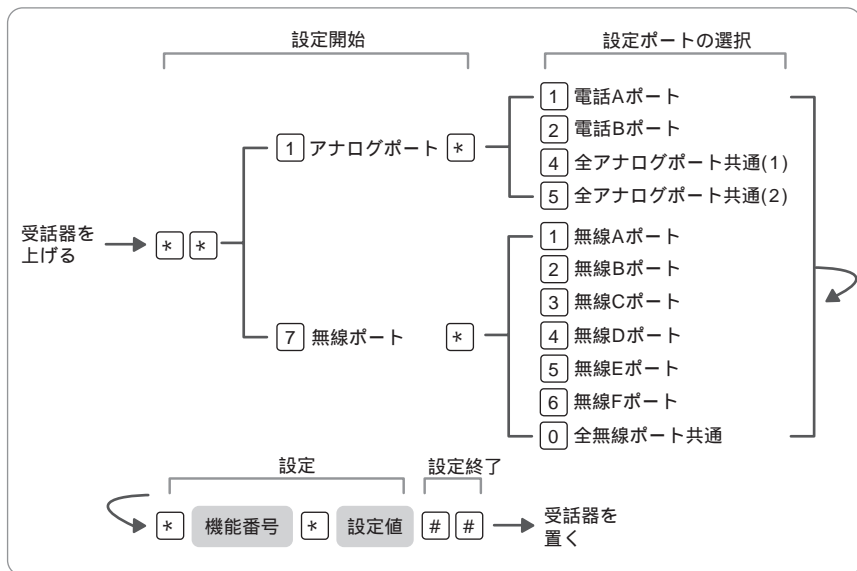
ルイセキ アナログ A(電話Aポート)

ルイセキ アナログ B(電話Bポート)

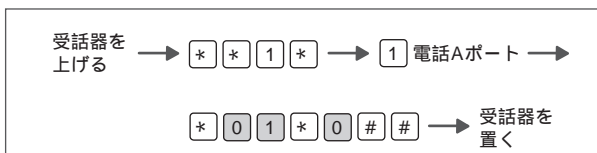
ルイセキ シリアル(シリアルポート)

その他の機能の設定方法

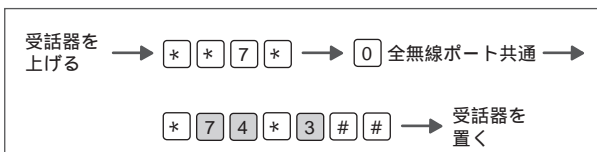
次ページ以降を参照し、機能番号と設定値を **■** にあてはめて電話機のプッシュボタンを押して設定します。



例 電話 A ポートに電話機を接続する設定（アナログポート / 無線ポート個別設定）



例 ボイスワープ転送モードを「話し中時転送」に設定（全アナログポート共通設定 1 / 無線ポート共通設定）

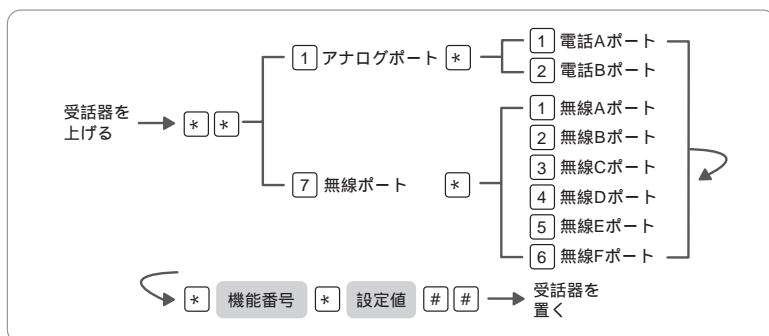


設定をおこなう電話機以外は、受話器を置いた状態にしてください。

アナログポート / 無線ポート個別設定

電話 A ポート、電話 B ポート、無線 A ~ F ポートを個別に設定します。

無線ポートは、PHS 電話機などを増設登録した場合にこの設定が必要です。



「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
接続 / 登録機器選択 (アナログポート) 1)	01	電話 (音声)	0
		FAX / モデム	1
		なし	2
接続 / 登録機器選択 (無線ポート)	01	リモートステーション (音声)、PHS (音声)	0
		リモートステーション (FAX/モデム)	1
		音声、FAX/モデム通信をしない (データ通信専用)	2
キャッチホン	02	使用しない	0
		INSキャッチホン	1
		疑似キャッチホン	2
識別着信	03	使用しない	0
		INSなりわけ識別着信	1
		疑似識別着信	2
		INSなりわけキャッチホン / 選択キャッチホン	3
		疑似キャッチホン / 選択キャッチホン	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
HLC *	04	使用しない	0
		使用する	1
		使用するが着信判定しない	2
グローバル着信 *	05	着信する	0
		着信しない	1
サブアドレスなし着信 *	06	着信する	0
		着信しない	1
ダイヤル桁間タイム	07	5秒	0
		9秒	1
		11秒	2
		13秒	3
フッキング検出タイム*	08	0.03 ~ 1秒	0
		0.3 ~ 1秒	1
		0.5 ~ 1.5秒	2
発信者番号通知	09	通知しない	0
		通知する	1
		INSネット64の申し込み通り	2
情報通知サービス時のサブアドレス *	11	つけない	0
		つける	1

1) 「接続 / 登録機器選択」を「なし」(使用しない)に設定したアナログポートは、機能の設定時に選択できません。

パソコンを使わないで
親機を操作する

6-2 電話機で設定する

「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
受話音量*	12	小	0
		中	1
		大	2
リバーサル送 出*	13	送出不しい	0
		送出する	1
通話中の受 話音量変更*	14	変更しない (* # 無効)	0
		変更する (* # 有効)	1
識別リンギ ング*	15	使用しない	0
		INSなりわけ	1
		疑似なりわけ	2
キャッチホ ン・ディス プレイ*	18	使用しない	0
		使用する	1
着信番号選 択	91	8つの着信番号から 選択 選択: 0 次頁: 1 選択番号確認: 2 次番号参照: 3 前番号参照: 4	-

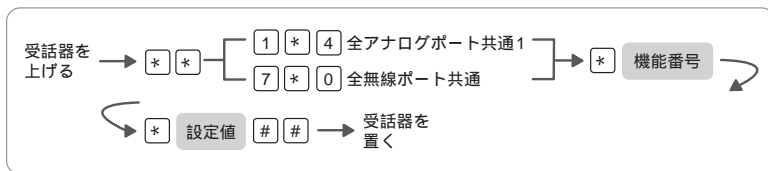
機能	機能番号	設定内容	設定値
相手に通知 する電話番 号(ダイヤ ルインサー ビス利用時)	92	32桁まで (0~9のみ使用)	0~9
サブアドレ ス	93	19桁まで (0~9のみ使用)	0~9
着信ポート	94	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2
		i・ナンバー情報3	3
相手に通知 する電話番 号(i・ナン バー利用時)	95	i・ナンバー情報1	1
		i・ナンバー情報2	2
		i・ナンバー情報3	3

機能	機能番号	設定内容	設定値
情報通知 サービス*	10	しない	0
		ナンバー・ディスプレイ	1
		モデム・ダイヤルイン ²⁾	2
		アナログ・ダイヤルイン ²⁾	3
		ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン	4

- 2) アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインを使用する(アナログポートのみ)場合は、「全アナログポート共通設定1 / 無線ポート共通設定」で、内線指定番号を設定します。通常は設定する必要はありません。

全アナログポート共通設定 1 / 無線ポート共通設定

電話 A ポート、電話 B ポート、無線 A ~ F ポートに共通の設定をします。
無線ポートは、PHS 電話機などを増設登録した場合にこの設定が必要です。



「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能
** 無線ポートでも使用できる機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
無線ポート呼出**	21	全端末一斉呼出	0
		無線Aポート	1
		無線Bポート	2
		無線Cポート	3
		無線Dポート	4
		無線Eポート	5
		無線Fポート	6
		呼び出さない	7
停電時の着信 (Aポートのみ)*	22	着信ブザー	0
		着信リング	1
		着信なし	3
優先着信ポート1)*	23	優先なし	0
		Aポート優先	1
		Bポート優先	2
内線通話 / 内線転送*	24	使用しない	0
		使用する	1
三者通話*	25	使用しない	0
		三者通話	1
		疑似三者通話	2
通信中転送*	26	使用しない	0
		使用する	1
選択着信転送*	28	無条件転送	0
		INSなりわけ機能による転送	1
		識別着信転送	2

機能	機能番号	設定内容	設定値
着信転送先アドレス*	30	着信転送先(0) / i・ナンバー情報1	0 ~ 9
	31	着信転送先(1) / i・ナンバー情報2	
	32	着信転送先(2) / i・ナンバー情報3	
電話番号転送先メールアドレス*	35	転送先メールアドレス(0)	英数字記号 ²⁾
	36	転送先メールアドレス(1)	
	37	転送先メールアドレス(2)	
着信転送元アドレス / サブアドレス ³⁾ *	40	着信転送元(0)	0 ~ 9
	41	i・ナンバー情報1	1, 2
		着信転送元(1)	0 ~ 9
	42	i・ナンバー情報2	1, 2
		着信転送元(2)	0 ~ 9
	43	i・ナンバー情報3	1, 2
		着信転送元サブアドレス(0)	0 ~ 9
	44	着信転送元サブアドレス(1)	0 ~ 9
着信転送元サブアドレス(2)		0 ~ 9	
短縮・識別番号*	50 ~ 59	アドレス部分	0 ~ 9
	60 ~ 69	サブアドレス部分	0 ~ 9

パソコンを使わずに
親機を操作する

6-2 電話機で設定する

- 1) 「接続 / 登録機器選択」を「なし」(使用しない)に設定したアナログポートは、選択できません。
- 2) 英数字記号の指定の仕方は、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「3-2 . Atermのメール機能」を参照してください。
- 3) あわせて「着信番号」を設定してください。

「設定内容」の太字は初期値

* アナログポートのみの機能
** 無線ポートでも使用できる機能

機能	機能番号	設定内容	設定値
累積料金表示**	70	累積料金クリア	1
発信時アドレス表示*	71	表示しない	0
		表示する	1
マイブライベート着信*	72	使用しない	0
		使用する	1
お出かけモード*	73	おやすみモード	1
		電話着信転送モード	2
		ボイスワープ転送モード	3
		フラッシュモード	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
ボイスワープ転送モード*	74	無条件転送	1
		無応答時転送	2
		話し中時転送	3
		無応答または話し中時転送	4
# 発信	75	発信しない	0
		# で発信する	1
		# # で発信する	2
i・ナンバー*	76	使用しない	0
		使用する	1

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
着信転送 ⁴⁾ *	27	着信転送	1	転送トーク	なし・なし	0
					あり・なし	1
					なし・あり	2
					あり・あり	3
		疑似着信転送	2		-	
		電話番号着信転送	3		-	
着信番号*	80 ~ 87	電話番号	0 ~ 9	内線指定番号 ⁵⁾	内線指定番号	0 ~ 9

- 4) あわせて「着信転送先アドレス」、「着信転送元アドレス・サブアドレス」を設定してください。
- 5) アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルインを使用するときに設定します。通常は設定する必要はありません。

全アナログポート共通設定 2

電話 A ポートと電話 B ポートに共通の設定をします。

受話器を上げる → * * 1 * 5 * 機能番号 * 設定値 # # → 受話器を置く

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加設定	設定値
マイプライベート着信用電話帳 1)	100 ~129	アドレス (32桁) サブアドレス (19桁) P: ヒツウチ C: コウシュウデンワ O: ヒョウジケンガイ	0~9 *01 *02 *03	電話Aポート着信	1
				電話Bポート着信	2
				無線A~無線Fポート	4~9
				ページ切替	0
識別リング	200 ~229	アドレス (32桁) サブアドレス (19桁) 2)	0~9	-	
セキュリティ+選択キャッチホン	300 ~329	アドレス (32桁) サブアドレス (19桁) 2)	0~9	-	
i・ナンバー情報の電話番号	901	i・ナンバー情報1電話番号の参照/設定	0~9	内線指定番号	0~9
	902	i・ナンバー情報2電話番号の参照/設定			
	903	i・ナンバー情報3電話番号の参照/設定			
ボイスワープ番号設定 3)	910	停止番号既存値参照/設定	0~9	-	
	911	無条件番号既存値参照/設定			
	912	無応答番号既存値参照/設定			
	913	話し中番号既存値参照/設定			
	914	無応答+話し中番号既存値参照/設定			
	919	契約者番号参照/設定			

- 1) 「マイプライベート着信」を「使用する」に設定した場合に設定します。
- 2) サブアドレスを使用するときは、アドレスを入力したあと [#] [*] を押してから、サブアドレスを入力します。通常はサブアドレスの指定は必要ありません。
- 3) 機能番号 910 ~ 914 の番号設定は、INS ネット 64 の付加サービス「INS ボイスワープ」で変更した場合に設定します。通常は設定しません。

パソコンを使わずに
親機を操作する
6-2 電話機で設定する

7

お困りのときには

思いどおりに動作しないときの解決方法や、Atermを購入時の状態にもどす手順などを説明します。

困ったときのQ&A…………… 272

Atermを購入したときの状態にもどす… 298

Atermとパソコンとの接続を確認する…… 302

自己診断 …………… 304

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。
Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

7-1 . 困ったときの Q&A

親機と子機を使っていて疑問があったり、正しく動作しないときにお読みください。USBに関する Q&A は 290 ページを参照してください。

親機・子機に関する Q&A

こんなとき	症状	原因と対策
正常に動作しない原因がわからない	-	<p>Atermが正常に動作しない原因は、設定に誤りがあることが多いようです。Atermをいったん工場出荷時の状態にもどして、あらためて設定をやり直してみてください。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので、注意してください。</p> <p>親機の初期化</p> <p>受話器を上げる [*][*][9][8][*] 受話器を置く</p> <p>親機前面のファンクションボタンを使って工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.248)</p> <p>子機の初期化</p> <p>子機背面のTESTスイッチを細い棒などで押しながら、電源プラグを差し込んで電源をONにします。そのままTESTスイッチを5秒以上押し続け、POWERランプが緑色に点灯したら、TESTスイッチから手を離します。</p> <p>ATコマンドで「ATZ98」を実行します。</p>
電源を入れたとき	<p>1 . POWERランプが点灯しない、または液晶ディスプレイに何も表示されない</p> <p>2 . MSGランプが点滅している</p> <p>3 . 子機で通信していないのにDATAランプが点滅する</p>	<p>電源プラグが外れている</p> <p>電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。</p> <p>電源が入っていない</p> <p>電源スイッチの「-」(ON)を押した状態にしてください。</p> <p>電源プラグがパソコンのコンセントに差し込まれている</p> <p>パソコンのコンセント(サービスコンセント)にAtermの電源プラグを差し込まないでください。また親機に停電対策用の電池が入っている場合は、パソコンの電源を切ると停電モードになり、電池が消耗します。</p> <p>BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入している場合は、電子メールが届いたことをお知らせしています。</p> <p>UUIメールが届いたことをお知らせしています。</p> <p>『UUIメールEX』を使って消灯させることができます。または、電話機を受話器を上げて、[*][*][0] とダイヤルすると消灯します。</p> <p>DOS/V機などを使用している場合で、誤ってパソコンのプリンタポート(25ピンコネクタ)に接続している</p> <p>接続しているパソコンのコネクタがCOMポート(シリアルポート)かどうか、パソコンの取扱説明書で確認してください。</p> <p>一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもSD信号を出している機種があります</p> <p>パソコンの電源コードを抜けば消えます。通信に支障がなければ、そのままお使いください。</p>



こんなとき	症状	原因と対策
電源を入れたとき	<p>4．液晶ディスプレイに「カイセンシヨウガイレイヤ1ダウン」と表示される</p>	<p>INSネット64と親機間で、回線の電気信号などの基本的なやりとりができていない</p> <p>INS回線ケーブルが外れている</p> <p>添付のINS回線ケーブルで、親機と回線側コンセント（モジュラコンセント）を接続してください。</p> <p>回線の極性が反転している</p> <p>底面のINS回線リバーススイッチ（RVS/NOR）を反対側に切り替えてください。（ P.63）</p> <p>INSネット64への切り替えが完了していない</p> <p>INSネット64への切り替えが完了しているかを、NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。</p> <p>電話回線にガスの自動検針器が接続されている</p> <p>アナログ電話回線からINSネット64に契約を変更した場合、電話回線にガスの自動検針器が接続されたままになっていることがあります。ガス供給業者に問い合わせの上、接続されている場合は撤去を依頼してください。</p>
	<p>5．液晶ディスプレイに「カイセンシヨウガイレイヤ2ダウン」と表示される</p>	<p>INSネット64と親機間で、エラー回復機能などの基本的なやりとりができていない</p> <p>電話回線にガスの自動検針器が接続されている</p> <p>アナログ電話回線からINSネット64に契約を変更した場合、電話回線にガスの自動検針器が接続されたままになっていることがあります。ガス供給業者に問い合わせの上、接続されている場合は撤去を依頼してください。</p> <p>親機が故障している</p> <p>「7-4．自己診断」（ P.304）を実行して親機が故障していないか、確認してください。自己診断の結果が正常の場合は、NTT東日本またはNTT西日本にご相談ください。</p>
	<p>6．通信していないのに親機のDATAランプがほんのり点灯する</p>	<p>お使いのパソコンがPC98-NX Mate（Windows2000）の場合、通信していないときでもDATAランプが暗く点灯しますが、故障ではありません。</p>
電話が使えないとき	<p>1．受話器を上げても音がしない</p>	<p>Atermの電源が入っていない</p> <p>電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。</p> <p>親機の電源スイッチの「-」（ON）を押した状態にしてください。</p> <p>親機と電話機が正しく接続されていない</p> <p>親機のアナログポートと電話機の内線（LINE）コネクタを、電話機に添付されている電話機接続コードで接続してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	2. 受話器を上げると「ブーブー」という音がする	<p>INSネット64と親機間で基本的なやりとりができていない</p> <p>「電源を入れたとき」の4.5.(P.273)を参照してください。</p> <p>アナログポートを「使用しない」に設定している</p> <p>アナログポートを使用可能にします。</p> <p>受話器を上げる [*][*][1][*][] [*][0][1][*][] [#][#] 1:電話Aポート 0:電話 2:電話Bポート 1:FAX/モデム</p> <p>受話器を置く</p>
	3. 電話がかけられない	<p>電話機の設定がトーン(PB)になっていない</p> <p>電話機の取扱説明書を参照し、ダイヤル方式をトーン(PB)に切り替えてください。</p> <p>疑似キャッチホン、疑似三者通話、疑似着信転送中である</p> <p>疑似キャッチホン、疑似三者通話、疑似着信転送中は、Bチャンネルを2つ使用するので、新たに電話をかけることはできません。</p> <p>128kbpsマルチリンクPPP通信をしている</p> <p>128kbpsマルチリンクPPP通信中はBチャンネルを2つ使用するので、電話はかけられません。</p> <p>INSネット64の付加サービス「通信中着信通知サービス」(無料)を契約し、「リソースBOD」の設定をして電話をかけられるようにすることをおすすめします。</p> <p>データポートでマルチアクセスをしている</p> <p>マルチアクセス中はBチャンネルを2つ使用するので、電話はかけられません。</p>
	4. 電話をかけたときにつながるまでが長くなった	<p>ダイヤル桁間タイマがはたらいて、最後にダイヤルしてから発信するまで5秒以上かかっている</p> <p>ダイヤル後、[#]を押すとすぐに発信します。</p>
	5. LCR機能付き電話機を使用したときに電話がかけられない	<p>LCR機能がある電話機を使用していると、ダイヤルしている途中で発信する</p> <p>ダイヤル桁間タイマを5秒(初期値)より長くします。</p> <p>受話器を上げる [*][*][1][*][] [*][0][*][] [#][#] 1:電話Aポート 1:9秒 2:電話Bポート 2:11秒 3:13秒</p> <p>受話器を置く</p>


こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	6．受話器を上げても無音である、またはかかってきたときに着信音は鳴るが、受話器を上げても通話ができない、またはかけたときに相手が応答すると通話が切れる	<p>電話機が秘話回路を内蔵している</p> <p>秘話回路とはランチ接続（1つのアナログポートに複数台の電話機を接続すること）されている電話機の1台が使用中に、他の電話機が回線を使わないようにする回路です。電話機使用中の検出電圧が高いと、秘話回路がはたらくことがあります。電話機の取扱説明書を参照の上、秘話回路を使用しないようにしてください。</p>
	7．電話の着信音が鳴らない	<p>さまざまな原因が考えられますが、設定に誤りがあることが多いようです。以下の内容を参照し、原因を追及してください。また、工場出荷時にはすべてのアナログポートが呼び出されるように設定されており、機能の設定をおこなうことによって着信条件を変更していきます。親機を工場出荷状態の設定にもどして、呼び出しができることを確認してから、再度設定するのも有効な方法です。その際、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので、注意してください。</p> <p>ダイヤルインサービスの契約をしている場合に、グローバル着信の設定が間違っている</p> <p>INSネット64で契約した「グローバル着信」を利用する/しないの内容に、親機の設定を合わせてください。（ P.180）</p> <p>優先着信ポートが指定されている</p> <p>優先着信するアナログポートが空いていると、そのアナログポートだけが呼び出されます。優先着信するポートが使用中のときのみ、他のアナログポートが呼び出されます。必要がなければ設定しないでください。（ P.185）</p> <p>識別着信が設定されている</p> <p>識別着信が設定されていると、登録した相手からの着信以外は応答しくくなります。必要がなければ設定しないでください。（ P.210）</p> <p>お出かけ設定（おやすみモード、電話着信転送モード、ボイスワープ転送モード、フラッシュモード）が設定されている</p> <p>お出かけ設定のおやすみモードやフラッシュモードに設定してあると、着信音は鳴りません。電話着信転送モード（着信転送、疑似着信転送）やボイスワープ転送モードが設定されていると、設定した転送条件のときだけ着信音が鳴らずに転送されます。着信音を鳴らすときは、お出かけ設定を解除してください。（ P.190）</p> <p>サブアドレスが違っている</p> <p>相手（INSネット64加入者）が指定したサブアドレスが、親機に設定してあるサブアドレスと違っています。サブアドレスを使用しないのであれば、サブアドレスを指定せずに「サブアドレスなし着信する」に設定してください。（ P.187）</p>



こんなとき	症状	原因と対策
電話が使えないとき	7. 電話の着信音が鳴らない(続き)	<p>HLC (高位レイヤ整合性) が一致しない</p> <p>INSネット64に接続されている相手がHLCを指定してきたが、親機に設定してあるHLCと違っています。HLCを「設定しない」にしてください。(P.226)</p> <p>i・ナンバー、またはダイヤルイン番号の呼び分けがうまくできない</p> <p>i・ナンバー、またはダイヤルイン番号をもう一度正しく設定してください。(P.177、180)</p> <p>Mac OS 8.0に添付されているCCLファイル(モデム情報ファイル)でインターネットアクセスをしている場合、設定値が初期化されている</p> <p>添付CD-ROMに入っているCCLファイルと置き替えてください。</p>
	8. 電話の着信音が短く鳴り、受話器を上げると切れる、またはファクスの信号のような音がする	<p>ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインに対応していない電話機を接続しているのに、ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をしている</p> <p>上記のサービスを「使用しない」に設定してください。</p>
	9. 留守番電話機などで相手が受話器を置いても電話が切れない	<p>留守番電話機が回線切断時のリバースパルスを検出して切断するしくみになっている</p> <p>相手切断時に親機からリバースパルスを出す設定にします。</p> <p>受話器を上げる</p> <p><input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> * <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> # <input type="checkbox"/> #</p> <p>1 : 電話Aポート 0 : リバースパルスを出さない</p> <p>2 : 電話Bポート 1 : リバースパルスを出す</p> <p>受話器を置く</p>
10. 電話を転送できない	<p>携帯電話やPHS電話機の電源が切れているか、通話圏外になっている</p> <p>携帯電話やPHS電話機が使用できることを確認してください。</p>	
子機が使えないとき	1. PHS電話機が通話可能状態にならない	<p>親機とPHS電話機の増設登録が済んでいない</p> <p>子機としてPHS電話機を使用するには、増設登録が必要です。登録はお近くのNEC保守サービス受付拠点、またはPCクリーンスポット、お買い求めの販売店で有料にて承りますのでご相談ください。(P.332、337)</p> <p>PHSの待ち受けモードが正しく設定されていない</p> <p>PHS電話機をコードレス子機として使用する場合、PHSの待ち受けモードを「オフィス(構内)モード」にします。PHS電話機の取扱説明書を参照の上、設定してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
子機が使えないとき	1. PHS電話機が通話可能状態にならない(続き)	<p>親機の電源が入っていない</p> <p>親機のPOWERランプとPHSランプが点灯していることを確認してください。なお、電源を入れてからPHS電話機が通話可能状態になるまで、しばらく時間がかかります。</p> <p>親機とPHS電話機の距離が離れすぎている</p> <p>親機から子機に無線で電波が届く範囲は、間に障害物が何もない状態で約100mです。鉄筋壁、防音壁、断熱壁、電波を出す他の機器の有無などの設備環境によっては、100m以内でも電波が届かないことがあります。</p> <p>2台同時にPHS電話機を使っている。または、子機でデュアルリンクワイヤレス通信をしている</p> <p>親機で同時に使える無線ポートは2つまでです。他の子機が使用中でないか確認してください。親機のPHSランプが赤色に点滅している場合は、無線ポートが2つとも使用中の状態です。他の子機の通信が終わるのを待ってご使用ください。</p>
	2. PHS電話機から電話がかけられない	<p>PHS電話機が通話可能状態になっていますか</p> <p>「子機が使えないとき」の1.を参照してください。</p> <p>無線ポートの設定は正しいですか</p> <p>『らくらくアシスタント』で、「無線ポート」の設定を「リモートステーション、PHSで利用」に設定してください。</p> <p>親機他のポートが通信中、または相手が使用中ではないですか</p> <p>PHS電話機の(通話)ボタンを押して、ダイヤルトーン(ツー)を確認してください。回線が使用中の場合は、ビジートーン(ブープー)が聞こえます。</p> <p>PHSの一括発信(ダイヤル番号を押してから(通話)ボタンを押す方法)で、すぐに発信するための最後の[#]を入れる</p> <p>PHS電話機では一括発信の[#]は使えません。一括発信は[#]のかわりに(通話)ボタンを使いますので、相手先番号のみ押してください。</p> <p>近くで複数のデジタルコードレス電話機が使われている</p> <p>他のデジタルコードレス電話機が近くで使われている場合、電波の干渉によりうまく接続できないことがあります。しばらく待ってからかけ直してください。</p> <p>親機の電源が入っていない</p> <p>親機の電源が切れてからPHSが通話可能な状態になるまでは、しばらく時間がかかります。親機のPOWERランプとPHSランプが点灯しているか確認してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策																																				
子機が使えないとき	3. 子機からデータ通信ができない	<p>親機のデータポートが同期64K以外の通信モードを使用中、または他の子機がプロトコル変換モードを使用中である</p> <p>すでに他の無線ポートがプロトコル変換モードで通信中の場合は、プロトコル変換モードは使えません。他の無線ポートの通信が終わるのを待ってから使用するか、PIAFS対応のアクセスポイントに接続し直してください。</p> <p>データポート、無線ポートで同時に利用できる通信モードの組み合わせは次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="505 379 1014 762"> <thead> <tr> <th colspan="2">IWX70</th> <th>RS7</th> <th>増設した子機</th> </tr> <tr> <th>シリアルポート</th> <th>USBポート</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>同期64K</td> <td>同期64K</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>同期64K</td> <td>-</td> <td>同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>同期64K</td> <td>同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>同期64K</td> <td>-</td> <td>PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>同期64K</td> <td>PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>同期プロトコル変換 (PIAFS32K)</td> <td>PIAFSスルー (PIAFS32K)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>PIAFSスルー (PIAFS32K)</td> <td>PIAFSスルー (PIAFS32K)</td> </tr> </tbody> </table> <p>PHS網（NTTDoCoMoやASTEL）が提供しているサービスに、親機経由でアクセスしている</p> <p>PIASネットやPTEサービスにINSネット64経由でアクセスすることはできません。公衆モードでアクセスしてください。</p>	IWX70		RS7	増設した子機	シリアルポート	USBポート			同期64K	同期64K	-	-	同期64K	-	同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)	-	-	同期64K	同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)	-	同期64K	-	PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)	-	-	同期64K	PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)	-	-	-	同期プロトコル変換 (PIAFS32K)	PIAFSスルー (PIAFS32K)	-	-	PIAFSスルー (PIAFS32K)	PIAFSスルー (PIAFS32K)
IWX70		RS7	増設した子機																																			
シリアルポート	USBポート																																					
同期64K	同期64K	-	-																																			
同期64K	-	同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)	-																																			
-	同期64K	同期プロトコル変換 (PIAFS32K /PIAFS64K)	-																																			
同期64K	-	PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)	-																																			
-	同期64K	PIAFSスルー (PIAFS32K /PIAFS64K)	-																																			
-	-	同期プロトコル変換 (PIAFS32K)	PIAFSスルー (PIAFS32K)																																			
-	-	PIAFSスルー (PIAFS32K)	PIAFSスルー (PIAFS32K)																																			
お出かけ設定ができないとき	でかけるボタンを押してもランプが点灯、または消灯しない	<p>でかけるボタンがロックされている</p> <p> ボタンと  ボタンを同時に押してロックを解除してください。</p>																																				
ファクス通信ができないとき	1. ファクス通信ができない	<p>電話が使えないときの症状が当てはまる場合があります。対策はファクスでも同様です。「電話が使えないとき」を参照してください。（ P.273 ）</p> <p>相手のファクスがG4タイプのファクスである</p> <p>アナログポートに接続したファクスは、G3モードに対応していないG4タイプのファクスとは通信できません。</p> <p>ファクスの回線種別を自動選択する機能がONになっている</p> <p>INSネット64に接続したターミナルアダプタでは、ファクスの回線種別を自動選択する機能は使用できません。ファクスの取扱説明書を参照し、手で回線種別を選択してください。回線種別はトーン（PB）にします。</p> <p>データポートからファクス通信はできません</p> <p>アナログポートに接続して使用してください。</p>																																				

こんなとき	症状	原因と対策
<p>ファクス通信ができないとき</p>	<p>2. 着信しない</p>	<p>アナログポートの設定が「電話」になっている 「ファクスまたはモデム」に設定します。</p> <p>受話器を上げる ※※1※【 】※01※1#※ 1：電話 A ポート 2：電話 B ポート</p> <p>受話器を置く</p> <p>F ネットの無鳴動着信機能を利用している</p> <p>無鳴動着信（音の鳴らない着信、または1300Hz着信などとも呼ばれます）をするには、アナログポートから特殊な周波数をファクスに送出します。親機では対応していないため利用できません。</p>
	<p>3. 発信しても相手から切断される</p>	<p>相手側のターミナルアダプタの設定が間違っている</p> <p>相手側のターミナルアダプタの設定を確認してもらってください。</p>
	<p>4. 実際には着信していないのに自動着信することがある、またはファクスから発信できない</p>	<p>ノイズで誤って無鳴動着信をしている</p> <p>パソコンを接続している場合は、パソコンのアース線を接続してください。</p> <p>ファクスの取扱説明書を参照し、無鳴動着信をしないように変更してください。</p>
<p>モデム通信ができない、速度が出ないとき</p>	<p>1. モデム通信ができない、または速度が出ない</p>	<p>「電話が使えないとき」の2.（ P.274 ）を参照してください。</p> <p>パソコンのモデムの設定がトーン（PB）になっていない</p> <p>モデムの取扱説明書を参照し、ダイヤル方式をトーン（PB）へ切り替えてください。</p> <p>親機を受話音量がモデムと合わない</p> <p>受話音量を「小」または「大」に設定して試してください。（ P.152 ）</p> <p>モデムがダイヤルトーンを検出していない</p> <p>モデムの取扱説明書を参照し、パソコンのモデムの設定を「ダイヤルトーンを無視する」にしてください。</p> <p>モデムをデータポートに接続している</p> <p>データポートではモデム通信はできません。アナログポートに接続してください。</p>
	<p>2. モデムの通信スピードが違い</p>	<p>回線が混雑している</p> <p>回線状態によっては、通信スピードが上がらない場合があります。一度切断してから再度通信してください。</p> <p>モデムの送出レベルが低い</p> <p>モデムの取扱説明書を参照し、モデムの送出レベルを上げてください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
<p>らくらくアシスタントまたはらくらくバージョンアップが起動しないとき</p>	<p>1. 「COMポートは他のプログラムで使用されています。…」、または「モデムは他のプログラムで使用中です。…」と表示される</p>	<p>COMポート（シリアルポート）やモデムポート（プリンタポート）を使用する他のアプリケーションが起動している</p> <p>そのアプリケーションを終了してください。 通信アプリケーションで着信待ちの状態に設定されている場合もあるので、着信待ちをいったん解除してください。</p> <p>『らくらくアシスタント』と『らくらくバージョンアップ』の両方を起動しようとした</p> <p>同時に起動することはできません。</p> <p>『UUIメールEX』が起動している</p> <p>UUIメールEXを終了してください。</p> <p>データポートやPHS電話機を使用して通信中である</p> <p>通信を終了してください。</p> <p>ダイヤルアップサーバを起動している</p> <p>ダイヤルアップサーバを終了してください。</p> <p>Windows® 2000の場合は、以下の操作で着信接続を削除してください。</p> <p>(1)  [設定] [コントロールパネル] を選択します。</p> <p>(2) [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。</p> <p>(3) [着信接続] を削除します。</p>
	<p>2. 「Atermが見つかりません。」または「Atermが接続されているポートが見つかりません。」と表示される</p>	<p>親機の電源スイッチが入っていない</p> <p>電源スイッチの「-」（ON）を押した状態にしてください。</p> <p>Atermとパソコンを接続しているケーブルが外れている</p> <p>ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>パソコンのプリンタポートなどに誤って接続している</p> <p>接続しているパソコンのコネクタがCOMポート（シリアルポートまたはUSBポート）かどうかを、パソコンの取扱説明書で確認してください。</p> <p>パソコンにモデムが内蔵されている場合、モデムが占有しているCOMポート（シリアルポートまたはUSBポート）、またはモデムポート（プリンタポート）にAtermを接続している</p> <p>別の空いているCOMポート、またはモデムポート（プリンタポート）に接続してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
らくらくアシスタントまたはらくらくバージョンアップが起動しないとき	3. IWX70らくらくバージョンアップが失敗した、またはPOWERランプが赤色に点滅し、液晶ディスプレイに「ローダモードA」と表示されている	バージョンアップするファームウェアのファイルを間違えた ファームウェアがバージョンアップしようとしている機種のもので確認してください。バージョンアップできないときは、強制ダウンロードモードを実行してください。(P.323) AtermStationからダウンロードした圧縮ファイルを解凍せずに使用していませんか。解凍してから使用してください。 バージョンアップの途中で親機とパソコンを接続するケーブルが外れた 接続ケーブルを正しく接続してから、再度『らくらくバージョンアップ』でバージョンアップしてください。バージョンアップできないときは、強制ダウンロードモードを実行してください。(P.323)
	4. RS7らくらくバージョンアップが失敗した、またはPOWERランプが赤色に点滅している	バージョンアップの途中で子機とパソコンを接続するケーブルが抜けた 接続ケーブルを正しく接続してから、再度『らくらくバージョンアップ』でバージョンアップしてください。バージョンアップできないときは、強制ダウンロードモードを実行してください。(P.324)
	5. MacintoshでIWX70らくらくアシスタントが起動しない	[システムフォルダ]の[初期設定]フォルダの中の「IW70.ini」と「IW70.tel」ファイルを捨て、パソコンを再起動します。そのあと再度『らくらくアシスタント』を起動してみてください。
	6. 「ログオン中のユーザーにアドミニストレータ権限がありません」と表示される	Windows2000でAdministratorの権限がない Administrator権限のあるユーザー名でログオンし直して設定してください。 以下の操作でAdministratorの設定をしてください。 (1)  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。 (3) 「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」を <input checked="" type="checkbox"/> にします。 (4)  ボタンをクリックし、画面の指示にしたがって設定します。

こんなとき	症状	原因と対策
らくらくアシスタントまたはらくらくバージョンアップが起動しないとき	7. らくらくアシスタントの [オンラインユーザー登録] をクリックすると、ブラウザが起動し、エラーが表示される	<p>Macintoshの設定によっては、この症状が発生します。次のどちらかの対策をしてください。</p> <p>リモートアクセスで手動で接続してください。</p> <p>ブラウザ起動時に自動接続するように、Macintoshを設定してください。</p> <p>(1) [アップル]メニュー [コントロールパネル] [リモートアクセス]を選択します。</p> <p>(2) オプション ボタンをクリックします。</p> <p>(3) [プロトコル]タブをクリックします。</p> <p>(4) 「TCP/IP利用アプリケーション起動時に自動接続する」を <input checked="" type="checkbox"/> にします。</p> <p>(5) OK ボタンをクリックします。</p> <p>(6) 「設定内容を現在の設定に保存しますか」で 保存 ボタンをクリックします。</p> <p>自動接続した場合は、通信料金が毎回かかりますので注意してください。</p>
データ通信ができないとき	接続できない	<p>回線が空いていない</p> <p>電話を2台同時に使用するなど、Bチャンネルを2つとも使用している場合は接続できません。回線が空いてから接続し直してください。</p> <p>パソコンとケーブルが正しく接続されていない</p> <p>パソコン側の接続ポートを間違えていないか、ケーブルがしっかりと差し込まれているか確認してください。</p> <p>Atermを接続しているCOMポート（シリアルポート）が、使用する通信ソフトウェアの設定と合っていない</p> <p>通信ソフトウェアの設定を合わせてください。 Windows® Me/Windows® 98/Windows® 95/Windows 2000を使用している場合は、「7-3. Atermとパソコンとの接続を確認する」（P.302）を参照して、接続されているCOMポートを確認してください。または『らくらくアシスタント』を起動すると使用しているポートが画面に表示されるので、そこで確認することもできます。</p> <p>回線を使う通信ソフトなどのアプリケーションが他に起動している</p> <p>回線を使用するアプリケーションが起動していると、通信できないことがあります。そのアプリケーションを終了してください。</p> <p>自動発信の規制にかかっている</p> <p>通信相手が話し中の場合、Atermが同一番号に再発信する回数は、最初の発信から数えて3分間で2回以内に制限されています。別の番号にかけるか、または最初の発信から3分以上待ってから接続し直してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
データ通信ができないとき	接続できない(続き)	<p>リザルトコードが返らない設定になっている</p> <p>Windows Me/Windows 98/Windows 95/Windows 2000を使用する場合は、「7-3. Atermとパソコンとの接続を確認する」(P.302)を参照してATコマンドで「ATQ0V1X3」と入力してください。Macintoshの場合は、ATコマンドが使用できる通信ソフトウェアを用意して、同じコマンドを入力してください。</p> <p>また、工場出荷状態にもどして試してみるのも有効です。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷状態にもどるので注意してください。</p> <p>受話器を上げる ☒☒☐☐☒ 受話器を置く</p> <p>親機前面のファンクションボタンを使って工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.248)</p>
<p>インターネットに接続できないとき</p> <p>(親機の液晶ディスプレイに表示される主な切断理由番号を参考までに記載します)</p>	1. 接続できない	<p>「データ通信ができないとき」の症状が当てはまる場合があるので、そちらも参照してください。</p> <p>Atermのモデム情報ファイルがない</p> <p>すでにインターネットを利用して新たにAtermを接続した場合などは、Aterm用のモデム情報ファイルのインストールとダイヤルアップ接続の設定が必要です。『らくらくアシスタント』などで設定をおこなってください。</p> <p>回線が混雑している (切断理由 #017)</p> <p>時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。</p> <p>アクセスポイントの電話番号が間違っている</p> <p>INSネット64用の電話番号を別に設けているプロバイダがあります。INSネット64用の電話番号にかけてください。(切断理由 #003)</p> <p>同期64K用と非同期用のアクセスポイントが異なることがあります。使用するモデム情報ファイル(Windows)、CCLファイル(Macintosh)に合わせたアクセスポイントの電話番号にかけてください。(切断理由 #001~003、028、029、031)</p> <p>ユーザIDとパスワードが間違っている (切断理由 #016)</p> <p>プロバイダから発行されたユーザID(アカウント)やパスワードを確認してください。また、設定値が半角になっているか確認してください。</p> <p>DNSサーバアドレスの番号が間違っている (切断理由 #016)</p> <p>プロバイダに指定されたDNSサーバアドレスを設定してください。</p> <p>Windows Me/Windows 98/Windows 95/Windows 2000の場合、TCP/IPが二重に登録されている (切断理由 #016)</p> <p>すでにTCP/IPがあればインストールは不要です。複数インストールされていると接続できなくなるので、1つだけ残して他は削除してください。</p>











こんなとき	症状	原因と対策
インターネットに接続できないとき	1. 接続できない (続き)	<p>ダイヤルアップネットワークの設定が間違っている</p> <p>ダイヤルアップネットワークのプロパティで、「サーバの種類」の「詳細オプション」の <input checked="" type="checkbox"/> はすべてクリックして にします。</p> <p>(WindowsMe/Windows98は「データの暗号化を使用する」「この接続のログファイルを記録する」、Windows95は「ネットワークへのログオン」「ソフトウェア圧縮をする」「暗号化パスワードを使う」の項目があります。)</p> <p>「使用できるプロトコル」はネットワークプロトコルの「TCP/IP」のみにします。</p> <p>さらに <input type="button" value="TCP/IP設定"/> ボタンをクリックし、「IPヘッダー圧縮を使う」の <input checked="" type="checkbox"/> を にしてください。リモートネットワークで既定値の「ゲートウェイを使う」は変更しません。</p> <p>「サーバの種類で互換性のあるネットワークプロトコルの処理ができませんでした。ダイヤルアップネットワークの設定を再度やり直してください」と表示されるのは、Windows95でPC-9800シリーズのパソコンのシリアルポートドライバが古いのが原因です。</p> <p>シリアルポートドライバの作成日を確認し、必要であればアップデートします。アップデートしないと通信速度を38.4kbps以上にすることができません。以下の手順で実行してください。</p> <p>(1) Windows95を起動し <input type="button" value="検索"/> [検索] [ファイルやフォルダ]を選択します。</p> <p>(2) 「探す場所」にハードディスクを選択して名前に「SER8251F.VXD」を入力し、検索を実行します。</p> <p>(3) SER8251F.VXD (シリアルポートドライバ)の更新日時が95/11/18よりも古い場合には、次のアドレスで最新のシリアルポートドライバを入手し、アップデートしてください。通信速度を19.2kbps以下にすると、インターネットへのアクセスは可能です。ダウンロードしたファイルはダブルクリックしたあと再起動するとアップデートができます。</p> <p>http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_158.htm http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/98_246.htm (最新版)</p> <p>モデム情報ファイルがない</p> <p>Windows95からWindows98にバージョンアップした場合は、すでに組み込んであったモデム情報ファイルが削除されることがあります。「モデム情報のインストール」を参照して組み込んでください。(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-6. インターネット接続の手動設定」)</p>

こんなとき	症状	原因と対策
インターネットに接続できないとき	1. 接続できない (続き)	<p>WindowsNT® 4.0の場合で、ポートの使い方が「ダイヤルアウトのみ」以外になっている</p> <p>「リモートアクセスサービスの設定」の⑦(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2-9. インターネット接続の手動設定」)で、「ダイヤルアウトのみ」に設定すると発信専用になります。着信も受け付ける場合は、「ダイヤルアウトと着信」を選択してください。ただし、「ダイヤルアウトと着信」にするとRAS着信待ちになってCOMポートを占有するため、『らくらくアシスタント』が起動できなくなります。この場合は、いったん「ダイヤルアウトのみ」に切り替えてから実行してください。『らくらくアシスタント』の設定後、「ダイヤルアウトと着信」にもどしてください。</p> <p>MacintoshのPerformaシリーズの場合、A/ROSEのチェックが外れていない</p> <p>[アップル]メニュー [コントロールパネル] [機能拡張マネジャー]で「A/ROSE」の<input checked="" type="checkbox"/>にします。</p> <p>OSをバージョンアップした際、前の環境が正常に引き継がれていない</p> <p>古いモデム情報を削除したあと、モデム情報やUSBドライバを再インストールしてください。</p> <p>① モデム情報の削除</p> <p>WindowsMe/Windows98/Windows95の場合</p> <p>(1) [コントロールパネル]の[モデム]をダブルクリックします。</p> <p>(2) [全般]タブをクリックして不要なモデムを選択し、<input type="button" value="削除"/> ボタンをクリックします。</p> <p>Windows2000の場合</p> <p>(1) [コントロールパネル]の[電話とモデムのオプション]をダブルクリックします。</p> <p>(2) [モデム]タブをクリックして不要なモデムを選択し、<input type="button" value="削除"/> ボタンをクリックします。</p> <p>② USBドライバの再インストール(USB接続の場合のみ)</p> <p>(1) らくらくアシスタントを起動します。</p> <p>(2) [USBドライバのアップデート]を選択し、<input type="button" value="次へ"/> ボタンをクリックします。</p> <p>(3) [ドライバを再インストールする]を選択し、<input type="button" value="次へ"/> ボタンをクリックします。</p> <p>(4) USBケーブルを外し、<input type="button" value="実行"/> ボタンをクリックします。</p> <p>(5) 画面の指示にしたがって操作します。</p> <p>③ モデム情報の追加</p> <p>(1) らくらくアシスタントを起動し、[インターネット接続の設定]を選択します。</p> <p>(2) 画面の指示にしたがって設定します。</p> <p>Windows2000の場合は、[ダイヤルアップ]アイコンを右クリック [プロパティ] <input type="button" value="構成"/> ボタンをクリックして、モデムプロトコルが変更されていないか確認してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策												
インターネットに接続できないとき	2. 子機からインターネットに接続しようとすると、すぐに「データセツダン」と表示される	<p>子機が登録されている無線ポートの「データ発信モード」が「プロトコル変換モード（同期64K）」に設定されている</p> <p>他の子機がすでに「プロトコル変換モード」を使用中の場合は接続できません。他のデータ通信が終わるのを待ってから再度接続してください。</p> <p>他の子機が使用中のとき</p> <p>親機のPHSランプで無線ポートの使用状況が確認できます。</p> <p>緑色の点滅では、無線ポートの1つが使用中です。子機からデュアルリンクワイヤレス通信をおこなうことはできません。</p> <p>赤色の点滅では、無線ポートが2つとも使用中です。子機のすべての無線通信が使用できません。他の無線ポートの使用が終わるのを待ってください。</p>												
	3. PHS電話機からインターネットにアクセスしたとき、「ユーザー名とパスワードを確認中」のあとにエラーになる	<p>アクセスポイントのプロトコルと親機の無線ポートの「データ発信モード」が合っていない</p> <p>PIAFSのアクセスポイントに接続する場合は、無線ポートの「データ発信モード」を「PIAFSスルーモード」に設定してください。</p> <p>同期のアクセスポイントに接続する場合は、無線ポートの「データ発信モード」を「プロトコル変換モード（同期64K）」に設定してください。</p> <p>PHS通信事業者が提供しているPHS専用アクセスポイント（PIASネット、PTEアクセスポイントなど）に接続している</p> <p>PHS通信事業者が提供しているPHS専用アクセスポイントには、INSネット64経由からのアクセスはできません。これは利用料をPHS契約者へ請求するため、PHS加入者がどうかをチェックしているためです。</p> <p>プロバイダのアクセスポイントを利用するか、直接PHS網からアクセスしてください。</p>												
	4. その他	<p>Macintoshで『インターネット接続アシスタント』を使っていた場合のトラブルは、アップルコンピュータにお問い合わせください。</p> <p>MacintoshでCCLファイル（モデム情報ファイル）を使用しないPPPソフトウェアの場合、ATコマンドで次のコマンドを入力してください。</p> <table border="1" data-bbox="543 1118 978 1289"> <thead> <tr> <th>アクセスポイント</th> <th>初期設定コマンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非同期（38.4/57.6kbps）</td> <td>ADQ0V1X3\$N1=0#Q3&D1</td> </tr> <tr> <td>同期64kbps</td> <td>ATQ0V1X3\$N1=1</td> </tr> <tr> <td>128kbpsマルチリンクPPP</td> <td>ATQ0V1X3\$N11=1</td> </tr> <tr> <td>PIAFS32K</td> <td>ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=0</td> </tr> <tr> <td>PIAFS64K</td> <td>ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=1</td> </tr> </tbody> </table> <p>（「0」は数字のゼロです。）</p> <p>個別のソフトウェアの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。</p>	アクセスポイント	初期設定コマンド	非同期（38.4/57.6kbps）	ADQ0V1X3\$N1=0#Q3&D1	同期64kbps	ATQ0V1X3\$N1=1	128kbpsマルチリンクPPP	ATQ0V1X3\$N11=1	PIAFS32K	ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=0	PIAFS64K	ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=1
アクセスポイント	初期設定コマンド													
非同期（38.4/57.6kbps）	ADQ0V1X3\$N1=0#Q3&D1													
同期64kbps	ATQ0V1X3\$N1=1													
128kbpsマルチリンクPPP	ATQ0V1X3\$N11=1													
PIAFS32K	ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=0													
PIAFS64K	ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=1													

こんなとき	症状	原因と対策
メールが着信しない	BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入しているのに、電子メールが届いてもMSGランプが点滅しない	<p>BIGLOBEの通知表示名と『UUIメールEX』で設定した通知表示名が違っている</p> <p>『UUIメールEX』で指定している通知表示名をいったん消去してから、再度入力してください。また、BIGLOBE側の設定で電話番号とオプション設定を確認してください。</p> <p>INSネット64の契約で「ユーザ間情報通知」が「着信許可」になっていない</p> <p>INSネット64の契約の「ユーザ間情報通知」を「着信許可」にします。自分あてにUUIメールを出して、MSGランプが点滅するかどうか確認してください。点滅すれば契約に問題はありません。</p> <p>データポートに着信番号が通知されるように設定されていない</p> <p>『らくらくアシスタント』で確認してください。</p> <p>『らくらくアシスタント』の設定が「点滅しない」になっている</p> <p>点滅するように設定してください。</p> <p>親機を初期化したため、UUIメールEXの通知表示名の設定が消えてしまった</p> <p>Windowsの場合はUUIメールEXがインストールされているフォルダの中にある「UUI Mail EX2.ini」ファイルを削除して、UUIメールEXを再起動してください。</p>
接続はするが通信がおかしいとき	速度が遅い	<p>接続先やインターネットのルートが混んでいると、通信速度が遅くなることがあります。</p> <p>時間帯を変えてもう一度接続してみてください。</p> <p>パソコンの設定速度が遅い</p> <p>Windows搭載のパソコンでは、通信形態によってパソコンの最高速度を変更しないと、期待した通信速度が出ません。次のように設定してください。一般的には、高速シリアルボードを購入して、通信速度が出るようにできます。</p> <p>非同期 / 同期PPP変換（同期64K通信） ・ ・ ・ 115.2kbps以上</p> <p>非同期通信 ・ ・ ・ 通信速度と同じにする</p>
通話・通信を終了したとき	液晶ディスプレイのB1B2の表示が消えない	<p>液晶ディスプレイに B1B2 のいずれかが表示されたままのときは、親機とINSネット64を接続しているINS回線ケーブルをいったん抜いて、表示が消えることを確認してから再度差し込んでください。これで通信が切断されます。</p>
電源を切ったとき	液晶ディスプレイのRDY表示が消えない	<p>一部のパソコンでは、パソコンの電源を切ってもER信号をOFFにしない機種があります。そのままだと通信が切断されない場合があります。RDY はパソコンの電源コンセントを抜けば消えますが、通信は切断されない場合があります。</p> <p>液晶ディスプレイに B1B2 のいずれかが表示されたままのときは、親機とINSネット64を接続しているINS回線ケーブルをいったん抜いて、表示が消えることを確認してから再度差し込んでください。これで通信が切断されます。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
停電時に動作しないとき	1. POWERランプが点滅しない	<p>親機の電源スイッチがOFFになっている</p> <p>電源スイッチが入った状態でないと、停電モードになりません。電源スイッチを「-」（ON）にしてください。</p> <p>電池がセットされていない、または+・-を間違えてセットしている</p> <p>市販の単3アルカリ乾電池、または別売のニカド電池パックを正しくセットしてください。</p> <p>単3アルカリ乾電池の容量がなくなっている</p> <p>電池を交換してください。</p>
	2. 電話がかけられない	<p>電話Bポートに電話機を接続している</p> <p>停電時に使用できるアナログポートは、電話Aポートだけです。電話機を電話Aポートに接続してください。</p>
	3. 電池の使用時間が短い	<p>電話Bポートの電話機を受話器を上げている</p> <p>受話器を置いてください。</p> <p>S点ユニットにも給電されるため、別売のS点ユニットを使用していると使用時間が短くなります。</p>
累積料金と実際の料金が異なるとき		<p>INSTタイムプラス、INSTテレホーダイ、i・アイプランなどのサービスに加入していたり、PHS網など他事業者経由で通信をおこなっている</p> <p>表示される累積料金と実際の請求額が異なります。Atermは切断時に網から通知された金額をそのまま表示し、累積料金として計算しています。</p> <p>また、PHS網や日本テレコムなどの他事業者と通信をおこなうと料金情報がネットワークから送出されないため、累積料金と実際の請求額が異なります。</p> <p>親機の電源を切った、または親機を初期化した</p> <p>累積料金は親機の電源を切ったり初期化すると、0円または前回保存した値にもどります。『らくらくアシスタント』などで累積料金を表示したあとに設定値を保存すると、そのときに表示された累積料金の値が保存されます。</p>
添付CD-ROMをセットしたとき	メニュー画面を表示したくない	<p>Windowsの場合は添付CD-ROMをセットすると、メニュー画面が表示されるように設定されています。表示したくない場合は、以下のいずれかの方法でメニューを消してください。</p> <p>メニュー画面の [CD-ROMの終了] をクリックします。</p> <p>WindowsMe/Windows98/Windows95/Windows2000の場合は、[SHIFT] キーを押しながらCD-ROMをセットします。CD-ROMドライブのアクセスが止まるまで[SHIFT] キーを押し続けます。</p> <p>WindowsMe/Windows98/Windows95の場合、CD-ROMを入れたときに最初の画面が表示されないようにできます。 (添付CD-ROMだけでなく、ほかのCD-ROMでも表示されません)</p>

こんなとき	症状	原因と対策
添付CD-ROMをセットしたとき	CD-ROMのメニュー画面が表示されない	<p>WindowsMe/Windows98/Windows95の場合は、次の手順でメニュー画面を表示することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)  [プログラム] [エクスプローラ] を選択します。(WindowsMeの場合は  [プログラム] [アクセサリ] [エクスプローラ]) (2) [CD-ROM] ドライブをダブルクリックします。 (3) 「menu.exe」をダブルクリックします。
添付CD-ROMを使用したあとにパソコンが動作しなくなる	-	<p>『セットアップガイド』のメニューを終了していない</p> <p>『セットアップガイド』のメニュー画面を終了させてからCD-ROMを取り出さないと、パソコンが動作しなくなることがあります。メニュー画面の[CD-ROMの終了]をクリックし、CD-ROMドライブのアクセスランプが消えたことを確認してから、CD-ROMを取り出してください。</p>
ハイパーターミナルをインストールしたい	-	<p>WindowsMe/Windows98/Windows95/Windows2000でAtermの設定を確認するときには、『ハイパーターミナル』を使用します。パソコンによっては『ハイパーターミナル』がインストールされていません。</p> <p>次の手順でインストールします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)  [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。 (3) [Windowsファイル] タブをクリックします。 (4) 「通信」を選択し、 ボタンをクリックします。 (5) 「ハイパーターミナル」をクリックして <input checked="" type="checkbox"/> にし、 ボタンをクリックします。このとき「CD-ROMが必要です」と表示された場合は、WindowsのCD-ROMをセットします。
購入したときの状態にもどりたいとき	-	<p>親機の設定を最初からすべてやり直したい</p> <p>親機の設定値を工場出荷時の状態にもどします。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので注意してください。</p> <p>電話機の受話器を上げる      受話器を置く</p> <p>親機前面のファンクションボタンを使って、工場出荷時の状態にもどすこともできます。(P.248)</p> <p>子機の設定を最初からすべてやり直したい</p> <p>子機の設定を初期化します。ただし、増設登録をのぞいてすべての設定値が工場出荷時の状態にもどるので注意してください。</p> <p>子機背面のTESTスイッチを細い棒などで押しながら、電源プラグを差し込んで電源をONにします。そのままTESTスイッチを5秒以上押し続け、POWERランプが緑色に点灯したら、TESTスイッチから手を離します。</p> <p>ATコマンドで「ATZ98」を実行します。</p>
海外で使用したいとき	-	<p>Atermシリーズは日本国内のISDN (INSネット64) で使用することを前提としているため、海外では使用できません。また日本語OS以外では使用できません。</p>

USB ポートを使用するときの注意

USB ポートに接続する前に以下の点を確認してください。

接続台数

1 台のパソコンの USB ポートに接続できる Aterm は 1 台だけです。

親機または子機と USB 接続ができる OS

Windows Me/Windows 98/Windows 95/Windows 2000 を搭載したパソコン、または Mac OS 8.6 以上を搭載した Macintosh で利用できます。それ以外のパソコンの場合は、シリアルポート (RS-232C) で接続してください。また Windows 95 の場合は、USB 接続できる OS のバージョンが限定されます。以下で確認してください。

Windows 95 の場合

Windows 95 のバージョンが「OEM Service Release 2.1 (OSR 2.1)」以降の場合のみ使用できます。

次の方法でバージョンを確認してください。

- ① **スタート** [設定] [コントロールパネル] を選択します。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。
- ② [システム] アイコンをダブルクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブ内に「Microsoft Windows 95 4.00.950B」と表示されていることを確認します。
- ④ **OK** ボタンをクリックします。
[システムのプロパティ] が終了し、[コントロールパネル] ウィンドウにもどります。
- ⑤ [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
[アプリケーションの追加と削除] 画面が表示されます。
- ⑥ ソフトウェアの一覧に「USB Supplement to OSR2」と表示されているか確認します。

表示されない場合は、パソコンの取扱説明書などで USB ポートが使用できるかどうか確認してください。

上記ソフトウェアがインストールされていても、パソコンの BIOS を変更しないと USB ポートが使用できない場合があります。BIOS の設定方法は、パソコンによって異なります。お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- ⑦ **OK** ボタンをクリックします。
[アプリケーションの追加と削除] が終了し、[コントロールパネル] ウィンドウにもどります。

Windows95のUSBドライバ(USB.D.SYSファイル)のバージョンが「4.03.1212」の場合、USBポートは使用できません。

OHCIコントローラ採用のパソコンでは、USBポートにUSBケーブルを差した状態ではWindows95が終了できないことがあります。

USBケーブルを抜き差しすると、機能が停止してパソコンが動作しなくなることがあります。

子機はWindows95に対応していません。

PC-9821シリーズとの接続

NEC PC-9821シリーズでUSB接続することはできません。COMポート(シリアルポート)で接続してください。

Windows98 Second Editionへのアップグレード

Windows98 Second Editionへアップグレードしたとき、それまで使っていたUSB環境が継承されないことがあります。その場合はUSBドライバを再インストールしてください。(「3-3.らくらくアシスタントで簡単に設定する」P.83)

UHCI対応パソコン、OHCI対応パソコンとは

パソコンのUSBホストコントローラの種類です。

Windows98の場合は、次の方法でご使用のパソコンがどちらに対応しているかを確認できます。

- ① [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックします。
- ② [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
- ③ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックします。

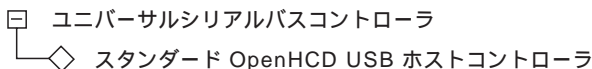
表示例

OHCI対応パソコンでは「OpenHCD」という文字が表示されるのが一般的です。

OHCI対応パソコンの表示例 1



OHCI対応パソコンの表示例 2



他のUSBデバイスとの同時使用





1台のパソコンにAtermと他のUSB対応機器を同時に接続した場合、両方の機器が一つのUSBバスを共有します。個々の機器の特性や制御方法の違いによってお互いが影響し合い、Atermの通信速度が遅くなったり、使用できなくなることがあります。このような場合は、他のUSB対応機器と同時に接続しないでください。

フロー制御

USBポートで使用する場合、通信ソフトウェアはハードウェアフロー制御(RS-CSフロー制御、CTS-RTSフロー制御)に設定してください。

Macintosh の場合

Aterm のポートを指定して通信アプリケーションを実行したまま、Aterm の USB ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USB ドライバとの結合がシステムより解放されます。その後、引き続き通信アプリケーションを使用する場合には、通信アプリケーションをいったん終了し、再度実行してください。Aterm に初期化を指示する AT コマンドをターミナルソフトなどで実行した場合も同様です。「ATZ98」_↓「ATZ99」などをターミナルソフトで実行した場合には、再度ターミナルソフトを起動し直してください。

こんなとき	症状	原因と対策
A term が USB 接続を認識しない	親機の電源を入れてからパソコンを起動したが、液晶ディスプレイに「USB」と表示されない	A term が USB 接続を認識していない 再度 USB ドライバをインストールしてください。パソコンによっては、A term が USB 接続を認識しないことがあります。 USB ケーブルをいったん抜いてから、再度差し込んでください。
動作が不安定なとき	頻繁にフリーズしたりエラーが発生する	システムの再構築などをおこなってから、USB ドライバをインストールし直してください。
	表示が遅くなったり、メモリ不足エラーが発生する	インターネット接続を長時間おこなったり、他のソフトウェアを複数起動した場合に、表示が遅くなったり、メモリ不足エラーが発生する アプリケーションを終了するか、パソコンを再起動してください。またはメモリを増設してください。
スリープから復帰できない	キーボードやマウスでスリープの復帰ができない	スリープ状態から復帰しないときには、キーボードとパソコン本体を接続している USB ケーブルをいったん抜いてから、再度差し込んでください。 スリープ機能を制限し、復帰を可能にすることもできます。 Windows Me/Windows 98 の場合 (1)  [設定] [コントロールパネル]の [電源の管理] をダブルクリックします。 (2) 「電源設定」で「常にオン」を選択します。 (3)  ボタンをクリックします。 Windows 2000 の場合 (1)  [設定] [コントロールパネル]の [電源オプション] をダブルクリックします。 (2) 「電源設定」で「常にオン」を選択します。 (3)  ボタンをクリックします。 Macintosh の場合 (1) [コントロールパネル] の [省エネルギー設定] を選択します。 (2) 「スリープするまでの非動作時間」のレバーを「しない」にします。 (3) [より詳しく] をクリックし、表示された画面中央の「画面のスリープを別指定する」、「ハードディスクのスリープを別指定する」をそれぞれクリックし、任意の時間を設定します。
通信速度が遅い	—	接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度が十分に得られないことがあります。時間帯を変えるなどして試してください。また、ファイルのアップロードをおこなう場合は、ご利用の通信アプリケーションによってはフロー制御が使用できないなどの理由から、通信速度が十分得られない場合があります。

こんなとき	症状	原因と対策
USBドライバをインストールしたとき	Windows Me / Windows 98 で Aterm が「不明なデバイス」として認識される	USBドライバを組み込む途中でキャンセルした 次の手順で「不明なデバイス」を削除してください。 (1) [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [システム] をダブルクリックします。 (3) [デバイスマネージャ] タブ内の [不明なデバイス] を選択し、 ボタンをクリックします。
	Windows 2000 で Aterm が「 USB デバイス」として認識される	USBドライバを組み込む途中でキャンセルした [デジタル署名が見つかりませんでした] 画面が表示された場合は をクリックします。 次の手順で「不明なデバイス」を削除してください。 (1) [設定] [コントロールパネル] を選択します。 (2) [システム] をダブルクリックします。 (3) [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。 (4) 「モデム」の中の「USBDevice」を選択し、 ボタンをクリックします。
	システムのプロパティに [デバイスマネージャ] がない、またはコントロールパネルに [モデム] のアイコンがない	お使いのパソコンが PC98-NX シリーズの場合、誤操作からパソコンを守るための仕組みとして、CyberTrio-NX が入っています パソコンの取扱説明書を参照し、CyberTrio-NX のモードを「アドバンスモード」に切り替えてお使いください。
Windows が動作しなくなる	USBポートを使用する通信アプリケーションを動作させた状態で Aterm の USB ケーブルを抜き差ししたり、Aterm の電源の ON/OFF をすると Windows が動作しなくなる	パソコンによっては、これらの動作で例外エラーが発生したり、Windows が動作しなくなることがあります。 通信アプリケーションを終了してから USB ケーブルの抜き差しや、Aterm の電源の ON/OFF をおこなってください。 Windows が動作しなくなった場合には、 + (または) + キーを同時に押し、Windows を終了させ、パソコンの電源をいったん切ってから再度 Windows を起動してください。
パソコンが動作しなくなる	[Windows の終了] [MS-DOS モードで再起動する] を選択するとパソコンが動作しなくなる	パソコンの機種によっては、MS-DOS モードで再起動するとパソコンが動作しなくなることがあります。 MS-DOS モードで再起動を実行しないでください。
Windows 2000 で接続するポートを変更するとモデムが増える	Windows 2000 でパソコンの USB ポートを変更するとモデムが増える	パソコンの USB ポートが 2 つ以上ある場合は、Aterm をインストールしたときに使用していたポートをお使いください。インストールしたときに使用していたポート以外の USB ポートに接続すると新規にモデムが作成されますが、動作に問題はありません。
例外エラーが発生する	-	スタンバイ、サスペンド機能をサポートしているパソコンでスタンバイ、サスペンドを実行すると、例外エラーが発生する場合があります。スタンバイ、サスペンドを実行しないでください。

こんなとき	症状	原因と対策
インターネットに接続できない	バージョンアップしたあとインターネットに接続できない	<p>USBのCOMポートの割り当てが変更された</p> <p>『らくらくアシスタント』で、再度USBドライバのインストールを実行します。</p> <p>電子マニュアル「データ通信ガイド」の「2. 手動セットアップ」を参照し、USBドライバを手動でインストールします。</p>
通信中にパソコンの画面表示が遅くなる	通信中にパソコンの画面表示が遅くなったり、マウスポインタが動かなくなる	<p>お使いのパソコンによっては、3Dマウスを使用すると、画面表示が遅くなったり、マウスポインタが動かなくなったり、標準のマウスポインタを使用すると解消する場合があります</p> <p>(1) [コントロールパネル]の[マウス]をダブルクリックし、[ポインタ]タブをクリックします。</p> <p>(2) 「デザイン」を「なし」にして、<input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックします。</p> <p>Windows Me/Windows 98の場合は、次の手順で画面の設定を変更すると解消する場合があります</p> <p>(1) [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックし、[パフォーマンス]タブをクリックします。</p> <p>(2) <input type="button" value="グラフィックス"/> ボタンをクリックして[グラフィックスの詳細設定]画面を表示します。</p> <p>(3) 「ハードウェアアクセラレータ」のスライダーを「なし」に移動し、<input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックします。</p> <p>(4) <input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックしたあと、Windowsを再起動します。</p>
ファイルをダウンロードしている途中で止まる	ファイルをダウンロードしている状態で長時間放置するとダウンロードが止まる	<p>パソコンの機種によっては省電力機能により、USBの使用が制限されることがあります</p> <p>[コントロールパネル]の[パワーマネジメント]、または[電源の管理]の省電力機能を停止させてください。またパソコンによっては、起動時のBIOS設定で省電力の設定をおこなうものもあります。ご使用のパソコンの取扱説明書を参照し、省電力の機能を停止させてください。</p>
電子メール着信通知でエラーになる	電子メール着信通知で「メール通知情報」の読み出しをしているときに、「実行時エラー:5」が発生する	<p><input type="button" value="OK"/> ボタンをクリックしてエラー表示を解除し、再度「メール通知情報」を実行してください。</p>
USBケーブルをパソコンに接続したとき	[「レジストリエディタ」で削除する]に記載されている、右記のキーが見つからない	<p>HKEY_LOCAL_MACHINE¥Enum¥USB¥VID 409&PID_0012</p> <p>見つからない場合は、削除しなくても問題ありません。[コントロールパネル]の[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]から[AtermIT-USBPort Adapter]を削除したときに、このキーが削除されます。</p>
Windows95をインストールしたあとにインターネットに接続できない	らくらくアシスタントでダイヤルアップネットワークアイコンを作成してインターネット接続したが、接続できない	<p>左記の条件でダイヤルアップネットワークアイコンを作成した場合、USBポートが割り当てられないことがあります</p> <p>「ポート」の<input type="checkbox"/> をクリックして表示される「AtermIT-USB COMPort Adapter」を選択してください。</p>

こんなとき	症状	原因と対策
パソコンがAtermを認識しない	「COM1ポートにはAtermが正しく接続されていません」と表示される	[コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックし、[デバイスマネージャ]タブ内の[ポート(COM & LPT)]をダブルクリックします。[Aterm IT- USB COMPort Adapter]が割り当てられているCOM番号を選択します。
通信や通信の切断に時間がかかる	ダイヤルアップネットワークの切断が遅い、またはブラウザが起動してデータの表示が遅くなる	お使いのパソコンによっては[アクティブデスクトップ]が表示されていて、そのために動作が遅くなる場合があります [コントロールパネル]の[画面]をダブルクリックし、[Web]タブ内の「Active DesktopをWebページとして表示」をクリックして にしてください。
通信相手によって通信速度が遅くなる	-	インターネットプロバイダやゲームサーバーなど通信相手によっては、回線が混雑して通信速度が遅くなる場合があります。また通信データがショートパケットになるなどの通信条件によって、COMポート(シリアルポート)接続に比べて通信速度が遅くなる場合があります。

Macintosh

こんなとき	症状	原因と対策
USBドライバをインストールしたとき	親機の液晶ディスプレイに「USB」と表示されない	[システムフォルダ]内の[機能拡張]フォルダに「USBterm」と「SerialShimLib」がコピーされている必要があります。[USBドライバ]フォルダごと入っている場合は有効になりません。2つのファイルが[機能拡張]フォルダにコピーされていることを確認してください。 AtermをUSBハブなどに接続し、複数のUSB機器を使用している USBハブを外してMacintosh本体のUSBポートに直接接続してください。
USBポートを認識できない	USBポートで通信できない	[システムフォルダ]内の[機能拡張]フォルダにある[USBterm]アイコンが文書(白いアイコン)になっていると、USBポートが使用できません。 USBポートが使用できるように、OSをアップグレードしてください。
インターネットに接続できない	-	Atermの他の機種種のUSBドライバが[システムフォルダ]内の[機能拡張]フォルダに入っている場合は、正しく接続できません。 下記のフォルダが入っている場合は、それらを削除してください。 ・USBtermIT ・USBtermITX

USB ネットワークを使用するとき (IWX70 のみ)

こんなとき	症状	原因と対策
USBネットワークで接続するとき	USBネットワークに接続しようとしているのにINSネット64に接続される	<p>「所在地」で設定している市外局番や国番号と、ダイヤルアップネットワークの接続先で設定した市外局番や国番号が違っている</p> <p>[コントロールパネル]の[モデム](Windows2000は[電話とモデムのオプション])で[所在地]情報の「市外局番」「国番号」をUSBネットワーク用の接続先の設定と同じにしてください。</p>
	ダイヤルアップ接続のパスワードを忘れてしまった	ダイヤルアップサーバーのパスワードを解除し、新しいパスワードを設定します。
	ダイヤルアップサーバーで「着信する」を選択できない	<p>他のアプリケーションがAtermを使用している</p> <p>ほかのアプリケーションを使用しているときは、ダイヤルアップサーバーを動作させることはできません。またダイヤルアップサーバーが動作中は、『らくらくアシスタント』などのユーティリティソフトからAtermにアクセスできません。</p>
	ハイパーターミナルなどの通信ソフトを起動しようとするとき「COMポートをオープンできません」とエラーが出る	<p>ダイヤルアップサーバーが着信をおこなうため、常に指定されたモデムやターミナルアダプタがオープンし、モデムやターミナルアダプタが接続されているCOMポートは常に使用中となります。</p> <p>COMポートを直接開く形式の通信ソフトを使用する場合は、ダイヤルアップサーバーを「着信しない」に設定してください。</p>
	接続しても[ネットワークコンピュータ]にサーバパソコンが表示されない	<p>サーバパソコンのアイコンが表示されるまでに時間がかかることがあります。</p> <p>サーバパソコンを検索してみてください。表示されれば動作は正常です。</p> <p>サーバパソコン側で共有設定が正しく設定されていない 共有設定を正しく設定してください。</p>
	共有フォルダを開こうとすると何度もユーザー名とパスワードを入力するように表示され、フォルダを開くことができない	<p>入力したパスワードが間違っている</p> <p>正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は、サーバの共有フォルダを右クリックし、メニューから[共有]を選択します。[共有名のプロパティ]で新しいパスワードを設定します。</p> <p>サーバがWindows2000、クライアントがWindows98/Windows95の場合にこの現象が起こる場合は、サーバ側で以下の設定をしてみてください。ただしこの設定ではGUESTのアカウントが有効になるので、ネットワークのセキュリティが充分ではなくなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) [コントロールパネル]の[管理ツール]をダブルクリックします。 (2) [コンピュータの管理]をダブルクリックします。 (3) [システムツール] [ローカルユーザーとグループ] [ユーザー]を選択します。 (4) 「GUEST」を選択し、プロパティ ボタンをクリックします。 (5) [全般] タブをクリックし、「アカウントを無効にする」を にします。

7-2 . Aterm を購入したときの状態にもどす

『らくらくアシスタント』や『らくらくテレホン設定』で設定した内容は、親機と子機に内蔵されている不揮発性メモリ(フラッシュメモリ)に書き込まれるので、親機または子機の電源を切っても設定は記憶されています。この設定内容を消去し、工場出荷時と同じ状態にもどすことができます。設定を間違えて親機や子機が正しく動作しなくなった場合や、はじめから設定をやり直したいときなどに初期化します。

なお、初期化しても子機の増設登録やバージョンアップした機能は消去されません。

親機の初期化

パソコンまたは電話機、親機前面のファンクションボタンのいずれかを使って初期化します。

パソコンで初期化する

『らくらくアシスタント』を使って初期化します。らくらくアシスタントで初期化した場合、次の設定は消去されません。

電話帳
着信番号 / 通知番号
内線指定番号
自己サブアドレス
累積通信料金
着信転送アドレス
受話音量
時刻設定
増設登録

ここでは Windows 98 搭載のパソコンに親機を接続した場合を例に説明します。Windows Me / Windows 95 / Windows 2000 / Windows NT 4.0、Macintosh を接続した場合の手順も一部をのぞいて同様です。

① 『らくらくアシスタント』を起動します。

② [らくらくアシスタントメニュー]で [IWX70&RS7の詳細設定] をクリックします。



[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

Macintoshの場合は、[IWX70らくらくアシスタント]画面で [設定値の初期化] をクリックし、④に進みます。

③ 親機の [全体設定] をクリックし、[設定値の初期化] を選択します。



初期化される項目が表示されます。

- 4 表示されている内容を確認し、**はい** ボタンをクリックします。



初期化が終了します。
「契約者回線番号のグローバル着信を再設定…」という画面が表示されます。

- 5 **OK** ボタンをクリックします。



[電話番号テーブル]画面が表示されます。

- 6 i・ナンバーや契約者回線番号、ダイヤルイン番号の設定をします。

設定内容の詳細は「5-2. 親機の電話機能」(P.177、180)を参照してください。

電話機で初期化する

親機のアナログポートに接続された電話機のプッシュボタンで初期化します。増設登録をのぞいてすべての設定が初期化されます。

- 1 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、*** * 9 8 *** と押します。

[親機液晶ディスプレイ]

A
ショキカシマス

- 2 受話器を置きます。
初期化が終了します。

ファンクションボタンで初期化する

親機前面のファンクションボタンを使って初期化します。増設登録をのぞいてすべての設定が初期化されます。

- 1 親機前面の **MENU** ボタンを押します。

[親機液晶ディスプレイ]

1 : チャクシンリレキ

- 2 **SELECT** ボタンを 3 回押します。

4 : ショキカ

- 3 **ENTER** ボタンを押します。

ショキカメニュー
センタクシマス

- 4 **SELECT** ボタンを押します。

2 : コウシ^{*} ヨウシュッカ
シ^{*} ニショキカ

- 5 **ENTER** ボタンを押します。

コウシ^{*} ヨウシュッカシ^{*}
ニショキカシマスカ?

初期化しないときは、ここで **MENU** ボタンを押します。

- 6 **ENTER** ボタンを押します。

ショキカチュウ

初期化が終了します。



お知らせ

ATコマンドを使ってパソコンで初期化することもできます。ATコマンドについては、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「5. ATコマンド」を参照してください。

無線ポートに登録されているPHS電話機の機種や電波の状態によっては、初期化実行後30秒～1分程度PHS電話機が使用できないことがあります。



お願い

通信中に初期化をおこなうとすべての通信が切断されます。通信が終了してから実行してください。

子機の初期化

パソコンまたは子機背面のTESTスイッチを使って初期化します。

パソコンで初期化する(Windows)

『らくらくアシスタント』を使って初期化します。らくらくアシスタントで初期化した場合は、増設登録と受話音量は消去されません。

ここではWindows98搭載のパソコンに子機を接続した場合を例に説明します。WindowsMe/Windows95/Windows2000/WindowsNT4.0を接続した場合の手順も同様です。

1

『らくらくアシスタント』を起動します。

2

[らくらくアシスタントメニュー]で[IXW70&RS7の詳細設定]をクリックします。



[ターミナルアダプタの詳細設定]画面が表示されます。

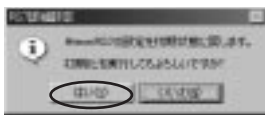
3

子機の[全体設定]をクリックし、[設定値の初期化]を選択します。



初期化される項目が表示されます。

- ④ 表示されている内容を確認し、 ボタンをクリックします。



初期化が終了します。

パソコンで初期化する (Macintosh)

『RS7 らくらくユーティリティ』を使って初期化します。らくらくユーティリティで初期化した場合、増設登録は消去されません。

- ① 『RS7 らくらくユーティリティ』を起動します。

- ② ボタンをクリックします。



初期化の確認画面が表示されます。

- ③ 表示されている内容を確認し、 ボタンをクリックします。



初期化が終了します。

TESTスイッチで初期化する

子機背面のTESTスイッチを使って初期化します。TESTスイッチで初期化した場合、増設登録は消去されません。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにします。

- ② TESTスイッチを細長い棒などで押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

前面のPOWERランプが赤色に点灯します。

- ③ そのままTESTスイッチを5秒以上押し続けます。

設定が初期化され、POWERランプが緑色に点灯します。

- ④ TESTスイッチから手を離します。
初期化が終了します。



ATコマンドを使ってパソコンで初期化することもできます。ATコマンドについては、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「5. ATコマンド」を参照してください。

7-3 . Aterm とパソコンとの接続を確認する

親機や子機からインターネットに接続できないときなど、親機または子機とパソコンが正しく接続されているか確認します。

Windows Me/Windows 98/Windows 95/Windows 2000 に添付されている『ハイパーターミナル』という通信ソフトを使います。

ハイパーターミナルで接続を確認する

ここでは Windows 98 を搭載したパソコンに親機を接続した場合を例に説明します。お使いの環境によって手順や画面が異なることがあります。子機を接続した場合の手順も同様です。

① パソコンを起動します。

② **スタート** [プログラム] [アクセサリ] [通信] [ハイパーターミナル] を選択します。

Windows 95 の場合は **スタート** [プログラム] [アクセサリ] [ハイパーターミナル] を選択します。

[Hyper Terminal] ウィンドウが表示されます。

③ [Hyperterm] アイコンをダブルクリックします。



Hyperterm

[接続の設定] 画面が表示されます。

④ 「名前」に任意の名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

ここでは例として「test1」と入力します。



⑤ 「電話番号」に任意の数字(例:0)を入力し、「接続方法」で親機または子機のモデム情報ファイルを選択します。




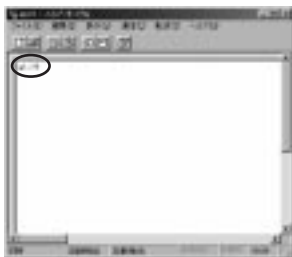
⑥ **OK** ボタンをクリックします。
[接続] 画面が表示されます。

⑦ **キャンセル** ボタンをクリックします。



[ハイパーターミナル] ウィンドウが表示されます。

- 8 パソコンのキーボードから半角で「ati4」と入力し、を押します。



- 9 親機を接続しているときは「Aterm IW NEC Corporation」、子機を接続しているときは「AtermRS NEC Corporation」と表示されれば、Atermは正しく接続されています。



上記表示が出ないときは「7-1. 困ったときのQ&A (P.272)」を参照し、接続を確認してください。

- 10 [ファイル] [ハイパーターミナルの終了]をクリックします。

切断の確認画面が表示されます。

- 11 ボタンをクリックします。



- 12 ボタンをクリックします。



ハイパーターミナルが終了します。



8で入力したコマンドを「ATコマンド」といいます。ATコマンドについては、電子マニュアル「データ通信ガイド」の「5 .ATコマンド」を参照してください。

MacintoshでATコマンドを実行する場合は、ATコマンドが入力できるフリーウェアなどを利用してください。

7-4 . 自己診断

自己診断機能を使用して、親機または子機に異常がないか確認することができます。ハードウェアのブロックごとに試験します。

親機の自己診断

親機前面のファンクションボタンで操作します。

① **MENU** ボタンを押します。

② **SELECT** ボタンを 4 回押します。

[親機液晶ディスプレイ]

5 : シンタ'ン

③ **ENTER** ボタンを押します。

A t e r m l W X 7 0
シンタ'ン テスト

ブザーが「ビビビ...」と鳴ったあとに、MSG ランプが緑色に点滅します。

④ 診断結果が液晶ディスプレイに表示されます。

正常なとき

A t e r m l W X 7 0
シンタ'ン テスト OK

異常があるとき
次のいずれかが表示されます。

被試験ブロック名	試験内容	異常があったときのディスプレイ表示
FLASH	フラッシュメモリの読み込みが正常か確認します	Error FLASH
RAM	RAMの読み込み / 書き込みが正常か確認します	Error RAM
INT	割込制御ユニットが正常か確認します	Error INT
LINE	ISDNインタフェースを制御するS点インタフェース制御部が正常か確認します	Error LINE
HDLC	通信送受信データの制御部が正常か確認します	Error HDLC
OPTION	S点ユニット制御部が正常か確認します	Error OPTION
BBLSI	ベースバンドLSIが正常か確認します	Error BBLSI
ADPCM	ADPCM LSIが正常か確認します	Error ADPCM
USB	USBポート制御部が正常か確認します	Error USB

5 親機の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。



お願い

異常があった場合は「8-8 . お問い合わせ・アフターサービス」(P.331) を参照の上、修理を依頼してください。

自己診断を実行中は、親機の電源を切らないでください。電源を切ると、親機に記憶されている設定内容が正しく保持されないことがあります。

子機の自己診断

子機背面の TEST スイッチで操作します。

- 1 背面の TEST スイッチを細長い棒で 1 ~ 2 秒押し、MSG ランプが緑色に点灯したら TEST スイッチから手を離します。

自己診断が開始されます。

- 2 PHS ランプと MSG ランプが点灯し、診断結果がランプで表示されます。

正常なとき

POWER ランプが緑色に点灯し、MSG ランプが緑色に点滅します。

異常があるとき

ランプが上記以外になります。



異常があった場合は「8-8 . お問い合わせ・アフターサービス」(P.331) を参照の上、修理を依頼してください。

自己診断を実行中は、子機の電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源が切れると、子機に記憶されている設定内容が正しく保持されないことがあります。

8

付録

アフターサービスや液晶ディスプレイの表示など、Atermを使う上で参考にさせていただきたいことを掲載しています。

停電対策 308

液晶ディスプレイの表示 310

切断理由 / 生成源 / 診断情報の表示 315

AtermIWX70&RS7ワイヤレスセット製品仕様 320

ホームテレホン / ビジネスホンとの接続 326

別売オプション 327

ターミナルアダプタの増設 328

お問い合わせ・アフターサービス 331

ホームページ『AtermStation』のご紹介 340

インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介 341

用語解説 343

Aterm設定の控え 347

8-1 . 停電対策

親機に電池をセットしておく、停電したときでも、親機に接続されている機器を使用できます。

親機に電池をセットする

停電したときに電池で使用可能な機器や機能は次のとおりです。

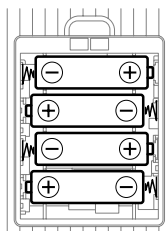
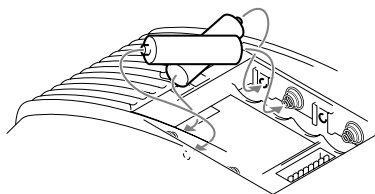
親機の電話Aポートに接続されている電話機などの機器と、シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコン（停電時動作可能な機器の場合）

電子メール着信通知や遊遊メール、UUIメール

親機に装着したS点ユニット（別売オプション）のS/T点

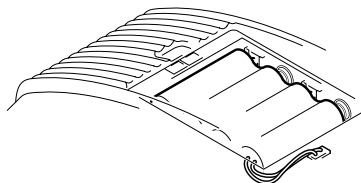
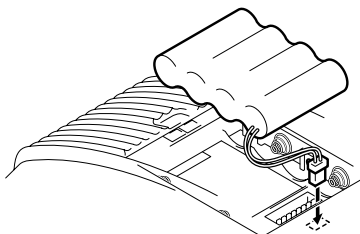
- 1 親機の電源スイッチをOFFにします。
- 2 親機背面の電池カバーを取り外します。
ツメの部分を押しながらカバーを持ち上げるようにすると外れます。
- 3 電池ホルダーに次のどちらかの電池をセットします。

市販の単3アルカリ乾電池 4本
電池の+・- に注意してセットします。



別売のニカド電池パック「AtermITX用Ni-Cdバッテリーパック」（PC-IT/B02）
1セット（ P.327）

コードをコネクタに差し込んでから電池をセットします。



- 4 電池カバーをもとにもどし、電源スイッチをONにします。



電池を入れて使用する場合は、直射日光や高温多湿の場所を避けて親機を設置してください。

電池を入れて使用する場合は、親機上部と底面の通風孔をふさがないようにください。また発熱する機器の近くに置かないようにしてください。

電池をセットするとき、および電池をセットしてから3ヶ月に1回程度、電池カバーを外して電池の外観の点検をしてください。

アルカリ乾電池は1年に1回の割合で交換してください。なお、交換忘れを防ぐため、アルカリ乾電池は停電になってからセットすることをおすすめします。

ニカド電池パックは停電になると電池を消耗しますが、停電復旧後は自動的に充電されます。親機にセットしたままお使いください。

ニカド電池パックを充電してあっても、停電時に機器の動作が不安定になったときは電池の寿命です。新しい電池パックと交換してください。

ニカド電池パックの寿命は約2年間です。停電対策用のものですので、早めに交換するようにしてください。

停電時に電池が消耗して親機の動作が停止した場合、停電が復旧しても親機が動作しないことがあります。そのときは、親機の電源スイッチをいったんOFFにして電池を取り外したあと、もう一度電源スイッチをONにしてください。

電池の使用上の注意を守ってお使いください。



親機の電話Aポートで電池を使用した場合の、連続動作可能時間の目安は次のとおりです。

	連続待ち受け時間	連続通話時間
新しい単3アルカリ乾電池	約4時間	約2時間
ニカド電池パック(満充電時)	約1時間	約30分

親機の電話Bポートに接続した電話機の受話器を上げると、動作可能時間が短くなります。停電時は電話Bポートの電話機の受話器は置いたままにしてください。シリアルポート、USBポート、S点ユニットに接続された機器によっては動作可能時間が短くなります。停電時には必要な機器以外は、親機から外してください。

ニカド電池パックはご購入時には充電されていません。親機にセットして電源を入れると、約5日間で充電が完了します。充電が完了するまでの間に停電になると、動作可能時間が短くなったり、機器が使用できないことがあります。

電池は、停電時に備えるためのものです。親機の設定中に停電になった場合、ファームウェアに登録されていなかった設定情報は消去されます。

使用済みのニカド電池パックについて

Atermを破棄する場合は、本体からニカド電池パックを取り出してください。

不要になったニカド電池パックは、ワイヤレスセットまたはニカド電池パックをお買い上げいただいた販売店、もしくはお近くのニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。

(電池仕様：PC-IT/B02, 4.8V, 250mAh NEC)



Ni-Cd



8-2 . 液晶ディスプレイの表示

親機前面の液晶ディスプレイには、設定内容や通信状態などの情報が表示されます。電源を入れたとき、通信状態、お出かけ設定時、INSナンバー・ディスプレイを使用したときの液晶ディスプレイの表示を説明します。

↑   ⇨ B1 B2 RDY

- 1 行目 使用中の機器や通信状態を絵文字（ピクトグラム）で表示します。
 2・3 行目 電話番号や通信料金、機能設定中の案内などを、12文字×2行で表示します。
 液晶ディスプレイはバックライトが点灯します。











絵文字（ピクトグラム）

- ↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。
-   電話Aポートまたは電話Bポートに接続されている通信機器の受話器を上げるときに表示されます。
- ⇨ データ通信をしているときに表示されます。
 ⇨ Bチャンネル1つ（64kbps）で通信中
 ⇨ Bチャンネル2つ（128kbps）で通信中
- B1 B2 B1またはB2チャンネルを使用しているときに表示されます。
- RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER（Equipment Ready）信号がONのときに表示されます。

電源を入れたとき

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
INSネット64と同期がとれているとき	10月 1日 22:10	日時は例
INSネット64と同期がとれていないとき	カイセンショウカ'イ レイヤ1タ'ウン	レイヤ1が外れているとき (P.63)
	カイセンショウカ'イ レイヤ2タ'ウン	レイヤ2が外れているとき (P.63)

アナログポートを使用しているとき

	動作	液晶ディスプレイの表示	備考
発信	電話機の手受器を上げる	 10月 1日 9:47	電話Aポートに接続した電話機の手受器を上げた場合
	発信中	 アナログ A ハッソ XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	発信後20秒経過	 10月 1日 9:47	
	相手応答	 B1 10月 1日 9:47	B1チャンネルを使用している場合
着信	着信あり	アナログ チャクシ XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	電話機の手受器を上げる	 B1 10月 1日 9:47	電話Aポート、B1チャンネルを使用している場合
切断	切断後	アナログ セツ'ン YYY ZZZ	YYY:切断理由(P.315) ZZZ:通話料金(発信時のみ)
	切断後20秒経過	10月 1日 22:10	
着信転送	着信転送を設定して着信があったとき	 RDY アナログ チャクシ XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXは相手の電話番号
	転送完了	 B1 B2 RDY テソウシマシタ	転送失敗時は 「テソウシッパ イ」
	転送後5秒経過	 B1 B2 RDY 10月 1日 9:47 テソウテソウ	
内線転送	内線発信中	 アナログ ハッソ ナイセン A B	電話Aポートから電話Bポートに発信した場合
	内線通話中	 B 10月 1日 9:47	

データポートを使用しているとき（表示はシリアルポート使用時の例）

動作		液晶ディスプレイの表示	備考
発信	パソコンに発信コマンドを入力	→ B1 RDY データハッソ XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手の電話番号
	発信後20秒経過	→ B1 RDY 10月 1日 9:47	
	相手応答	→ B1 RDY 10月 1日 9:47	B1チャンネルを使用した場合 無線ポートからの発信の場合、▶ は表示されません
着信	パソコンに着信あり	RDY データチャッソ XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXは相手の電話番号
	通信中	→ B1 RDY 10月 1日 9:47	B1チャンネルを使用した場合 無線ポートからの発信の場合、▶ は表示されません
切断	切断後	データセッタン YYY ZZZ円	YYY:切断理由 (P.315) ZZZ:通信料金 (発信時のみ)
	切断後20秒経過	10月 1日 9:47	

USBポートを使用しているときは一部表示が追加されます。

USBポートを使用しているとき

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
USBポートとパソコンを接続しているとき	10月 1日 22:10 USB	USBドライバがパソコンにインストールされていて、親機がUSBポートを認識しているときに表示

でかけるボタンのロック

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
でかけるボタンがロックされているとき	データケルホタンヲ ロックシマシタ	設定後5秒間表示
でかけるボタンのロックを解除したとき	データケルホタンヲ ロックカイシヨシマシタ	設定後5秒間表示

お出かけ設定時

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
おやすみモードを設定しているとき	10月 1日 9:47 オヤスミ	
電話着信転送モードを設定しているとき	↑ 10月 1日 9:47 テ'ンワテンソウ	
ボイスワープ転送モードを設定しているとき	10月 1日 9:47 ホ'イスワープ'	
フラッシュモードを設定しているとき	10月 1日 9:47 フラッシュ	

INS ナンバー・ディスプレイを利用しているとき

INSネット64が相手の電話番号を通知してきた場合、液晶ディスプレイに着信した電話番号が表示されます。電話番号が表示されるのは次の場合です。

相手がINS ネット64 に加入していて、発信者番号通知をする設定になっているとき
デジタル携帯電話またはPHSからの着信で、発信者番号通知をする設定になっているとき
INS ナンバー・ディスプレイを契約していて、相手がアナログ電話回線からの発信で番号通知サービスを「184」のダイヤルなどで解除しなかったとき

相手の電話番号が通知されなかったときは、次のいずれかが表示されます。

動作	液晶ディスプレイの表示	備考
相手が「回線ごと非通知」または「184」を付けた場合の着信時	アナロク' チャクシン P:ヒツウチ	
相手が公衆電話からかけた場合の着信時	アナロク' チャクシン C:コウシュウテ'ソウ	
相手がサービス地域以外からかけた場合の着信時	アナロク' チャクシン 0:ヒョウジ'ケンカ'イ	



親機のアナログポートに接続されたナンバー・ディスプレイまたはキャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器に電話番号を表示させるには、アナログポートの情報通知サービスを「ナンバー・ディスプレイを使用する」に設定します。(「5-2. 親機の電話機能」P.168)

ディスプレイ表示の切り替え

液晶ディスプレイには通常、日付と時刻が表示されています。この表示を切り替えて、機種名を表示できます。

日付・時刻表示

- ① 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、プッシュボタンで **[*]** **[8]** **[1]** **[1]** と押します。
- ② 受話器を置きます。

10月 1日 22:10

機種名表示

- ① 親機のアナログポートに接続した電話機の受話器を上げ、プッシュボタンで **[*]** **[8]** **[1]** **[0]** と押します。
- ② 受話器を置きます。

A t e r m l W X 7 0

8-3 . 切断理由 / 生成源 / 診断情報の表示

切断理由の表示

INSネット64との接続を切断したときの切断理由を、親機の液晶ディスプレイにコードで表示します。コードは[らくらくアシスタントメニュー]から[IWX70&RS7の詳細設定][全体設定][通信情報・通信料金の参照]を選択するか、またはATコマンドの「AT#C」を実行したときにも確認することができます。

	コード	理由
正常クラス	001	欠番
	002	中継ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャンネル不許可
	007	設定済みのチャンネルへ着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼出中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手加入者端末番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
	028	無効番号フォーマット(不完全番号)
	029	ファシリティ拒否
	030	状態問い合わせ応答
031	その他	
リソース使用不可クラス	034	利用可回線 / チャンネルなし
	038	網故障
	041	一時的故障
	042	交換機輻輳
	043	アクセス情報破棄
	044	要求回線 / チャンネル利用不可
	047	その他

	コード	理由
サービス提供不可クラス	049	QOS利用不可
	050	要求されたファシリティ未契約
	057	伝達能力不許可
	058	現在利用不可伝達能力
	063	その他
サービス未提供クラス	065	未提供伝達能力指定
	066	未提供チャンネル種別指定
	069	未提供ファシリティ要求
	070	制限デジタル情報能力のみ可能
	079	その他
無効メッセージクラス	081	無効呼番号使用
	082	無効チャンネル番号使用
	083	指定された中断呼識別番号未使用
	085	中断呼なし
	086	指定された中断呼は既に切断復旧済み
	087	ユーザはCUGのメンバーではない
	088	端末属性不一致
	091	無効中継網選択
	095	その他
手順誤りクラス	096	必須情報要素不足
	097	メッセージ種別未定義
	098	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義
	099	情報要素未定義または未提供
	100	情報要素の内容が無効
	101	呼状態とメッセージ不一致
	102	タイム満了の回復
	111	その他
インタワーキング	127	その他



切断理由はINS ネット 64 から通知されます。詳細はNTT 東日本またはNTT 西日本にお問い合わせください。

回線を切断した場所の表示（生成源）

回線が切断された場所を『らくらくアシスタント』、またはATコマンドの「AT#C」を実行したときにコードで表示します。

コード	場所
00	ユーザ自身
01	ユーザが直接接続する私設網
02	ユーザが直接接続する国内網
03	中継網
04	相手ユーザが直接接続する国内網
05	相手ユーザが直接接続する私設網
07	国際網
10	インタワーキング先の網

着信拒否理由の表示 (診断情報)

着信を拒否した理由を『らくらくアシスタント』、またはATコマンドの「AT¥L1」を実行したときにコードで表示します。

コード	診断情報
000	本ポートは正常に着信を受け付けました。
201	本ポートは使用中のため着信を受け付けませんでした。
211	本ポートの着信番号設定とINSネット64からの宛先番号が一致していないため、着信を受け付けませんでした。着信番号設定を確認してください。
212	本ポートのグローバル着信設定が「着信しない」に設定されているため、グローバル着信を受け付けませんでした。グローバル着信設定を確認してください。
213	本ポートの自己サブアドレス設定とINSネット64からの宛先サブアドレスが一致していないため、着信を受け付けませんでした。自己サブアドレス設定を確認してください。
214	本ポートのサブアドレスなし着信設定が「着信しない」に設定されているため、サブアドレスなし着信を受け付けませんでした。サブアドレスなし着信設定を確認してください。
215	本ポートの識別着信設定が「着信する」になっており、識別番号設定に相手からの発信番号と一致するものがなかったため着信を受け付けませんでした。識別着信設定、および識別番号設定を確認してください。
221	着信があったポートのHLC設定がINSネット64からの着信通知の中のHLCと一致していませんでした。HLCの設定を確認してください。
231	パケット端末からの着信がありましたが、着信を拒否しました。
301	スティルスコールバック要求の着信がありましたが、着信を受けることができませんでした。スティルスコールバックが「使用する」になっているか設定を確認してください。
302	スティルスコールバック要求に対してサーバ側がかけ直しているときに別の着信がありましたが、その着信を拒否しました。
311	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力情報転送速度が64kbps以外の着信でした。
312	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ情報レイヤ1プロトコルが違っていました。
313	INSネット64からの着信通知の中の伝達能力ユーザ速度が56kbpsだったので、着信を拒否しました。
321	INSネット64からの着信通知の中にLLC速度情報が含まれていなかったため、着信を拒否しました。
322	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度がAtermの受けられない速度でした。通信相手機器を確認してください。
323	INSネット64からの着信通知の中のLLCユーザ速度がAtermの速度設定と不一致でした。「着信速度チェックしない」に設定し、通信速度が異なるパソコン同士でも通信できるようにしてください。
324	INSネット64からの着信通知の中のLLC同期 / 非同期が同期であるが、速度が64kbps以外の着信のため拒否しました。
325	INSネット64からの着信通知の中のLLC中間速度がAtermの受けられない速度のため拒否しました。

コード	診断情報
326	INSネット64からの着信通知の中のLLCフロー制御がAtermの設定と不一致でした。Atermのフロー制御方式の設定をしてください。
327	INSネット64からの着信通知の中のLLCストップビット長、データビット長、パリティ情報がAtermの設定と不一致でした。通信相手と設定を合わせてください。
331	G4ファクシミリからの着信でした。相手側の装置を確認してください。
341	データポート通信中、またはアナログポート通信中で2チャンネル使用中のため、着信が受け付けられませんでした。
361	応答平均化機能が「使用する」に設定されており、着信できる順番でないため着信を無視しました。
371	電子メール着信通知またはUIメール通知がありました。
401	停電時のアナログ着信設定が「着信しない」になっているため、着信を受け付けませんでした。停電時着信設定を確認してください。
402	停電中のため電話Bポートへの着信は受け付けませんでした。
411	アナログポートの設定が「使用しない」になっているため着信を受け付けませんでした。アナログポート設定を確認してください。
421	内線通話中にチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信はキャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
422	使用していないアナログポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
423	疑似キャッチホン設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
424	キャッチホンなしの設定ポートにチャンネルなしの着信を受けました。チャンネルなしの着信は、キャッチホン中のアナログポートに対してのみ受け付けます。
431	優先着信ポートの設定がされているため、優先着信ポートが着信を受けました。そのため優先着信ポートでないアナログポートには着信しませんでした。
999	その他の理由

8-4 . AtermIWX70&RS7 ワイヤレスセット製品仕様

IWX70 仕様

項目		諸元	備考	
接続回線		INSネット64またはINSネット64・ライト		
交換形態		データポート：回線交換 アナログポート：回線交換		
使用チャンネル		Bチャンネル		
インタフェース形態及びレイヤ1起動種別		P-MP常時またはP-MP呼毎契約	INSネット64接続の場合	
回線インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック（RJ-11）	DSU内蔵	
	伝送方式	2線、時分割伝送方式		
	伝送路速度	320kbps		
	伝送路符号	AMI符号		
	DSU折り返し機能	あり		
パソコンインタフェース	呼接続機能		ATコマンド	
	シリアルポート（RS-232C）	機械的条件	D-SUB 9ピンコネクタ	
		電気的条件	V-28	
		回路定義	V-24	
	通信速度（kbps）	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6) 同期 / 非同期PPP変換：64 128kbpsマルチリンクPPP：128 PIAFS：32, 64	()はV.110規格外 同期は同期PPP変換 128KはMPのみ	
	パソコン速度（kbps）	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6, 115.2, 230.4)	()はV.28規格外	
	USBポート	ポート数	1	
		通信速度（kbps）	非同期：1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (28.8, 38.4, 57.6) 同期 / 非同期PPP変換：64 128kbpsマルチリンクPPP：128 PIAFS：32, 64	()はV.110規格外 INSネット64のみ
		パソコン速度（kbps）	12Mbps	
	速度整合方式		ITV-TV.110方式	

項目		諸元	備考
アナログ装置 インタフェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック (RJ-11)	
	基本操作	ポート数： 2ポート 受信ダイヤル：PBのみ ブランチ接続：可 (*1) 供給電圧： 約4.8V (無付加時)	*1 ナンバー・ディスプレイ対応機器の ブランチ接続は不可 1つのポートに3台 まで接続可 (合計容量： 3μF以下/2k 以内)
無線端末イン タフェース	無線プロトコル	RCR STD-28 3版	
	登録可能子機数	最大6 (同時通話：最大2)	
	データ通信プロトコル	PIAFS (32kbps/64kbps)	
	圧縮機能	V.42bisデータ圧縮機能内蔵	PIAFS32K通信時のみ
停電モード	アルカリ乾電池	待ち受け時間：約4時間 通話： 約2時間	
	ニカド電池	待ち受け時間：約1時間 通話： 約30分 5日で満充電	
診断機能		自己診断試験	
ヒューマンインタフェース		バックライト液晶ディスプレイ 状態表示LED x4 でかけるボタン ファンクションボタン ディップスイッチ INS回線リバーススイッチ	
電源		AC100V ±10V、50/60Hz	
使用条件	温度	0 ~ 40	結露しないこと
	湿度	10 ~ 90%	
外形寸法 (W × D × H)		約136mm × 96mm × 176mm	突起部分を除く
質量		約0.6kg	
消費電力		約9.5W (最大)	

RS7仕様

項目		諸元	備考	
無線端末インタフェース	無線プロトコル	RCR STD-28 2版準拠		
	データ通信プロトコル	PIAFS (無線実効速度: 29.2kbps)		
	圧縮機能	V.42bisデータ圧縮機能内蔵		
パソコンインタフェース	呼接続機能		ATコマンド	
	シリアルポート (RS-232C)	機械的条件	D-SUB 9ピンコネクタ	
		電気的条件	V.28	
		回路定義	V.24	
	パソコン速度 (kbps)	非同期: 1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2 (8, 38.4, 57.6, 115.2)	()はV.28規格外	
	USBポート	ポート数	1	
		通信速度 (kbps)	非同期: 1.2, 2.4, 4.8, 9.6, 14.4, 19.2, (8, 38.4, 57.6, 115.2) 同期 / 非同期PPP変換: 64	()はV.28規格外
		パソコン速度 (kbps)	12Mbps	
速度整合方式		ITV-TV.110方式		
診断機能		自己診断試験		
電源		AC100V ±10V、50/60Hz		
使用条件	温度	0 ~ 40	結露しないこと	
	湿度	10 ~ 90%		
外形寸法 (W × D × H)		約130mm × 40mm × 105mm	突起部分を除く	
質量		約0.4kg		
消費電力		約4.0W (最大)		

親機ディップスイッチ

親機背面の電池ホルダーの中にディップスイッチがあり、「強制ダウンロードモード」を実行するときに変更します。強制ダウンロードモードは、『らくらくバージョンアップ』が正しく動作しないときに実行します。

ディップスイッチの位置は「1-3 . 各部の名前とはたらき」(P.42)を参照してください。

- 1 親機の電源スイッチを OFF にします。
- 2 背面の電池カバーを外して電池を取り出し、ディップスイッチの1～3をONにします。
- 3 電源スイッチを ON にします。
液晶ディスプレイに「ロータ`モード` A」と表示されます。
- 4 らくらくバージョンアップを実行します。
(電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-1 .Atermをバージョンアップする」)
- 5 バージョンアップが終了したら、ディップスイッチをもとにもどします。
- 6 電源スイッチをいったん OFF にしてから、再度 ON にします。

子機TESTスイッチ

子機背面のTESTスイッチを使って初期化や自己診断、強制ダウンロードモードを実行します。TESTスイッチは細長い棒などで押します。

TESTスイッチの位置は「1-3 . 各部の名前とはたらき」(P.45)を参照してください。

初期化

設定値を初期化し、工場出荷時の設定にもどします。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにします。
- ② TESTスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。
前面のPOWERランプが赤色に点灯します。
- ③ そのままTESTスイッチを5秒以上押し続けます。
設定が初期化され、POWERランプが緑色に点灯します。
- ④ TESTスイッチから手を離します。

自己診断

装置に異常がないか確認します。(「7-4 . 自己診断」P.306)

- ① 電源をONしておきます。
- ② TESTスイッチを1～2秒押します。
MSGランプが緑色に点灯します。
- ③ TESTスイッチから手を離します。
自己診断が開始されます。
自己診断が完了すると、通常の状態にもどります。

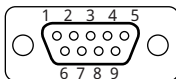
強制ダウンロードモード

『らくらくバージョンアップ』が正しく動作しないときに使用します。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて、電源をOFFにします。
- ② TESTスイッチを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。
POWERランプが赤色に点灯します。
- ③ すぐにTESTスイッチから手を離します。
POWERランプが赤色に点滅します。
- ④ らくらくバージョンアップを実行します。
(「電子マニュアル「データ通信ガイド」の「1-1 . Atermをバージョンアップする」)
- ⑤ 電源プラグをいったん抜いてから、再度差し込みます。

D-SUB9 ピンインタフェース

コネクタ形状
9ピンコネクタ（メス型）



パソコンインタフェースの信号線

ピン番号		信号方向		名称	機能
シェル	(FG)			保安用接地	装置のフレームアース
1	CD	パソコン	Aterm	キャリア検出	Atermがパソコンにデータ受信を要求していることを示す ON : パソコンにデータ受信を要求する OFF : パソコンにデータ受信を要求しない
2	RD	パソコン	Aterm	受信データ	Atermからパソコンへ送られるデータ
3	SD	パソコン	Aterm	送信データ	パソコンからAtermへ送られるデータ
4	ER	パソコン	Aterm	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示す ON : パソコンがデータ授受の準備ができていることを示す OFF : パソコンがデータ授受の準備ができていないことを示す
5	SG			信号用接地	相互接続回路に基準電位を与える
6	DR	パソコン	Aterm	データセットレディ	Atermが動作準備ができているかどうかを示す ON : パソコンとデータ授受をおこなう準備ができていることを示す OFF : パソコンとデータ授受をおこなう準備ができていないことを示す
7	RS	パソコン	Aterm	送信要求	データ送信許可を要求する ON : データ送信許可を要求する OFF : データ送信許可を要求しない
8	CS	パソコン	Aterm	送信可	データ送信可能かどうかを示す ON : データ送信可能 OFF : データ送信不可
9	CI	パソコン	Aterm	被呼表示	パソコンに着信していることを示す ON : 着信があることを示す OFF : 着信がないことを示す

8-4 Aterm WX70&RS7 コーポレーション製品仕様

付録

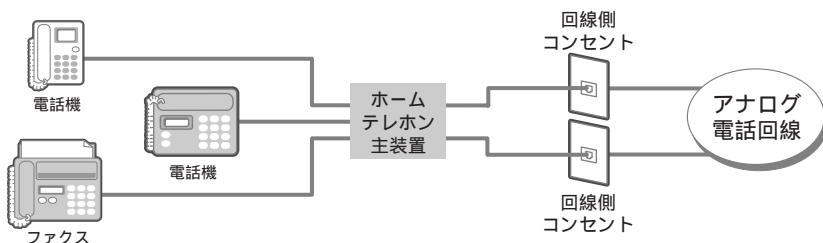
8-5 . ホームテレホン / ビジネスホンとの接続

ホームテレホンやビジネスホン（ボタン電話装置）を親機に接続することができます。

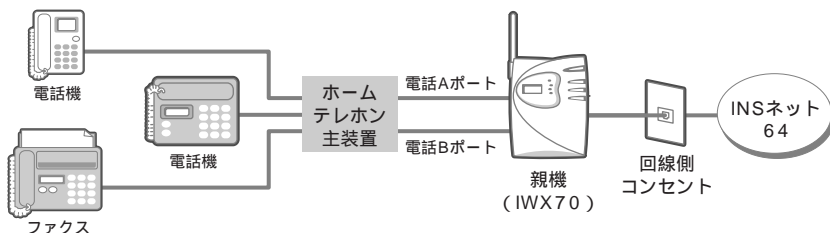
ホームテレホンの接続方法

INS ネット 64 の 1 回線分の契約で、アナログ電話回線 2 本分を収容することができます。

アナログ電話回線の場合



INS ネット 64 回線の場合



設定

- 1 使用していないアナログポートを「使用しない」に設定します。
- 2 優先着信するポートを指定します。
- 3 機器をダイヤルインで使用する場合は、「モデム・ダイヤルイン」または「アナログ・ダイヤルイン」を設定します。

ホームテレホンの内線を呼び分けることができます。

各設定は「5-2 . 親機の電話機能」(P.185、229、231)を参照してください。



優先着信ポートを指定しないと、1つの着信があったときにホームテレホン / ビジネスホンで 2 本分の着信ランプが点滅します。
停電モードのときは、電話 A ポートのみ動作します。ホームテレホンなどの主装置に停電対策がされている場合は、停電モードのときにホームテレホンを使うことができます。

8-6 . 別売オプション

親機と子機のオプションとして次の製品を別売しています。

AtermITX 用 Ni-Cd バッテリーパック (PC-IT/B02)
親機にセットする停電モード用充電式ニカド電池パックです。

S 点ユニット (PC-IT/U03)
ターミナルアダプタやISDN 通信機器を増設したり、DSU の切り離しをするときに使用します。

DSU 切り離しユニット (PC-IT/US1)
すでにDSU が設置されているときや、親機を他のターミナルアダプタなどと接続するときに、親機に内蔵のDSU を使わないようにします。(3mS バスケーブル付)
内蔵DSU を使うターミナルアダプタの増設はできません。

S バス延長ケーブル 10m (PC-IT/K11)
S バス延長ケーブル 25m (PC-IT/K12)
S 点ユニットにISDN 通信機器を接続するときに使用する延長ケーブルです。

落雷プロテクタ (PC-IT/SP01)
INS ネット 64 のモジュラジャックと親機の間接続し、落雷から親機を保護します。

USB ケーブル (PC-IT/K02)
USBポートに接続するためのケーブルです。ワイヤレスセットに同梱されているUSBケーブルは1本です。足りない場合は別売のケーブルをご用意ください。

8-7 . ターミナルアダプタの増設

親機側面のS点ユニットスロットに別売の「S点ユニット」(PC-IT/UO3)や「DSU切り離しユニット」(PC-IT/US1)を装着して、他のターミナルアダプタやISDN通信機器を接続したり、親機本体のDSUを切り離して他のDSUを使用することができます。

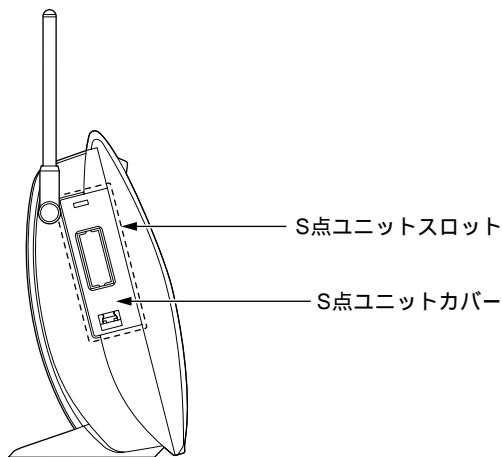
「S点ユニット」はDSUの切り離しとISDN通信機器の増設の両方ができます。DSUを切り離すだけの場合は「DSU切り離しユニット」のご使用をおすすめします。

ここではS点ユニットの取り付け方と使用方法について説明します。

S点ユニット、およびDSU切り離しユニットについての詳細は、それぞれに添付の取扱説明書を参照してください。

S点ユニットカバーの取り外し方

親機側面のS点ユニットカバーのツメを押し上げながらカバーを取り外します。



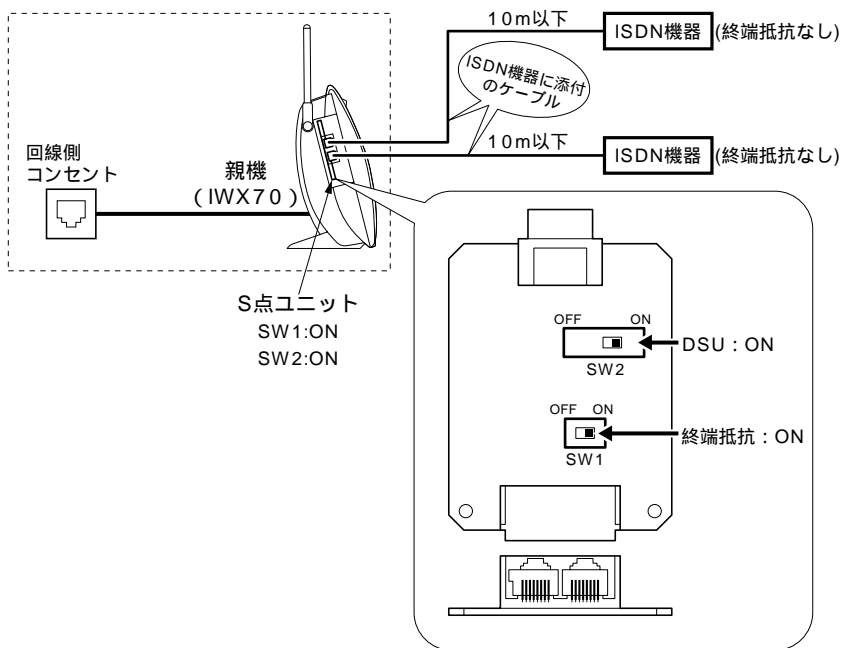
S点ユニットカバーを取り外したときは、スロット内部に異物を入れないようにしてください。

スロット内部のはんだ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

ISDN 通信機器を増設する場合

親機にS点ユニットを装着し、最大7台までのISDN通信機器を接続することができます。ISDN機器を1台または2台増設するときの手順は次のとおりです。

- 1 S点ユニットのスイッチのSW1（終端抵抗）SW2（DSU）の両方をON（工場出荷時の状態）にします。
- 2 S点ユニットカバーを取り外し、S点ユニットスロットにS点ユニットを装着します。

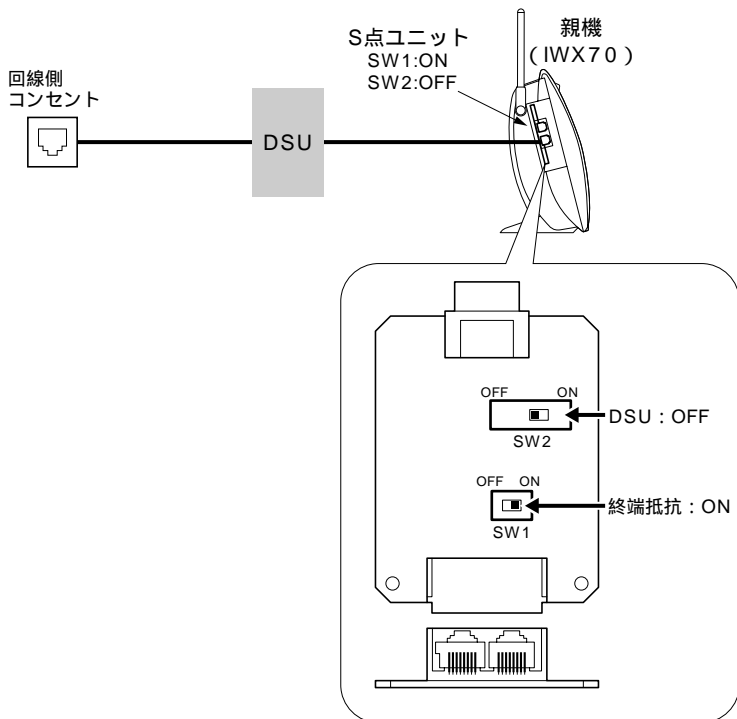


- 3 S点ユニットのモジュラージャックにISDN機器を接続します。

DSU を切り離す場合

INS ネット 64 回線と接続するには、1 回線あたり 1 台の DSU が必要です。親機は DSU を内蔵していますが、この DSU を無効にして他の DSU を使用することができます。

- 1 S 点ユニットのスイッチの SW1 (終端抵抗) を ON、SW2 (DSU) を OFF にします。
- 2 S 点ユニットカバーを取り外し、S 点ユニットスロットに S 点ユニットを装着します。



- 3 親機の INS 回線コネクタと DSU を、INS 回線ケーブルで接続します。




ISDN 通信機器を増設しないで DSU の切り離しだけおこなう場合は、「DSU 切り離しユニット」をご利用ください。

8-8 . お問い合わせ・アフターサービス


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意


掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。




ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

8-10. インターネットプロバイダ『BIGLOBE』のご紹介

『BIGLOBE』は NEC が運営するインターネットプロバイダです。

BIGLOBE ホームページ

BIGLOBEのホームページではニュース速報や占いなど、生活に役立つさまざまな情報を掲載しています。BIGLOBE会員でない方が利用できるサービスもたくさんありますので、ぜひアクセスしてください。

BIGLOBE ホームページアドレス

<http://www.biglobe.ne.jp/>



(BIGLOBE のアドレス、および画面は平成 12 年 9 月現在のものです)

BIGLOBE のサービス

BIGLOBEでは会員の様に、さまざまなサービスを提供しています。主なサービスをご紹介します。

全国に広がるアクセスポイント

ISDN専用アクセスポイントのほか、128kbps マルチリンク PPP 接続や PIAFS 接続にも対応しています。

電子メール

電子メールアドレスを持つことができます。1件あたり5MBまでで、最大999件のメールをサーバに保管できます。

ホームページ公開サービス

個人で作ったホームページをインターネットに公開します。ホームページの合計容量が5MBまでは無料で掲載できます。

Atermのメール機能

BIGLOBEとAtermを組み合わせると、Atermのメール機能「電子メール着信通知」と「遊遊メール」が利用できます。

「電子メール着信通知」はBIGLOBEのメールアドレスにメールが到着すると、メールが到着したことをAtermのMSGランプで知らせます。

「遊遊メール」はAtermが送信したUIIメールを電子メールとして送信したり、携帯情報端末やデジタル携帯電話、PHSなどのショートメッセージとして送信することができます。

BIGLOBEの加入とそれぞれのオプション契約、設定が必要です。

サポート

BIGLOBEカスタマーサポートでは、インターネットに関する操作方法や環境設定などのサポートを実施しています。

BIGLOBE インフォメーションデスク

ご注意

申し込み方法やサービスの詳細などは下記にお問い合わせください。

BIGLOBEのお問い合わせにつきましては、BIGLOBEのホームページをご覧ください。



「電子メール着信通知」など、Atermでさらにインターネットを便利に使いたい方や、プロバイダとの契約がお済みでない方は、この機会にBIGLOBEへのご入会をご検討ください。加入方法として『らくらくアシスタント』を使って、BIGLOBEにオンライン・サインアップで入会申し込みができます。ぜひご利用ください。

8-11. 用語解説

Aterm に関連する主な用語を説明します。

さらに詳しく用語を調べたいときは、添付CD-ROMに収録されている電子マニュアル「用語解説」を参照してください。

数字、A～Z

128kbps **マルチリンクPPP**
高速データ通信をするためのプロトコル。2つのBチャンネルを同時に使って通信速度を向上させる。

ACCM
Async Control Character Mapの略。非同期PPP通信で使用する制御キャラクタを2バイトのキャラクタに変換するかどうかを決める機能。

ATコマンド
米ヘイズ・コンピュータ・プロダクツ社によって開発されたモデムを制御するためのコマンド(命令)。このコマンドと互換性のあるモデムは、通信ソフトを備えたパソコンと接続することによって、パソコンから設定内容を制御することができる。

BOD
Bandwidth On Demandの略。通信データ量に合わせて、同時に利用するチャンネル数を自動的に切り替える機能。電話を利用するときにはデータ通信に利用するチャンネル数を減らして通信速度を落とす「リソースBOD」と、通信データ量が多いときは2つのBチャンネルを合わせて通信速度を上げる「スループットBOD」がある。

bps
Bit Per Secondの略。1秒間に送信できるビット数を表す通信速度の単位。

Bチャンネル
ISDN回線で音声やデジタル信号を送受信するためのチャンネル。INSネット64は1回線につき2本のBチャンネルが提供されている。

COM(コム)ポート
Communication portの略。RS-232Cとも呼ばれる。モデムなどを接続し、通信をおこなうためのシリアルインタフェース。

CS信号
Clear to Sendの略で、送信可能なRS-232Cの信号線のひとつ。CTSともいう。モデムがパソコンからのデータやコマンドを受け取れることを表す。

DNS
Domain Name Systemの略。IPアドレスを検索し、取得するためのシステム。

DR信号
Data set Readyの略。RS-232Cの信号線のひとつで、DSRともいう。モデムが通信している状態であることを表す。

DSU
Digital Service Unitの略。INSネット64の1回線につき、必ず1台設置する回線接続装置で、デジタル通信時の同期や速度変換を行う。ターミナルアダプタに内蔵している製品も多い。

Dチャンネル
ISDN回線でBチャンネルの制御やパケット通信に利用されているチャンネル。INSネット64では1回線につき1本のDチャンネルが提供されている。

ER信号
Equipment Readyの略で、データ端末レディともいう。RS-232Cの信号線のひとつで、パソコンがモデムに対し、通信している状態であることを知らせる。

G3ファクス
アナログ回線を使うファクスのこと。

HLC
High Layer Coordinationの略。「高位レイヤ整合性」ともいう。接続するパソコンやアナログ装置の種別をあらかじめコード設定して、一致する相手だけと通信をおこなう機能のこと。相手がINSネット64に加入している場合にだけ利用できる。

ID登録
無線機能を備えたワイヤレス子機(PHS電話機やリモートステーション、マルチモバイルカード)をワイヤレスシリーズ親機に増設登録すること。

INS
Information Network Systemの略。高度情報通信システムと呼ばれ、NTT東日本・NTT西日本が提供しているISDNサービスのこと。「INSネット64」と「INSネット1500」がある。

INSネット64
64Kビット/秒の同期転送が可能なBチャンネル2本とDチャンネル1本を束ねて利用する家庭向けのサービス。

INSネット1500
1.5Mビット/秒の回線を23本のBチャンネルに分割して通信することが可能な企業向けのサービス。

IPアドレス
インターネットに接続できるアドレスの総称。電子メールなどの受発信地を特定するためのインターネット上の番地。

ISDN

Integrated Services Digital Networkの略。統合サービスデジタル網。電話機やファクス、パソコンなどを統合的に扱うことができるデジタル通信サービスの国際標準規格。

LCR

Least Cost Routingの略。最低料金回線選択機能という意味。DDIや日本テレコムが電話機やファクスに搭載している機能。最近ではACR機能(Automatic Carrier Routing=自動電話会社選択機能)とも呼ばれている。

OCN

Open Computer Networkの略。NTT東日本・NTT西日本が提供するインターネット接続やLAN間接続などのコンピュータ通信に適したネットワーク。アナログ網やISDN、携帯電話、PHSを経由してインターネットに接続する「ダイヤルアップ接続型」と、専用のアクセスラインを用いて接続する「常時接続型」がある。

PHS

Personal Handyphone Systemの略。デジタル式のコードレス電話。1つの子機から複数の無線基地(親機)にアクセスできる。

PIAFS

PHS Internet Access Forum Standardの略。高品質のデータ通信方式の開発のために標準化された規格。

RAS

Remote Access Serviceの略。WindowsNTで使われているシステムサービスで、自宅や出張先などから会社のサーバにアクセスして、メールを読むことができる。

RS-232C

COMポート

SD 信号

送信データ。RS-232Cの信号線のひとつで、モデムがパソコンから受けるデータ通信。

RD 信号

受信データ。RS-232Cの信号線のひとつで、パソコンがモデムから受けるデータ通信。

S/T 点端子

DSU内蔵のターミナルアダプタに他のターミナルアダプタを接続するための端子。

TCP/IP

大学や研究機関などのネットワーク用に開発された通信プロトコル。TCPとIPの2つのプロトコルを組み合わせただけで、インターネット上の通信のベースになっている。

URL

Uniform Resource Locatorの略。インターネット上に置かれているホームページなどの位置を特定するための記述方法。一般的にホームページ(Web)アドレスと呼ばれているものは、その一例。

USB

Universal Serial Busの略。パソコン用のシリアルインタフェース。マウスやキーボード、モデム、ターミナルアダプタなどを接続できる。

UIUメール

インターネットプロバイダやパソコン通信サービスを経由せずに、Aterm間で直接メールの送受信をするメールサービスのこと。INSネット64の「ユーザ間情報通知サービス(UIU)」を利用する。

V.42bis データ圧縮

通信関係の規格を認定するITU(International Telecommunication Union=国際電気通信連合)に登録されている圧縮方法。

あ行

アクセスポイント

プロバイダまたはパソコン通信サービス業者に接続するための場所または電話番号。

アナログポート

アナログ式の電話機やファクスなどを接続するためのポート。

オンラインサインアップ

パソコンからモデムやターミナルアダプタなどを使い、電話回線を使ってプロバイダやパソコン通信サービス業者との契約を結ぶこと。

か行

疑似機能

INSネット64で提供されているサービスと同等の機能を、INSネット64の契約なしに利用できるAtermの機能。ただし、若干の利用制限がある。

キャッチホン・ディスプレイ

通話中に新たに着信した相手の電話番号を、受信者側の電話機に表示するサービス。NTT東日本・NTT西日本とのINSナンバー・ディスプレイの契約と、この機能に対応した電話機が必要。

グローバル着信

INSネット64で提供されている呼び出し方法のひとつ。着信番号を通知せずに、その回線に接続されたすべての機器を呼び出すことができる。

契約者回線番号

回線に与えられた電話番号のこと。1つの回線につき、1つの契約者回線番号が与えられる。一般の電話でいう「電話番号」にあたるもの。

さ行

サブアドレス

発信側と受信側の両者がINSネット64を利用しているときに使える機能。通常の電話番号にサブアドレスという番号を加えて電話をかけ、着信側で設定したサブアドレスと一致したときだけ着信させることができる。

三者通話

INSネット64で提供されているフレックスホンに含まれるサービスのひとつ。外線と通話中に第三者を呼び出し、三者間で通話ができる。三者が同時に通話する「ミキシングモード」と、二者で通話する「切替モード」の2つのモードがある。

識別着信

あらかじめ登録した電話番号からの着信だけを受け付ける機能。

識別リングング

特定の相手からの電話に対して電話機の呼出音を変える機能。

シリアルポート

COMポート

スタイルスコールバック

Atermを使ったクライアントとサーバのネットワークで、クライアント側から発信をおこなうと、自動的にサーバ側Atermがクライアント側にかかけ直す機能。

増設登録

ID登録

た行

ダイヤルアップルータ

INSネット64などの公衆回線でLAN間接続をおこなうためのルータ。ネットワークアドレスと一緒にプロバイダの電話番号を登録しておくことで、ブラウザを起動すると自動的に電話をかけ、プロバイダと接続する。

ダイヤルイン

INSネット64で提供されているサービス。契約者回線番号の他に、ダイヤルイン番号(追加番号)を取得できる。複数の機器に個別の電話番号を割り当てたいときに利用する。

着信転送

INSネット64で提供されているフレックスホンに含まれるサービスのひとつ。着信があったとき、その呼び出しに対応せずに、他の電話番号に転送することができる。

データポート

COMポート

デュアルリンクワイヤレス通信

NEC独自の通信方式。リモートステーションのデータポートに接続されたパソコンから、無線2チャンネルを使った最大64kbpsの高速データ通信が可能。親機と子機のデータポートとの間の内線データ通信およびプロトコル変換モード(非同期/同期PPP変換)によって、インターネットのアクセスポイントとも接続できる。

転送トーク

着信転送やINSボイスワープ利用時に、発信者に対して転送する旨をアナウンスすること。

同期

データ伝送において、送信側と受信側の間でタイミングを合わせること。

な行

ナンバー・ディスプレイ

発信者の電話番号(発信者番号通知)を受信者側の電話機に表示するサービス。受信者は通話前に発信者を知ることができる。NTT東日本・NTT西日本との契約が必要。

は行

ファームウェア

Atermに内蔵されているフラッシュメモリに書き込まれるソフトウェアのこと。Atermに新しいバージョンのファームウェアを書き込むと、新機能を使用できるようになる。

フッキング

受話器を置くところにあるフックスイッチを約1秒押すこと。通話相手の切り替えなどに使う。

ブランチ接続

電話機やファクスを分岐コネクタを使って、数珠つなぎにすること。ターミナルアダプタでは1つのアナログポートに3台(合計容量3μF以下/2kΩ以内)までブランチ接続ができる。

プリインストール

OS(オペレーティングシステム)やアプリケーションソフトが、パソコンのハードディスクにあらかじめ組み込んであること。

フレックスホン

INSネット64で提供される付加サービス。INSキャッチホン、通信中転送、三者通話、着信転送の4つの機能がある。

プロトコル

コンピュータでデータ通信をおこなうために必要な規約の総称。

プロトコル変換モード

PHS データ端末やリモートステーションからの PIAFS32K または PIAFS64K データを Aterm でいったん終端して、通信相手のモードに合わせて、非同期データまたは同期データに変換するモードのこと。通常のターミナルアダプタや PIAFS では対応していないアクセスポイントと通信できる。

プロバイダ

インターネットへの接続を代行する会社の総称。正式にはネットワーク・サービス・プロバイダ。ユーザはダイヤルアップまたは専用回線でプロバイダに接続し、インターネットを利用する。

や行

ユーザID

ユーザを識別するための文字や数字などを組み合わせたものの総称で、ネットワーク上の名前のようなもの。「アカウント」などとも呼ばれる。ユーザIDを他人に利用されないために、パスワードとあわせて利用される。

ら行

リバースパルス

先方が電話を切ったあとに聞こえるトーン信号を検知して、電話機に通話が終わったことを認識させるために送出する信号のこと。

リモートステーション

Aterm の子機として増設登録されるターミナルアダプタのこと。これを使えばターミナルアダプタどうしてワイヤレス通信が可能になるので、離れた場所の電話機やパソコンを無線で使うことができる。

わ行

ワークステーション

パソコンの上位に位置するコンピュータシステムで、多機能、統括性に優れている。ネットワーク機能も完備しており、ホストシステムとの通信やマルチウィンドウなどの機能を持ち、UNIX などの OS の下で情報処理をおこなう。

8-12 . Aterm 設定の控え

Aterm に設定した内容を記入の上、保管しておいてください。保守やお問い合わせの際の資料となります。

(* : 初期値)

AtermIWX70 (LOT No.)	
AtermRS7 (LOT No.)	

親機

i・ナンバー電話番号テーブル	
i・ナンバー	* i・ナンバーを使用しない i・ナンバーを使用する
	着信するポート 発信者番号通知の通知番号
電話番号	内線指定番号 アナログ データ 無線 アナログ データ 無線 AB シ U ー 音 ABCDEF AB シ U ABCDEF
i・ナンバー情報1	[] []
i・ナンバー情報2	[] []
i・ナンバー情報3	[] []
	(各ポート複数選択可) (各ポート択一)

ダイヤルイン電話番号テーブル	
アナログポート/データポートのグローバル着信 [05]	契約者回線番号でグローバル着信する
	着信するポート 発信者番号通知の通知番号
電話番号	アナログ データ 無線 アナログ データ 無線 AB シ U ABCDEF AB シ U ABCDEF
契約者回線番号	[]
ダイヤルイン1番	[]
ダイヤルイン2番	[]
ダイヤルイン3番	[]
ダイヤルイン4番	[]
ダイヤルイン5番	[]
ダイヤルイン6番	[]
ダイヤルイン7番	[]
	(各ポート複数選択可) (各ポート択一)
無線ポートのグローバル着信 [21]	音声通信のグローバル着信時の呼び出し
	* 全端末一斉 Aポート Bポート Cポート Dポート Eポート Fポート 呼び出さない
	データ通信のグローバル着信時の呼び出し
	Aポート Bポート Cポート Dポート Eポート Fポート * 呼び出さない

電話Aポート		[1]			
接続する機器	[01]	* 電話機	FAX / モデム	何も接続しない (使用しない)	
受話音量	[12]	小	* 中	大	
キャッチホン	[02]	* 使用しない	疑似キャッチホンを使用する		INSキャッチホンを使用する
停電時の動作	[22]	着信しない	着信し、ブザーを鳴らす		
発信者番号通知	[09]	* 着信し、リング (着信音) を鳴らす	番号通知を行わない 番号通知を行う *		
情報通知サービス	[10]	* 番号通知を行わない	INSネット64の申し込み通り		
サブアドレス	[93]	* 使用しない	ナンバー・ディスプレイを使用する		
		モデム・ダイヤルインを使用する	アナログ・ダイヤルインを使用する		
		ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する	キャッチホン・ディスプレイを使用する		
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* サブアドレスなし着信する	発・着サブアドレスを通知する		
フッキング検出タイマ	[08]	* 5秒	9秒	11秒	13秒
HLC (高位レイヤ整合性)	[04]	* 短くする	* 普通にする	長くする	
リバースパルス / CTI機能	[13]	* HLCを設定しない	HLCを設定し、着信判定する		
		HLCを設定するが着信判定しない			
識別着信	[03]	* リバースパルスを送出する	CTI機能を利用する		
識別リング		* 使用しない	INSなりわけ識別着信を使用する		
		疑似識別着信を使用する	通信中着信時のみ使用可能		
番号の送出方法		* 使用しない	INSなりわけを使用する		
		疑似なりわけを使用する			
契約者回線番号		電話番号をそのまま送出 *1	内線指定番号に変換して送出 *2	内線指定番号 (最大4桁)	
ダイヤルイン1番				[]
ダイヤルイン2番				[]
ダイヤルイン3番				[]
ダイヤルイン4番				[]
ダイヤルイン5番				[]
ダイヤルイン6番				[]
ダイヤルイン7番				[]
		*1 モデム・ダイヤルインで使用	*2 アナログ・ダイヤルインで使用		

電話Bポート [2]	
接続する機器 [01]	* 電話機 FAX / モデム 何も接続しない(使用しない)
受話音量 [12]	小 * 中 大
キャッチホン [02]	* 使用しない INSキャッチホンを使用する 疑似キャッチホンを使用する
発信者番号通知 [09]	番号通知を行わない 番号通知を行う * INSネット64の申し込み通り
情報通知サービス [10]	* 使用しない ナンバー・ディスプレイを使用する モデム・ダイヤルインを使用する アナログ・ダイヤルインを使用する ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する キャッチホン・ディスプレイを使用する
サブアドレス [93]	[] * サブアドレスなし着信する 発・着サブアドレスを通知する
ダイヤル桁間タイマ [07]	* 5秒 9秒 11秒 13秒
フッキング検出タイマ [08]	短くする * 普通にする 長くする
HLC (高位レイヤ整合性) [04]	* HLCを設定しない HLCを設定し、着信判定する HLCを設定するが着信判定しない
リバースパルス / CTF機能 [13]	リバースパルスを送出する CTF機能を利用する
識別着信 [03]	* 使用しない INSなりわけ識別着信を使用する 疑似識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
識別リングング	* 使用しない INSなりわけを使用する 疑似なりわけを使用する
番号の送出方法	電話番号をそのまま送出 *1 内線指定番号に変換して送出 *2 内線指定番号(最大4桁)
契約者回線番号	[]
ダイヤルイン1番	[]
ダイヤルイン2番	[]
ダイヤルイン3番	[]
ダイヤルイン4番	[]
ダイヤルイン5番	[]
ダイヤルイン6番	[]
ダイヤルイン7番	[]
	*1 モデム・ダイヤルインで使用 *2 アナログ・ダイヤルインで使用

アナログポートの共通設定 [4] [5]	
お出かけ設定 [73]	* おやすみモード 電話着信転送モード INSボイスワープ転送モード フラッシュモード
着信転送設定 [27]	NTT着信転送 * 疑似着信転送 電話番号着信通知
着信転送設定の転送条件	* 使用しない INSなりわけ時に転送する 疑似識別着信時に転送する
着信転送時のトーキサービス [27]	なし 転送トーキのみあり 転送元トーキのみあり * 両トーキともあり
INSボイスワープ設定転送開始モード [74]	* 無条件に転送 無応答時に転送 話中時に転送 無応答 / 話中時に転送 停止用電話番号 []
優先着信ポート [23]	* 指定しない 電話Aポート 電話Bポート

着信転送先	
着信転送元 (1)	の転送先 (1) [40] [30]
着信転送元 (2)	の転送先 (2) [41] [31]
着信転送元 (3)	の転送先 (3) [42] [32]

アナログポート・無線ポート共通設定 [4][0]			
#で発信	[75]	#で発信しない *	#で発信動作を行う #で発信動作を行う
通話中転送	[26]	* 使用しない	使用する
三者通話	[25]	* 使用しない	三者通話 疑似三者通話
アナログ/無線ポート間 内線通話	[24]	内線通話・転送を行わない	* 内線通話・転送を行う
LCDモード		常に消灯 常に点灯	* 自動 自動 + データ通信中は常に点灯
LCD表示	[71]	発信時にLCDに番号を表示しない	* 発信時にLCDに番号を表示する

無線Aポート [1]			
登録する機器	[01]	* リモートステーション(音声)、PHS(音声)で利用 リモートステーション(FAXやモデム)で利用 音声、FAX/モデム通信をしない(データ通信専用)	
キャッチホン	[02]	* 使用しない	INSキャッチホンを使用する 疑似キャッチホンを使用する
発信者番号通知	[09]	番号通知を行わない 番号通知を行う	* INSネット64の申し込み通り
データ発信モード		PIAFSスルーモード プロトコル変換モード(非同期14.4K) プロトコル変換モード(非同期28.8K) プロトコル変換モード(非同期57.6K)	プロトコル変換モード(非同期9.6K) プロトコル変換モード(非同期19.2K) プロトコル変換モード(非同期38.4K) プロトコル変換モード(同期64K) *
データ着信モード		* PIAFS32K デュアルリンクワイヤレスモード	PIAFS64K(PIAFS2.1) PIAFS64K(PIAFS2.0)
データ発信時のITMUX機能		* 利用しない 常時利用する(同期64K通信時)	利用する 常時利用する(同期128K通信時)
サブアドレス	[93]	[]
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* 5秒	9秒 11秒 13秒
識別着信	[03]	* 使用しない	INSなりわけ識別着信を使用する 疑似識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック		スタイルスコールバックを行う	
CTI機能		CTI機能を利用する	
UUI通知モード		UUI通知を行う	

無線Bポート		[2]	
登録する機器	[01]	* リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用 リモートステーション（FAXやモデム）で利用 音声、FAX / モデム通信をしない（データ通信専用）	
キャッチホン	[02]	* 使用しない 疑似キャッチホンを使用する	INSキャッチホンを使用する
発信者番号通知	[09]	番号通知を行わない 番号通知を行う *	INSネット64の申し込み通り
データ発信モード		PIAFSスルーモード プロトコル変換モード（非同期14.4K） プロトコル変換モード（非同期28.8K） プロトコル変換モード（非同期57.6K）	プロトコル変換モード（非同期9.6K） プロトコル変換モード（非同期19.2K） プロトコル変換モード（非同期38.4K） プロトコル変換モード（同期64K） *
データ着信モード		* PIAFS32K デュアルリンクワイヤレスモード	PIAFS64K（PIAFS2.1） PIAFS64K（PIAFS2.0）
データ発信時のITMUX機能		* 利用しない 常時利用する（同期64K通信時）	利用する 常時利用する（同期128K通信時）
サブアドレス	[93]	[]
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* 5秒 9秒	11秒 13秒
識別着信	[03]	* 使用しない 疑似識別着信を使用する	INSなりわけ識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック		ステイルスコールバックを行う	
CTI機能		CTI機能を利用する	
UII通知モード		UII通知を行う	

無線Cポート		[3]	
登録する機器	[01]	* リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用 リモートステーション（FAXやモデム）で利用 音声、FAX / モデム通信をしない（データ通信専用）	
キャッチホン	[02]	* 使用しない 疑似キャッチホンを使用する	INSキャッチホンを使用する
発信者番号通知	[09]	番号通知を行わない 番号通知を行う *	INSネット64の申し込み通り
データ発信モード		PIAFSスルーモード プロトコル変換モード（非同期14.4K） プロトコル変換モード（非同期28.8K） プロトコル変換モード（非同期57.6K）	プロトコル変換モード（非同期9.6K） プロトコル変換モード（非同期19.2K） プロトコル変換モード（非同期38.4K） プロトコル変換モード（同期64K） *
データ着信モード		* PIAFS32K デュアルリンクワイヤレスモード	PIAFS64K（PIAFS2.1） PIAFS64K（PIAFS2.0）
データ発信時のITMUX機能		* 利用しない 常時利用する（同期64K通信時）	利用する 常時利用する（同期128K通信時）
サブアドレス	[93]	[]
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* 5秒 9秒	11秒 13秒
識別着信	[03]	* 使用しない 疑似識別着信を使用する	INSなりわけ識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック		ステイルスコールバックを行う	
CTI機能		CTI機能を利用する	
UII通知モード		UII通知を行う	

無線Dポート		[4]
登録する機器	[01]	* リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用 リモートステーション（FAXやモデム）で利用 音声、FAX / モデム通信をしない（データ通信専用）
キャッチホン	[02]	* 使用しない INSキャッチホンを使用する 疑似キャッチホンを使用する
発信者番号通知	[09]	番号通知を行わない 番号通知を行う * INSネット64の申し込み通り
データ発信モード		PIAFSスルーモード プロトコル変換モード（非同期14.4K） プロトコル変換モード（非同期28.8K） プロトコル変換モード（非同期57.6K） * プロトコル変換モード（非同期9.6K） プロトコル変換モード（非同期19.2K） プロトコル変換モード（非同期38.4K） プロトコル変換モード（同期64K）
データ着信モード		* PIAFS32K デュアルリンクワイヤレスモード PIAFS64K（PIAFS2.1） PIAFS64K（PIAFS2.0）
データ発信時のITMUX機能		* 利用しない 常時利用する（同期64K通信時） 利用する 常時利用する（同期128K通信時）
サブアドレス	[93]	[]
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* 5秒 9秒 11秒 13秒
識別着信	[03]	* 使用しない 疑似識別着信を使用する INSなりわけ識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック		ステイルスコールバックを行う
CTI機能		CTI機能を利用する
UUI通知モード		UUI通知を行う

無線Eポート		[5]
登録する機器	[01]	* リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用 リモートステーション（FAXやモデム）で利用 音声、FAX / モデム通信をしない（データ通信専用）
キャッチホン	[02]	* 使用しない INSキャッチホンを使用する 疑似キャッチホンを使用する
発信者番号通知	[09]	番号通知を行わない 番号通知を行う * INSネット64の申し込み通り
データ発信モード		PIAFSスルーモード プロトコル変換モード（非同期14.4K） プロトコル変換モード（非同期28.8K） プロトコル変換モード（非同期57.6K） * プロトコル変換モード（非同期9.6K） プロトコル変換モード（非同期19.2K） プロトコル変換モード（非同期38.4K） プロトコル変換モード（同期64K）
データ着信モード		* PIAFS32K デュアルリンクワイヤレスモード PIAFS64K（PIAFS2.1） PIAFS64K（PIAFS2.0）
データ発信時のITMUX機能		* 利用しない 常時利用する（同期64K通信時） 利用する 常時利用する（同期128K通信時）
サブアドレス	[93]	[]
ダイヤル桁間タイマ	[07]	* 5秒 9秒 11秒 13秒
識別着信	[03]	* 使用しない 疑似識別着信を使用する INSなりわけ識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック		ステイルスコールバックを行う
CTI機能		CTI機能を利用する
UUI通知モード		UUI通知を行う

無線Fポート [6]	
登録する機器 [01]	* リモートステーション（音声）、PHS（音声）で利用 リモートステーション（FAXやモデム）で利用 音声、FAX / モデム通信をしない（データ通信専用）
キャッチホン [02]	* 使用しない INSキャッチホンを使用する 疑似キャッチホンを使用する
発信者番号通知 [09]	番号通知を行わない 番号通知を行う * INSネット64の申し込み通り
データ発信モード	PIAFSスルーモード プロトコル変換モード（非同期9.6K） プロトコル変換モード（非同期14.4K） プロトコル変換モード（非同期19.2K） プロトコル変換モード（非同期28.8K） プロトコル変換モード（非同期38.4K） プロトコル変換モード（非同期57.6K） * プロトコル変換モード（同期64K）
データ着信モード	* PIAFS32K PIAFS64K（PIAFS2.1） デュアルリンクワイヤレスモード PIAFS64K（PIAFS2.0）
データ発信時のITMUX機能	* 利用しない 利用する 常時利用する（同期64K通信時） 常時利用する（同期128K通信時）
サブアドレス [93]	[]
ダイヤル桁間タイマ [07]	* 5秒 9秒 11秒 13秒
識別着信 [03]	* 使用しない INSなりわけ識別着信を使用する 疑似識別着信を使用する 通信中着信時のみ使用可能
コールバック	ステイルスコールバックを行う
CTI機能	CTI機能を利用する
UII通知モード	UII通知を行う

無線ポートの共通設定	
外線データ通信の優先着信ポート *	データポート 無線ポート
通話中転送 [26]	* 使用しない 使用する
三者通話 [25]	* 使用しない 三者通話 疑似三者通話
アナログ / 無線ポート間 内線通話 [24]	内線通話・転送を行わない * 内線通話・転送を行う
LCDモード	常に消灯 常に点灯 * 自動 自動 + データ通信中は常に点灯 自動 + Bチャネル使用中は常に点灯
LCD表示 [71]	発信時にLCDに番号を表示しない * 発信時にLCDに番号を表示する

ITMUX設定	
MPの2本目接続時の認証	認証する
64kPPP・MP時のACCMの 付加	ACCMを付加する
リソースBOD	リソースBODを行う
スルーブットBOD	* 使用しない 使用する リンク追加算出時間 [] 秒 リンク削除算出時間 [] 秒 リンク追加しきい値 [] % リンク削除しきい値 [] %
無通信監視タイマ	監視時間 [] 分
強制切断タイマ	監視時間 [] 時間
ITMUX接続時の認証	認証する

データポート		
発信者番号通知	番号通知を行わない	番号通知を行う * INSネット64の申し込み通り
サブアドレス	[] サブアドレスなし着信する
サブアドレス・セパレータ	* /	# *
識別着信	識別着信を行う	
HLC (高位レイヤ整合性)	HLCを設定する	コード []
MPの2本目接続時の認証	認証する	
64kPPP・MP時のACCMの付加	ACCMを付加する	
リソースBOD	リソースBODを行う	
スループットBOD	* 使用しない	使用する リンク追加算出時間 [] 秒 リンク削除算出時間 [] 秒 リンク追加しきい値 [] % リンク削除しきい値 [] %
無通信監視タイマ	監視時間 [] 分 (初期値10分)	
強制切断タイマ	監視時間 [] 時間 (初期値10時間)	
ER信号	* 常にパソコンのERを見る	通信中のみパソコンのERを見る 常時ONにする
CD信号	ER信号がONなら常にCD信号もON	* 通信中は常にCD信号をON
DR信号	* ER信号がONなら常にDR信号もON	通信中は常にDR信号をON
スティルスコールバック	スティルスコールバックを使用する	
UIメール着信時のランプの点滅	UIメール着信時にランプを点滅させる	
電子メール着信通知時のランプの点滅	電子メール着信通知時にランプを点滅させる	
データポートへのUI通知モード	無線ポートへのUI通知をデータポートにも通知する	
応答平均化	* 平均化しない	平均化する 接続台数 []
優先着信ポート	着信しない *	シリアルポート USBポート
PIAFS通信時のV.42bisデータ圧縮	V.42bisデータ圧縮を行う	

電話帳 (識別・短縮番号) 登録 [50~59]		
相手の名前	アドレス	サブアドレス
0		
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

子機

データポート			
デュアルリンク発信	使用しない		* 使用する
V.42bisデータ圧縮	* 行う		
フロー制御	なし	CSフロー	* RS-CSフロー
無通信監視タイマ	監視しない	[]分で切断	(初期値10分)
強制切断タイマ	切断しない	[]時間で切断	(初期値10時間)
UIメール着信時	ランプを点滅させる		
サブアドレス・セパレータ	* /	#	*
ER信号	* 常時パソコンのERを見る		常時ONを見なす
CD信号	ER信号がONなら常にCD信号もON	* 通信中は常にCD信号をON	
DR信号	* ER信号がONなら常にDR信号もON		通信中は常にDR信号をON

索引

ページ番号が「PDF」となっている語句については、PDFファイルの電子マニュアル「データ通信ガイド」を参照してください。

記号・数字

#の使い方	144
#発信	64, 268
128kbps マルチリンク PPP 通信	92, 246, 274, PDF
184 / 186 の付加	164
25 ピン変換コネクタ	70, 76
2 台のパソコンから同じプロバイダに 同時に接続する	PDF
2 台のパソコンから別々のプロバイダに 同時に接続する	PDF
2 つまたは 3 つの電話番号を使い分ける	177
3 人で同時に話す	159

A

A/ROSE	285
ACCM	PDF
Acrobat Reader	12
Administrator の権限	79, 281
ADPCM	305
AtermIWX70&RS7 ユーティリティ集	12, 39, 80, 100, 108, 237, PDF
AtermStation	53, 102, 122, 145, 340, PDF
Aterm のメール機能	233, PDF
AT コマンド	131, 283, PDF
AT コマンドの構成	PDF

B

B1、B2	24, 41, 287
BBLSI	305
BIGLOBE	91, 114, 233, 236, 272, 341, PDF
BIGLOBE インフォメーションデスク	342
BIGLOBE の ID 番号登録	PDF
BIGLOBE へのサインアップ	102
B チャネル	41, PDF

C

CCL ファイル	118, 276, 286
CCL ファイルのインストール	PDF
CD-ROM	39
CD-ROM メニュー画面が表示 されないとき	81
COM ポート	69, 70, 75, 76, 280
CTI 機能	PDF

D

D-SUB9 ピンインタフェース	320, 325
DATA ランプ	41, 44, 46, 47
DATA ランプが点滅する	272
DNS	93, 117, 283
DSU	24, 328
DSU 切り離しユニット	327
DSU を切り離す	330
D チャネル	24

E

ENTER ボタン	41, 242
ER 信号	41

F

FLASH	305
-------	-----

G

G3 ファクス	57
---------	----

H

HDLC	305
HLC	133, 226, 265, PDF
HLC コード	227, PDF

I

i・ナンバー	88, 113, 132, 167, 177, 206, 225, 229, 231, 253, 266, 268
--------	---

i・ナンバー情報 177, 253
 ID登録 31, 53, 73
 INS回線ケーブル 39, 59, 273
 INS回線コネクタ 43, 59
 INS回線の電話番号の設定 122, 138
 INS回線リバーススイッチ 43, 63
 INSキャッチホン 132, 156, 171
 INSなりわけサービス 210, 213, 216, 222
 INSなりわけ選択キャッチホン 133, 216
 INSナンバー・ディスプレイ 87, 112, 132, 168, 171, 175, 210, 213, 216, 220, 222, 259
 INSナンバー・リクエスト 132, 168, 259
 INSナンバーディスプレイ表示 313
 INSネット64 24, 50, 59, 127, 164, 168, 171, 180, 236, 273
 INSネット64のお申し込み 51
 INSネット64付加サービス 27, 52, 132
 INSボイスワープ 133, 196, 260
 INSボイスワープ・セレクト 133, 196, 260
 INT 305
 Internet Explorer 54, 99, 120
 ISDN 24
 ISDN通信機器 328
 ISDN通信機器を増設する 329
 ITMUX 28, 93, PDF
 ITMUXを設定する PDF
 IWX70&RS7らくらくアシスタント 32, 79, 82, 134
 IWX70・RS7を組み込む PDF
 IWX70で発信する PDF
 IWX70らくらくアシスタント 107, 111, 134, 138
 IWX70らくらくバージョンアップ 32

L

LCR 274
 LINE 305

M

Mac OS 114
 Macintosh 69, 75, 106, 138, 281, 292, 293, 296, 301, PDF
 MacintoshでUIメールEXを使う PDF
 Macintoshで記録する PDF
 Macintoshのバージョンを確認する PDF
 Mac変換ケーブル 69, 75
 MENUボタン 41, 242
 MSGランプ 41, 44, 46, 47, 233, 272, 304, 306

N

NECパーソナルコミュニケーション
 インフォメーションセンター 331
 NECフィールドینگ株式会社 336
 NEC保守サービス受付拠点 337
 Netscape Navigator 54, 99, 120
 NTT東日本・NTT西日本 27, 50, 63, 336

O

OPTION 305
 Outlook Express 54, 93

P

PB 57, 64, 274
 PCクリーンスポット 332
 PDFファイル 13
 PHS 126, 147, 276
 PHSから着信する PDF
 PHS対応機種 53, 145
 PHSでインターネットに接続 286
 PHSで電話を受ける 146
 PHSで電話をかける 146
 PHSの増設登録 31, 145
 PHSの使い方 145
 PHSランプ... 41, 44, 46, 47, 73, 277
 PHSをご使用前に 145
 PIAFS32K通信 128
 PIAFS32K / PIAFS64K 126, 145
 PIAFS64K通信 128
 PIAFSスルーモード 127, PDF
 PIAFS通信 PDF
 PIAFSデータ 127

PIAS ネット	278, 286
PIAFS を設定する	PDF
POP アカウント	117
POWER ランプ	41, 44, 46, 47, 272, 281, 288
PTE アクセスポイント	286

R

RAM	305
RDY	41, 287
READY ランプ	44, 47
RS-232C ケーブル	39, 68, 69
RS7 センター	32, 100
RS7 で発信する	PDF
RS7 らくらくバージョンアップ	32, 281
RS7 らくらくユーティリティ ...	32, 107, 134, 140, PDF

S

S/T 点	308
SELECT ボタン	41, 242
SMTP	117
S 点ユニット	327, 328
S 点ユニットカバー	43, 328
S 点ユニットスロット	43, 328
S パス延長ケーブル	327
S レジスタ	PDF

T

TCP/IP の設定	PDF
TEST スイッチ	45, 272, 306, 324
TEST スイッチで初期化する	301

U

USB	305
USB ケーブル	39, 83, 327
USB 接続ができる OS	290
USB 接続を認識しない	293
USB ソフトウェアの確認	PDF
USB ドライバ	PDF
USB ドライバのアンインストール	PDF
USB ドライバのインストール ...	83, 102 PDF
USB ドライバの手動インストール	PDF
USB ドライバをインストールしたとき	294, 296

USB ネットワーク	129, PDF
USB ネットワーククライアントの設定	PDF
USB ネットワークサーバの設定	PDF
USB ネットワークを使用するとき	297
USB ネットワークを利用するための準備	PDF
USB ポート	28, 43, 45, 67, 74, 85, 109, 290
USB ポートを使用するときの注意	PDF
UII メール	235, 272, PDF
UII メール EX	32, 233, 237, 272, 287, PDF
UII メール EX のインストール	PDF
UII メール EX の環境設定	PDF
UII メール変換サービス	234, PDF

W

Windows	78, 136, 293, 300, PDF
Windows2000	97, 281, 294, PDF
Windows95	95, 290, 294, PDF
Windows98	95, 100, 294, PDF
WindowsMe	95, 294
WindowsNT4.0	78, 95, PDF
Windows で UII メール EX を使う ...	PDF
Windows で記録する	PDF

ア

アース線	60, 71
アース線接続端子	43, 45, 60, 71
相手に知らせる電話番号を指定する ...	166
相手に通知する番号の設定	254, 257
相手の声の音量を調節する	152
アカウント名	92
アクセスポイント	PDF
圧縮ファイル	281
アドレス帳に登録する	PDF
アナログ・ダイヤルイン	133, 231
アナログポート	43, 265, 311
アナログポート/無線ポート個別設定	265
アナログポートに接続する機器の設定	251
アナログポートのグローバル着信の設定	258
アナログポートの設定	87, 102, 112, 122, 136, 138, 254
アフターサービス	331

アンインストール	81
安全に正しくお使いいただくために	14
アンテナ	41, 44, 56, 71
アンテナホルダー	45
アンテナマーク	146

イ

家の中で話す	147
異常があるとき	305, 306
インストール	80, 108
インストールサービス	333
インストールの確認	PDF
インターネットあしんバック	333
インターネットがうまくいかない	283
インターネット接続の手動設定	PDF
インターネット接続の設定	91, 102, 114, 122
インターネットに接続	95, 119
インフォメーションサービス	331

ウ

ウイルスチェックサービス	333
受けたくない電話の着信を拒否する	217

エ

液晶ディスプレイ	41, 63, 261, 273, 287, 310
絵文字	41, 310

オ

応答平均化	PDF
お出かけ設定	46, 190, 260
お出かけ設定ができない	278
お出かけ設定表示	313
お出かけモード	268
お問い合わせ先	331
オフィスモード	145, 276
オプション	327
親・子機間通信	128
親機の初期化	298
親機本体	38, 40
おやすみモード	190, 133
オンラインサインアップ	91, 114, 122
オンラインバージョンアップ	103, PDF
オンラインユーザ登録	103, 123, 282

カ

海外での使用	289
回線側コンセント	50, 55, 59
カイセンショウガイ	63, 273
回線の極性	273
回線を切断した場所の表示	317
外部から着信可能なダイヤルアップサーバ	PDF
各部の名前とはたらき	40
かけてきた相手の電話番号を見る	175
ガスの自動検針器	63, 273
カレンダー	65

キ

疑似機能	132
疑似キャッチホン	132, 156, 171
疑似三者通話	132, 159
疑似識別着信	133, 210
疑似識別着信転送	133, 222
疑似選択キャッチホン	133, 216
疑似着信転送	133, 193, 204
疑似なりわけ	133, 213
機種名表示	66, 314
機能一覧	34
キャッチホン	156, 259, 265
キャッチホン・ディスプレイ	132, 171, 266
強制切断タイマ	140, PDF
強制ダウンロードモード	323, 324
共有フォルダ/プリンタを使う	PDF
切替モード	159

ク

クライアント側の設定	PDF
クライアントの設定	PDF
グローバル着信	180, 265

ケ

携帯情報端末 / PHS / 携帯電話の ドメインネームの登録	PDF
契約者回線番号	89, 113, 180, 255, 299
現地調整	335

コ

コードの詳細	PDF
高位レイヤ整合性を設定する	226, PDF
工場出荷状態	248, 289, 298
高度な設定	189, 223
構内モード	145
購入したときの状態にもどす	298
子機が使えないとき	276
子機間通信	128
子機でインターネットに接続する	286
子機の初期化	300
子機本体	38, 44
子機を追加する	30, 53
異なる着信音	213
コネクタ	85, 308, 325
コマンド	PDF
コマンドの詳細	PDF
コンセント	61

サ

サーバ側の設定	PDF
サーバの設定	PDF
サーバへの接続	PDF
サービスコンセント	61, 72, 272
再発信	96, 120
サブアドレス	132, 175, 187, 224, 266, PDF
サブアドレスセパレータ	175, PDF
サブアドレスなし着信	265
サポートご利用料金	333
三者通話	132, 159, 267

シ

識別着信	133, 210, 265
識別着信転送	133, 222
識別リングング	133, 213, 266, 269
時刻表示	66, 314
自己診断	304, 324
自作メッセージの登録	PDF
自動着信することがある	279
自分の電話番号を相手に知らせる	164
修理	335
修理費用	335
受信した UI メールを見る	PDF
手動インストーラ	PDF
受話音量	266
受話音量調節	132, 152
状態表示ランプの意味	46

情報通知サービス	169, 266
情報の表示	310
初期化	272, 289, 292, 298, 324
シリアルコネクタ	69, 75
シリアルポート	28, 43, 45, 67, 74, 280
シリアルポートドライバ	284
診断情報	318

ス

スイッチ	45
スティルスコールバック	PDF
スリープから復帰できない	293
スループット BOD	PDF

セ

生成源	317
製造番号	43, 340
製品仕様	320
セカンダリ DNS	93, 116
セキュリティ	269
設置場所	55
設定値の初期化	123
設定内容の印刷	PDF
設定内容の記録	PDF
設定の確認	123
設定の復元	123, PDF
設定の保存	123, PDF
設定控え	347
設定ポートの選択	264
設定を依頼する	332
設定を初期化する	248, 261
セットアップサービス	333
接続するが通信がおかしい	287
接続する機器の種類	87, 112, 265
接続を確認する	PDF
接続を切断する	99
切断理由	64, 315
選択キャッチホン	216, 269
選択着信転送	267
前面	40, 44

ソ

増設登録	53, 73, 145
増設登録料	334
側面	42

タ

ターミナルアダプタ	24
ターミナルアダプタの詳細設定	102, 137
ターミナルアダプタの増設	328
ダイヤルアウト	285
ダイヤルアップサーバの設定	PDF
ダイヤルアップサーバプログラムのインストール	PDF
ダイヤルアップ接続の設定	PDF
ダイヤルアップでの発信	130
ダイヤルアップネットワークの組み込み	PDF
ダイヤルアップネットワークの接続先の設定	PDF
ダイヤルアップの設定	PDF
ダイヤルインサービス	89, 113, 132, 180, 229, 231, 255, 266
ダイヤルイン番号	89, 180, 255
ダイヤル桁間タイマ	64, 143, 163, 265, 274
単3 アルカリ乾電池	308, 309
短縮・識別番号	267
短縮ダイヤル	132, 145, 154
短縮番号で電話をかける	154
端末審査協会	57

チ

着信音が鳴らない	275
着信音を鳴らさずに着信を知らせる	201
着信拒否理由の表示	318
着信した電子メールを見る	PDF
着信した電話番号を表示する	168
着信した電話番号をプッシュ信号で送出する	231
着信した電話番号をモデム信号で送出する	229
着信する電話機の優先順位をつける	185
着信転送	41, 133, 193, 204, 268
着信転送先アドレス	267
着信転送元アドレス	267
着信番号	268
着信番号選択	266
着信ポート	266
着信モードの指定	250
着信履歴先発信	132, 175, 243
着信履歴表示	132, 175, 242
着信履歴を消去	176

ツ

追加番号	89
通信	126
通信情報と通信料金の確認	123
通信速度を切り替える	246
通信中転送	133, 207, 267
通信中転送機能	159
通信モード指定発信	PDF
通信モードを指定する	249
通話中受話音量変更	266
通信中着信通知	236
通話・通信を終了したとき	287
通話料金	64

テ

データセツダン表示	286
データ通信ができない	282
データ通信の機能	PDF
データポート	43, 45, 67, 74, 126, 278
データポートの設定	103, 122, 136, 137, 138
定型文コード	PDF
停電時の着信	267
停電時の動作	136, 138, 288
停電対策	308
底面	43, 63
ディスプレイ表示	310
ディスプレイ表示の切り替え	314
ディップスイッチ	43, 323
でかけるボタン	41, 190, 194, 197, 202, 278
でかけるボタンロック	191, 194, 197, 201, 312
でかけるボタンロック解除	191, 194, 197, 201, 278
適合マーク	57
デュアルリンクワイヤレス通信	116, 126, 140, PDF
テレホン UUI メール	237
テレホン UUIメールの送信	PDF
テレホン UUIメールを使う	PDF
テレホン遊遊メール	237
テレホン遊遊メールの送信	PDF
テレホン遊遊メールを使う	PDF
電源	16, 61, 72, 272
電源コード	43, 45
電源スイッチ	43, 62, 272

電源プラグ	45, 272
電源を入れる	62
電源を切ったとき	287
電子マニュアルの見方	12
電子メール	54, 93
電子メールソフト	54
電子メール着信通知	51, 233, PDF
転送トーク	268
転送モードの選択	260
電池	288, 308, 309
電池カバー	43, 308
電池ホルダー	43, 308
電波	31
電波状況の確認	100
添付 CD-ROM	12, 80, 108, 237, 288, 343
添付ユーティリティのご紹介	32
電話 A ポート	41, 43, 57
電話 B ポート	41, 43, 57
電話が使えないとき	273
電話機接続コード	57, 58
電話機で初期化する	299
電話機で設定する	140, 251
電話機でダイヤルインを使う	229
電話機能一覧	132
電話機の着信音を鳴らさない	190
電話機の使い方	143
電話機を接続する	57
電話着信転送モード	193, 205
電話帳	155, 219
電話帳機能の設定	123, 138
電話番号テーブル	178, 183
電話番号転送先メールアドレス	267
電話番号の設定	88
電話番号の通知 / 非通知	164
電話番号の登録	255
電話番号の割り当て	254, 256
電話を受ける	65
電話をかける	64
電話を転送する	204

ト

トーン	57, 64, 116, 145, 274
同期	92, 127
同期 64K 通信	287, PDF
登録機器	265
特定の電話機だけに着信させる	220
特定の電話機に着信させる	187
特定の電話だけ着信する	210

特定の電話の着信音を変える	213
特定の電話を別の電話番号に転送する	222
取扱説明書	39

ナ

内線通話	132, 147, 267
内線データ通信をする	128
内線転送	132, 149, 267
内線電話に転送する	149
内線番号	130
なりわけ選択キャッチホン	216

ニ

ニカド電池パック	308, 309
ニカド電池パック接続用コネクタ	43
ニュースアカウント	94
ニュースサーバー	117
認証番号	43

ネ

ネットワークとダイヤルアップ接続の設定	PDF
ネットワークの設定	PDF
ネットワークの使い方	PDF
ネットワークプロトコルの設定	PDF

ノ

ノイズ	22, 59, 64
-----	------------

ハ

バージョンアップとは	PDF
バージョンアップを実行する	PDF
ハイパーターミナルで接続を確認する	302
ハイパーターミナルのインストール	289
背面	42, 45
箱の中身	38
パスワード	286
パソコンインタフェースの信号線	325
パソコンで初期化する	298, 300
パソコンを接続する	67, 74
バックライトを設定する	261
発信時アドレス表示	268
発信者番号指定	132, 166, 254, 257
発信者番号通知	132, 164, 265, 313

発信者通知番号と着信番号の設定	238
発信モードの指定	249
話中にかかってきた電話番号を表示する	171
話中にかかってきた特定の電話だけを 受ける	216
話中に別の電話番号に転送する	207
話中に別の電話を受ける	156

ヒ

ピクトグラム	41, 310
日ごろのお手入れ	22
ビジネスホン	326
日付・時刻の設定	65
日付表示	66, 314
必要な付加サービスの契約	132
非同期	92, 127, 287
非同期 / 同期 PPP 変換	PDF
秘話回路	275
品名ラベル	43

フ

ファームウェア	247, PDF
ファームウェアのバージョン表示	247
ファームウェアをダウンロードする ...	PDF
ファイルの共有設定	PDF
ファイルやプリンタの共有	129
ファクス通信ができない	279
ファクスを接続する	57
ファンクションボタン	40, 176, 242, 272
ファンクションボタンで初期化する ...	299
不揮発性メモリ	247, 298, PDF
複数の電話番号を使い分ける	180
フッキング	141, 148, 156, 159, 172, 207
フッキング検出タイマ	141, 265
ブラウザソフト	54, 120
ブラウザソフトのアイコンがないとき	100
フラッシュメモリ	247, 298, PDF
フラッシュモード	133, 201
ブランチ接続	57
プリンタの共有設定	PDF
プリンタポート	69, 75
フレックスホン ...	156, 159, 171, 193, 204, 207
プロトコル変換モード	127, 286, PDF

プロトコルを PPP に設定する	118
プロバイダ	54, 91, 114, 341
プロバイダの設定	PDF

へ

別売オプション	327
別の電話番号に転送する	193

ホ

ホームテレホン	326
ホームページ	54, 120, 340, 341
ホームページを見る	99
ボイスワープで転送する	196
ボイスワープ転送モード	198, 268
ボイスワープ番号設定	269
訪問サポート	332
保護シート	41
保守区分	336
保守形態とサービス内容	336
保守契約	335
保守サービス受付拠点一覧	337
保守サービス時間帯	335
保証書	39, 335
本書で使用しているマーク	4
本書の読み方	2
本体を接続する	56, 71

マ

マイプライベート着信 ...	133, 220, 268
待ち受けモードの設定	145
マニュアル BOD	246
マルチアクセス	28, 274, PDF

ミ

ミキシングモード	161
----------------	-----

ム

無線区間	93, 116
無線端末識別用 ID 番号	43
無線通信	126
無線電波の状態	55, 73
無線ポートに接続する機器の設定	252
無線ポートのグローバル着信の設定 ...	258
無線ポートの設定	87, 103, 123, 136, 138, 254, 256

無線ポートのデータ発信モードを設定する PDF	
無線ポート呼出	267
無通信監視タイマ	PDF
無鳴動着信	279

メ

メールオプション	233, 236
メールが着信しない	287
メール機能	233, PDF
メール機能を利用する Aterm の設定	239
メール機能を利用するには	236, PDF
メールサービス	233
メール着信通知	PDF
メール着信通知サービス	272
メールを送信する	PDF
迷惑電話おことわりサービス ...	133, 217
迷惑電話の登録	262
迷惑電話防止	133, 217
メッセージの作成の仕方	PDF

モ

文字コード	PDF
モジュラコンセント	50, 55
持ち込み修理先一覧	337
モデム	57, 280
モデム・ダイヤルイン	133, 229
モデム情報	285, PDF
モデム情報のインストール	PDF
モデム情報ファイル	284
モデム通信ができない	279
モデムの種類	PDF
モデムの設定	PDF
モデムの通信スピードが遅い	279
モデムのプロパティの設定	PDF
モデムプロトコル	PDF
モデムポート	69, 75, 280

ユ

ユーザ ID	92, 283
ユーザ間情報通知サービス	233, 235
ユーザ名	286
ユーティリティのファイル情報	103
優先着信ポート	267
優先着信ポート指定	132, 185

遊遊メール	234, PDF
ユニバーサルシリアルバスコントローラ PDF	

ヨ

用語解説	343
------------	-----

ラ

落雷プロテクタ	59, 327
らくらくアシスタント	32, 78, 80, 82, 102, 111, 122, 136, 238, 242, 248, 251, 280, 298, PDF
らくらくアシスタントのバージョンアップ PDF	
らくらくテレホン設定	32, 135, 248, 251
らくらくバージョンアップ	280, PDF
らくらくバージョンアップを使用した バージョンアップ	PDF
らくらくバックアップ	PDF
らくらくユーティリティ	PDF

リ

リザルトコード	283, PDF
リザルトコード一覧	PDF
リザルトコードセット一覧	PDF
リソース BOD	246, PDF
リパーススイッチ	273
リパースパルス送出	266
リモートアクセス	120
リモートアクセスの設定	PDF
リモートステーション	88
履歴先発信する電話機を指定する	244
リンク削除	PDF
リンク追加	PDF

ル

累積料金	288
累積料金表示	268
累積料金を初期化する	246
累積料金を表示する	245, 262
留守番電話機	276

レ

レイヤ	63, 273, 310
-----------	--------------

ロ

ローゼット	57, 326
ローダモード A	281
ロゲイン ID	92

ワ

ワークグループ名の確認	PDF
ワークグループ名の設定	PDF
ワイヤレスセット	26, 126
ワイヤレス通信機能	29, 126
ワイヤレスデータ通信	126
ワイヤレスネットワーク	126

Memo

Memo

Memo

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどはおこなっていません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Atermは初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまつては能力を發揮できません。添付の取扱説明書をよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。


NEC BIGLOBE カスタマーサポート

ご注意

BIGLOBEのお問い合わせにつきましては、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。